2020年度

九州歯科大学　シラバス

歯学部 口腔保健学科

歯学部

口腔保健学科

目次

歯学部

口腔保健学科

政治学 …… 〔非常勤講師〕朝倉　拓郎 …… 9
文化人類学 …… 〔非常勤講師〕翁　文静 …… 11
アジア文化史 …… 〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎 …… 14
哲学 …… 〔非常勤講師〕清水　満 …… 17
文学 …… 〔非常勤講師〕稲田　大貴 …… 20
心理学 …… 〔非常勤講師〕山中　大士 …… 23
法学 …… 〔非常勤講師〕小野　憲昭 …… 26
倫理学 …… 〔非常勤講師〕清水　満 …… 29
情報リテラシーⅠ …… 中原　孝洋 …… 32
情報リテラシーⅡ …… 中原　孝洋 …… 35
プロフェッショナリズムⅠ …… 学長 …… 37
歯学部長
鯨　吉夫
有吉　渉
藤井　航
園木　一男
吉野　賢一
感染と免疫Ⅰ …… 有吉　渉 …… 40
吉岡　香絵
山﨑　亮太
Evidence-Based Dentistry …… 角舘　直樹 …… 43
臨床体験実習Ⅱ …… 粟野　秀慈 …… 47
村岡　宏祐
守下　昌輝
藤井　航
本田　尚郁
ドイツ語Ⅰ …… 〔非常勤講師〕平川　要 …… 51
中国語Ⅰ …… 〔非常勤講師〕張　景珊 …… 54
韓国語Ⅰ …… 〔非常勤講師〕元　慶臣 …… 56
国際歯科医学概論 …… 角舘　直樹 …… 58
〔非常勤講師〕長谷川　了
久藤　元
国際歯科医学実習 …… 学長 …… 60
角舘　直樹
体育 …… 鯨　吉夫 …… 62
基礎教育セミナー …… 口腔保健学科長 …… 64
福泉　隆喜
吉野　賢一
基礎生物学 …… 吉野　賢一 …… 67
化学 …… 〔非常勤講師〕河岸　重則 …… 69
数学入門 …… 深井　康成 …… 72
総合講義Ⅰ …… 口腔保健学科長 …… 74
総合講義Ⅱ …… 口腔保健学科長 …… 76
医療コミュニケーションⅠ …… 海寳　康臣 …… 78
木尾　哲朗
永松　浩
鬼塚　千絵
安永　愛
渡辺　幸嗣
園木　一男
引地　尚子
船原　まどか
本田　尚郁

〔非常勤講師〕俣木　志朗
〔非常勤講師〕灘光　洋子
〔非常勤講師〕吉田　登志子
〔非常勤講師〕藤崎　和彦
〔非常勤講師〕大住　伴子
口腔保健学演習 …… 口腔保健学科長 …… 82
片岡　真司
有吉　渉
藤井　航
日髙　勝美
園木　一男
吉野　賢一
辻澤　利行
中道　敦子
泉　繭依
船原　まどか
本田　尚郁
臨床歯科医学系総合演習 …… 口腔保健学科長 …… 85
有田　正博
片岡　真司
古株　彰一郎
矢田　直美
有吉　渉
西田　郁子
郡司掛　香織
黒石　加代子
園木　一男
吉野　賢一
辻澤　利行
引地　尚子
プロフェッショナリズムII …… 歯学部長 …… 88
粟野　秀慈
中原　孝洋
木尾　哲朗
永松　浩
鬼塚　千絵
安永　愛
園木　一男
引地　尚子
〔非常勤講師〕岩佐　康行
〔非常勤講師〕甲斐　康晴
〔非常勤講師〕村木　祐孝
〔非常勤講師〕濱嵜　朋子
〔非常勤講師〕岡留　朝子
プロフェッショナリズムIII …… 粟野　秀慈 …… 93
木尾　哲朗
村岡　宏祐
中道　敦子
本田　尚郁
〔非常勤講師〕曽我　賢彦
〔非常勤講師〕長谷由紀子
口腔保健学概論 …… 日髙　勝美 …… 95
中道　敦子
船原　まどか
〔非常勤講師〕溝部　潤子
歯科臨床概論 …… 学長 …… 97
歯学部長
邵　仁浩
引地　尚子
〔非常勤講師〕間宮　清

キャリア・デザイン …… 邵　仁浩 …… 99
日髙　勝美
園木　一男
中道　敦子
泉　繭依
船原　まどか
基礎生命科学Ⅰ（解剖・生理） …… 園木　一男 …… 101
吉野　賢一
基礎生命科学Ⅱ（組織） …… 豊野　孝 …… 105
基礎生命科学Ⅲ（生化学） …… 古株　彰一郎 …… 108
松原　琢磨
Addison William
基礎生命科学実習Ⅰ …… 福泉　隆喜 …… 111
園木　一男
吉野　賢一
辻澤　利行
基礎生命科学実習Ⅱ …… 矢田　直美 …… 113
東　泉
吉野　賢一
引地　尚子
基礎摂食嚥下学Ⅰ（口腔解剖） …… 片岡　真司 …… 115
基礎摂食嚥下学Ⅱ（口腔組織） …… 豊野　孝 …… 118
基礎摂食嚥下学Ⅲ（口腔生理） …… 吉野　賢一 …… 121
基礎摂食嚥下学実習 …… 中富　満城 …… 123
片岡　真司
矢田　直美
有吉　渉
吉岡　香絵
山﨑　亮太
園木　一男
吉野　賢一
引地　尚子
歯科材料学 …… 清水　博史 …… 127
永松　有紀
歯科材料学実習 …… 清水　博史 …… 129
永松　有紀
池田　弘
口腔健康増進学Ⅰ …… 秋房　住郎 …… 131
口腔健康増進学Ⅱ …… 秋房　住郎 …… 134
口腔健康増進学実習 …… 秋房　住郎 …… 136
薬理学・口腔薬理学 …… 東　泉 …… 138
疾病とその病態 …… 矢田　直美 …… 142
社会環境医学 …… 日髙　勝美 …… 146
医療健康政策学 …… 日髙　勝美 …… 150
口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅰ（歯科保存） …… 北村　知昭 …… 153
諸冨　孝彦
鷲尾　絢子
吉居　慎二
藤元　政考
口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅱ（歯周病） …… 邵　仁浩 …… 157
〔非常勤講師〕久保田　浩三
口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅲ（歯科補綴） …… 有田　正博 …… 159
歯科放射線学 …… 森本　泰宏 …… 161
田中　達朗
小田　昌史
口腔成長発育系歯科医学Ⅰ（小児歯科） …… 西田　郁子 …… 163
藤田　優子
佐伯　桂
渡辺　幸嗣
口腔成長発育系歯科医学Ⅱ（歯科矯正学） …… 川元　龍夫 …… 166

郡司掛　香織
黒石　加代子
左合　美紗
水原　正博
外科系歯科医学 …… 引地　尚子 …… 169
障害者歯科学 …… 藤井　航 …… 171
〔非常勤講師〕緒方　克也
救急救命学・歯科麻酔学 …… 渡邉　誠之 …… 173
椎葉　俊司
原野　望
左合　徹平
茂山　幸代
園木　一男
歯科インプラント学 …… 細川　隆司 …… 176
正木　千尋
近藤　祐介
向坊　太郎
宗政　翔
野代　知孝
森本　泰宏
引地　尚子
健康づくりのための食生活論 …… 邵　仁浩 …… 179
藤井　航
日髙　勝美
秋房　住郎
園木　一男
辻澤　利行
引地　尚子
中道　敦子
泉　繭依
船原　まどか
本田　尚郁
統計学入門 …… 深井　康成 …… 181
医療健康統計学 …… 邵　仁浩 …… 183
日髙　勝美
歯科医療補助論 …… 船原　まどか …… 185
口腔保健論 …… 本田　尚郁 …… 189
歯科予防処置論 …… 邵　仁浩 …… 191
歯科保健医療補助実習 …… 船原　まどか …… 193
歯科保健医療支援論 …… 園木　一男 …… 197
船原　まどか
歯科保健医療連携実習 …… 口腔保健学科長 …… 201
有田　正博
邵　仁浩
郡司掛　香織
黒石　加代子
左合　美紗
田中　達朗
若杉　奈緒
園木　一男
引地　尚子
泉　繭依
磯部　彩香
口腔保健教育原論 …… 中道　敦子 …… 204
発達口腔保健教育原論 …… 中道　敦子 …… 207
〔非常勤講師〕山本　友美
〔非常勤講師〕猪原　光
歯周疾患予防処置実習Ⅰ …… 邵　仁浩 …… 210
本田　尚郁
歯周疾患予防処置実習Ⅱ …… 邵　仁浩 …… 213

本田　尚郁
う蝕予防処置実習 …… 邵　仁浩 …… 217
本田　尚郁
口腔保健支援実習 …… 中道　敦子 …… 219
泉　繭依
口腔衛生管理学 …… 中道　敦子 …… 221
泉　繭依
本田　尚郁
〔非常勤講師〕杉浦　裕子
基礎臨床実習 …… 口腔保健学科長 …… 224
応用臨床実習 …… 口腔保健学科長 …… 227
発展臨床実習 …… 口腔保健学科長 …… 230
労働衛生学 …… 口腔保健学科長 …… 233
邵　仁浩
佐伯　桂
柿木　保明
日髙　勝美
秋房　住郎
園木　一男
〔非常勤講師〕大神　明
〔非常勤講師〕森本　泰夫
〔非常勤講師〕伊藤　昭好
〔非常勤講師〕品川　隆
〔非常勤講師〕伊澤　三樹
〔非常勤講師〕石松　維世
労働衛生法規Ⅰ …… 〔非常勤講師〕柳澤　旭 …… 236
労働衛生法規Ⅱ …… 〔非常勤講師〕柳澤　旭 …… 238
食べ物と健康 …… 辻澤　利行 …… 240
食べ物と健康Ⅱ（歯科分野編） …… 柿木　保明 …… 244
多田　葉子
辻澤　利行
ライフステージ歯科栄養学Ⅰ …… 柿木　保明 …… 248
辻澤　利行
ライフステージ歯科栄養学Ⅱ …… 邵　仁浩 …… 251
藤井　航
日髙　勝美
秋房　住郎
園木　一男
辻澤　利行
引地　尚子
中道　敦子
泉　繭依
船原　まどか
本田　尚郁
摂食嚥下リハビリテーション論 …… 口腔保健学科長 …… 253
藤井　航
久保田　潤平
辻澤　利行
泉　繭依
〔非常勤講師〕荒金　英樹
摂食嚥下リハビリテーション実習 …… 藤井　航 …… 257
泉　繭依
船原　まどか
基礎介護学 …… 〔非常勤講師〕竹並　正宏 …… 260
臨床検査学 …… 引地　尚子 …… 262
総合医科学 …… 園木　一男 …… 264
〔非常勤講師〕尼田　覚
〔非常勤講師〕髙島　健
〔非常勤講師〕酒見　好弘
〔非常勤講師〕池　志保

生活習慣病論 …… 園木　一男 …… 268
基礎看護学 …… 〔非常勤講師〕加藤　法子 …… 270
〔非常勤講師〕於久　比呂美
〔非常勤講師〕藤野　靖博
〔非常勤講師〕渕野　由夏
臨床栄養学 …… 園木　一男 …… 272
辻澤　利行
回復期口腔機能管理学 …… 口腔保健学科長 …… 274
中道　敦子
泉　繭依
船原　まどか
〔非常勤講師〕我那覇　生純
急性期口腔機能管理学 …… 中道　敦子 …… 276
船原　まどか
本田　尚郁
社会福祉概論 …… 秋房　住郎 …… 278
高齢者支援学Ⅱ …… 口腔保健学科長 …… 280
吉岡　香絵
藤井　航
〔非常勤講師〕荒木　剛
〔非常勤講師〕納戸　美佐子
〔非常勤講師〕坂巻　路可
〔非常勤講師〕竜口　隆三
〔非常勤講師〕吉原　悦子
〔非常勤講師〕山田　志麻
英語 …… 海寳　康臣 …… 283
医学英語 …… 〔非常勤講師〕James Hicks …… 286
卒業研究 …… 口腔保健学科長 …… 289

2020年度

政治学　(Politics)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕朝倉　拓郎						
担当教員	〔非常勤講師〕朝倉　拓郎						

授業の概要

本講義の目的は、我々市民が民主政治の担い手としての力量を高めるために必要不可欠な政治的教養を身につけることにある。本講義の内容は、以下の三つのパートから成る。
①政治の概念：政治を理解したり、政治について議論する上で重要な概念をいくつか取り上げ、その意義について学ぶ。
②戦後日本の政治：戦後日本の政治状況がどのように形成されたのかを学ぶ。
③現代政治の諸問題：現在我々が直面している政治的課題について、上記の議論をふまえて考察する。

学生の到達目標

①政治を理解するための基本的概念と歴史的知識を身につけ、説明できる。
②過去の歴史的経緯をふまえた上で現在直面している政治的諸問題について考察し、自分なりの意見を持って説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

テキストは指定せず、毎回資料を配布する。
出）　著）

参考書

資料の中で適宜紹介する。
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	80%
授業後の課題	20%

その他

講義の前後、またはメールで相談を受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

政治学　(Politics)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕朝倉　拓郎						
担当教員	〔非常勤講師〕朝倉　拓郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクション 本講義の概要と、受講上の注意点等について説明する。	講義	朝倉	遠隔授業
2	政治の概念（1）：「主権国家」の特徴について学ぶ。 【事前学習課題】近代国家の三要素、主権概念の形成、主権国家の特徴	講義	朝倉	遠隔授業
3	政治の概念（2）：「国民国家」の特徴について学ぶ。 【事前学習課題】国民国家の形成、国民国家の特徴、国家の役割	講義	朝倉	遠隔授業
4	政治の概念（3）：政治における「公共性」の意義について学ぶ。 【事前学習課題】公的利益、私的利益、公共性	講義	朝倉	遠隔授業
5	政治の概念（4）：「民主主義」における決め方（多数決）について学ぶ。 【事前学習課題】民主主義、多数決、一般意志	講義	朝倉	遠隔授業
6	政治の概念（5）：「権力」とそれを制御する考え方について学ぶ。 【事前学習課題】権力、法の支配、立憲主義	講義	朝倉	遠隔授業
7	戦後日本の政治（1）：占領期における日本の政治について学ぶ。 【事前学習課題】新憲法の制定、冷戦、日米安保条約	講義	朝倉	遠隔授業
8	戦後日本の政治（2）：安保改定から高度成長までの歴史を学ぶ。 【事前学習課題】55年体制、安保条約の改定、高度成長	講義	朝倉	遠隔授業
9	戦後日本の政治（3）：沖縄返還の歴史について学ぶ。 【事前学習課題】返還前の沖縄、ベトナム戦争、沖縄返還	講義	朝倉	遠隔授業
10	戦後日本の政治（4）：55年体制崩壊から現在までの歴史を学ぶ。 【事前学習課題】冷戦の終結、55年体制の崩壊、ポピュリズム	講義	朝倉	遠隔授業
11	現代政治の諸問題（1）：日本の安全保障をめぐる現状と課題について学ぶ。 【事前学習課題】日米安保体制、日米安保の再定義、集団的自衛権	講義	朝倉	遠隔授業
12	現代政治の諸問題（2）：格差が拡大する要因とその政治的影響について学ぶ。 【事前学習課題】貧困率、グローバリゼーション、規制緩和	講義	朝倉	遠隔授業
13	現代政治の諸問題（3）：日本の選挙制度の現状と課題について学ぶ。 【事前学習課題】小選挙区制、比例代表制、選挙制度改革	講義	朝倉	遠隔授業
14	現代政治の諸問題（4）：地域自治の意義と課題について学ぶ。 【事前学習課題】限界集落、地域活性化、社会関係資本	講義	朝倉	遠隔授業
15	確認テスト 本講義のまとめと確認テストを行う。	講義、テスト	朝倉	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

文化人類学　(Cultural anthropology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕翁　文静						
担当教員	〔非常勤講師〕翁　文静						

授業の概要

本授業では文化人類学の基礎を身につけ、文化の多様性とグローバルな状況を適切に理解することをめざす。また、文化人類学を通じて異文化間の相互理解及び他者理解に向けた課題について考える。特に、以下3点を中心に学んでいく。①文化人類学の基本的な知識と考え方について学び、②文化の多様なあり方を環境や生業、信仰などとの関係から学ぶ。また③現在生起している新しい文化社会状況を文化人類学の視点からどのように捉えうるのかについて考える。

学生の到達目標

①文化人類学の基本的な知識と考え方を身に付け、文化や価値観の多様性とその背景について理解することができる。
②現代社会のなかで起きている「文化」をめぐる新しい状況について理解し、異文化間の相互理解に向けた課題と自らとるべき姿勢について考えることができる。
③文化人類学の考え方や視点を獲得し、事象を相対化できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

随時、プリントを配布する。
出）　著）

参考書

文化人類学のレッスン
出）学陽書房　著）奥野克巳・花渕馨也　編

文化人類学【カレッジ版】
出）医学書院　著）波平恵美子　著

文化人類学キーワード
出）有斐閣　著）山下晋司・船曳建夫 編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	50%
小レポート	50%

その他

・講義前、講義後の空き時間に相談に応じる。
・質問の受付、回答はＥメールでも行う。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

文化人類学　(Cultural anthropology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕翁　文静						
担当教員	〔非常勤講師〕翁　文静						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	文化人類学の歴史・方法① 文化人類学の歴史と方法を概観する。 【事前学習課題】植民地、文化収集	講義	翁	遠隔授業
2	文化人類学の歴史・方法② 文化人類学の歴史と方法を概観する。 【事前学習課題】文化人類学誕生前史	講義	翁	遠隔授業
3	文化人類学の歴史・方法③ 文化人類学の歴史と方法を概観する。 【事前学習課題】進化論人類学、機能主義人類学―フィールドワークの成立	講義	翁	遠隔授業
4	文化人類学の歴史・方法④ 文化人類学の歴史と方法を概観する。 【事前学習課題】 構造主義人類学、解釈人類学、文化相対主義、ポストモダン人類学	講義	翁	遠隔授業
5	文化の多様性―家族、親族① 母系社会、父系社会などの家族のあり方の多様性をみていく。 【事前学習課題】 家族、コミュニティ	講義	翁	遠隔授業
6	文化の多様性―家族、親族② 文化によって異なる生殖理論や、新たに誕生している生殖技術によって形成される家族のあり方をみていく。 【事前学習課題】 新しい家族、民俗生殖理論、生殖補助医療	講義	翁	遠隔授業
7	写真観察法 相対化することに関してワークを通して経験してもらう。 【事前学習課題】相対化	講義	翁	遠隔授業
8	写真観察法（グループディスカッション） 前日まで写真を撮り、写真についての説明、なぜこの写真を選んだ理由を書き留めます。 当日にグループディスカッションを行います。	講義	翁	遠隔授業
9	文化の多様性ー分類と境界 この世界は分類と境界によって認識されている。そこに立ち現れるケガレや暴力について検討する。 【事前学習課題】ケガレ　境界	講義	翁	遠隔授業
10	文化の多様性―通過儀礼 私たちの人生は分節化されており、その節目に行われるものが儀礼である。さまざまな文化によって行われている儀礼を紹介し、儀礼の構造を確認していく。 【事前学習課題】成人儀礼、コミュニタス	講義	翁	遠隔授業
11	文化の多様性―医療と呪術 現代医療と呪術の関係性についてみていく。 【事前学習課題】医療化	講義	翁	遠隔授業
12	文化の多様性－死と世界観 文化によって異なる死と世界観について説明する。 【事前学習課題】隠れる死	講義	翁	遠隔授業
13	文化の多様性ー交換と贈与 交換と贈与という経済的な行動に潜む境界や、利得の追及では説明できない、交換自体が目的となっていることを異なる文化の贈与の慣習を例に説明していく。 【事前学習課題】互酬性、市場、貨幣	講義	翁	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

文化人類学　(Cultural anthropology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕翁　文静						
担当教員	〔非常勤講師〕翁　文静						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	文化の多様性ーセクシュアリティとジェンダー セクシュアリティとジェンダーの違いなどを確認し、文化によって異なる性の捉え方をみてみる。 【事前学習課題】性、セクシュアリティ、ジェンダー	講義	翁	遠隔授業
15	現代社会と文化人類学ーオリエンタリズム、文化を書く、伝統の創造 人類学自体を再考していく。 【事前学習課題】伝統、グローバル化、文化を書く	講義	翁	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

アジア文化史　(Cultural History of Asia)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎						
担当教員	〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎						

授業の概要

この講義では、アジア（主に東アジア）の文化・習俗・思想などを、日本人がどのように受け入れてきたか、あるいは逆に、日本が周辺諸国にどのような影響を与えてきたかを学ぶ。そこから、アジア諸国の文化上の共通点と相違点、および現在の各国民の相互認識における問題点にアプローチしていく。さらに、日本文化が、アジア世界、ひいては全世界の中で占める文化的・歴史的位置の独自性などについても、考えを深めていく。

学生の到達目標

①アジア諸国の文化・歴史などに対して、日本をその中に位置づけた上での、総合的な理解ができる。
②アジア諸国との過去・現在・将来にわたる関係のあり方について、広い視野から考えることができる。
③「世界の中の日本」ということについて、時間的・空間的に、複眼的・立体的な見方ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

不合格者（６０点未満）には再試験を実施する。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

アジア文化史　(Cultural History of Asia)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎						
担当教員	〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクション 　東アジア地域についての概括的な基礎知識と、その中で日本が置かれてきた状況について学ぶ。 【事前学習課題】アジア、東アジア、東洋、西洋	講義	楢崎	遠隔授業
2	東アジアにおける「国名」の歴史 　東アジア諸国の国家の名称と、そこに示された諸国民・諸民族の「アイデンティティ」について、歴史的・文化的な視点から考える。 【事前学習課題】中国、中華、倭、日本	講義	楢崎	遠隔授業
3	東アジアにおける「王権」の諸様相 　東アジア諸国の「王権」のさまざまなあり方について、その沿革や意味などを学ぶ。 【事前学習課題】王、皇帝、天皇、元首	講義	楢崎	遠隔授業
4	封建と中央集権 　中国史における中央政府と地方権力との関係について、また、中国における「王」という称号の変遷、及び東アジアにおける「冊封体制」成立の思想的背景について学ぶ。 【事前学習課題】封建、郡県、冊封体制	講義	楢崎	遠隔授業
5	律令制と封建制 　日本の歴史における、中央政府と地方権力との関係や、日本における天皇と将軍との関係や、「廃藩置県」の歴史的意義などについて学ぶ。 【事前学習課題】征夷大将軍、日明貿易、廃藩置県	講義	楢崎	遠隔授業
6	アジア宗教史概論（仏教・儒教・道教） 　インド人・中国人の宗教観、死生観、霊魂観について、仏教・儒教・道教についての基本的知識と共に学ぶ。 【事前学習課題】孔子、儒教、老子、道教	講義	楢崎	遠隔授業
7	日本宗教史概論（神道・仏教・儒教） 　日本人の宗教観・死生観・霊魂観について、神道・仏教・儒教についての基本的知識と共に学ぶ。 【事前学習課題】神道、神仏習合、廃仏毀釈	講義	楢崎	遠隔授業
8	東アジアにおける「文字」の諸様相① 　中国における漢字の歴史や、それが「中国文明」の形成・維持・発展にあたって果たした役割について学ぶ。 【事前学習課題】甲骨文字、象形、指示、転注、仮借	講義	楢崎	遠隔授業
9	東アジアにおける「文字」の諸様相② 　日本への漢字の伝来から、仮名文字の成立へと至る沿革について学ぶ。 【事前学習課題】王仁（和邇）、万葉仮名、紀貫之	講義	楢崎	遠隔授業
10	東アジアにおける「文字」の諸様相③ 　「ハングル」誕生の経緯と、その他の諸民族の作った文字について学ぶ。 【事前学習課題】諺文、ハングル、朝鮮王朝（李朝）	講義	楢崎	遠隔授業
11	朝鮮半島における仏教と儒教 　朝鮮半島における仏教と儒教の歴史について学ぶ。 【事前学習課題】華厳宗、朱子学	講義	楢崎	遠隔授業
12	「漢字文化圏」の一員としてのベトナム 　「漢字文化圏」の一員としてのベトナムについて、文化・歴史的な視点から学んでいく。 【事前学習課題】字喃（チュノム）	講義	楢崎	遠隔授業
13	「西洋の衝撃」と東アジア 　西欧近代文明の衝撃に対して、東アジア諸国がどのように対応しようとしたかを学ぶ。 【事前学習課題】蘭学、和魂洋才、洋務運動	講義	楢崎	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

アジア文化史　(Cultural History of Asia)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎						
担当教員	〔非常勤講師〕楢崎　洋一郎						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	「社会主義」と東アジア 　東アジア諸国と「社会主義」との関係について、主に歴史的視点から考えていく。 【事前学習課題】マルクス・レーニン主義、毛沢東	講義	楢崎	遠隔授業
15	学習内容のまとめ 　東アジア諸国と日本の過去と現在、そして将来について考える。 　これまでの授業内容を再確認した上で、主に文化的側面から、今後の諸国間の相互理解の望ましいあり方について考える。	講義	楢崎	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

哲学　(Philosophy)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水　満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水　満						

授業の概要

ヨーロッパの哲学的伝統、思想史の概説を行う。哲学の基本となるギリシャ（ヘレニズム）とキリスト教（ヘブライズム）から始まり、近代哲学の誕生を示す大陸合理主義のデカルトとスピノザそしてドイツ観念論およびその現代版の思想を講義していく。

学生の到達目標

①ヨーロッパの哲学史の基本的な知識・概念を説明できる。
②ヨーロッパの哲学史の基本的な概念と視点から、世界や自己を考察できる。
③現実の問題に対して、哲学的思考が有効であることを理解し、自己の今後の生き方に役立てることができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	2	2)		⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。

テキスト

毎回レジメのプリントを配付する。
出）　著）

参考書

毎回の講義でそのつど紹介する。
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	59%
リフレクションカードへの考察の記入状況	31%
出席	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】
質問その他は講義時間後とする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

哲学　(Philosophy)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水　満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水　満						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクションとギリシャの思想（１） ソクラテスの知と徳 哲学とは何かを学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
2	ギリシャの思想（２） プラトンの思想 プラトンの国家論の基礎を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
3	ギリシャの思想（３） アリストテレスの思想 「賢慮」と「友愛」の概念を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
4	キリスト教の思想（１） イエスとパウロの思想 史的イエスとキリスト教の成立を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
5	キリスト教の思想（２） アウグスティヌスとフランチェスコの思想 キリスト教思想の代表であるアウグスティヌスの思想と、アッシジのフランチェスコの思想を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
6	キリスト教の思想（３） ルターの思想 近代思想の基礎となったプロテスタンティズムの基礎を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
7	近代の思想（１） デカルトの思想 デカルトの『方法序説』を主に、彼の思想を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
8	近代の思想（２） ホッブズの思想 社会契約説と機械論的人間観を学ぶ。。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
9	近代の思想（３） スピノザの思想 「エチカ」「神学・政治論」の思想を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
10	ドイツ観念論の思想（１） カントの思想 「アンチノミー」と「美的判断力」について学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
11	ドイツ観念論の思想（２） フィヒテの思想 「自覚」と「相互承認」について学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
12	ドイツ観念論の思想（３） ヘーゲルの思想 「国家」と「理性」について学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

哲学　(Philosophy)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水　満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水　満						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	近代から現代への思想 マルクスの思想 「物象化」とコミュニケーションについて学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
14	現代の思想 フランクフルト学派とハーバマスの思想 フランクフルト学派と第二世代のハーバマスの思想を学ぶ 。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	講義	清水	遠隔授業
15	まとめ 旅する哲学。 デカルトのように旅をしながら自己の思索を鍛えていくことの重要性を学ぶ。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。小さな旅に挑戦。	講義	清水	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

文学　(Literature)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕稲田　大貴						
担当教員	〔非常勤講師〕稲田　大貴						

授業の概要

本講義は近現代（明治期以降）の小説・詩を中心とする日本文学を通じて、個人と世界・社会・時代との関わりを学ぶ。文学が芸術、教養であるのは、それが個人と深く関わる言語表現であり、読者がそれを受け止めるがゆえである。その個人とは世界・社会・時代と無関係ではいられず、私たち読者もまた同様である。本講義では一箇の人間がどのように世界・社会、時代と切り結び、作品が生まれたのか、またその作品をどのように読むのかを考えることで、文学全般への理解を深める。

学生の到達目標

①文学作品の鑑賞において、自分が感じたことや考えたことを表現できる。
②文学作品へのアプローチ方法を習得する。
③作家と作品が、どのように時代・社会と切り結び、存在しているかを説明できる。
④文学を通じて、「他者との接触」について自ら考えることができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	2	2)		②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
A	2	2)		⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。

テキスト

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	70%
出席状況	30%

その他

【テキスト・参考文献等】
その都度、指示する。各自入手して一読されたい。
講義資料などはデータで配布する。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

文学　(Literature)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕稲田　大貴						
担当教員	〔非常勤講師〕稲田　大貴						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクション 本講義の進め方について説明し、文学とは何か、どのようにあるのか、それを学ぶ意味について解説し、本講義を受講する際の視座を提供する。 【事前学習課題】　「文学」を学ぶことの意味	講義	稲田	遠隔授業
2	森鴎外「舞姫」を読む① 鴎外の代表作。本作を読み、一人の青年の内面について見つつ、明治日本における「個」のあり様が文学的にどのような意味を持っているのかを学ぶ。それを踏まえ、「舞姫」という作品の読みの可能性を探る。 【事前学習課題】　森鴎外、「舞姫」、ドイツ、明治	講義	稲田	遠隔授業
3	森鴎外「舞姫」を読む② 鴎外の代表作。本作を読み、一人の青年の内面について見つつ、明治日本における「個」のあり様が文学的にどのような意味を持っているのかを学ぶ。それを踏まえ、「舞姫」という作品の読みの可能性を探る。 【事前学習課題】　森鴎外、「舞姫」、ドイツ、明治	講義	稲田	遠隔授業
4	太宰治「道化の華」を読む① 太宰の自伝的小説。太宰治の実人生を踏まえつつ、本作を読むにあたっての「現実と小説との相互干渉」について、また作品の「語り手」が孕む問題について考えてゆく。 【事前学習課題】太宰治、「道化の華」、心中事件、昭和初期	講義	稲田	遠隔授業
5	太宰治「道化の華」を読む② 太宰の自伝的小説。太宰治の実人生を踏まえつつ、本作を読むにあたっての「現実と小説との相互干渉」について、また作品の「語り手」が孕む問題について考えてゆく。 【事前学習課題】太宰治、「道化の華」、心中事件、昭和初期	講義	稲田	遠隔授業
6	三島由紀夫『金閣寺』を読む① 三島の代表作で、近代文学の傑作のひとつと言われる。本作を読み、作品主題の「美と人生」の問題について考え、また事件を小説化することの意義、作品の語りの構造ににについて学ぶ。 【事前学習課題】三島由紀夫、「金閣寺」、金閣寺放火事件、昭和中期	講義	稲田	遠隔授業
7	三島由紀夫『金閣寺』を読む② 三島の代表作で、近代文学の傑作のひとつと言われる。本作を読み、作品主題の「美と人生」の問題について考え、また事件を小説化することの意義、作品の語りの構造ににについて学ぶ。 【事前学習課題】三島由紀夫、「金閣寺」、金閣寺放火事件、昭和中期	講義	稲田	遠隔授業
8	三島由紀夫「憂国」を読む 三島が自身の「エッセンス」と呼んだ作品。政治とエロス、美のあり様について考え、テクストの異同から、新しい読みの可能性を探る。 【事前学習課題】三島由紀夫、「憂国」、二・二六事件	講義	稲田	遠隔授業
9	鷺沢萠『海の鳥・空の魚』を読む① 鷺沢萠の短篇小説集。作家が生きた時代、社会の様相を踏まえつつ、作品を読む。それを通じて、自己のあり様、「他者へのまなざし」について考える。 【事前学習課題】鷺沢萠、『海の鳥・空の魚』、平成、京浜工業地帯、バブル期	講義	稲田	遠隔授業
10	鷺沢萠『海の鳥・空の魚』を読む② 鷺沢萠の短篇小説集。作家が生きた時代、社会の様相を踏まえつつ、作品を読む。それを通じて、自己のあり様、「他者へのまなざし」について考える。 【事前学習課題】鷺沢萠、『海の鳥・空の魚』、平成、京浜工業地帯、バブル期	講義	稲田	遠隔授業
11	近現代詩史・粗描 明治以前、詩とは漢詩であった。現在読まれている「詩」がどのように今の私たちの前に差し出されているのか、そのあり様を学ぶ。 【事前学習課題】近現代詩の発生、戦争	講義	稲田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

文学　(Literature)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕稲田　大貴						
担当教員	〔非常勤講師〕稲田　大貴						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	近代詩を読む 近現代の詩史を踏まえ、萩原朔太郎、中原中也の詩を読む。詩の鑑賞を通じて、近代日本において近代的主体がどのように「発見」され、いかなる変遷を辿ったのかを考える。 【事前学習課題】近現代詩、萩原朔太郎、『月に吠える』、中原中也『山羊の歌』	講義	稲田	遠隔授業
13	近現代詩を読む―詩人・宗左近を視座に① 北九州ゆかりの詩人・宗左近について学び、彼の詩がどのようにあり、現代詩史に位置づけられるかを考える。宗の詩に深く影響を及ぼした宮沢賢治、草野心平の詩作についても触れ、現代日本における「詩」のあり様について考える。 【事前学習課題】宗左近、『炎える母』、縄文、北九州	講義	稲田	遠隔授業
14	近現代詩を読む―詩人・宗左近を視座に② 北九州ゆかりの詩人・宗左近について学び、彼の詩がどのようにあり、現代詩史に位置づけられるかを考える。宗の詩に深く影響を及ぼした宮沢賢治、草野心平の詩作についても触れ、現代日本における「詩」のあり様について考える。 【事前学習課題】宗左近、『炎える母』、縄文、北九州	講義	稲田	遠隔授業
15	まとめ これまでの講義を概括し、文学を学ぶことの意味について再度考える。 【事前学習課題】「文学」を学び、活かす方法	講義	稲田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

心理学　(Psychology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕山中　大士						
担当教員	〔非常勤講師〕山中　大士						

授業の概要

本講義では、これまでの心理学の基礎的な知見を幅広く紹介しながら、心理学の主要領域について概説していく。
基本的理論に触れることで、人間の心理や行動のメカニズムについての理解を深めつつ、それらを科学的に研究する方法を学ぶことを目的とする。
更に、各テーマの理論を自分の生活に結びつけて考えることで、自分や周りの物事を客観的かつ多角的に見るための視点を養う。

学生の到達目標

①心理学の主要領域の基本的理論や重要な用語について説明できる。
②心理学の科学的な研究方法や議論・検証の流れについて説明できる。
③心理学の考え方に沿って、現実の具体的な事象を解釈することができる。
④実際の臨床においての心理学の援用についての知識を得る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	2	2)		⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。

テキスト

出）　著）

参考書

授業中、適宜紹介する。
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終レポート	50%
授業内レポート（出席確認を兼ねる）	50%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】メールにて質問や相談を行う。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

心理学　(Psychology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕山中　大士						
担当教員	〔非常勤講師〕山中　大士						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 心理学とは何か、歴史を踏まえながら学ぶ。 【事前学習課題】心理学、基礎心理学、応用心理学	講義	山中	遠隔授業
2	感覚・知覚・注意 人間はどのように外界を認識しているのか、注意をどのように向けるのかについて学ぶ。 【事前学習課題】感覚の種類、知覚の恒常性、錯視、カクテルパーティ効果、ストループ 効果	講義	山中	遠隔授業
3	学習 学習と行動の関係性について学ぶ。 【事前学習課題】条件づけ、強化、社会的学習	講義	山中	遠隔授業
4	記憶 記憶の過程と種類について学ぶ。 【事前学習課題】記憶のモデル、短期記憶、長期記憶、忘却	講義	山中	遠隔授業
5	対人魅力 人間が他者に対して抱く感情について心理学的観点から学ぶ。 【事前学習課題】近接性、好意の返報性，類似性	講義	山中	遠隔授業
6	ストレス理論 ストレスについて、その生起や特徴、影響について学ぶ。 【事前学習課題】ストレッサー、ホメオスタシス、ストレス反応、コーピング	講義	山中	遠隔授業
7	モチベーション 人間の欲求と動機づけの基本的理論について学ぶ。 【事前学習課題】生理的欲求、社会的欲求、葛藤	講義	山中	遠隔授業
8	パーソナリティ① 性格とは何か、類型や特性から学ぶ。 【事前学習課題】類型論、特性論、測定法	講義	山中	遠隔授業
9	パーソナリティ② 性格とは何か、類型や特性から学ぶ。 【事前学習課題】類型論、特性論、測定法	講義	山中	遠隔授業
10	発達 生涯をかけた心の成長と変化について学ぶ。 【事前学習課題】発達段階、発達課題、アタッチメント	講義	山中	遠隔授業
11	社会的認知 人間が他者を認知するときの傾向の基礎を学ぶ。 【事前学習課題】自尊感情、対人認知、原因帰属	講義	山中	遠隔授業
12	臨床心理学 心理学の分野のひとつである臨床心理学の概要について学ぶ。 【事前学習課題】カウンセリング、心理療法	講義	山中	遠隔授業
13	精神医学 精神疾患や精神症状の概要について学ぶ。 【事前学習課題】DSM-5、ICD-10、精神疾患、病態水準	講義	山中	遠隔授業
14	心理療法 実際の心理支援に用いられている様々な心理療法についての概要について学ぶ。 【事前学習課題】フロイト、ロジャース、行動療法	講義	山中	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

心理学　(Psychology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕山中　大士						
担当教員	〔非常勤講師〕山中　大士						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
15	まとめ・最終レポート 各回の講義内容について、疑問点や不明点に答える形でまとめをおこなう。また、学んだ内容に関する最終レポートの提出をもって、定期試験に替えることとする（詳細は第15回の講義時に提示する）。	講義・試験	山中	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

法学　(Study of Law)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕小野　憲昭						
担当教員	〔非常勤講師〕小野　憲昭						

授業の概要

我々の日常生活を規律する基本的な法の仕組みや、歯科医療福祉に関する法制度の沿革、内容、役割、医療をめぐる法律問題の状況、法律問題解決の技法について講義する。日常生活においても職業活動においても不可欠な法を知り、法を役立て、安心して職務に従事し、日常生活を営むことができる基盤を作ってほしいと思っている。

学生の到達目標

①日常生活関係を規律する法の存在や仕組み、基本的な考え方を説明できる。
②医療法の存在意義と役割を理解するとともに、基本的な知識を身につける。
③歯科医師法、歯科衛生士法等職務関係法の存在意義と役割を理解するとともに、基本的な知識を身につける。
④医療をめぐる法律問題を知り、その解決方法を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

実践　医療と法－医療者のための医事法入門
出）信山社　著）初川　満

法学六法２０
出）信山社　著）池田真朗他編

参考書

歯科六法コンメンタール
出）ヒョーロン（２０１８年刊）　著）社会歯科学研究会編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題	50%
レポート	50%

・法律学入門第3版補訂版　佐藤幸治＝鈴木茂嗣＝田中成明＝前田達明著　有斐閣　2008年
・法学入門〔第4版新装版〕五十嵐　清著　日本評論社　2017年
・医療六法　平成30年版　中央法規出版　2018年
・医事法入門第5版　手嶋豊著　有斐閣　2018年
・医事法講義（新編第3版）前田和彦著　信山社　2016年
・医事法判例百選［第2版］　甲斐克則＝手嶋豊編　有斐閣2014年

その他

質問は講義後にメールで受け付ける。
「法学六法２０」は、講義に必ず持参し利用すること。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

法学　(Study of Law)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕小野　憲昭						
担当教員	〔非常勤講師〕小野　憲昭						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	社会規範の一つとしての法（１）―法とは何か ①法とは何かを学ぶ。 ②法の特性、構造・機能、分類を学ぶ。 【事前学習課題】道徳　公法　私法　強制力　平均性	講義	小野	遠隔授業
2	社会規範の一つとしての法（２）―紛争解決のための法 ①法源を学ぶ。 ②法の解釈適用の方法を学ぶ。 【事前学習課題】制定法　判例　条理　縮小解釈　類推解釈	講義	小野	遠隔授業
3	憲法の役割と基本原則（１） ①基本的人権の保障、特に自由権の本質を知る。 ②社会権の内容と役割を知る。 【事前学習課題】公共の福祉　プライバシー権　自己決定権　生存権	講義	小野	遠隔授業
4	憲法の役割と基本原則（２） ①司法制度について知る。 ②違憲審査制度の意義と役割を知る。 【事前学習課題】裁判制度　法律上の争訟　司法権の独立 違憲判決　統治行為	講義	小野	遠隔授業
5	民法の役割と基本原則（１） ①民法の世界観、基本原理を知る。 ②私的自治の原則と過失責任の原則について考える。 【事前学習課題】所有権の絶対　契約自由の原則　過失責任の原則　家族法における意思絶対　損害賠償責任	講義	小野	遠隔授業
6	民法の役割と基本原則（２） ①公共の福祉、信義則、権利濫用の役割を知る。 ②私権の公共性について考える。 【事前学習課題】公共の福祉　信義誠実の原則　安全配慮義務　契約の準備段階における過失　権利濫用	講義	小野	遠隔授業
7	刑法の役割と基本原則（１） ①罪刑法定主義の原則を知る。 ②犯罪の成立要件を知る。 【事前学習課題】罪刑法定主義　慣習刑法の排斥　犯罪構成要件　違法性阻却事由 非難可能性	講義	小野	遠隔授業
8	刑法の役割と基本原則（２） ①刑罰の本質について知る。 ②刑事手続き、裁判員裁判制度について知る。 【事前学習課題】応報刑　一般予防　被疑者の権利　被告人の権利　裁判員	講義	小野	遠隔授業
9	医療法 医療施設の規制に関する法を学ぶ。 【事前学習課題】病院　広告　開設の規制　診療記録　医療計画	講義	小野	遠隔授業
10	医療関係資格法（１） 歯科医師法を学ぶ。 【事前学習課題】資格　試験　研修　業務	講義	小野	遠隔授業
11	医療関係資格法（２） 歯科衛生士法等を学ぶ。 【事前学習課題】資格　試験　研修　業務	講義	小野	遠隔授業
12	医療行為と法（１） ①医療行為とは何かを学ぶ。 ②医師の権利義務、患者の権利義務について学ぶ。 【事前学習課題】診療契約　医療従事者の責務　患者の権利	講義	小野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

法学　(Study of Law)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕小野　憲昭						
担当教員	〔非常勤講師〕小野　憲昭						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	医療行為と法（２） ①医療事故と医療過誤、その状況と対応を知る。 ②医療過誤と刑事責任について学ぶ。 【事前学習課題】医療事故　医療過誤　故意過失　刑事罰	講義	小野	遠隔授業
14	医療行為と法（３） ①医療過誤と民事責任について学ぶ。 ②医療過誤と行政上の責任について学ぶ。 【事前学習課題】不法行為責任　契約責任　注意義務　使用者責任　免許取り消し	講義	小野	遠隔授業
15	医療情報と法 ①診療情報の保護と利用について学ぶ。 ②個人情報の保護のあり方を学ぶ。 【事前学習課題】自己決定権　インフォームド・コンセント　個人情報保護法　情報開示請求権	講義	小野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

倫理学　(Ethics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水　満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水　満						

授業の概要

日常の諸問題でどのように考えればよいのか、毎回、問題が課され、自分で解答を作成する。その後、事例を通して、現代倫理学の基本的な考え方を講義する。現代応用倫理学の主要なテーマ、概念から初め、後半は、歯科医療従事者に必要な医療倫理の基本的な考え方を講義する。

学生の到達目標

①現代社会で生きる一人の人間としての「倫理」とは何かを考え、個々の状況において、適切な対応ができる「判断力」を涵養できる。
②医療従事者、科学者としての基本的な倫理観を身につけることができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

適宜、レジメのプリントを配布する。
出）　著）

参考書

そのつど指示する。
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末レポート	59%
練習問題の回答状況	31%
出席状況	10%

その他

質問その他は講義時間後にメールで受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

倫理学　(Ethics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水　満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水　満						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	倫理学序論 「うまく生きること」と「よく生きること」の違いを理解する。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義	清水	遠隔授業
2	応用倫理学の基礎（１）功利主義 難破船のパラドックス 功利主義について事例をもとに学び、現実への適用ができるようにはかる。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
3	応用倫理学の基礎（２）自由主義 「人に迷惑をかけなければ何をしてもかまわない」は正しいか？ 現代倫理学の基礎である自由主義を学び、現実への適用を可能にする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
4	応用倫理学の基礎（３）カントの倫理学 「ウソも方便」は正しいか？ カント倫理学の要諦を学び、現実への適用可能性をはかる。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
5	応用倫理学の基礎（４）日常社会への応用 恋愛と結婚の倫理社会学 日常社会に学問的な考察が以下に応用できるかを実例などで学び、応用できるようにする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
6	科学者の倫理（１） STAP細胞問題、ノバルティス社問題など、科学におけるデータ偽造、過度な業績主義の弊害などを素材に、科学者の倫理を学び、大学や社会で研究者倫理を実行できるようにする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
7	科学者の倫理（２） 核兵器開発、原発、731部隊など著名な事例を参考に、科学者の社会的責任を考察し、医療倫理、科学倫理に反した研究をしない判断力を身につける。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
8	医療倫理（１） インフォームド・コンセントと患者の権利、およびプロフェッションの自覚を学び、現場で応用できるようにする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
9	医療倫理（２） エンハンスメントの倫理的問題を考察し、医療倫理に反する治療をしない判断力を身につける。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
10	医療倫理（３） 高齢者、障害者たちのノーマライゼーションを考察し、歯科治療の患者として対応できるようにする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
11	医療倫理（４） フーコーなどの医療社会批判を手がかりに、ハンセン病や精神障がいなど社会と医療制度の関係を考察し、批判的な視点も得る。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業
12	医療倫理（５） バザーリアの実践などを見て、日本の精神医療の歴史を批判的に考察する。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

倫理学　(Ethics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水　満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水　満						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	医療倫理（６） 医療経済の基礎について学び、診療報酬などの理解を得る。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材	清水	遠隔授業
14	医療倫理（７） ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義 視聴覚教材	清水	遠隔授業
15	医療倫理（８） ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。 【事後学習課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	講義	清水	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

情報リテラシーⅠ　(Information Literacy Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	中原　孝洋						
担当教員	中原　孝洋						

授業の概要

大学の講義や実習では、データの解析やレポートの作成など、パソコンの活用は欠かせないものとなっている。また、本学をはじめ医学系教育では、PBLテュートリアル（少人数グループ学習など）による気づきを主体にした学びの実践や、研究室配属による研究者としての視点を育成するカリキュラムが編成されている。検索や調査、プレゼンテーションなど、より一層の「情報の使いこなし」が求められる。
本実習は、教本に沿ってPCを操作し、プレゼンテーション制作・発表、各種ドキュメントの作成を行なう。また、メールやWebの使い方についても学ぶ。これにより、歯学部学生がツールとしてのパソコンに習熟し、卒業後も活用できることを目標にする。

学生の到達目標

①理系学生として必要なオフィスソフトが利用できる。
②メールやWebなど、インターネットアプリケーションが利用できる。
③収集した情報について、自らが基準をもって判断できる。
④情報の利用にあたって、倫理的な視点を持つことができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1	1		⑤	情報倫理に関わる問題を説明できる。
A	2	2		①	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。
A	2	2		②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
A	9	1		①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	9	1		②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。

テキスト

例題30＋演習問題70でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint
出）技術評論社　　著）

参考書

出）　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
グループによるプレゼンテーション（スクリーン投影による発表）	40%
ワープロ（プリントアウトしたもの）	30%
表計算（プリントアウトしたもの）	30%

その他

（学習相談）随時、本館4階情報処理室またはメールにて受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

情報リテラシーⅠ　(Information Literacy Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	中原　孝洋						
担当教員	中原　孝洋						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	大学ネットワークの利用法、PCの基本操作 本学におけるPCの操作方法、プリンタ使用上の注意を含め、基本的な操作方法を学ぶ。 【事前学習課題】高校情報の教科書を読み直しておく	実習	中原	コンピュータ演習室
2	情報倫理、著作権とセキュリティ ネットワーク社会の中で遵守すべき軌範、セキュリティを確保する重要性と、トラブルへの対処法について学ぶ。 【事前学習課題】高校情報の教科書を読み直しておく	実習	中原	コンピュータ演習室
3	Webによる情報収集とメールの利用 ネット上の情報を検索エンジンや文献検索サイトなどを用いて、効率的に収集する方法について学ぶ。 【事前学習課題】高校情報の教科書を読み直しておく	実習	中原	コンピュータ演習室
4	メディアとのつきあい方 SNSやブログなどで起きる、さまざまなトラブルについてビデオを視聴しながらディスカッション（チャット）を行う。 【事前学習課題】高校情報の教科書を読み直しておく	実習	中原	コンピュータ演習室
5	プレゼンテーションソフトの利用 PowerPointの基本操作、オブジェクトの配置、入力について各自で取り組む。 【事前学習課題】プレゼンテーションの意義について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
6	プレゼンテーションソフトの利用 スライドの編集、レイアウト、デザインについて取り組むと共に、視覚的効果を学ぶ。 【事前学習課題】プレゼンテーションの意義について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
7	プレゼンテーションソフトの利用 アニメーションを組み込み、より効果的なプレゼンテーションを作成する。 【事前学習課題】「効果的なプレゼンテーション」について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
8	プレゼンテーションソフトの利用 班ごとに課題を与える。課題について、情報収集を行いこれまでに学んだ手法を用いプレゼンテーションを作成する。 【事前学習課題】班ごとのテーマに沿って素材を集める	実習	中原	コンピュータ演習室
9	プレゼンテーションソフトの利用 班ごとに作成したプレゼンテーションを発表する。発表について、相互に意見を述べ合うとともに評価する。 【事前学習課題】発表の練習をする	実習	中原	コンピュータ演習室
10	ワードプロセッサの利用 Wordの基本操作、文章の入力方法と文字飾りについて各自で取り組む。 【事前学習課題】大学の学習で必要とされる文書作成について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
11	ワードプロセッサの利用 ページのデザイン、図表の配置・レイアウトや、簡易な編集について実践する。 【事前学習課題】大学の学習で必要とされる文書作成について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
12	ワードプロセッサの利用 よりよいワープロ文書にするためのテクニックや、表の作成などについて取り組む。 【事前学習課題】大学の学習で必要とされる文書作成について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
13	表計算ソフトの利用 Excelの基本操作、動作の原理、入力方法、計算方法について学ぶ。 【事前学習課題】大学の学習で必要とされる表やグラフ、計算について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

情報リテラシーⅠ　(Information Literacy Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	中原　孝洋						
担当教員	中原　孝洋						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	表計算ソフトの利用 関数の利用、グラフの作成、表のデザインについて実践し、より見やすく理解できる成果物を目指す。 【事前学習課題】大学の学習で必要とされる表やグラフ、計算について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室
15	表計算ソフトの利用、アウトラインプロセッサとは データベースの原理、データの扱い方と、Excelでの各機能との対応を学び、実際のデータを操作する。 また、考え方をまとめるツールとしての「アウトラインプロセッサ」について説明する。 【事前学習課題】大学の学習で必要とされる表やグラフ、計算について調べる	実習	中原	コンピュータ演習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

情報リテラシーII　(Information Literacy II)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	中原　孝洋						
担当教員	中原　孝洋						

授業の概要

日常のあらゆる場面でコンピュータを利用するが、その原理や構造を知る機会は少ない。しかし、在学中はもとより卒業後もコンピュータやネットワークを使う以上、理解していくことは必須である。
また、情報セキュリティやサイバー攻撃への対策についても、当然に必要な技術・知識となってきている。
これから安全に生活し、仕事を進めていく上で必要な法律や技術について理解を深める授業を行うとともに、情報倫理、研究倫理についても触れる。
さらに演習として、基礎教育セミナーや情報リテラシーIと連動してディスカッションを具体的に実践させる。

学生の到達目標

①コンピュータの原理が理解できる。
②インターネットの原理が理解できる。
③メディアの特性について区別することができる。
④情報セキュリティやネット犯罪について説明することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1	1		⑤	情報倫理に関わる問題を説明できる。
A	2	2		②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
A	9	1		①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	9	1		②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
B	4	3		①	保健医療情報（診療情報（診療録等）を含む）の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。

テキスト

キーワードでわかる情報トピックス2020（発刊予定）
出）日経BP社　　著）久野靖　他

参考書

出）　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
第５回レポート	15%
第６回レポート	15%
最終レポート	70%

不合格の場合、口頭試問とレポート（4000文字程度）を課し、評価する。

その他

随時、本館4階情報処理室またはメールにて受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

情報リテラシーII　(Information Literacy II)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	中原　孝洋						
担当教員	中原　孝洋						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	コンピュータの原理 コンピュータの内部構造の説明。どのような構成部品があり、どのように性能が決まるのかを学ぶ。 【事前学習課題】高校情報の教科書を読み直しておく。	講義	中原	301講義室
2	インターネットの仕組み インターネットは、どのように構築されているのか、メールやWebは、どのようにして伝送されるのかを学ぶ。 【事前学習課題】日常的に使用しているインターネットについて、その仕組みを自身で想像しまとめておく。	講義	中原	301講義室
3	LANとWi-Fi インターネットを組織や家庭内で使う際に必要な設定や基本技術はどのようになっているかを学ぶ。 【事前学習課題】日常的に使用しているインターネットについて、その仕組みを自身で想像しまとめておく。	講義	中原	301講義室
4	情報セキュリティ コンピュータウィルスやネット犯罪の例を元に、その対策方法を知る。 【事前学習課題】1年以内にあった、情報に関する事件について調べておく。	講義	中原	301講義室
5	ディスカッション(1) KJ法によるディスカッションと、自らのレポートのブラッシュアップを行う。 【事前学習課題】テーマを前の授業に与えるので、あらかじめ調べる。	演習	中原	301講義室 72実習室
6	ディスカッション(2) ワールドカフェによるディスカッションと、自らのレポートのブラッシュアップを行う。	演習	中原	301講義室 72実習室
7	入出力の原理、メディアの操作 コンピュータのさまざまな周辺機器について説明するとともに、データの単位等について理解を深める。 【事前学習課題】日常的に使用しているメディアやI/Oについてまとめておく。	講義	中原	301講義室
8	これからのコンピューティング ロボットや自動化、クラウドなど、近年トピックになっている技術についての解説を理解する。 【事前学習課題】ロボット、RPA、IoTについて、用語の意味と事例を調べておく。	講義	中原	301講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムⅠ　(Professionalism Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉、学長、歯学部長、藤井　航、吉野　賢一、園木　一男、鯨　吉夫						
	歯学科および口腔保健学科教員数名						

授業の概要

新入生相互および教職員との親睦を深め、将来における歯科医療人としての意識を育む。研修を通して、時刻を守ることの大切さや挨拶の励行、さらには、各セッションを経験することによりコミュニケーション能力を養うことを目的とする。

学生の到達目標

①同僚との共同作業により、同学年の中で円滑な人間関係が構築できる。
②卒業までの行動計画をイメージできる。
③社会貢献ができる歯科医療人としての自覚を持つことができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1	3)	①		歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。
A	1	3)	②		患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A	2	1)	①		必要な課題を自ら発見できる。
A	2	1)	③		課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A	2	1)	④		課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
A	2	2)	③		実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文章と口頭説明ができる。
A	4	1)	②		コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A	9	1)	①		自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
F	2	1)	①		適切な身だしなみ、言葉使い及び態度で患者に接することができる。

テキスト

令和2年度WADS実施要領
出）　著）

参考書

必要に応じて資料を配布する。
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
①すべてのセッションへの参加	20%
②プレ・ポストアンケートの提出	20%
③セッション4 レポートの提出	20%
④誓いの言葉の作成および発表	20%
⑤行動計画表の提出	20%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムⅠ　(Professionalism Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉、学長、歯学部長、藤井　航、吉野　賢一、園木　一男、鯨　吉夫						
	歯学科および口腔保健学科教員数名						

その他

学生相談：月-金曜日。随時受け付けるが、事前に時間予約を電話、もしくはメールで行うこと。
有吉　渉（本館11階 感染分子生物学分野）
吉野賢一（本館6階　共通基盤教育部門）
藤井　航（本館6階　多職種連携教育ユニット ）

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムⅠ　(Professionalism Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉、学長、歯学部長、藤井　航、吉野　賢一、園木　一男、鯨　吉夫						
	歯学科および口腔保健学科教員数名						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	事前説明会	実施要領による説明	有吉	遠隔授業
2	セッション1「開講式」	講義	有吉	遠隔授業
3	プレ・アンケート	自記式調査	有吉	遠隔授業
4	セッション2「校歌」	実習	吉野	遠隔授業
5	セッション3「大学からのメッセージ」　講演1	講義	藤井	遠隔授業
6	セッション3「大学からのメッセージ」　講演2	講義	藤井	遠隔授業
7	セッション4「今、考えていること!」	講義	粟野	遠隔授業
8	セッション4「今、考えていること!」　プロダクト作成	実習	粟野	遠隔授業
9	セッション5「自己紹介」	グループ実習	有吉	遠隔授業
10	セッション6「誓いの言葉」　まとめ作業	グループ実習	有吉	遠隔授業
11	セッション6「誓いの言葉」　発表	合同実習	有吉	遠隔授業
12	セッション7「歯科医療人になるための行動計画」	講義	粟野	遠隔授業
13	セッション7「歯科医療人になるための行動計画」　行動計画表作成	実習	粟野	遠隔授業
14	ポスト・アンケート	自記式調査	有吉	遠隔授業
15	セッション8「閉講式」	講義	吉野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

感染と免疫Ⅰ　(Infection and Immunity Ⅰ)

開講年次	歯学科３年、口腔保健学科２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太						

授業の概要

感染症の発症メカニズムを感染と免疫の両面から教え、歯科における２大疾患である齲蝕と歯周病が細菌感染症であることを教える。「感染と免疫」の知識を深めていくなかで、将来、全身を理解したうえで歯科医療人として活動していくために、必要不可欠な知識を伝える。

学生の到達目標

①微生物の形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。
②微生物の病原性、宿主の抵抗性、感染と発症、感染経路、感染の種類を説明できる。
③スタンダードプリコーションの概念および感染予防対策について説明できる。
④感染症に対する化学療法を中心とした治療法について説明できる。
⑤主要な病原性細菌、病原性ウイルス、病原性真菌について説明できる。
⑥免疫の種類、免疫機構、アレルギー、免疫疾患、ワクチンについて説明できる。
⑦口腔環境と口腔常在微生物を説明できる。
⑧歯のバイオフィルムの形成過程とその意義を説明できる。
⑨齲蝕や歯周病の原因菌について説明できる。
⑩顎・口腔領域の感染症について説明できる。
⑪講義、国内外の教科書・論文、検索情報などの内容について、重要事項や問題点を抽出して文章または口頭でわかりやすく説明できる。
⑫得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えをわかりやすく表現できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
C	4	1)		①	細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。
C	4	1)		②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C	4	1)		③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C	4	1)		④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
C	4	1)		⑤	化学療法の目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。
C	4	2)		①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C	4	2)		②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C	4	2)		③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C	4	2)		④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C	4	2)		⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C	4	2)		⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C	4	2)		⑦	粘膜免疫を説明できる。
C	4	2)		⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。
E	2	4)	(3)	①	歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。
E	2	4)	(3)	④	菌血症と歯性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。
E	2	4)	(8)	③	唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E	2	4)	(8)	⑥	ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療を説明できる。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

感染と免疫Ⅰ　(Infection and Immunity Ⅰ)

開講年次	歯学科３年、口腔保健学科２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太						

項1	項2	項3	項4	項5	内容
E	2	4)	(10)	②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E	2	4)	(10)	⑩	ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus＜HIV＞)感染症と後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome＜AIDS＞)の口腔症状と検査法を説明できる。
E	3	2)		①	歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。
E	3	2)		②	歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E	3	2)		③	歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E	3	2)		④	口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。

テキスト

口腔微生物学・免疫学　第４版
出）医歯薬出版　著）川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊、浜田茂幸　編集

参考書

標準微生物学　第13版
出）医学書院　著）中込治　監修・神谷茂、錫谷達夫　編集

標準免疫学　第3版
出）医学書院　著）谷口克　監修・宮崎昌之、小安重夫　編集

新・歯科衛生士教育マニュアル　Microbiology　微生物学
出）クインテッセンス出版　著）上西秀則、井上博雅、山中武志　編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月-金曜日。随時受け付けるが、事前に時間予約を電話、もしくはメールで行うこと。
有吉　渉（本館11階　感染分子生物学分野）
吉岡香絵（本館11階　感染分子生物学分野）
山﨑亮太（本館11階　感染分子生物学分野）

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

感染と免疫Ⅰ　(Infection and Immunity Ⅰ)

開講年次	歯学科３年、口腔保健学科２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	感染症学・免疫学総論：感染症学・免疫学の学問体系について理解する。 感染と発症：感染から発症に関わる宿主と寄生体の相互関係、常在細菌叢、日和見感染症、感染微生物の検出と感染症の診断について理解する。 【事前学習課題】微生物の分類、感染経路、常在細菌叢、日和見感染、院内感染	講義	有吉	遠隔授業
2	細菌学各論1：グラム陽性細菌感染症について理解する。 【事前学習課題】A群レンサ球菌、黄色ブドウ球菌、結核菌	講義	吉岡	遠隔授業
3	細菌学各論2：グラム陰性菌感染症およびスピロヘータ感染症、マイコプラズマ感染症、クラミジア感染症、リケッチア感染症について理解する。 【事前学習課題】病原性大腸菌、緑膿菌、梅毒トレポネーマ、トラコーマクラミジア	講義	吉岡	遠隔授業
4	真菌学総論・各論：真菌の種類、形態、構造、増殖及び真菌感染症について理解する。 【事前学習課題】真菌の基本構造、カンジダ・アルビカンス	講義	有吉	遠隔授業
5	滅菌と消毒：滅菌と消毒の定義、スタンダードプリコーションの概念、滅菌法と消毒法について理解する。 化学療法薬：化学療法薬の作用機序とその耐性機構について理解する。 【事前学習課題】滅菌、消毒、スタンダードプリコーション、抗菌薬の種類	講義	吉岡	遠隔授業
6	細菌学総論：細菌の形、大きさ、染色性、共通構造と特殊構造、細菌の増殖、代謝および物質輸送について理解する。 【事前学習課題】細菌の基本構造、グラム染色	講義	山﨑	遠隔授業
7	免疫学各論1：免疫担当細胞と自然免疫について理解する。 【事前学習課題】好中球、マクロファージ、補体	講義	有吉	遠隔授業
8	免疫学各論2: 獲得免疫、免疫寛容、免疫疾患（アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全）、ワクチン、口腔局所の感染防御について理解する。 【事前学習課題】抗原提示、細胞性免疫、体液性免疫	講義	有吉	遠隔授業
9	口腔細菌の特徴:口腔常在細菌の分類と組成の特徴・プラークの成熟課程とその特徴について理解する。 【事前学習課題】ペリクル、共凝集、バイオフィルム	講義	吉岡	遠隔授業
10	齲蝕の細菌学1：齲蝕の病態、ミュータンスレンサ球菌の病原因子について理解する。 【事前学習課題】齲蝕の臨床像、ミュータンスレンサ球菌	講義	吉岡	遠隔授業
11	歯周病の細菌学1：歯周病の病態、歯周病原性細菌の病原因子について理解する。 【事前学習課題】歯周病の臨床像、歯周病原性細菌	講義	有吉	遠隔授業
12	口腔関連微生物感染症：口腔領域の感染症全般、全身感染症との関わりについて理解する。 【事前学習課題】歯性病巣感染、誤嚥性肺炎、細菌性心内膜炎	講義	有吉	遠隔授業
13	ウイルス学総論：ウイルスの種類、形態、構造、増殖について理解する。 【事前学習課題】ウイルスの基本構造、癌（腫瘍）ウイルス	講義	有吉	遠隔授業
14	ウイルス学各論1：DNAウイルス感染症について理解する。 【事前学習課題】単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、ヒトパピローマウイルス	講義	有吉	遠隔授業
15	ウイルス学各論2：RNAウイルス感染症や肝炎ウイルス感染症について理解する。 【事前学習課題】麻疹ウイルス、風疹ウイルス、コクサッキーウイルス、ヒト免疫不全ウイルス、肝炎ウイルス	講義	有吉	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

Evidence-Based Dentistry　(Evidence-Based Dentistry)

開講年次	歯学科４年、口腔保健学科３年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業の概要

Evidence-Based Dentistryを実践する歯科医療人に必要な知識と応用力の涵養を目的とする。歯科医学文献を検索および批判的吟味し、科学的根拠に基づく診療の実践力を養う。臨床疫学・臨床統計学の基礎知識を身につけ、さらに国内外の診療ガイドラインの検索及び読解を行う。

学生の到達目標

①Evidence-Based Dentistry(EBD)の概念を理解することができる。
②国内外の歯科医学に関する情報を収集および検索できる。
③臨床疫学研究デザインに応じて、論文を批判的に吟味することができる。
④自らの歯科医療に関する疑問を定式化し、科学的根拠に基づき解決することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1	1)		④	医学研究に関する倫理的問題を説明できる。
A	1	1)		⑥	研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。
A	2	1)		①	必要な課題を自ら発見できる。
A	2	1)		③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A	8	1)		②	臨床上の疑問 （clinical question＜CQ＞）を定式化できる。
A	8	1)		③	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。
A	9	1)		①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	9	1)		②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A	9	1)		③	医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。
B	4	1)		①	疫学と根拠に基づいた医療＜EBM＞の概念を説明できる。
B	4	1)		③	歯科疾患の疫学的指標を説明できる。
B	4	1)		④	診療ガイドラインを説明できる。
B	4	2)		①	確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を説明できる。
B	4	2)		④	調査方法と統計的分析法を説明できる。

テキスト

Evidence-Based Dentistry入門
出）永末書店　著）角舘直樹

参考書

歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド
出）医歯薬出版　著）角舘直樹

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

Evidence-Based Dentistry　(Evidence-Based Dentistry)

開講年次	歯学科４年、口腔保健学科３年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
毎回の講義で行われる確認テスト(全7回)	35%
演習の提出物（全6回）	30%
文献検索テスト	15%
小テスト（2020年度はレポート形式）	20%

・演習（全6回実施）を欠席した場合、当該回の提出物は0点として評価する。
・60点に満たない者に対して、再試験を行う。

その他

（学習相談）角舘直樹：相談は随時受け付け可能。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

Evidence-Based Dentistry　(Evidence-Based Dentistry)

開講年次	歯学科４年、口腔保健学科３年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	Evidence-Based Dentistry（EBD）の概念について： 　EBDの定義と基本的理念、エビデンスレベルについて理解する。横断研究および症例対照研究のデザインについて学ぶ。 【事前学習課題】EBDの概念、エビデンスレベル、横断研究、症例対照研究（教科書2～11頁、26～28頁）	講義	角舘	遠隔授業
2	研究デザインとバイアス： 　コホート研究、ランダム化比較試験などの研究デザインについて理解し、3大バイアスについて学ぶ。 【事前学習課題】コホート研究、ランダム化比較試験、バイアス（教科書26～39頁）	講義	角舘	遠隔授業
3	文献検索演習①（研究論文の検索）： 　診療上の疑問を解決するのに必要な論文等の文献を、インターネットを用いて英語と日本語で検索する方法を学ぶ。 【事前学習課題】文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	演習	角舘	遠隔授業 コンピュータ演習室
4	論文の種類と構成： 　医学系論文の種類、基本的な構成および読解法を理解する。臨床研究の事前登録についても学ぶ。 【事前学習課題】論文の種類・構成について（教科書40～42頁）	講義	角舘	遠隔授業
5	論文の批判的吟味①（ランダム化比較試験）： 　ランダム化比較試験論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。 【事前学習課題】指定課題論文読解、教科書43～50頁	演習	角舘	遠隔授業
6	データ統合型研究・診療ガイドライン 　システマティックレビュー・メタアナリシス・診療ガイドラインの詳細について学ぶ。 【事前学習課題】データ統合型研究・診療ガイドライン（教科書29～30ページ、51～63頁）	講義	角舘	遠隔授業
7	文献検索演習②（データ統合型研究論文・診療ガイドラインの検索）： 　システマティックレビュー、メタアナリシスおよび国内外の診療ガイドラインに関する文献検索について演習を通して学ぶ。 【事前学習課題】文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁、57頁）	演習	角舘	遠隔授業 コンピュータ演習室
8	論文の批判的吟味②（メタアナリシス）： 　メタアナリシス論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。 【事前学習課題】指定課題論文読解、教科書51～55頁	演習	角舘	遠隔授業
9	文献検索演習③（疑問に基づく文献検索）： 　具体的な歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。 【事前学習課題】文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	演習	角舘	遠隔授業 コンピュータ演習室
10	文献検索テスト	テスト	角舘	遠隔授業 コンピュータ演習室
11	文献検索演習④（疑問に基づく文献検索）： 　学生各自の歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。 【事前学習課題】文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	演習	角舘	遠隔授業 コンピュータ演習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

Evidence-Based Dentistry　(Evidence-Based Dentistry)

開講年次	歯学科４年、口腔保健学科３年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	EBDのための臨床統計学の基礎① 　論文の読解で必要となる、データの種類、統計学的仮説検定、P値および95%信頼区間、各種の統計学的検定方法について学ぶ。 【事前学習課題】統計学的仮説検定、相関係数、カイ2乗検定	講義	角舘	遠隔授業
13	EBDのための臨床統計学の基礎② 　論文の読解で必要となる、各種の統計学的検定方法について学ぶ。 【事前学習課題】t検定、分散分析、多変量解析	講義	角舘	遠隔授業
14	EBDと臨床疫学研究 　EBDを支えるエビデンスを構築するための臨床疫学研究の概要について学ぶ。 【事前学習課題】EBDと臨床疫学研究について（教科書66頁～84頁）	講義	角舘	遠隔授業
15	講義のまとめ・小テスト	講義・テスト	角舘	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床体験実習Ⅱ　(Early Clinical Exposure Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈、村岡　宏祐、守下　昌輝、藤井　航、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 粟野　秀慈（総合診療科）、村岡　宏祐（総合診療科）、守下　昌輝（総合診療科）、藤井　航(DEMCAB)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業の概要

附属病院での患者体験・病院見学実習ならびにPBL実習を通して、患者の悩みや苦しみを理解し、患者本位の歯科医療を実践できる歯科医療人を育成することをめざす。更に、医療現場における問題点を指摘し、改善策が提案できる能力を引き出せるよう、また歯学科と口腔保健学科の学生との合同実習により歯科医師と歯科衛生士の役割を知り、チーム医療の重要性について理解できるよう、歯科医療人を目指す学生としてのプロフェッショナリズムを涵養する。

学生の到達目標

①患者の権利を認識できる。
②患者との信頼関係の重要性を認識できる。
③インフォームドコンセントの重要性を認識できる。
④医療行為においてコミュニケーションの大切さを認識できる。
⑤医療行為において優しさ、気遣いの重要性を認識できる。
⑥患者の置かれている心理的状況を理解できる。
⑦医療現場における問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
⑧課題の内容と問題点を抽出して、文章または口頭でわかりやすく表現し、自分の考えを説明できる。
⑨歯科医療における他の医療従事者の役割と連携を説明できる。
⑩病院システムを把握し、教育機関としての病院の役割と、その問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
⑪基本的診療器具を使用できる。
⑫口腔衛生指導を体験する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1	2)		①	患者の権利を説明できる。
A	1	2)		④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A	1	3)		②	患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A	1	3)		⑤	患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。
A	3			①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。
A	4	2)		④	医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。
A	5	1)		①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A	5	1)		②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
B	3	2)		③	プラークコントロールの意義と方法を説明できる。
B	3	2)		⑤	歯科疾患のリスク因子を説明できる。
F	1	2)		①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F	1	2)		②	清潔に配慮した操作ができる。
F	1	2)		③	医療安全対策を実践できる。
F	1	2)		④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F	2	1)		①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床体験実習Ⅱ　(Early Clinical Exposure Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈、村岡　宏祐、守下　昌輝、藤井　航、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 粟野　秀慈（総合診療科）、村岡　宏祐（総合診療科）、守下　昌輝（総合診療科）、藤井　航(DEMCAB)、本田　尚郁(口腔保健科)						

項1	項2	項3	項4	項5	内容
F	3	2)		①	口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。
F	3	2)		③	適切な口腔衛生指導を実施できる。

テキスト

出）　著）

参考書

賢い患者
出）岩波新書　著）山口育子

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出欠状況	50%
レポート	40%
実習時の積極性・態度	10%

・実習の欠席は原則認めない。
・出欠状況50点満点（総点数より実習未修了は50点減点）、レポート評価40点満点（1レポートにつき1～10点、未提出総点数より10点減点で採点する）、実習時の積極性・態度（10点）により総合的に評価する。

その他

（オフィスアワー）粟野　秀慈：月～金　17:00～

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床体験実習Ⅱ　(Early Clinical Exposure Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈、村岡　宏祐、守下　昌輝、藤井　航、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 粟野　秀慈（総合診療科）、村岡　宏祐（総合診療科）、守下　昌輝（総合診療科）、藤井　航(DEMCAB)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	総説 本授業に関する説明ならびに本学附属病院のシステムに関して学習する。	実習（説明）	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
3	テュートリアル（PBL）実習１ 歯科医療について、グループ毎に考察を行い学習する。 【事前学習課題】患者からみた（歯科）医療の問題点	PBL実習 発表・討論	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
4	PBL実習２（全体討論） 医療：歯科医療に関するテーマを全体討論し学習する。	発表・討論	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
5	患者体験・病院見学実習説明 本学附属病院における患者体験実習に関する説明をする。 【事前学習課題】本学附属病院について	説明	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
6	PBL実習２（患者体験・病院見学実習のための準備） 患者体験実習における課題をグループ毎に抽出する。 【事前学習課題】患者から見た病院のチェックポイント	PBL実習	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
7-8	患者体験実習１-２ 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について学習する。	体験実習	粟野 村岡 守下 藤井	病院
9-16	患者体験実習３-12 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。 【事前学習課題】患者体験の振り返り	体験実習 PBL実習	粟野 村岡 守下 藤井	病院 遠隔授業
17	PBL実習4 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。 【事前学習課題】患者体験の振り返り	PBL実習	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
18	診療体験実習・口腔衛生指導体験実習説明 診療体験実習ならびに口腔衛生指導体験実習について説明し、事前に必要な知識を学習する。	実習（説明）	粟野 村岡 守下 藤井 本田	遠隔授業
19-20	診療体験実習 相互実習を通じて、ユニットの操作法、介助ならびに口腔内診査の方法を学習する。 【事前学習課題】感染予防対策，ユニット操作法，口腔内診査に必要な解剖学的知識，う蝕の診断基準	相互実習	粟野 村岡 守下 藤井 本田	相互実習室
21-22	口腔衛生指導体験実習 口腔衛生指導体験を通じて、指導時に必要な基本的な知識、態度、技能を学習する。 【事前学習課題】歯口清掃法について	相互実習	粟野 村岡 守下 藤井 本田	相互実習室
23	PBL実習5 チーム医療の重要性についてグループ討論を通じて学習する。 【事前学習課題】歯科衛生士の役割，チーム医療，多職種連携	TBL実習	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床体験実習Ⅱ　(Early Clinical Exposure Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	歯学科（必修）、口腔保健学科（選択）	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈、村岡　宏祐、守下　昌輝、藤井　航、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 粟野　秀慈（総合診療科）、村岡　宏祐（総合診療科）、守下　昌輝（総合診療科）、藤井　航(DEMCAB)、本田　尚郁(口腔保健科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
24	PBL実習5（全体発表・討論） チーム医療の重要性について全体討論を通じて学習する。	発表・討論	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業
25-26	総括・アンケート・レポート作成 授業の総括を行い、自分自身の歯科医療人としてのあり方について考察する。	実習（総括）	粟野 村岡 守下 藤井	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ドイツ語Ⅰ　(German Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	平川　要						
担当教員	〔非常勤講師〕平川　要						

授業の概要

英語以外の外国語、およびその国の文化・風土・思想を知ることによって、複眼的なものの見方や考え方が培われ、自国の言語・文化に対する反省・認識も、より一層深められる。
　授業ではドイツ語圏への旅行や日常生活で実際に使えるドイツ語の習得を目指す。そのため複雑な文法事項は必要最低限（独検４級程度）にとどめ、現代の生きた日常的表現を聞き、話し、読み書きする能力を訓練する。

学生の到達目標

①ドイツ語特有の母音・子音の発音が正確にできる。
②正確なアクセント、イントネーションでドイツ文を読み、話すことができる。
③名詞の性、数、格について説明できる。
④動詞の現在人称変化を説明できる。
⑤基本的なドイツ文の構成を理解し、説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

改訂版・やさいしいドイツ語　ー総合教材ー
出）同学社　　著）平川要他

参考書

やさしい！　ドイツ語の学習辞典
出）同学社　　著）根本道也

成績評価方法・基準

評価項目	割合
平常点（出席状況、授業への取り組みなど）	30%
発音のテスト	20%
確認テスト	50%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】
講義時間の前後

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ドイツ語Ⅰ　(German Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	平川　要						
担当教員	〔非常勤講師〕平川　要						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	ドイツ語授業の概要 　なぜドイツ語を学ぶのか。ドイツとはどのような国か。異文化体験の意味について考える。 　ドイツ語の概要、とくに他言語との類似点や相違点から見たドイツ語の特徴について学ぶ。 【事前学習課題】教科書の目次を読み、学習内容を概観する。	講義・演習	平川	遠隔授業
2	ドイツ語の発音 　アルファベット。単母音と複母音および子音の基本的な発音を練習する。 　特に英語との違いから、発音の規則の概要を学ぶ。 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の発音を練習する。	講義・演習	平川	遠隔授業
3	発音の練習 　簡単な挨拶を学ぶ。 　数詞（0 - 10）を覚える。 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の発音を練習する。	講義・演習	平川	遠隔授業
4	名詞の性 　男性、女性、中性名詞について。 　定冠詞 der, die, das 　不定冠詞 ein, eine ,ein 　定冠詞と不定冠詞の使い方 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の発音を練習する。	講義・演習	平川	遠隔授業
5	名詞の複数形 　無語尾型、E型、ER型、EN型、S型について 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の発音を練習する。	講義・演習	平川	遠隔授業
6	動詞の基本的な現在人称変化 　不定詞と定動詞 　人称代名詞（１人称、２人称、３人称）の単数形と複数形 　とくにduとSieの違いについて 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	遠隔授業
7	疑問詞（１） 　was, wer, wo, woher, wohin 動詞の人称変化：口調上の例外 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	遠隔授業
8	ドイツ語による自己紹介 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	講義室
9	ドイツ語の語順 　不定詞句について 　定動詞第２位の文章：平常文、疑問詞のある疑問文 　定動詞第１位の文章：ja/neinで答える疑問文、命令文 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	講義室
10	重要な不規則動詞 　sein, haben, werdenの変化 単数２・３人称で幹母音が変化する動詞 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	講義室
11	定冠詞・不定冠詞の格変化 　１格、２格、３格、４格の役割について 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	遠隔授業
12	特殊な格変化をする名詞（男性弱変化名詞） 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ドイツ語Ⅰ　(German Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	平川　要						
担当教員	〔非常勤講師〕平川　要						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	定冠詞のついた名詞に対する人称代名詞（１格、３格、４格） 疑問詞 werの格変化 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習	平川	講義室
14	前期学習内容のまとめ 発音のテスト 【事前学習課題】教科書のCDを聴きドイツ語の構造に慣れる。	講義・演習・試験	平川	講義室
15	確認テスト	試験	平川	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

中国語Ⅰ　(Chinese Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕張　景珊						
担当教員	〔非常勤講師〕張　景珊						

授業の概要

13億以上の人口を有する中国は、全体の92%を占める漢民族と55の少数民族によって構成されている。我々が普段いう「中国語」は漢民族の言語のことで、「漢語」と称する。「漢語」を母語とする人は約12億人、第二言語としても約2億人が使用していると言われており、世界最大の母語話者人口を有する。本講義は、中国語の発音、基本文型及び表現を中心に授業を行う。初級段階の聞く、話す、読む、書くの訓練を通して、中国語圏に旅行、留学した際にすぐに使える中国語能力の養成を目標とする。

学生の到達目標

①中国語の発音が習得できる。
②中国語入門・初級文法が習得できる。
③中国語入門・初級会話が習得できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

シンプルチャイニーズ北京　文法篇
出）朝日出版社　著）渋谷裕子　陳愛玲　呂小燕　著

参考書

はじめての中国語学習辞典
出）朝日出版社　著）相原茂　編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
平素の授業への取り組み・発表	30%
定期試験	70%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】
講義時間の前後に受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

中国語Ⅰ　(Chinese Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕張　景珊						
担当教員	〔非常勤講師〕張　景珊						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	概説～声調の発音について学ぶ。	講義 演習	張	遠隔授業
2	声調の復習をする。 単母音の発音を学び練習する。 【事前学習課題】：単母音の予習	講義 演習	張	遠隔講義
3	単母音の発音の復習をする。 子音の発音について学び、発音練習する。 【事前学習課題】：子音の予習	講義 演習	張	遠隔講義
4	前回の授業内容の復習をする。 複合母音の発音練習をする。 【事前学習課題】：複合母音の予習	講義 演習	張	遠隔講義
5	前回の授業内容の復習をする。 鼻母音の発音練習をする。 【事前学習課題】：鼻母音の予習	講義 演習	張	遠隔講義
6	ピンインの総復習 これまでの授業内容の復習をする。	講義 演習	張	遠隔講義
7	本文の学習に入る 判断を表す「是」（「～です」）文型について学び、名前の訪ね方、答え方を学ぶ。 【事前学習課題】：第一課ポイントの予習。	講義 演習	張	遠隔講義
8	前回の授業内容の復習をする。 第一課の本文、会話、単語の練習を行う。 【事前学習課題】：新出単語の予習、会話の予習	講義 演習	張	遠隔講義
9	前回の授業内容の復習をする。 第二課さまざまな疑問文について学び、作文・会話練習を行う。 副詞「也」について学び、作文・会話練習を行う。 【事前学習課題】：本文の予習、練習問題	講義 演習	張	遠隔講義
10	前回の授業内容の復習をする。 指示詞について学び、作文・会話練習を行う。 助詞「的」について学び、作文・会話練習を行う。 【事前学習課題】：新出単語の予習、本文の予習	講義 演習	張	講義室
11	前回の授業内容の復習をする。 中国語で簡単な自己紹介を練習する。 【事前学習課題】：ポイントの予習、練習問題	講義 演習	張	講義室
12	前回の授業内容の復習をする。 所有を表す「有」について学び、作文・会話練習を行う。 【事前学習課題】：新出単語の予習、ポイントの予習	講義 演習	張	講義室
13	前回の授業内容の復習をする。 家族の言い方、家族紹介について学び、作文・会話練習を行う。 年齢の言い方、尋ね方について学ぶ。 【事前学習課題】：本文の予習、練習問題	講義 演習	張	講義室
14	前回の授業内容の復習をする。 形容詞述語文について学び、作文・会話練習を行う。 常用形容詞を使って作文・会話練習を行う。 【事前学習課題】：ポイントの予習、練習問題	講義 演習	張	講義室
15	前期学習内容のまとめをする。 基本的な中国語の構成について再確認する。 確認テスト 【事前学習課題】：前期の学習内容の復習	講義 演習	張	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

韓国語Ⅰ　(Korean Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕元　慶臣						
担当教員	〔非常勤講師〕元　慶臣						

授業の概要

未習者を対象とした基礎から始める授業である。自然な発音が身に付けられるよう繰り返し発音練習をすることが本授業の主な内容である。さらにハングルの仕組みを覚え、特に日本語にはない音節に関しては、発音方法を理解した後、集中的に何度も聞き、また発音することにより、本学期中に韓国語の発音を体系的にマスターすることを目指す。簡単な文型や、日常的に使用されるあいさつフレーズを学習した後は、ペアワークやロールプレイなどの方式を用いて、実践形式の練習を行なう。また韓国の社会事情や文化なども学習し、韓国に対する理解を深めながら、韓国語の基礎的な能力の定着を図る。

学生の到達目標

①ハングルを体系的にマスターする。
②簡単なあいさつフレーズを発せられるようにする。
③単語やフレーズについて、自然な発音ができるようにする。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

いよいよ韓国語
出）朝日出版社　著）金菊熙

参考書

日韓電子辞書（スマートフォン）
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	60%
小テスト	20%
発表	10%
平常点	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】
講義時間の前後

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

韓国語Ⅰ　(Korean Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕元　慶臣						
担当教員	〔非常勤講師〕元　慶臣						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	ガイダンス、１授業の説明と朝鮮語概説、 ハングル文字、子音１４文字と基本母音１０文字を覚える。 【事前学習課題】母音、子音を覚える	講義 演習	元	遠隔授業
2	ハングル文字の書き順を覚え、発生の聞き取りを練習する。 【事前学習課題】自分の名前を書く	講義 演習	元	遠隔授業
3	平音・激音・濃音などの音の違いを学び、発音を練習する。 【事前学習課題】物の名前を書く	講義 演習	元	遠隔授業
4	パツチム１(終音子音)がつくハングル文字の発声を練習する。 【事前学習課題】ハングルの組み合わせ	講義 演習	元	遠隔授業
5	パツチム２(終音子音)がつくハングル文字の発声を練習する。	講義 演習	元	遠隔授業
6	音の変化、日常のあいさつ、数字 【事前学習課題】数を覚える	講義 演習	元	遠隔授業
7	小テスト、韓国映画、ドラマ鑑賞 映画を鑑賞し、韓国語及び韓国人の生活を理解する。	講義 演習	元	遠隔授業
8	教科書　第１課「こんにちわ」 【事前学習課題】あいさつを覚える	講義 演習	元	遠隔授業
9	教科書　第２課「この人は誰ですか」 【事前学習課題】「こ、そ、あ、ど」を覚える	講義 演習	元	遠隔授業
10	教科書　第３課「これは何ですか」 【事前学習課題】韓国語の「5W1H」を覚える	講義 演習	元	講義室
11	小テスト、韓国映画、ドラマ鑑賞 映画を鑑賞し、韓国語及び韓国人の生活を理解する。	講義 演習	元	遠隔授業
12	教科書　第４課「今どこに行きますか」	講義 演習	元	講義室
13	教科書　第５課「趣味は何ですか」	講義 演習	元	講義室
14	教科書　第６課「運動靴を買いたいです」	講義 演習	元	講義室
15	模擬テスト	講義 演習	元	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

国際歯科医学概論　(Global Dental Education)

開講年次	歯学科４年、口腔保健学科３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹、久藤　元、〔非常勤講師〕長谷川　了						

授業の概要

「Think globally, act locally(国際的な視野で考え、現場から行動する。)」を実践する歯科医療人に必要な国際性の涵養を目的とする。さらに、歯科診療に関する日常英会話のリスニングおよび英語を用いた学術発表用ポスター作成演習を通して、国際的コミュニケーション能力を高める。国際社会における日本を取り巻く環境や海外の歯科医療の事情についても学習する。

学生の到達目標

①歯科医学文献および英語での診療において頻出する単語・英語表現を理解できる。
②国際的な視野で歯科医療にかかわる問題について考えることができる。
③国際学会発表用ポスターを作成することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	7	2)		①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。
A	7	2)		②	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。
A	7	2)		③	保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。
A	7	2)		④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。
A	7	2)		⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。

テキスト

出）　著）

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集
出）クインテッセンス出版　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義中に行われる確認テスト	30%
演習の提出物	15%
小テスト（2020年度はレポート形式）	55%

・演習を欠席した場合、当該回の提出物は0点として評価する。

その他

（学習相談）角舘直樹：相談は随時受け付け可能。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

国際歯科医学概論　(Global Dental Education)

開講年次	歯学科４年、口腔保健学科３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹、久藤　元、〔非常勤講師〕長谷川　了						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	英文医療記事の読解 　英文医療記事を読解し、内容を理解する。歯科専門英単語を学習し、覚える。	講義	角舘	遠隔授業
2	歯科医療英語リスニング： 　歯科医療における種々のシーンにおける英会話のリスニングについて、実際の音声をもとに学ぶ。歯科専門英単語を学習し、覚える。 【事前学習課題】歯科専門英単語	講義	角舘	遠隔授業
3	海外の歯科医療①： 　タイにおける歯科医療、歯学教育および文化について学ぶ。歯科専門英単語を学習し、覚える。 【事前学習課題】歯科専門英単語	講義	角舘	遠隔授業
4	歯科医療の国際比較： 　歯科医療の国際比較について学ぶ。歯科専門英単語を学習し、覚える。 【事前学習課題】歯科専門英単語	講義	角舘	遠隔授業
5	国際学会発表用ポスターデザイン： 　国際学会発表ポスターのデザイン・レイアウトについて学習する。 【事前学習課題】課題英語論文の読解	演習	角舘	遠隔授業
6	比較文化論： 　日本、アメリカ、ヨーロッパおよびアジア諸国の文化や社会構造の違いを学ぶ。	講義	久藤	遠隔授業
7	海外の歯科医療②： 　ミャンマーにおける歯科医療および国際的な活動について学ぶ。	講義	長谷川	遠隔授業
8	歯科専門英単語のまとめ・小テスト	講義・小テスト	角舘	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

国際歯科医学実習　(KDU-GSE Program)

開講年次	歯学科３年、４年、口腔保健学科３年	期区分	通年	科目	選択	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	学長						
担当教員	学長、角舘　直樹						
	派遣担当教員						

授業の概要

九州歯科大学国際交流プログラム（Kyushu Dental University Global Scholarly Exchange Program: KDU-GSEプログラム）に参加し、本学と連携協定を締結している海外の歯科大学・歯学部において講義・実習の見学ならびに国際交流を体験する。これにより、“ Think globally, act locally ” を実践する歯科医療人に必要な国際的視野と国際的コミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

学生の到達目標

①海外の歯科医療・歯科医学教育について学ぶことで、国際的な視野で考える能力を身につける。
②海外での国際交流体験を通じて、国際的コミュニケーション能力を身につける

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	7	2)		①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。
A	7	2)		②	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。
A	7	2)		③	保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。
A	7	2)		④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。
A	7	2)		⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。

テキスト

派遣先の大学に応じてプリントを配布する。

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実施報告書	100%

①選考について
・履修希望者は申請書を提出し、学部教授会において、一定の選考基準のもとで選考される。

②評価について
・帰国後に提出する実施報告書を評価する。

その他

（学習相談）角舘直樹：相談は随時受け付け可能。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

国際歯科医学実習　(KDU-GSE Program)

開講年次	歯学科３年、４年、口腔保健学科３年	期区分	通年	科目	選択	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	学長						
担当教員	学長、角舘　直樹						
	派遣担当教員						

授業計画

（１）本年度派遣可能大学（予定）
・シーナカリンウィロート大学（タイ）
・ランシット大学（タイ）
・高雄医科大学・台北医科大学（台湾）

（２）派遣期間
・7日間（予定）

（３）実習方法
・派遣前年度（後期）に開催するプログラム説明会において配布する資料のとおり

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

体育　(Physical education)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	鯨　吉夫						
担当教員	鯨　吉夫						

授業の概要

安全かつ計画的に身体活動を行い、心身の育成、体力の向上について学ぶ。また、適正体重・BMI値の算出方法、救急救命法・AEDの使用方法を習得する。

学生の到達目標

①健康維持と体力増進のため、身体活動の必要性を理解する。
②スポーツを通して、仲間作りやストレスの発散方法を習得する。
③救急救命法の手順を習得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

必要に応じて資料を配布する。
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席	50%
レポート	50%

その他

質問、相談、問い合わせ：本館3階共通基盤教育部門研究室2へ来室すること。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

体育　(Physical education)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	鯨　吉夫						
担当教員	鯨　吉夫						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	授業全般の解説、及び災害時の防災の知識を学び、本館または体育館から館外への避難経路を確認し、実際に館外へ避難する方法を習得する。 【事前学習課題】本館内及び体育館内の避難経路を確認しておく。	講義	鯨	613講義室
2	文部科学省作成の新体力テストを実施し、自身の筋力・柔軟性・瞬発力の現状を知る。 【事前学習課題】新体力テストの測定項目を調べておく。	実習	鯨	体育館
3	バドミントン・卓球を安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間作り・ストレスの発散方法を学ぶ。 【事前学習課題】体調を整えておくこと。	実習	鯨	体育館
4	救急救命法の正しい手順およびAEDの使用方法を習得する。 【事前学習課題】倒れている人への対処方法を調べておく。	講義	鯨	613講義室
5	バランスボール・縄跳びを安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間作り・ストレスの発散方法を学ぶ。 【事前学習課題】体調を整えておくこと。	実習	鯨	体育館
6	適正体重・BMI値の計算式、バランスの良い食事について学ぶ。 【事前学習課題】食事バランスガイドを読んでおくこと。	講義	鯨	613講義室
7	チームスポーツを安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間作り・ストレスの発散方法を学ぶ。 【事前学習課題】体調を整えておくこと。	実習	鯨	体育館
8	歯科医療人としての将来像をまとめて課題を作成する。 【事前学習課題】歯科医療人について下書きを準備しておく。	講義	鯨	613講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎教育セミナー　(Basic education seminar)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、吉野　賢一、福泉　隆喜						
	口腔保健学科教員						

授業の概要

初年次教育（高校あるいは他大学からの円滑な移行を図り、九州歯科大学での学習および人格的な成長に必要なスチューデントスキル、スタディースキル等）を学ぶ。特に、クリティカルシンキングおよびロジカルライティングを自ら実践する。

学生の到達目標

①「大学での学びとは何か」を理解できる。
②クリティカルシンキングを実践できる。
③ロジカルライティングが実践できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

クリティカルシンキング・ロジカルライティング
出）ベネッセ　著）

ものと人間の文化史 177 「歯」
出）法政大学出版局　著）大野粛英 著

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
共通評価項目を用いた各教員による評価（授業への取り組み・授業態度等）	40%
授業の総括レポート（最終回に実施）	60%

その他

（学習相談）学科長：相談は随時受け付け可能。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎教育セミナー　(Basic education seminar)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、吉野　賢一、福泉　隆喜						
	口腔保健学科教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	授業概要の説明 インタビュー形式による自己紹介 【事前学習課題】なし	実習説明 レポート	口腔保健学科教員	遠隔授業
2	教員及び学生の自己紹介 クリティカルシンキング① 「大学での学びとは何か」「どんなことが求められているのか」を知る。 「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」とは何か、を学ぶ。 大学で求められる「考える力」とは何か、を考える。 【事前学習課題】クリティカルシンキング、ロジカルライティング	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
3	クリティカルシンキング② 相手の発言（文章）を正確に理解する「議論の明確化」について学習する。 「議論の明確化」のやり方を、問題を通じて学ぶ。 【事前学習課題】議論の明確化	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
4	クリティカルシンキング③ クリシンの要素の１つである「隠れた前提」について、概要を把握させる。 「隠れた前提」の見抜き方を、問題を通じて学ぶ。 【事前学習課題】隠れた前提	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
5	クリティカルシンキング④ クリシンの要素の１つである「根拠の確かさ」について、概要を把握させる。 「根拠の確かさ」の見極め方を、問題を通じて学ぶ。 【事前学習課題】根拠の確かさ	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
6	クリティカルシンキング⑤ 普段授業を受けるときや、資料を読むときに意識すべき点を、クリシンを踏まえながらも広い観点で学ぶ。 【事前学習課題】クリシンを踏まえた留意点	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
7	クリティカルシンキング⑥ 状況整理、分析、判断という一通りの流れを知る。 「問題解決」の考え方を、問題を通じて学ぶ。 【事前学習課題】問題解決の考え方	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
8	読書課題について 入学前に課したレポートについてクリシンの観点から討論する。 【事前学習課題】クリシンの応用	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
9	ロジカルライティング① 「ロジライとは」を考え、ロジライの文章の形を解説する。 ロジライトライアングル（主張→３つの根拠→念押し）を意識しながら実際に書いてみる。 【事前学習課題】ロジライトライアングル	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
10	ロジカルライティング② 「主張や意見を考える」の概要と方法を知り、エクササイズを通して身につける。主観的な根拠だけでなく、客観的な根拠を出す必要性について学習する。 【事前学習課題】主張や意見の考え方	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
11	ロジカルライティング③ 根拠を整理し、まとめる作業を学ぶ。 「整理する」方法を、エクササイズを通して身につける。 【事前学習課題】根拠の整理の方法	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
12	ロジカルライティング④ 文章としてまとめる方法を学ぶ。 実際にロジライトライアングルに即した文章を書き、グループ内で相互にチェックする。 【事前学習課題】文章のまとめ方	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎教育セミナー　(Basic education seminar)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、吉野　賢一、福泉　隆喜						
	口腔保健学科教員						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	ロジカルライティング⑤ 　クリシンとロジライの両方を使うことで、学びの質を高められることを知る。資料作成やプレゼンテーション、ディスカッションにおいてもクリシン・ロジライが生かされることを知る。 【事前学習課題】ディスカッションにおけるクリシン・ロジライ	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
14	ロジカルライティング⑥ 　大学で学ぶことは「知識」「スキル」の両方であることを認識させる。大学で身に付けた「スキル」は社会に出てからも生かせることを認識させる。 【事前学習課題】大学での学び	グループワーク	口腔保健学科教員	遠隔授業
15	授業の総括 【事前学習課題】クリティカルシンキング・ロジカルライティングの活用	レポート	口腔保健学科教員	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生物学　(basic biology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

授業の概要

今後展開される生命科学系の講義および実習を学修するために必要な生物学的知識および技術を身につける。生物学の内容は多岐にわたり、情報量はあまりにも膨大である。本授業では、ヒトを含む生物が個体（生命活動）や種（生殖）を維持するために必要なメカニズム、および顕微鏡観察に必要な技術に重点を置く。

学生の到達目標

①生物の定義と種について説明できる。
②進化について説明できる。
③遺伝、遺伝子、DNA、染色体について説明できる。
④体細胞分裂および減数分裂について説明できる。
⑤生体膜における物質の輸送について説明できる。
⑥生命を維持するために必要なエネルギー変換、代謝について説明できる。
⑦メンデルの遺伝の法則、種々の遺伝現象について説明できる。
⑧ヒト臓器の基本的な構造と働きについて説明できる。
⑨光学顕微鏡を使用して観察できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

吉野賢一：月～金16：30～18：00

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生物学　(basic biology)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	生物の定義 生物の多様性や種によって異なる性質を持つことを理解する。 【事前学習課題】生物および生命の定義	講義	吉野	遠隔授業
2	細胞 細胞の種類および細胞の構造と働きについて学ぶ。 【事前学習課題】生物の基本単位、細胞の構造と機能	講義	吉野	遠隔授業
3	細胞膜の働き 細胞膜における物質輸送について学ぶ。 【事前学習課題】浸透、拡散、促進、能動、受動輸送	講義	吉野	遠隔授業
4	進化と分類 進化についての一般的な概念、および生物の分類について学ぶ。 【事前学習課題】進化の定義	講義	吉野	遠隔授業
5	種の概念 学名と命名法について理解し、形態学的、生物学的、生態学的な種の概念について学ぶ。 【事前学習課題】学名、分類、種	講義	吉野	遠隔授業
6	生命の連続性Ⅰ 獲得形質のみが遺伝し、その遺伝情報を基にタンパク質が合成されることついて学ぶ。 【事前学習課題】形質、DNA、遺伝子	講義	吉野	遠隔授業
7	生命の連続性Ⅱ 細胞周期の進行について学ぶ。分裂の過程、染色体の挙動、微小管の働きなど体細胞分裂について学ぶ。 【事前学習課題】体細胞分裂、染色体	講義	吉野	遠隔授業
8	生命の連続性Ⅲ 生殖細胞における減数分裂の意義と過程をふまえ、配偶子の形成について学ぶ。 【事前学習課題】生殖、減数分裂、配偶子形成過程	講義	吉野	遠隔授業
9	生物の観察Ⅰ 光学顕微鏡および電子顕微鏡の基本的構造と光学系構成について学ぶ。 【事前学習課題】双眼・透過型・光学顕微鏡の操作法	講義・演習	吉野	71実習室
10	生物の観察Ⅱ 光学顕微鏡の取り扱いを理解したうえで、標本の拡大像を作ることを学ぶ。 【事前学習課題】顕微鏡のコンデンサー、絞り、調光	講義・演習	吉野	71実習室
11	生物の観察Ⅲ 光学顕微鏡を用いた生物学的スケッチの手技を学ぶ。 【事前学習課題】スケッチの意義	講義・演習	吉野	71実習室
12	生物の観察Ⅳ 口腔内上皮細胞、細菌、白血球の染色、観察。 【事前学習課題】トルイジンブルー染色法	講義・演習	吉野	71実習室
13	生物の多様性（呼吸） 各種動物における呼吸様式を比較し、生物の多様性について学ぶ。 【事前学習課題】肺呼吸、皮膚呼吸、鰓呼吸、腸呼吸	講義	吉野	遠隔授業
14	生物の多様性（消化と吸収） 爬虫類や無脊椎動物の唾液、反芻動物の消化管などを例に挙げながら、生物の多様性について学ぶ。 【事前学習課題】消化および吸収	講義	吉野	遠隔授業
15	授業の総括および確認テスト 【事前学習課題】1～14回の内容のすべて	講義・演習	吉野	71実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

化学　(Chemistry)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕河岸　重則						
担当教員	〔非常勤講師〕河岸　重則						

授業の概要

化学は、物質の性質、構造、変化に関するする学問である。歯科衛生士は、医療の現場で種々の歯科材料などを扱う立場にあり、化学の基礎知識が必要不可欠である。また生化学など他の専門科目を学ぶための基礎としても化学の知識は不可欠である。本講義ではまず原子や分子に関する基本概念を学ぶ。その知識をもとに、有機化合物についてその構造と反応性のもととなるいくつかの基本的概念を学ぶ。次いで、生体中にある重要な化合物の特徴や性質を学ぶ。最後に生体内の化学反応に欠かせない酵素について学ぶ。

学生の到達目標

①原子の電子構造を説明できる。
②化学結合を説明できる。
③有機化合物の構造と電子の偏りが化学反応に与える基本的な影響を説明できる。
④生体内の重要な化合物の特徴や性質を説明できる。
⑤酵素の特性と触媒機能のメカニズムを説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験不合格者（60点未満）には再試験を実施する。60点以上を合格とする。

その他

質問あるいは相談などは常時受け付ける。Email:s-kawagishi@jcom.home.ne.jp

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

化学　(Chemistry)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕河岸　重則						
担当教員	〔非常勤講師〕河岸　重則						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	Ⅰ．量子化学以前の「原子の構造」論 ボーアの原子モデルなどを元にした原子の構造について学ぶ。 【事前学習課題】惑星型原子モデル	講義	河岸	遠隔授業
2	Ⅰ．量子化学以前の「化学結合」論 ボーアの原子モデルなどを元にしたのイオン結合や共有結合について学ぶ。 【事前学習課題】化学結合、イオン、分子	講義	河岸	遠隔授業
3	Ⅱ．化学反応 化学反応速度を決定する要因や化学平衡について学ぶ。 Ⅲ．生命と化学 化学からみた生命現象について学ぶ。 【事前学習課題】活性化エネルギー、可逆反応、細胞Ⅱ．	講義	河岸	遠隔授業
4	Ⅳ．水① 生命を誕生させた水の特殊な性質、水に物質が溶ける機構について学ぶ。 【事前学習課題】双極子、水素結合、表面張力Ⅵ．	講義	河岸	遠隔授業
5	Ⅳ．水② %濃度やモル濃度などの水溶液の濃度の種類、蒸気圧や浸透圧など希釈水溶液の性質について学ぶ。 【事前学習課題】希釈水溶液、溶解性、濃度	講義	河岸	遠隔授業
6	Ⅳ．水③ 酸とアルカリ、酸化還元について学ぶ。 【事前学習課題】酸、アルカリ、酸化還元	講義	河岸	遠隔授業
7	Ⅴ．気体① ボイルの法則など身近な気体の法則、空気の組成について学ぶ。 【事前学習課題】ボイルの法則、ヘンリーの法則、空気組成	講義	河岸	遠隔授業
8	Ⅴ．気体② 大気汚染と気体の医療への応用について学ぶ。 【事前学習課題】大気汚染、医療ガス	講義	河岸	遠隔授業
9	Ⅵ．有機化合物① 有機化合物とは何かについて学ぶ。 【事前学習課題】炭素含有化合物、炭化水素、官能基	講義	河岸	遠隔授業
10	Ⅵ．有機化合物② 医療系の知識として必要な代表的有機化合物について学ぶ。 【事前学習課題】飽和、不飽和、アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸	講義	河岸	遠隔授業
11	Ⅵ．有機化合物③ 医療系の知識として必要な代表的有機化合物について学ぶ。 【事前学習課題】エステル、油脂、糖質，アミン	講義	河岸	遠隔授業
12	Ⅶ．酵素 生命現象をになう酵素の性質と反応について学ぶ。 【事前学習課題】タンパク質、活性部位、触媒機構、活性調節、コファクター	講義	河岸	講義室
13	Ⅵ．有機化合物④ 分子の構造、特に立体異性体の種類とその表示法について学ぶ。 【事前学習課題】異性体、フィッシャー投影式、絶対配置	講義	河岸	講義室
14	Ⅶ．量子化学に基づく「原子の構造」論 微視的レベルで光や電子などは粒子と波の両方の性質を示すこと、原子の中の電子の波としての存在形態（原子軌道）と原子の中の電子の三次元的分布について学ぶ。 【事前学習課題】量子化学、物質波、波動関数、原子軌道	講義	河岸	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

化学　(Chemistry)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕河岸　重則						
担当教員	〔非常勤講師〕河岸　重則						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
15	Ⅷ．量子化学に基づく「化学結合」論 　分子の中の電子の波としての存在形態（分子軌道）、原子から分子が形成されるときに生する混成軌道、水分子の立体構造を混成軌道を用いて表すことを学ぶ。 【事前学習課題】分子軌道、共有結合、混成軌道	講義	河岸	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

数学入門　(Introduction to Mathematics)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

授業の概要

これまで、数学があまり得意でなかった学生を念頭に、数学の本質を複雑な計算などを用いずに平明に解説する。具体的には、中学校もしくは高等学校文系程度の数学の知識を前提に、いろいろな数、距離、いろいろな関数、面積を題材に、数学の考え方、有用性、楽しさを体験する。講義の理解を深めるために、毎回、簡単な演習を行う。

学生の到達目標

①数の概念、いろいろな数、数の演算を理解できる。
②距離の概念と計算法を体得できる。
③関数の概念と諸演算を体得できる。
④日常に現れるいろいろな関数を理解できる。
⑤面積の定義を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

毎回、講義の後半で当日の内容に関連した演習を行い、必要に応じで宿題を課す。演習と宿題をレポートとして提出させ、そのレポートを100点満点で評価する。

その他

（学習相談）深井康成：月、火、水、木16:20～17:15

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

数学入門　(Introduction to Mathematics)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2,3	数の世界 ・数の概念、自然数、整数、有理数、実数について学ぶ。 ・実数の演算について学ぶ。 ・実数の性質について学ぶ。 【事前学習課題】高校の教科書で集合についての復習	講義・演習	深井	遠隔授業
4	距離 　直線上の距離、平面上の距離、空間上の距離について学ぶ。 【事前学習課題】実数の上限と下限の定義の復習	講義・演習	深井	遠隔授業
5	数列 　数列の定義と数列の極限について学ぶ。 【事前学習課題】直線上の距離についての復習	講義・演習	深井	遠隔授業
6,7	関数 ・関数の定義といろいろな関数について学ぶ。 ・関数の極限と微分について学ぶ。 【事前学習課題】数列の極限の定義の復習	講義・演習	深井	遠隔授業
8	面積 　いろいろな図形（とくに、曲線で囲まれた図形の面積）とその計算法を学ぶ。 【事前学習課題】三角関数、指数関についてと関数の極限と微分の定義の復習	講義・演習	深井	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合講義Ⅰ　(Integrated Lectures Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	口腔保健学科教員、歯学科教員						

授業の概要

１年次で学んだ基礎系科目を有機的に統合し、２年次の専門科目の履修に耐えられるような総合的な学力を養うため、基礎科目の総括を行う。

学生の到達目標

１年次に学んだ基礎系科目の総合的な学力を得る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合講義Ⅰ　(Integrated Lectures Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	口腔保健学科教員、歯学科教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1～8	基礎生命科学Ⅰ 基礎生命科学Ⅱ 基礎生命科学Ⅲ 基礎摂食嚥下学Ⅰ 基礎摂食嚥下学Ⅱ 基礎摂食嚥下学Ⅲ 口腔保健学概論 歯科臨床概論 社会福祉概論 歯科材料学 口腔健康増進学Ⅰ 食べ物と健康 口腔保健論 歯科医療補助論 医療健康統計学	講義	各科目担当教員	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合講義Ⅱ　(Integrated Lectures Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	口腔保健学科教員、歯学科教員						

授業の概要

２年次で学んだ専門科目にかかる知識を有機的に統合し、３年次の臨床実習の履修に必要な総合的な学力を養うため、専門科目の総括を行う。

学生の到達目標

２年次に学んだ専門科目の総合的な学力を得る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合講義Ⅱ　(Integrated Lectures Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	口腔保健学科教員、歯学科教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1〜8	口腔健康増進学Ⅱ 疾病とその病態 薬理学・口腔薬理学 感染と免疫 口腔治療リハビリテーション系歯科医療 　Ⅰ（歯科保存） 　Ⅱ（歯周病） 　Ⅲ（歯科補綴） 口腔成長発育系歯科医学 　Ⅰ（小児歯科） 　Ⅱ（歯科矯正学） 外科系歯科医学 歯科放射線学 臨床検査学 予防処置論 歯科保健医療支援論 口腔保健教育原論 発達口腔保健教育原論 食べ物と健康Ⅱ ライフステージ歯科栄養学Ⅰ 摂食嚥下リハビリテーション論	講義	各科目担当教員	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療コミュニケーションⅠ　(Medical Communication Ⅰ)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾　哲朗、園木　一男						
担当教員	木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、海寶　康臣、船原　まどか、本田　尚郁、渡辺　幸嗣、〔非常勤講師〕大住　伴子、〔非常勤講師〕俣木　志朗、〔非常勤講師〕灘光　洋子、〔非常勤講師〕吉田　登志子、〔非常勤講師〕藤崎　和彦						
	上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 　木尾　哲朗(総合診療科)、園木　一男(内科)、引地　尚子（口腔内科）、永松　浩(総合診療科)、鬼塚　千絵(総合診療科)、安永　愛(総合診療科)、船原　まどか（口腔保健科）、本田　尚郁（口腔保健科）、渡辺　幸嗣（小児歯科）						

授業の概要

良好な歯科医療人－患者関係を築くのに必要なコミュニケーション能力の基礎を身につける。そのために、基本的なコミュニケーションスキルを医療コミュニケーションに活用できるような基本的態度を学ぶ。
講義では医療面接に必要なコミュニケーションスキルを学び、演習ではロールプレイや模擬患者を活用した医療面接を行い、自分のもつコミュニケーションスキルを向上させ、省察（振り返り）の姿勢を育成する。

学生の到達目標

①医療コミュニケーションを説明できる。
②歯科医療人の態度を説明できる。
③医療コミュニケーションスキルを実践する。
④インフォームドコンセントの意義を説明できる。
⑤医療面接を実践する。
⑥患者の社会心理的背景を説明できる。
⑦歯科医療人となる自覚を高める。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

資料を配布する
出）　著）

参考書

歯科医療面接の実際
出）クインテッセンス　著）伊藤孝訓・寺中敏夫　編

メディカル・サポート・コーチング入門　医療者向けコミュニケーション法
出）日本医療情報センター　著）奥田弘美

はじめての医療面接　コミュニケーション技法とその学び方
出）医学書院　著）斎藤清二

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	40%
事前学習課題レポート	30%
事後テスト・振り返りレポート	30%

授業中の態度及び演習参加態度も評価対象とする。
Teamsでの講義の時、呼びかけても反応がない場合等、出席に関する不正があった場合には減点対象となる場合がある。
（講義や演習に積極的に参加していない場合は、程度により1回の講義あたり最大10点減点する。）

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療コミュニケーションⅠ　(Medical Communication Ⅰ)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾　哲朗、園木　一男						
担当教員	木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、海寶　康臣、船原　まどか、本田　尚郁、渡辺　幸嗣、〔非常勤講師〕大住　伴子、〔非常勤講師〕俣木　志朗、〔非常勤講師〕灘光　洋子、〔非常勤講師〕吉田　登志子、〔非常勤講師〕藤崎　和彦						
	上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 　木尾　哲朗(総合診療科)、園木　一男(内科)、引地　尚子（口腔内科）、永松　浩(総合診療科)、鬼塚　千絵(総合診療科)、安永　愛(総合診療科)、船原　まどか（口腔保健科）、本田　尚郁（口腔保健科）、渡辺　幸嗣（小児歯科）						

その他

（学習相談）月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

　遠隔講義における出席認定要件は原則として指定された提出期限までに、指示されたレポート等を提出すること。
（授業回により提出物、提出方法が異なるので、注意が必要である）
　※リアルタイム型遠隔講義の場合、講義時間中の呼びかけに応えない、講義終了時にログアウトしない等により出席を認めないことがある。
　※通信環境、器材、システムの不具合等事情がある場合、別途指示するのでメールで担当者に連絡すること。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療コミュニケーションⅠ　(Medical Communication Ⅰ)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾　哲朗、園木　一男						
担当教員	木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、海寶　康臣、船原　まどか、本田　尚郁、渡辺　幸嗣、〔非常勤講師〕大住　伴子、〔非常勤講師〕俣木　志朗、〔非常勤講師〕灘光　洋子、〔非常勤講師〕吉田　登志子、〔非常勤講師〕藤崎　和彦 上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 　木尾　哲朗(総合診療科)、園木　一男(内科)、引地　尚子（口腔内科）、永松　浩(総合診療科)、鬼塚　千絵(総合診療科)、安永　愛(総合診療科)、船原　まどか（口腔保健科）、本田　尚郁（口腔保健科）、渡辺　幸嗣（小児歯科）						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	概論 良好な患者－歯科医療人関係を築く必要性を学びその実践方法を学習する。省察（振り返り）を行い、理解を深めるためのレポートの書き方を学習する。コミュニケーションの3つの条件を学習する。欧米の歯科医学教育学会で制定されているコンピテンシーを参考に、卒業時に求められるコミュニケーションのアウトカムについて学習する。 【事前学習課題】コミュニケーションの条件、コンピテンシー、アウトカム基盤型教育	講義	木尾 鬼塚	遠隔授業
2	ロールプレイ演習１（伝達と傾聴） 第一印象の大切さに気付き、効果的な自己紹介について学習する。伝達と傾聴の大切さに気付きその実践方法を学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。 【事前学習課題】第一印象、傾聴技法、インフォームドコンセント	演習	科目教員	402講義室 テュートリアル演習室
3	ロールプレイ演習１の省察（振り返り） 演習の省察によりわからなかったこと、わかっていてもできなかったことについて理解を深める。コミュニケーションの種類（言語的、準言語的、非言語的）を学習する。コミュニケーションの３大コアスキルと留意点について学習する。消極的（受動的）傾聴法と積極的（能動的）傾聴法について学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。 【事前学習課題】言語的・準言語的・非言語的コミュニケーションの特徴、医療コミュニケーションの三大コアスキル	講義	永松	遠隔授業
4	（学外講師講義） 歯科医療人になるということ１ 医療面接の３つの役割について学習する。医療面接の基本技術と知識について学習する。医療面接の基本及び医療面接時の留意事項について学習する。doingとbeingにより治療的自我が向上することを学習する。 【事前学習課題】医療面接の役割、治療的自我	講義	俣木	遠隔授業
5	（学外講師講義） 歯科医療人になるということ２ 患者接遇、敬語、適切な表現について学習する。患者さんとの良好な関係を築く基本について学習する。ジョハリの窓について学習する。 【事前学習課題】ジョハリの窓、敬語、適切な表現	講義	俣木	遠隔授業
6	（学外講師講義） 医療面接、フィードバックについて 患者と医療者の解釈モデルについて学習する。医療面接の流れ、医療面接技法、医療面接のチェックポイントについて学習する。ロールプレイを行い、フィードバックができるようにする。 【事前学習課題】解釈モデル、医療面接項目、SP、LEARNのアプローチ	講義 演習	藤崎	遠隔授業
7	（学外講師講義） 行動変容のアプローチ 患者－歯科医療人関係（レディネス、行動変容、寄り添う心、bad news telling） 行動変容を生む患者アプローチについて学習する。患者中心の患者教育法について学習する。ガッカリを分かち合うことの大切さを学習する。	講義 演習	藤崎	遠隔授業
8	医療面接について 患者中心の医療を実現するために良好な患者－医療者関係を構築する必要があることを学習する。医療コミュニケーションの三大コアスキルを学習する。医療者の基本的態度類型を学習する。SPの役割について学習し、フィードバックできるようにする。ロールプレイ準備（シナリオ・質問項目・評価項目作成）を行う。 【事前学習課題】医療者の基本的態度類型、模擬患者（SP）	講義	鬼塚	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療コミュニケーションⅠ　(Medical Communication Ⅰ)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾　哲朗、園木　一男						
担当教員	木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、海寶　康臣、船原　まどか、本田　尚郁、渡辺　幸嗣、〔非常勤講師〕大住　伴子、〔非常勤講師〕俣木　志朗、〔非常勤講師〕灘光　洋子、〔非常勤講師〕吉田　登志子、〔非常勤講師〕藤崎　和彦						
	上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 　木尾　哲朗(総合診療科)、園木　一男(内科)、引地　尚子（口腔内科）、永松　浩(総合診療科)、鬼塚　千絵(総合診療科)、安永　愛(総合診療科)、船原　まどか（口腔保健科）、本田　尚郁（口腔保健科）、渡辺　幸嗣（小児歯科）						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
9	ロールプレイ演習２（医療面接） 歯科医師、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。 【事前学習課題】ロールプレイ用のシナリオ、評価表、医療面接の流れ、フィードバック	演習	科目教員	402講義室 301講義室 311講義室 312講義室 501講義室 601講義室
10	ロールプレイ演習３（医療面接） 歯科医師、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。 【事前学習課題】ロールプレイ演習２の時よりも設定を深めたシナリオ、フィードバックの方法	講義	科目教員	402講義室 301講義室 401講義室 311講義室 312講義室 テュートリアル演習室
11	（学外講師講義） 異文化コミュニケーション 他者の視点、自分の視点をより分析的に捉える姿勢を養う。 １）言語・ 非言語メッセージをより分析的に捉える努力をするようになる。 ２） 自分の内にあるステレオタイプがどのようにコミュニケーションに反映されているかに留意するようになる。 ３） 医者と患者のやりとりや関係性をより分析的に捉える努力をするようになる。 【事前学習課題】異文化コミュニケーション	演習	灘光	遠隔授業
12	（学外講師演習） ロールプレイ演習４（模擬患者との医療面接） 模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。 【事前学習課題】医療面接の流れ・技法・チェックポイント（復習）	演習	吉田 科目教員	402講義室 311講義室 312講義室 テュートリアル演習室 401講義室 遠隔授業
13	（学外講師演習） ロールプレイ演習５（模擬患者との医療面接） 模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。	演習	吉田 科目教員	402講義室 311講義室 312講義室 テュートリアル演習室 401講義室 遠隔授業
14	ロールプレイ演習４・５の省察 演習の省察によりわからなかったこと、わかっていてもできなかったことについて理解を深める。 【事前学習課題】紹介状、紹介状、行動変容	講義	木尾	遠隔授業
15	総括 行動科学からみた患者のタイプとそのマネジメント、社会的スキルについて学習する。確認テストにより到達目標の達成度を認識する。 【事前学習課題】省察（振り返り）	講義	木尾 園木 永松 安永	401講義室 402講義室 301講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健学演習　(Seminar of Oral Health)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、日髙　勝美、園木　一男、中道　敦子、藤井　航、吉野　賢一、有吉　渉、辻澤　利行、片岡　真司、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

授業の概要

4年次までに学んだ口腔保健の知識を総合的にまとめ、その理解を深める。

学生の到達目標

歯科衛生士として必要な知識を総合的に理解し、説明できる。
・解剖学の基礎知識を説明できる。
・生理学の基礎知識を説明できる。
・病理学・薬理学の基礎知識を説明できる。
・微生物学の基礎知識を説明できる。
・口腔衛生学の基礎知識を説明できる。
・社会福祉概論の基礎知識を説明できる。
・衛生学・公衆衛生学の基礎知識を説明できる。
・栄養指導の基礎知識を説明できる。
・歯科予防処置の基礎的知識を説明できる。
・歯科保健指導の基礎的知識を説明できる。
・高齢者歯科の基礎知識を説明できる。
・障がい者歯科の基礎知識を説明できる。
・摂食嚥下の基礎知識を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集〈２０２１年版
（２０１６～２０２０〉（2020年6月発売予定）
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

欠席による減点（1回につき3点）を行う。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健学演習　(Seminar of Oral Health)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、日髙　勝美、園木　一男、中道　敦子、藤井　航、吉野　賢一、有吉　渉、辻澤　利行、片岡　真司、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	解剖学 　1～2年次に学んだ「基礎生命科学Ⅰ・Ⅱ、基礎摂食嚥下学Ⅰ・Ⅱ、基礎生命科学実習Ⅰ、基礎摂食嚥下学実習」における解剖学および組織学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。 【事前学習課題】解剖学,組織学	演習	片岡	遠隔授業
2	生理学 　1～2年次に学んだ「基礎生命科学Ⅰ・基礎摂食嚥下学III」における生理学および口腔生理学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。 【事前学習課題】生理学、口腔生理学	演習	吉野	遠隔授業
3	病理学・薬理学 　2年次に学んだ「疾病とその病態、薬理学・口腔薬理学」における病理学と薬理学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。 【事前学習課題】病理学、薬理学	演習	園木	遠隔授業
4	微生物学・免疫学 2年次に学んだ「感染と免疫I」における微生物学・免疫学について、国家試験問題も参考に理解を深める。 【事前学習課題】微生物学・免疫学	演習	有吉	遠隔授業
5	口腔衛生学・社会福祉概論 　口腔健康増進学Ⅰ、Ⅱ、実習および社会福祉概論で学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。 【事前学習課題】口腔衛生学、社会福祉概論	演習	日高	遠隔授業
6	衛生学・公衆衛生学 　社会環境医学、医療健康政策学で学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。 【事前学習課題】社会環境医学、医療健康政策	演習	日高	遠隔授業
7	栄養指導 　食べ物と健康Ⅰ、Ⅱ、栄養学、栄養と食生活演習、ライフステージ歯科栄養学I, IIで学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。 【事前学習課題】栄養指導	演習	辻澤	遠隔授業
8	高齢者歯科 　高齢者歯科診療における全身及び歯科的基礎知識について国家試験問題を通じて確認する。あわせて摂食嚥下に関する知識も確認する。 【事前学習課題】高齢者歯科	演習	泉	遠隔授業
9	障がい者歯科 　障がい者歯科における基礎知識について国家試験問題を通じて確認する。あわせて摂食嚥下に関する知識も確認する。 【事前学習課題】障がい者歯科	演習	藤井	遠隔授業
10	歯科診療補助　その１ 　歯科診療補助の基礎と応用に関し、統合的な理解を深める。 【事前学習課題】歯科診療補助	演習	船原	遠隔授業
11	歯科診療補助　その２ 　その1に引き続き、歯科診療補助の基礎と応用に関し、統合的な理解を深める。 【事前学習課題】歯科診療補助	演習	船原	遠隔授業
12	歯科保健指導　その１ 　歯科保健指導に必要な基礎知識を確認し個別指導として統合する。 【事前学習課題】歯科保健指導	演習	中道	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健学演習　(Seminar of Oral Health)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、日髙　勝美、園木　一男、中道　敦子、藤井　航、吉野　賢一、有吉　渉、辻澤　利行、片岡　真司、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	歯科保健指導　その２ 　多様なライフステージや生活・療養環境にある対象に応じた歯科保健指導について実践的理解を深める。 【事前学習課題】歯科保健指導	演習	泉	遠隔授業
14	歯科予防処置（う蝕） 　歯科予防処置のうちう蝕予防の基礎と臨床について国家試験問題を通して理解を深める。 【事前学習課題】歯科予防処置、う蝕	演習	本田	遠隔授業
15	歯科予防処置（歯周疾患） 　歯周病予防の基礎知識、歯周診査、スケーリング・ルートプレーニング、歯面研磨、メインテナンスに至る予防処置の知識を確認する。 【事前学習課題】歯科予防処置、歯周疾患	演習	本田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床歯科医学系総合演習　(Seminar of Clinical Dentistry)

開講年次	４年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、園木　一男、辻澤　利行、吉野　賢一、有田　正博、有吉　渉、矢田　直美、西田　郁子、黒石　加代子、郡司掛　香織、片岡　真司、古株　彰一郎、引地　尚子						

授業の概要

4年次までに学んだ臨床歯科医学の知識を総合的にまとめ、その理解を深めさせる。

学生の到達目標

歯科衛生士として必要な知識を総合的に理解し、説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集〈２０２１年版（2016～2020）〉（2020年6月発売予定）
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

・確認テストの点数から欠席による減点（1回につき3点）を行う。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床歯科医学系総合演習　(Seminar of Clinical Dentistry)

開講年次	４年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、園木　一男、辻澤　利行、吉野　賢一、有田　正博、有吉　渉、矢田　直美、西田　郁子、黒石　加代子、郡司掛　香織、片岡　真司、古株　彰一郎、引地　尚子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	解剖学 これまで学習してきた解剖学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。 【事前学習課題】解剖学	演習	片岡	遠隔授業
2	組織学 これまで学習してきた組織学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。 【事前学習課題】組織学	演習	片岡	遠隔授業
3	生理学 人体（および口腔顔面領域）の機能に関する基本的知識を確認する。 【事前学習課題】人体（および口腔顔面領域）の機能	演習	吉野	遠隔授業
4	薬理学 これまで学習してきた薬理学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。 【事前学習課題】薬理学	演習	園木	遠隔授業
5	微生物学・免疫学 これまで学習してきた微生物学および免疫学に関する知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。 【事前学習課題】微生物学・免疫学	演習	有吉	遠隔授業
6	栄養学 これまで学習してきた栄養学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。【事前学習課題】栄養学	演習	辻澤	遠隔授業
7	生化学 これまで学習してきた生化学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。 【事前学習課題】生化学	演習	古株	遠隔授業
8	病理学，口腔病理学 歯科臨床へとつながる疾患・病態について，国家試験問題を用いて，知識の整理を行う。 【事前学習課題】病理学，口腔病理学	演習	矢田	遠隔授業
9	臨床歯科医学（保存治療学）その１ 歯・歯髄疾患の治療における保存修復治療、歯内治療に対する知識を確認する。 【事前学習課題】保存修復治療、歯内治療	演習	邵	遠隔授業
10	臨床歯科医学（保存治療学）その２ 歯周疾患の治療に対する流れに応じた基礎から各論までの知識を確認する。 【事前学習課題】歯周疾患の治療	演習	邵	遠隔授業
11	臨床歯科医学（歯科補綴学） これまで学習してきた歯科補綴学について、国家試験問題を用い、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。 【事前学習課題】歯科補綴学	演習	有田	遠隔授業
12	臨床歯科医学（歯科臨床の基礎・口腔外科学） これまで学習してきた歯科臨床の基礎・口腔外科学の知識を統合し、臨床実践の基盤となるように再確認を行う。 【事前学習課題】口腔外科学	演習	引地	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床歯科医学系総合演習　(Seminar of Clinical Dentistry)

開講年次	４年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、園木　一男、辻澤　利行、吉野　賢一、有田　正博、有吉　渉、矢田　直美、西田　郁子、黒石　加代子、郡司掛　香織、片岡　真司、古株　彰一郎、引地　尚子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	臨床歯科医学（矯正歯科学） これまで学習してきた矯正歯科学について、国家試験問題を用い、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。 【事前学習課題】矯正歯科学	演習	黒石、郡司掛	遠隔授業
14	臨床歯科医学（小児歯科学） これまで学習してきた小児歯科学について、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。 【事前学習課題】小児歯科学	演習	西田	遠隔授業
15	課題作成 1-14回までの内容を理解しているかどうかを確認する。 課題については、事前に提示する。 【事前学習課題】課題作成準備	演習	学科長	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムII　(Professionalism II)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男、木尾　哲朗						
担当教員	歯学部長、木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、粟野　秀慈、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、中原　孝洋、〔非常勤講師〕岡留　朝子、〔非常勤講師〕岩佐　康行、〔非常勤講師〕村木　祐孝、〔非常勤講師〕甲斐　康晴、〔非常勤講師〕濱嵜　朋子						

授業の概要

本科目では、一連の講義・演習を通して、学生が将来の歯科医療人像を明確にすることで、今後の情意教育、基礎医学教育、臨床基礎教育、および臨床実習で修得すべき知識・技能の重要性を理解する。あわせて歯科医療人像を具現化するための学習行動計画表をブラッシュアップし、歯科医療人になる歯学部の学生として、さらには社会的責任を課せられた医療人として自覚することを目的としている。

学生の到達目標

①九州歯科大学憲章･基本理念を理解し、卒業時に求められるコンピテンシーを説明できる。
②卒業までに受講するカリキュラムを理解し、受講する講義・実習内容の重要性を自覚する。
③歯科医療人として修得すべき情意・技能に関するスキルを説明できる。
④アンプロフェッショナルな事例の検討を通して、他者の多様な価値感を認めた上で、歯科医療人として自ら判断する力を醸成する。
⑤歯科医療人としての将来像を明確にするために卒業までの行動計画表をブラッシュアップできる。
⑤上記の学修を通じて社会に役立つ社会人・歯科医療人としての自覚を涵養する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育　プロフェッションワークブック
出）医歯薬出版株式会社　　著）日本歯科医学教育学会　編

必要に応じ資料を配布する。
出）　　著）

参考書

出）　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
行動計画表提出	20%
事前学習課題レポート	20%
事後テスト・振り返りレポート	20%
定期試験（確認テスト）	40%

定期試験（確認テスト）の受験は必須とする。講義に関係ないこと（スマホを弄るなど）をしたり、講義･演習に積極的でなかったり、出席･提出物で不正行為を行った場合、1回の講義で最大10点減点する。
レポートの評価基準：
・事前学習課題レポートは指示された課題をすべて調べているか、一定量の内容の記載があるか。
※事前学習課題は変更・追加されることがあるので、案内に従って下さい
・事後振り返りレポートは,講義内容の要約（事実）＋それに対する考察・感想＋決意が記載されているか。一定量の内容の記載があるか。具体的な指示がある場合それに従っているか。
に基づき評価する。複数個の誤字脱字。期日を過ぎた提出は減点する。
本年度、遠隔講義における出席認定要件は
・遠隔講義実施翌日8:30までに、指示されたレポート等を提出すること（授業回により提出物、提出期限が異なることがあるので、都度指示に従ってください）。
・レポートは指定された用紙に手書きし、写真撮影／スキャンし、画像ファイル(jpeg等)／PDFファイルをe-learningシステム(forest of KDU)上にアップロードして提出すること。
※通信環境、器材、システムの不具合等事情がある場合別途指示するのでメールで担当者に連絡すること。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムII　(Professionalism II)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男、木尾　哲朗						
担当教員	歯学部長、木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、粟野　秀慈、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、中原　孝洋、〔非常勤講師〕岡留　朝子、〔非常勤講師〕岩佐　康行、〔非常勤講師〕村木　祐孝、〔非常勤講師〕甲斐　康晴、〔非常勤講師〕濱嵜　朋子						

その他

事前学習課題レポートは当日講義前に提出すること。登校停止中（遠隔授業）の場合別に指示します。
学習相談：相談は授業時間外でも随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
科目責任者　園木一男　内線：8023、メールアドレス ：sonoki@kyu-dent.ac.jp
　　木尾哲朗　内線：7911、メールアドレス ：tetsuro@kyu-dent.ac.jp

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムII　(Professionalism II)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男、木尾　哲朗						
担当教員	歯学部長、木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、粟野　秀慈、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、中原　孝洋、〔非常勤講師〕岡留　朝子、〔非常勤講師〕岩佐　康行、〔非常勤講師〕村木　祐孝、〔非常勤講師〕甲斐　康晴、〔非常勤講師〕濱嵜　朋子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	今後の学習課題と行動計画表作成 卒業時に求められるコンピテンシーを踏まえた上で、卒業までの学習課題を抽出する。 WADSキャンプ参加後本学で学修・経験した内容、及び自己学習の過程で収集した資料等を元に、歯科医療人としての将来像を明確にするための行動計画表をブラッシュアップする。 【事前学習課題】プロフェッショナリズムＩ（1年のWADSキャンプ）で作成した行動計画表の見直し	講義・演習 スライド 資料配布	木尾 園木	講義室
2	口腔保健学科の就職状況について 口腔保健学科卒業生の進路について現状を把握する。 進路に合わせた就職支援体制（企業コース、公務員コース、医療コース、大学院コース）について理解する。 就職活動を通して歯科医療人としての自分の将来を考える。	講義・演習 スライド 資料配布	園木	遠隔授業
3	歯科医療人プロフェッショナリズム(１) 事例検討１)： よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育　プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会　編」（医歯薬出版）に掲載されているアンプロフェッショナルな事例（倫理的検討事例）を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 ワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。	演習（事例検討）	木尾 永松	遠隔授業
4	歯科科医療人プロフェッショナリズム(２) 事例検討２)： よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育　プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会　編」（医歯薬出版）に掲載されているアンプロフェッショナルな事例（倫理的検討事例）を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 ワークブックの指定された事例について提出された個人の意見をグループ内で閲覧し自分と他の人の意見の相違点・一致点を挙げさらに自分の考えを整理する。	演習（事例検討）	木尾 永松	遠隔授業
5	概論： 地域包括ケアと多職種連携をふまえた口腔保健学科・歯学科合同授業を行う本講義の位置づけについて理解する。 歯科医療人プロフェッショナリズム(３)： 事例検討３)、動画視聴１) ビデオ教材「落し物は　ヒトの歯」を視聴し、ワークブックの指定された関連事例とともに構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。	講義 演習（事例検討・動画教材視聴）	園木 木尾 永松	遠隔授業
6	国家試験と歯科臨床 国家試験の位置づけ、国家試験の日程・国家試験に対する準備方法を学修する。	講義	園木	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムII　(Professionalism II)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男、木尾　哲朗						
担当教員	歯学部長、木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、粟野　秀慈、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、中原　孝洋、〔非常勤講師〕岡留　朝子、〔非常勤講師〕岩佐　康行、〔非常勤講師〕村木　祐孝、〔非常勤講師〕甲斐　康晴、〔非常勤講師〕濱嵜　朋子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
7	歯科医療人プロフェッショナリズム (４)： 事例検討４)： ・よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 ・指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育　プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会　編」（医歯薬出版）に掲載されているアンプロフェッショナルな事例（倫理的検討事例）を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 ・ワークブックの指定された事例について提出された個人の意見をグループ内で閲覧し自分と他の人の意見の相違点・一致点を挙げさらに自分の考えを整理する。	講義 演習（事例検討）	木尾 永松	遠隔授業
8	プロフェッショナリズムってなあに ・プロフェッショナリズムの定義と変遷 ・歯科医学教育の変化と本学カリキュラム 【事前学習課題】プロフェッショナリズムの定義(Sternらの神殿モデル、新ミレニアムにおける医療プロフェッショナリズム：医師憲章)、歯学教育モデルコアカリキュラムとプロフェッショナリズム 歯科医療人プロフェッショナリズム (５) 事例検討５)： ・よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 ・アンプロフェッショナルな事例（倫理的検討事例）の検討を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 ・個人の意見の発表を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 演習（事例検討）	木尾	遠隔授業 （リアルタイム ）
9	歯科医療人の活躍（１）： 　慢性期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】 ① 地域包括ケアシステムについて調べる ② 医科歯科連携や多職種連携における歯科の役割について考察する	講義 スライド 資料配布	岩佐 (木尾)	遠隔授業
10	歯科医療人の活躍（２）： 　地域医療を実践する歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】生涯研修	講義 スライド 資料配布	甲斐 (木尾)	遠隔授業
11	歯科医療人の活躍（３）： 　公衆衛生・口腔衛生学を専攻する大学研究者の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】高齢者の低栄養	講義 スライド 資料配布	濱嵜 (粟野)	遠隔授業
12	歯科医療人の活躍（４）： 　病棟でのNSTや口腔ケアの話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】歯科衛生士業務、周術期	講義 スライド 資料配布	岡留	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムII　(Professionalism II)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男、木尾　哲朗						
担当教員	歯学部長、木尾　哲朗、園木　一男、引地　尚子、粟野　秀慈、永松　浩、鬼塚　千絵、安永　愛、中原　孝洋、〔非常勤講師〕岡留　朝子、〔非常勤講師〕岩佐　康行、〔非常勤講師〕村木　祐孝、〔非常勤講師〕甲斐　康晴、〔非常勤講師〕濱嵜　朋子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	歯科医療人プロフェッショナリズム (６)： 事例検討６)： ・よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 ・アンプロフェッショナルな事例（倫理的検討事例）の検討を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 ・個人の意見の発表を聞き質疑応答を通して理解を深める。 動画視聴２） 　臨床での倫理的問題を整理して解決する方法を学修する。 ・ビデオ教材「入れ歯はひとつ」を視聴し、構造的振り返りを行い自分の考えをまとめる。 【事前学習課題】ビデオ教材の視聴	講義・演習（事例検討・動画教材視聴）	木尾 永松 安永	遠隔授業（リアルタイム）
14	歯科医療人の活躍（５）： 　地域支援行政に関わる歯科医療人の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】歯科口腔保健の推進に関する法律について、口腔保健支援センターについて、母子健康手帳に記載されている歯科関連事項について 歯科医療人プロフェッショナリズム (７)： 動画視聴３） 　　臨床倫理４分割表を用いた動画教材の理解を深める。 　臨床での倫理的問題を整理して解決する方法についてJonsenの臨床倫理４分割表を用いて学修する。 総括 　歯科医療人になる者としてすべきこと、歯科医療人になる者のあるべき姿について、総括する。 【事前学習課題】 Jonsen　臨床倫理４分割表、信頼に影響を与える因子（Thom）、経験学習サイクル（Kolb）	講義 スライド 資料配布	安永 木尾	遠隔授業（リアルタイム）
15	確認テスト	テスト	担当教員	講義室 【401】 【402】 【501】

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムIII　(Professionalism III)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択	単位数	0.5
授業方法	講義・演習	時間数	10	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、木尾　哲朗、粟野　秀慈、村岡　宏祐、本田　尚郁、〔非常勤講師〕曽我　賢彦、〔非常勤講師〕長谷由紀子						

授業の概要

本科目では、科学的視点を持った対象者理解や終末期医療の演習を通して、これまでの学修を通して醸成された歯科保健医療における自己のプロフェッショナリズムについて考察を深める。そして、今後プロフェッションとしてどのような事に挑戦しアイデンティティを確立していくのかのキャリアパスを考える。

学生の到達目標

①対象者本位の姿勢を身に付けることができる。
②インフォームドコンセント、インフォームドアセントを説明できる。
③対象者の権利及び義務を熟知し、その現状と問題点を説明できる。
④歯科衛生士としての倫理観および基本的価値観を説明できる 。
⑤終末期医療における歯科衛生士の役割について説明できる。
⑥行動科学の視点から対象者を説明できる。
⑦自己のキャリアパスを説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

講義・演習ごとに資料を配布する
出）　著）

参考書

プロフェッションワークブック
出）医歯薬出版　著）歯科医学教育学会

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事後レポート（５回分）	100%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

プロフェッショナリズムIII　(Professionalism III)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択	単位数	0.5
授業方法	講義・演習	時間数	10	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、木尾　哲朗、粟野　秀慈、村岡　宏祐、本田　尚郁、〔非常勤講師〕曽我　賢彦、〔非常勤講師〕長谷由紀子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科衛生士となるにあたって、歯科衛生士というプロフェッショナリズムを再考し、社会が歯 科衛生士に求めるマネジメント、コミュニケーションそしてプロフェッショナリズムを科学的に検討する 【事前学習課題】社会が歯科衛生士に求める能力とは、あなたが臨床実習の中で浮かんだリサーチクエッションとは、質的研究とは	講義	長谷 中道	講義室
2	歯科医療人として終末期医療にどうかかわるか考える（１） 【事前学習課題】終末期医療	歯学科合同グループ演習 （TBL）	粟野 村岡 本田	72実習室
3	歯科医療人として終末期医療にどうかかわるか考える（２）「がんケアの実際」 【事前学習課題】終末期医療，がんケア，周術期口腔機能管理	講義	曽我 粟野 村岡 本田	講義室
4	歯科衛生士に必要な対人コミュニケーションとプロフェッショナリズムに行動科学の視点を加え、これらのメカニズムと対処方法を学ぶ 【事前学習課題】行動科学、クレイマー、これまで行なった倫理的事例検討	講義 演習	木尾 中道	講義室
5	歯科衛生士の職業アイデンティティについて就業環境・就業実態に関する講義をもとに内省し、自分に必要なプロフェッショナリズムとはどのような事かを考える。 【事前学習課題】歯科衛生士の職業アイデンティティ，歯科衛生士の就業実態，九州歯科大学口腔保健学科卒業生の就業実態	講義 演習	中道	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健学概論　(Introduction Oral Health Sciences)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、日髙　勝美、船原　まどか、〔非常勤講師〕溝部　潤子						

授業の概要

歯科衛生士の業務は保健・医療・福祉に幅広く関わる事を理解し、専門職として必要な事は何か、４年間で何を学ぶのかという各自の目標を明確にすることを目指す。本科目は、卒業コンピテンシーのプロフェッショナリズム「歯科衛生士としての倫理観および基本的価値観を身につける」に該当する。

学生の到達目標

①歯科衛生学・口腔保健学の概要を説明する。
②歯科衛生士の歴史を説明する。
③歯科衛生活動の理論を説明する。
④歯科衛生過程の概要を説明する。
⑤歯科衛生士法と歯科衛生士の義務について説明する。
⑥歯科衛生士の役割を説明する。
⑦歯科衛生士として必要な安全管理について説明する。
⑧歯科衛生士として必要な医療倫理を説明する。
⑨歯科衛生活動の実際について説明する。
⑩生涯学習として歯科衛生士の組織の概要を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科衛生学総論
出）医歯薬出版　　著）全国歯科衛生士教育協議会

参考書

最新歯科衛生士教本　歯科医療倫理
出）医歯薬出版　　著）全国歯科衛生士教育協議会　監

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
出席態度・レポート	20%

＊定期試験は、テキスト、講義中に行った説明、配布資料に基づいた筆記試験を行う。
＊出席態度およびレポートの内容を評価する。
＊授業の始めに小テストを行う。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健学概論　(Introduction Oral Health Sciences)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、日髙　勝美、船原　まどか、〔非常勤講師〕溝部　潤子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健学・歯科衛生学と歯科衛生活動のための理論と基礎知識 　歯科衛生士の業務遂行上、理論的・実践的根拠となる学問体系である歯科衛生学とは何かを学ぶ。歯科衛生活動を実践するための予防の概念、健康行動理論等の基礎知識を学ぶ。 【事前学習課題】歯科衛生士、歯科衛生、歯科衛生学、健康行動	講義	中道	遠隔授業
3	歯科衛生活動 　歯科衛生士の歴史、養成教育・就業状況の変遷を学び、学士教育を経た者への社会的役割と展望を理解する。 【事前学習課題】歯科衛生士の活動場面についてのレポート	講義	中道	遠隔授業
4	歯科衛生活動の実際 　日本の就業歯科衛生士の９割が在職している歯科診療所における専門業務の実際について理解する。 【事前学習課題】かかりつけ歯科医院、歯周治療、メンテナンス	講義	中道 溝部	遠隔授業
5	歯科衛生過程 　歯科衛生士の活動を決定する専門的思考法である歯科衛生過程の概要を理解する。歯科衛生過程の各プロセス(歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価)の内容を学ぶ。歯科衛生過程の実践に必要な患者中心の医療における業務記録法：SOAPを学ぶ。 【事前学習課題】歯科衛生過程、患者中心、POS、SOAP	講義	中道	遠隔授業
6	歯科衛生業務・安全管理 　歯科衛生士が行う専門的業務において必要な安全管理として、リスクマネジメント、感染予防対策について学ぶ。 【事前学習課題】医療安全、感染予防	講義	中道	遠隔授業
7	歯科衛生士と医療倫理、コミュニケーション 　歯科医療における倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と職業倫理について学ぶ。また患者の権利、インフォームド・コンセント、インフォームド・アセントを学び、これらを実践するためのコミュニケーション法を学ぶ。 【事前学習課題】医の倫理、患者の権利、職業倫理、インフォームド・コンセント	講義	中道	遠隔授業
8	大学附属病院での歯科衛生士業務実態 【事前学習課題】九州歯科大学附属病院診療科案内	講義	船原	遠隔授業
9	歯科衛生士の組織 　歯科衛生士の専門性を支える職能団体の活動を理解し、口腔保健学士としての役割を考える 【事前学習課題】日本歯科衛生士会、生涯学習	講義	中道	遠隔授業
2	歯科衛生士の関連法規及び国家試験制度 　歯科衛生士に関係する主な法律（歯科衛生士法、医療法、歯科医師法等）の大要を学ぶ。また、歯科衛生士国家試験を例に法に基づく制度について学ぶ。 【事前学習課題】歯科衛生士法、歯科衛生士の三大業務	講義	日高	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科臨床概論　(Introduction to Clinical Dentistry)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	学長、歯学部長、引地　尚子、邵　仁浩、〔非常勤講師〕間宮　清						

授業の概要

歯科医療の特殊性・特徴、患者への対応、医療事故の防止について教授する。また、歯科疾患および診療の概要について教授し、その重要性を理解させる。併せて、薬事行政及び薬害について理解させる。

学生の到達目標

①口腔保健学科学士取得に向け、歯科衛生士の重要性を説明できる。
②歯科医療の概要を説明できる。
③歯科臨床の基礎知識を説明できる。
④歯科臨床とエックス線の概要について説明できる。
⑤臨床検査法の概要を説明できる。
⑥薬事行政及び薬害の概要について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

新歯科衛生士教本 歯科臨床概論（第2版）
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　編集

最新歯科衛生士教本　歯科医療倫理（第２版）
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監修

医療倫理Ｑ＆Ａ
出）太陽出版　著）医療倫理Ｑ＆Ａ刊行委員会　編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
出席	20%

その他

講義内容以外の質問は講義科目担当教員(邵)がメールで受け付ける。
講義内容の質問は担当教員がメールで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科臨床概論　(Introduction to Clinical Dentistry)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	学長、歯学部長、引地　尚子、邵　仁浩、〔非常勤講師〕間宮　清						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科臨床とは 歯科医療の特殊性および特徴 　歯科医学の概念および実際の歯科臨床の概要について学ぶ。特に歯科医療の特殊性および特徴についてよく理解する。 【事前学習課題】口腔保健学士教育、歯科医療人、歯科衛生士業務、医科歯科連携教育、他職種連携	講義	学長	遠隔授業
2	歯科医療者が信頼されるために求められること 　行動科学の第一歩として、コンテントとコンテクストを学ぶことで、他者理解を深め、チーム医療を理解する。 【事前学習課題】オートノミー、プロフェッショナリズム、九州歯科大学附属病院の構成	講義	歯学部長	遠隔授業
3	学士（口腔保健学）としての役割とその将来 　歯科衛生士の社会的位置づけについて歴史的経緯及び現況を学習するとともに、学士としての歯科衛生士の役割、職業選択や大学院進学など進路選択の考え方を学ぶ。 【事前学習課題】歯科衛生士、学士	講義	口腔保健学科長	遠隔授業
4	歯科患者 　医療安全の概説と医療事故の防止の方策について説明するとともに本学の附属病院での医療安全への取り組みについて説明する。 【事前学習課題】医療安全管理	講義	邵	遠隔授業
5	歯科臨床とエックス線 　歯科診療における放射線およびそれを用いた検査の重要性を学ぶ。 【事前学習課題】エックス線	講義	邵	遠隔授業
6	臨床検査法の概要 　歯科診療における検査の意義とその内容を学ぶ。 【事前学習課題】臨床検査法	講義	引地	遠隔授業
7	歯科臨床の概要（その１） 　歯科臨床での実際の治療について、特に総合診療系の診療について説明を行う。また本学附属病院での診療科の概要を説明する。 【事前学習課題】総合診療系診療	講義	邵	遠隔授業
8	歯科臨床の概要（その２） 　歯科臨床特に、小児歯科学、矯正歯科学、口腔外科学・歯科麻酔学、高齢者歯科学、障害者歯科学で扱う疾患及びその治療法を学ぶ。 【事前学習課題】小児歯科学、矯正歯科学、口腔外科学・歯科麻酔学、高齢者歯科学、障害者歯科学	講義	邵	遠隔授業
9	薬害被害の現状と課題について 　薬害被害に遭われた方の意見・体験を直接聞き、薬害の現状と医療倫理や人権における課題とあり方について学ぶ。 【事前学習課題】薬害被害	講義	間宮	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

キャリア・デザイン　(Career planning)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、邵　仁浩、泉　繭依、船原　まどか、中道　敦子、日髙　勝美						
	卒業生						

授業の概要

キャリア教育は新入生が、自分自身の人生を設計し、そのために自ら大学生活で取り組むべき課題を考えさせることにより、有意義な大学生活を送れるようにすることを目的とする。
授業では最初に、口腔保健学科卒業後の一般的な進路についてガイダンスを行う。また、歯科衛生士の業務について学ぶ。次に社会がどのような能力を持つ人材求めているか、そして現時点で自分の就業力（社会人基礎力）を知り、それを卒業までにどのように伸ばしていくかを学ぶ。次に、希望の就職先とその特徴を調べて、自分との適正を考え、希望の就職を想定して、就職希望書の作成、模擬面接を行う。最後に、卒業生の体験談も参考にしながら、自分の進路について作文および履歴書としてまとめる。

学生の到達目標

①自分の人生について考え、人生（職業）を計画し、文章として分りやすく書くことができる。
②歯科衛生士の業務としてのチーム医療（プロフェショナリズム、多職種連携）を説明できる。
③就職活動としていつ、何をしたらよいのか説明できる。
④自分の計画した人生を進むためにはどのような大学生活を送るべきかを、文章に書き、分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

資料を配布する。
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
自分の進路についてのまとめの作文	50%
履歴書の作成	50%

不合格者（60点未満）には、レポートを提出させ、60点以上を合格とする。

その他

【オフィスアワー】
園木一男：教授室　月～金　16:15～　メールは随時受け付け

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

キャリア・デザイン　(Career planning)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、邵　仁浩、泉　繭依、船原　まどか、中道　敦子、日髙　勝美						
	卒業生						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	キャリアガイダンスその1 　口腔保健学科生の卒業後の主な進路について学ぼう。また、就職の多様性、就活時の注意点についても学習する。	講義	日高 園木 邵 船原 中道	遠隔授業
2	キャリアガイダンスその2 　歯科衛生士の業務としてチーム医療（プロフェショナリズム、多職種連携）とは何かを学ぼう。保健・医療・福祉分野の専門職の業務、他職種との連携の意義、そしてチーム医療を学習する。 【事前学習課題】歯科衛生士のプロフェッショナリズム、多職種連携	講義 討論	中道	遠隔授業
3	キャリアデザインその1 　自己紹介をしてみよう。自己紹介で大切なポイントやキャリアデザインとは何かついて学習する。 【事前学習課題】キャリアデザイン	講義 討論	園木	遠隔授業
4	キャリアデザインその2 　職場が求める社会人としての基礎的能力を知ろう。自分に不足しているものは何か、大学在学中にどのようにしてそれを育てるかについて学習する。 【事前学習項目】社会人基礎力診断	講義 討論	園木	遠隔授業
5	キャリアデザインその3 　就職希望先をよく知ろう。事前に分担して調べた進路についての分析をグループで発表して、分析内容などの討論を行う。 【事前学習項目】SWOT分析、性格検査NEO-FFI	講義 討論	園木	遠隔授業
6	キャリアデザインその4 　就職願書を書いてみよう。事前に作成した志願書（エントリーシート）を発表し、どう書けば効果があるか、具体的な注意点について学習する。 【事前学習項目】自己分析	講義 討論	園木	遠隔授業
7	キャリアデザインその5 　模擬面接を受けてみよう。数人のグループに分かれて事前に作成した就職志願書（エントリーシート）を元に模擬面接を行う。 【事前学習項目】就職志望理由書（エントリーシート）	発表 討論	園木	遠隔授業
8	キャリアデザインその6 　卒業生の進路に対する質疑応答 　先輩たちの就活、仕事さらに生活を知ろう。歯科衛生士などの仕事と生活の実態について学習する。	講義 討論	園木 卒業生	遠隔授業
9	キャリアデザインその7 　自分の進路についてのまとめと発表 　今考える自分の進路を考えよう。その成果として自分の進路についてのまとめの作文と履歴書の作成を行う。 【事前学習項目】履歴書	発表 講義	園木	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅰ（解剖・生理）　(Basic Bioscience Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、園木　一男						

授業の概要

人体の構造および機能を教授する。医療行為の基本は何らかの原因により失われてしまった構造や機能を正常な状態に回復あるいは近づけることである。したがって、医療従事者には人体の正常な構造と機能を理解することが極めて重要である。

学生の到達目標

①細胞の基本的な構造と機能を説明できる。
②骨と筋の構造と機能を説明できる。
③呼吸器系の構造と機能を説明できる。
④腎臓と膀胱の構造および排尿の機能を説明できる。
⑤生殖器系の構造と機能を説明できる。
⑥内分泌系の構造と機能を説明できる。
⑦血液の組成、型、輸血および凝固について説明できる。
⑧主な血管を列挙し、循環器系の構造と機能を説明できる。
⑨脳と脊髄の構造と機能について説明できる。
⑩末梢神経系の構造と機能を説明できる。
⑪感覚器の構造と機能、感覚の性質を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

系統看護学講座　解剖生理学
出）医学書院　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

園木一男（解剖学）：月～金16：30～18：00
吉野賢一（生理学）：月～金16：30～18：00

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅰ（解剖・生理）　(Basic Bioscience Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、園木　一男						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	人体の構造 人体の構成、人体各部の位置をあらわす用語、細胞、組織について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト序章と第1章	講義	園木	遠隔授業
2	人体の機能 濾過、浸透、拡散、膜電位および活動電位、シグナル伝達機構について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト序章と第1章	講義	吉野	遠隔授業
3	骨の構造と機能 骨の形成と吸収、骨代謝、骨の基本構造、頭部の骨について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第7章（P309～P365）	講義	園木	遠隔授業
4	骨の構造 頸、胴、四肢の骨について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第7章（P309～P365）	講義	園木	遠隔授業
5	筋の構造（その1） 筋の基本構造、頭頸部の筋について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第7章（P319～P369）	講義	園木	遠隔授業
6	筋の構造（その2） 体幹、四肢の筋について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第7章（P319～P369）	講義	園木	遠隔授業
7	筋の機能（その1） 筋収縮のメカニズム、筋収縮の化学について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第7章（P369～P381）	講義	吉野	遠隔授業
8	筋の機能（その2） 筋収縮の種類、運動と筋の疲労について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第7章（P369～P381）	講義	吉野	遠隔授業
9	循環器の構造（その1） 心臓の構造、血管とリンパ管について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第4章（P168～P175、P193～P205、P220～P228）	講義	園木	遠隔授業
10	循環器の構造（その2） 血液の循環、造血器とリンパ性器官について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第4章（P168～P175、P193～P205、P220～P228）	講義	園木	遠隔授業
11	循環器の機能（その1） 心臓と血管の機能、および血圧調節について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第3章（P141～P165）	講義	吉野	遠隔授業
12	循環器の機能（その2） 血球および血漿の機能、血液型と輸血反応について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第4章（P175～P193、P206～P219）	講義	吉野	遠隔授業
13	呼吸器の構造（その1） 鼻腔、咽頭、喉頭、気管と気管支、肺について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第3章（P109～P119）	講義	園木	遠隔授業
14	呼吸器の構造（その2） 縦隔と胸膜について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第3章（P109～P119）	講義	園木	遠隔授業
15	呼吸器の機能 呼吸運動、肺の機能、呼吸調節、発声について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第3章（P120～P141）	講義	吉野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅰ（解剖・生理）　(Basic Bioscience Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、園木　一男						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
16	内分泌系の構造 下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、膵島、副腎、性腺について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第6章（P272～P299）	講義	園木	遠隔授業
17	内分泌系の機能 各内分泌腺から分泌されるホルモンの働きについて学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第6章（P272～P306）	講義	吉野	遠隔授業
18	泌尿器の構造 腎臓、尿管、膀胱、尿道について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第5章（P233～P252）	講義	園木	遠隔授業
19	泌尿器の機能 水と電解質の調節、腎臓の機能、排尿機構について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第5章（P233～P206）	講義	吉野	遠隔授業
20	生殖器の構造 男性生殖器および女性生殖器について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第10章（P495～P498、P507～P536）	講義	園木	遠隔授業
21	生殖器の機能、老化 性の決定、生殖細胞分化、老化について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第10章（P499～P500、P507～P536）	講義	吉野	遠隔授業
22	中枢神経系の構造 神経系の基本構造、中枢神経系である脳、脊髄の構造、さらにその伝導路について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第8章（P385～P409、P429～P435）	講義	園木	遠隔授業
23	中枢神経系の機能（その1） 脊髄の伝導路および反射中枢としての働きについて学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第8章（P385～P409、P429～P435）	講義	吉野	遠隔授業
24	中枢神経系の機能（その2） 大脳、間脳、小脳、脳幹の機能について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第8章（P385～P409、P418～P435）	講義	吉野	遠隔授業
25	末梢神経系の構造 脳脊髄神経と自律神経系について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第6章（P264～P272）と第8章（P385～P394、P409～P418）	講義	園木	遠隔授業
26	末梢神経系の機能（その1） 神経の興奮、伝達と伝導について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第6章（P264～P272）と第8章（P385～P394、P409～P418）	講義	吉野	遠隔授業
27	末梢神経系の機能（その2） 脳神経と脊髄神経の働き、および自律神経機能について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第6章（P264～P272）と第8章（P385～P394、P409～P418）	講義	吉野	遠隔授業
28	感覚器の構造 視覚器、平衡感覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚とその付属器について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第8章（P435～P460）と第9章（P463～P467）	講義	園木	遠隔授業
29	感覚器の機能（その1） 感覚の種類と適当刺激、閾値、および順応について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第8章（P435～P460）	講義	吉野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅰ（解剖・生理）　(Basic Bioscience Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、園木　一男						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
30	感覚器の機能（その2） 体性感覚および特殊感覚について学ぶ。 【事前学習課題】テキスト第8章（P435～P460）	講義	吉野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅱ（組織）　(Basic Bioscience Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野　孝						
担当教員	豊野　孝						

授業の概要

基礎生命科学Ⅱでは組織学を中心に教授する。組織学は、人体を構成する細胞、組織ならびに器官の構造を研究する学問である。その研究法としては、肉眼の分解能をはるかにこえた微細構造を対象とするため、光学顕微鏡さらには電子顕微鏡が必要で、そのため顕微解剖学とも呼ばれる。本授業では、生体の微細な形態を理解するとともに、細胞(組織)の形態と、その細胞(組織)が有する機能がどのような関係になっているのかを理解することを一番の目的として行う。

学生の到達目標

①細胞膜、核、細胞内小器官の構造と機能を説明できる。
②単層上皮、重層上皮、細胞接着装置の組織構造と機能を説明できる。
③疎性結合組織と細胞成分の構造と機能を説明できる。
④軟骨、骨の組織構造と機能および骨の改造を説明できる。
⑤骨格筋の微細構造と筋収縮を説明できる。
⑥心臓の筋、平滑筋の組織構造と機能を説明できる。
⑦神経細胞、シナプスの組織構造と機能を説明できる。
⑧粘膜、皮膚の組織構造と機能を説明できる。
⑨消化管の一般構造、食道、胃の組織構造と機能を説明できる。
⑩小腸、大腸の組織構造と機能を説明できる。
⑪肝臓、膵臓およびランゲルハンス島の組織構造と機能を説明できる。
⑫肺における血液空気関門と組織構造と機能を説明できる。
⑬腎臓における血液尿関門の組織構造と機能を説明できる。
⑭下垂体、副腎の組織構造とホルモンの機能を説明できる。
⑮甲状腺、上皮小体の組織構造とホルモンの機能を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

入門組織学
出）南江堂　著）牛木辰雄

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問およびメールでの質問は、随時受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅱ（組織）　(Basic Bioscience Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野　孝						
担当教員	豊野　孝						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	細胞学 　細胞膜、核、細胞内小器官の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】細胞膜、ミトコンドリア、ゴルジ体、リボゾーム、リソソーム 「入門組織学」：p1-28	講義	豊野	遠隔講義
2	上皮組織 　単層上皮、重層上皮、細胞接着装置の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】単層円柱上皮、線毛上皮、移行上皮、重層扁平上皮 「入門組織学」：p29-44	講義	豊野	遠隔講義
3	支持組織(1) 　疎性結合組織の細胞成分、膠原線維、弾性線維、血液、リンパの機能について学習する。 【事前学習課題】膠原線維、弾性線維、疎性結合組織、線維芽細胞、プロテオグリカン 「入門組織学」：p45-57	講義	豊野	遠隔講義
4	支持組織(2) 　軟骨、骨の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】軟骨組織、コンドロイチン硫酸、骨細胞、骨芽細胞、破骨細胞 「入門組織学」：p58-67	講義	豊野	遠隔講義
5	筋組織(1) 　骨格筋における微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】随意筋、横紋、筋繊維、筋原繊維、筋小胞体 「入門組織学」：p69-76	講義	豊野	遠隔講義
6	筋組織(2) 　心臓の筋、平滑筋の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】不随意筋、心筋、平滑筋、介在板、強縮 「入門組織学」：p77-82	講義	豊野	遠隔講義
7	神経組織 　神経細胞、シナプスと神経伝達物質の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】シナプス、神経伝達物質、グリア細胞、髄鞘、跳躍伝導 「入門組織学」：p83-101	講義	豊野	遠隔講義
8	粘膜および皮膚 　粘膜および皮膚の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】ケラチノサイト、角化、ランゲルハンス細胞、知覚装置 「入門組織学」：p295-317	講義	豊野	遠隔講義
9	消化器(l) 　消化管の一般構造、食道、胃の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】α-アミラーゼ、主細胞、ペプシン、壁細胞、ガストリン 「入門組織学」：p147-172	講義	豊野	遠隔講義
10	消化器(2) 　小腸、大腸の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】十二指腸、腸絨毛、陰窩、門脈、杯細胞 「入門組織学」：p173-183	講義	豊野	遠隔講義
11	消化器(3) 　肝臓、膵臓およびランゲルハンス島の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】肝小葉、グリコーゲン、胆汁、膵液、インスリン 「入門組織学」：p184-198	講義	豊野	遠隔講義
12	呼吸器 　鼻腔、喉頭、気管、肺、血液・空気関門の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】気管支、線毛細胞、肺胞、血液・空気関門、表面活性剤 「入門組織学」：p199-210	講義	豊野	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学Ⅱ（組織）　(Basic Bioscience Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野　孝						
担当教員	豊野　孝						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	泌尿器 　腎臓、尿管、膀胱および血液・尿関門の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】ネフロン、腎小体、尿細管、血液・尿関門、糸球体傍装置 「入門組織学」：p211-226	講義	豊野	遠隔講義
14	内分泌(1) 　下垂体、副腎の微細構造とホルモンについて学習する。 【事前学習課題】前葉、後葉、成長ホルモン、バソプレッシン、アドレナリン 「入門組織学」：p267-277, p284-289	講義	豊野	遠隔講義
15	内分泌(2) 　甲状腺、上皮小体の微細構造とホルモンについて学習する。 【事前学習課題】甲状腺ホルモン、濾胞傍細胞、カルシトニン、パラトルモン 「入門組織学」：p278-284	講義	豊野	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学III（生化学）　(Basic Bioscience III)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎、松原　琢磨、Addison William						

授業の概要

学習内容は生命科学または生化学に該当する。授業の目的は二つある。一つは、医学歯学の基礎学問としての細胞生物学および分子生物学（口腔生化学を含む）の知識を習得することである。二つ目は、歯科衛生士として栄養指導をする際に必要な基礎知識としての栄養代謝の知識を習得することである。最初に生体成分、生体成分の代謝、代謝調節、遺伝子発現を含む生体の応答反応、遺伝子工学、さらに口腔生化学などについて学ぶ。

学生の到達目標

①人体の構成成分について説明できる。
②細胞の構造と機能について説明できる。
③遺伝子とタンパク質、細胞分裂について説明できる。
④物質代謝と酵素、エネルギー代謝について説明できる。
⑤消化と吸収について説明できる。
⑥ホルモンの産生器官と作用について説明できる。
⑦歯の構造と組成、硬組織の石灰化、歯の脱灰と再石灰化を説明できる。
⑧歯周組織の構造と組成を説明できる。
⑨唾液の成分と作用を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

生命科学
出）羊土社　著）東京大学生命科学教科書編集委員会編集

ビジュアル生化学・分子生物学
出）日本医事新報社　著）大塚吉兵衛ほか共著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

確認テストを翌日（金曜日の場合は翌月曜日）朝8時３０分までに課題を提出ことで講義に出席したとみなされます。

その他

（学習相談）講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学III（生化学）　(Basic Bioscience III)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎、松原　琢磨、Addison William						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	生体の構成要素 生体の構成要素および主要な成分として水、糖質、脂質、タンパク質について学ぶ。 【事前学習課題】水、糖質、脂質、タンパク質	講義 確認テスト	古株	遠隔授業
2	細胞と細胞内小器官および酵素 代謝の場としての細胞と細胞内小器官および酵素の役割、代謝と代謝調節について学ぶ。 【事前学習課題】細胞内小器官、酵素、代謝調節	講義 確認テスト	松原	遠隔授業
3	消化と吸収、糖質代謝その１ 消化と吸収、糖、脂質、タンパク質の消化酵素とそれぞれの分泌器官について学ぶ。 糖質代謝のうち解糖系について学ぶ。 【事前学習課題】消化、吸収、解糖系	講義 確認テスト	松原	遠隔授業
4	糖質代謝その２、脂質代謝 糖質代謝のうちTCA回路、電子伝達系について学ぶ。 脂肪酸とステロイドの代謝について学ぶ。 【事前学習課題】TCA回路、電子伝達系、脂肪酸、ステロイド	講義 確認テスト	松原	遠隔授業
5	タンパク質とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸の分解について学ぶ。 【事前学習課題】タンパク質、アミノ酸、分解	講義 確認テスト	松原	遠隔授業
6	遺伝子とDNA複製・修復 核酸の構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、および遺伝子の複製・修復について学ぶ。 【事前学習課題】核酸構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、遺伝子	講義 確認テスト	松原	遠隔授業
7	転写、翻訳、修飾 遺伝発現のしくみ、転写調節機構、タンパク質合成の機序について学ぶ。 【事前学習課題】転写、翻訳	講義 確認テスト	松原	遠隔授業
8	遺伝子工学の概要 遺伝子工学の進歩を通して、形質転換、トリプレットコドン、制限酵素、PCR法について学ぶ。 【事前学習課題】形質転換、トリプレットコドン、制限酵素、PCR法	講義 確認テスト	古株	遠隔授業
9	免疫の遺伝子 抗体遺伝子、T細胞受容体遺伝子とその発現、およびMHCクラスⅠ、Ⅱ遺伝子とその遺伝子産物について学ぶ。 【事前学習課題】抗体遺伝子、T細胞受容体遺伝子、MHC	講義 確認テスト	古株	遠隔授業
10	結合組織 コラーゲンの構造と合成過程、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸について学ぶ。 【事前学習課題】コラーゲン、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸	講義 確認テスト	古株	遠隔授業
11	歯の無機成分と有機成分 ハイドロキシアパタイトの組成と有機成分の特徴について学ぶ。 【事前学習課題】ハイドロキシアパタイト、カルシウム、リン	講義 確認テスト	古株	遠隔授業
12	石灰化のしくみ 押し上げ説、エピタキシー説、基質小胞説について学ぶ。 【事前学習課題】押し上げ説、エピタキシー説、基質小胞説	講義 確認テスト 使用言語：英語	Addison WN	遠隔授業
13	唾液の生化学 唾液の成分、抗菌因子について学ぶ。 【事前学習課題】アミラーゼ。ムチン、リゾチーム	講義 確認テスト	古株	遠隔授業
14	細胞情報伝達系 受容体を介するホルモン、成長因子およびサイトカインによる細胞間の情報伝達機構について学ぶ。 【事前学習課題】ホルモン、サイトカイン、神経伝達物質	講義 確認テスト	古株	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学III（生化学）　(Basic Bioscience III)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎、松原　琢磨、Addison William						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
15	がんの生化学、細胞周期、アポトーシス 細胞周期の制御機構、癌遺伝子と癌抑制遺伝子および発癌の制御機構について学ぶ。 【事前学習課題】がん、細胞周期、アポトーシス	講義 確認テスト	古株	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学実習Ⅰ　(Introductory Laboratory Course in the Life Sciences Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、福泉　隆喜、園木　一男、辻澤　利行						

授業の概要

本実習では、血液型判定、カリエスリスクテストなど、各種の臨床検査法とその反応機序を学ぶ。具体的には、凝集反応によるABO式及びRh式血液型判定、デンタルプラークの培養による齲蝕活動性試験、pH指示薬を用いた唾液緩衝能試験を行う。本実習を通じて、基礎生命科学実験に関する基本的手技の習得、免疫反応の基本的原理の理解、歯学部１年生の段階での自らの口腔感染症のリスクの認識を深める。また、実習結果をレポートにまとめ、考察することにより、科学的文章の組み立て方を習得する。後半の「心臓を調べてみよう。」「肺機能を調べてみよう。」は、心電図とスパイロメーターを使った測定実習を通して、心臓と肺の構造や働きを理解する。また、脈拍と血圧の測定方法やモニタリングについて理解する。なお、本実習は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働生理　m. 人体の組織及び機能」に対応している。

学生の到達目標

①凝集反応の原理と血液型判定の意義を理解する。
②デンタルプラークの組成とカリエスリスクテストの意義を理解する。
③唾液の基本的な性質を理解する。
④実験の目的と原理を理解し、問題点を論理的に整理し、自ら解決法を導くことができる。
⑤実習結果を科学的文章や図表として表現することができる。
⑥心電図やスパイログラフィーをとり、とった波形の意義を説明できる。
⑦脈拍と血圧の測定ができる。
⑧モニタリングについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

基礎生命科学実習Ⅰ実習書
出）（オリエンテーション時に配布）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習レポート	100%

・遅刻は10点減点とする。

その他

（学習相談）月～金曜日、随時受け付ける。原則として、時間予約を電話、メールにて行うこと。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学実習Ⅰ　(Introductory Laboratory Course in the Life Sciences Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、福泉　隆喜、園木　一男、辻澤　利行						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	オリエンテーション（実習書の配布、指導員紹介、実習全体の説明、注意事項などについて）	実習	吉野 福泉 園木	301講義室
3,4	血液型判定 　検査用抗体を用いた凝集反応によってABO式及びRh式血液型判定を行う。これにより、凝集反応の原理と血液型判定の意義を理解する。 【事前学習課題】凝集反応の原理と血液型判定の意義	実習	福泉 辻澤	51実習室
5,6	齲蝕活動性試験、唾液緩衝能試験 　デンタルプラークの培養による齲蝕活動性試験、pH指示薬を用いた唾液緩衝能試験を行う。これにより、デンタルプラークの組成とカリエスリスクテストの意義、唾液の基本的な性質を理解する。 【事前学習課題】デンタルプラークの組成とカリエスリスクテストの意義、唾液の基本的な性質	実習	福泉 辻澤	51実習室
7,8	心電図を調べてみよう。 ①心電図のとり方を学ぶ。 ②自分の心電図を調べ、心臓の構造と機能を学ぶ。 ③脈拍と血圧の測定方法を学ぶ。 ④モニタリングを学ぶ。 【事前学習課題】刺激伝導系、心電図、脈拍、血圧	実習	園木 口腔保健 学科教員	72実習室
9,10	肺機能を調べてみよう。 ①スパイログラフィーのとり方を学ぶ。 ②自分の肺機能、肺年齢を知り、その意味を学ぶ。 【事前学習課題】呼吸、肺気量分画、肺機能	実習	園木 口腔保健 学科教員	72実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学実習Ⅱ　(Introductory Laboratory Course in the Life Sciences Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、引地　尚子、矢田　直美、東　泉						

授業の概要

本実習では、生物学や組織学の基本的知識と手技を学ぶ。光学顕微鏡の基本機能と光学系構成について理解したうえで、生命維持に必要な細胞の構造や機能について教授する。また、動物を解剖、肉眼観察することにより、機能を反映した各臓器の形態および位置関係を教授する。

学生の到達目標

①光学顕微鏡により標本の拡大像を作ることができる。
②全身臓器および口腔領域の組織構造と機能を説明できる。
③赤血球と白血球の構造と機能について説明できる。
④動物の消化器系、泌尿器系および生殖器系の構造と機能を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

実習書を配布する。
出）　著）

参考書

入門組織学
出）南江堂　著）牛木辰雄

歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
出）医歯薬出版　著）最新歯科衛生士教本

ビジュアル解剖生理学
出）ヌーヴェルヒロカワ　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習態度	50%
レポート	50%

その他

吉野賢一：月～金16：30～18：00
引地尚子：月～金16：30～18：00
矢田直美：月～金16：30～18：00
東　泉　：火～金16：00～17：30

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎生命科学実習Ⅱ　(Introductory Laboratory Course in the Life Sciences Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一、引地　尚子、矢田　直美、東　泉						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	オリエンテーション（実習書の配布、指導員紹介、実習全体の説明、注意事項などについて）、および顕微鏡の取り扱いについて学ぶ。	実習	吉野 矢田	301講義室 71実習室
3,4	組織学実習1（口腔領域） 舌、顎舌腺、歯、マウスの歯胚の組織標本を観察し、口腔領域の組織構造と機能を学ぶ。 【事前学習課題】「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」p10-18、 p136-146、p260-263	実習	引地 矢田	遠隔授業
5,6	組織学実習2（全身臓器） 消化管、肝、膵、腎、肺の組織標本を観察し、各臓器の組織構造と機能を学ぶ。 【事前学習課題】「解剖学・組織発生学・生理学」で、消化管、肝、膵、腎、肺の位置と機能の確認をすること。	実習	引地 矢田	遠隔授業
7,8	血球の観察 血液を用いた試料作成法、赤血球と白血球の構造について学ぶ。 【事前学習課題】赤血球、好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球の構造と機能の確認をすること。	実習	吉野 引地 矢田	72実習室
9,10	マウス解剖 消化器系、泌尿器系および生殖器系の肉眼解剖学的知識を習得する。 【事前学習課題】消化管、泌尿器、生殖器の位置と機能の確認をすること。	実習	吉野 引地 矢田	72実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学Ⅰ（口腔解剖）　(Principles of the Mastication and Swallowing Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	片岡　真司						
担当教員	片岡　真司						

授業の概要

基礎摂食嚥下学Ⅰでは口腔解剖学、歯の解剖学を中心に授業を進める。頭頸部の骨、筋、血管、神経などの構造や、歯と歯周組織なども含めた口腔の構造について学習させ、歯科医療に必要な解剖学的な知識を習得させることを目的とする。

学生の到達目標

①消化器としての口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造について説明できる。
②咀嚼・嚥下に関与する顎関節および筋の構造について説明できる。
③頭頸部の血管やリンパ系について説明できる。
④脳神経、特に三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経について説明できる。
⑤歯の形態、歯種・歯式、咬合について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監修

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験（講義1～8までの内容）および定期試験（講義10～15までの内容）の合計点	100%

中間試験と定期試験の点数の平均が60点未満の者に対しては、再試験を行う。

その他

質問については随時、メールなどで受付けをおこなう。
学習項目が多いので復習をしっかりと行ってください。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学Ⅰ（口腔解剖）　(Principles of the Mastication and Swallowing Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	片岡　真司						
担当教員	片岡　真司						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔解剖学総論 口腔およびその周囲の局所解剖についてその概要を学ぶ。 【事前学習課題】口腔 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p10－18	講義	片岡	講義室
2	口腔を構成する骨 口腔を構成する骨とその特徴、役割、および経年的変化について学ぶ。 【事前学習課題】頭蓋骨 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p18－34	講義	片岡	遠隔授業
3	頭頸部の筋1 表情筋と咀嚼筋について学ぶ。 【事前学習課題】頭頸部の筋 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p34－42	講義	片岡	遠隔授業
4	頭頸部の筋2、顎関節 舌骨上筋群、舌骨下筋群ならびに顎関節について学ぶ。 【事前学習課題】顎関節 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p42－45	講義	片岡	遠隔授業
5	口腔付近の脈管系 頭頸部の動脈、静脈、リンパ系について学ぶ。 【事前学習課題】頭頸部の脈管 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p45－56	講義	片岡	遠隔授業
6	頭頸部の神経1 頭頸部に関わる脳神経、特に三叉神経と顔面神経について学ぶ。 【事前学習課題】頭頸部の神経 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p57－62	講義	片岡	遠隔授業
7	頭頸部の神経2 舌咽神経、迷走神経、舌下神経、頭頸部に関わる脊髄神経、ならびに自律神経について学ぶ。 【事前学習課題】頭頸部の神経 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p62－67	講義	片岡	遠隔授業
8	嚥下に関わる構造 嚥下に関わる神経や筋とそれぞれの機能について学ぶ。 【事前学習課題】軟口蓋、咽頭、喉頭の筋群 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p109－112	講義	片岡	講義室
9	中間試験 講義1～8までの学習内容の確認試験。 【事前学習課題】講義1～8までの配布資料。教科書の該当範囲	講義	片岡	講義室
10	歯牙解剖学総論 歯の表記法、歯種、萌出順、解剖学的名称について学ぶ。 【事前学習課題】歯の形態 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p148－157	講義	片岡	遠隔授業
11	永久歯1 上・下顎切歯と犬歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。 【事前学習課題】上・下顎切歯と犬歯 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p157－165	講義	片岡	遠隔授業
12	永久歯2 上・下顎小臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。 【事前学習課題】上・下顎小臼歯 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p165－173	講義	片岡	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学Ⅰ（口腔解剖）　(Principles of the Mastication and Swallowing Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	片岡　真司						
担当教員	片岡　真司						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	永久歯3 上・下顎大臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。 【事前学習課題】上・下顎大臼歯 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p173－180	講義	片岡	遠隔授業
14	乳歯 乳歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。 【事前学習課題】乳歯 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p180－198	講義	片岡	遠隔授業
15	歯列と咬合 特色のある歯の形態、歯列や咬合の特徴や分類を学ぶ。 歯の模型を用いて立体的な構造を学ぶ。 【事前学習課題】歯列や咬合 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学：p198－207	講義	片岡	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学Ⅱ（口腔組織）　(Principles of the Mastication and Swallowing Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野　孝						
担当教員	豊野　孝						

授業の概要

組織学の一分野である口腔組織学は、消化管の入り口である口腔の構成諸器官、すなわち口唇、頬、口蓋、唾液腺、舌、歯ならびに歯周組織の組織構造について研究する学問である。さらに顔面や口腔諸器官の正常の発生過程について、微細構造や分子生物学と関連させて理解を深め、臨床歯科学において重要である先天異常をはじめとした様々な疾患についての基礎的知識を得させることを目的とする。

学生の到達目標

①人体の発生の受精から胎児期までを説明できる。
②顔面および口蓋の発生を説明できる。
③舌および唾液腺の発生を説明できる。
④歯の発生の蕾状期から帽状期を説明できる。
⑤歯の発生の鐘状期から硬組織形成初期を説明できる。
⑥エナメル質の組織構造と機能を説明できる。
⑦象牙質の組織構造と機能を説明できる。
⑧歯髄の組織構造と機能を説明できる。
⑨セメント質の組織構造と機能を説明できる。
⑩歯根膜および歯槽骨の組織構造と機能を説明できる。
⑪歯肉の組織構造と機能を説明できる。
⑫口腔粘膜の組織構造と機能を説明できる。
⑬舌の組織構造と機能を説明できる。
⑭唾液腺の組織構造と機能を説明できる。
⑮乳歯の脱落と歯の萌出機構を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
出）医歯薬出版　著）最新歯科衛生士教本

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問およびメールでの質問は、随時受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学Ⅱ（口腔組織）　(Principles of the Mastication and Swallowing Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野　孝						
担当教員	豊野　孝						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	人体の発生 　受精から胎児期における発生過程の微細構造について学習する。 【事前学習課題】受精、着床、外胚葉、中胚葉、内胚葉	講義	豊野	遠隔講義
2	顔面と口腔の発生-1 　顔面・顎・口蓋の発生過程の微細構造について学習する。 【事前学習課題】内側鼻突起、上顎突起、口蓋突起、口唇裂、口蓋裂 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p2-5	講義	豊野	遠隔講義
3	顔面と口腔の発生-2 　舌・唾液腺の発生過程の微細構造について学習する。 【事前学習課題】鰓弓、分界溝、舌盲孔、甲状腺、大唾液腺 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p6-9	講義	豊野	遠隔講義
4	歯の発生-1 　歯胚の蕾状期、帽状期の微細構造について学習する。 【事前学習課題】歯堤、歯胚、エナメル器、歯乳頭、歯小のう 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p208-210	講義	豊野	遠隔講義
5	歯の発生-2 　歯胚の鐘状期から硬組織形成初期の微細構造について学習する。 【事前学習課題】エナメル芽細胞、象牙芽細胞、ヘルトウィッヒの上皮鞘、マラッセの上皮遺残 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p210-213	講義	豊野	遠隔講義
6	歯の構造（エナメル質） 　エナメル質の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】横紋、レチウス条、周波条、エナメル紡錘、エナメル叢 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p218-225	講義	豊野	遠隔講義
7	歯の構造（象牙質） 　象牙質の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】象牙細管、象牙前質、球間象牙質、トームス顆粒層、修復象牙質 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p225-230	講義	豊野	遠隔講義
8	歯の構造（歯髄） 　歯髄の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】象牙芽細胞層、細胞希薄層(ワイル層)、細胞稠密層 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p231-235	講義	豊野	遠隔講義
9	歯周組織（セメント質） 　セメント質の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】無細胞セメント質、有細胞セメント質、セメント細胞、セメント芽細胞、セメント小舌 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p236-239	講義	豊野	遠隔講義
10	歯周組織（歯根膜、歯槽骨） 　歯根膜および歯槽骨の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】脈管神経隙、マラッセの上皮遺残、固有歯槽骨、支持歯槽骨、シャーピー線維 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p240-245	講義	豊野	遠隔講義
11	歯周組織（歯肉） 　歯肉の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】遊離歯肉、付着歯肉、スティップリング、歯肉溝上皮、付着上皮 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p246-248	講義	豊野	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学Ⅱ（口腔組織）　(Principles of the Mastication and Swallowing Ⅱ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野　孝						
担当教員	豊野　孝						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	口腔粘膜 　口腔粘膜の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】咀嚼粘膜、被覆粘膜、特殊粘膜、硬口蓋、軟口蓋 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p14, p250-251	講義	豊野	遠隔講義
13	舌 　舌の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】糸状乳頭、茸状乳頭、葉状乳頭、有郭乳頭、味蕾 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p14-18	講義	豊野	遠隔講義
14	唾液腺 　唾液腺の微細構造と機能について学習する。 【事前学習課題】大唾液腺、小唾液腺、終末部、導管、エブネル腺 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p136-138	講義	豊野	遠隔講義
15	歯の萌出と脱落 　乳歯の脱落と歯の萌出機構について学習する。 【事前学習課題】退縮エナメル上皮、破歯細胞、代生歯、加生歯 「歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」：p213-217	講義	豊野	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学III（口腔生理）　(Principles of the Mastication and Swallowing III)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

授業の概要

摂食・嚥下障害は患者のQOLを著しく低下させ、また低栄養、脱水、誤嚥性肺炎、窒息などを引き起こして生命を脅かす。口腔領域の疾病の予防や治療に携わる歯科衛生士にとって、摂食・嚥下障害の病態を正確に把握し、その機能を評価することが必要である。そのためには口腔生理学の知識は欠かせない。本講義では、体温、消化吸収および口腔生理学を中心に学ぶ。

学生の到達目標

①口腔の感覚と運動について説明できる。
②味覚について説明できる。
③唾液と唾液腺について説明できる。
④摂食・咀嚼・嚥下の神経筋機構について説明できる。
⑤胃液・胆汁・膵液について説明できる。
⑥腸の運動について説明できる。
⑦代謝と老廃物について説明できる。
⑧摂食に伴う体温上昇を含む体温調節機構について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

よくわかる摂食・嚥下のメカニズム（第2版）
出）医歯薬出版　著）山田好秋

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

吉野賢一：月～金（16:30-18:00）

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学III（口腔生理）　(Principles of the Mastication and Swallowing III)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	体温① 核心温度、体温測定、体温変動について学ぶ。 【事前学習課題】核心温度、体温測定、体温変動	講義	吉野	遠隔授業
2	体温② 熱産生・放散、体温調節中枢、体温異常について学ぶ。 【事前学習課題】熱産生・放散、体温調節中枢、体温異常	講義	吉野	遠隔授業
3	歯と歯周組織 歯の硬組織および軟組織、歯周組織の機能について学ぶ。 【事前学習課題】歯髄、歯根膜	講義	吉野	遠隔授業
4	咬合、下顎運動、顎反射 咬合、下顎運動、顎反射について学ぶ。 【事前学習課題】咀嚼筋、下顎張反射、歯根膜閉口筋反射、開口反射	講義	吉野	遠隔授業
5	舌の感覚と運動 舌の感覚と運動について学ぶ。 【事前学習課題】体性感覚、味覚、内・外舌筋	講義	吉野	遠隔授業
6	唾液 唾液の機能について学ぶ。 【事前学習課題】唾液	講義	吉野	遠隔授業
7	咀嚼 咀嚼能力、咀嚼運動、咀嚼調節について学ぶ。 【事前学習課題】咀嚼能力、咀嚼運動、咀嚼調節	講義	吉野	遠隔授業
8	吸啜 吸啜について学ぶ。 【事前学習課題】吸啜運動、哺乳反射、原始反射	講義	吉野	遠隔授業
9	嚥下 嚥下について学ぶ。 【事前学習課題】延髄、口腔期、咽頭期、食道期	講義	吉野	遠隔授業
10	消化吸収① 胃、小腸の働きについて学ぶ。 【事前学習課題】胃、小腸	講義	吉野	遠隔授業
11	消化吸収② 肝臓・胆嚢（胆汁）、膵臓（膵液）、十二指腸、大腸の働きについて学ぶ。 【事前学習課題】肝臓・胆嚢（胆汁）、膵臓（膵液）、十二指腸、大腸	講義	吉野	遠隔授業
12	言語 言語野、発話・構音について学ぶ。 【事前学習課題】言語野、発話、発声、構音	講義	吉野	遠隔授業
13	摂食と脳機能① 認知期における脳・神経制御機構について学ぶ。 【事前学習課題】大脳皮質の構造と機能	講義	吉野	遠隔授業
14	摂食と脳機能② 認知期における脳・神経制御機構について学ぶ。 【事前学習課題】大脳皮質の構造と機能	講義	吉野	遠隔授業
15	授業の総括および確認テスト 【事前学習課題】1～14回の復習	講義	吉野	613講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学実習　(Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太、吉野　賢一、片岡　真司、中富　満城、引地　尚子、矢田　直美、園木　一男						

授業の概要

4系統、9課題からなる実習を行う。微生物学系（Ⅰ．微生物学に関わる実習手技、Ⅱ. スタンダードプリコーションに関する基礎実習の2課題）、口腔解剖学系（Ⅰ．歯のスケッチ、Ⅱ．歯型彫刻、Ⅲ．骨学実習、Ⅳ．人体解剖見学実習、Ⅴ．口腔観察と歯列模型の分析の4課題）、口腔病理学系（Ⅰ. 代表的な口腔疾患の鏡検実習、Ⅱ. 口腔粘膜の細胞診実習の2課題）、口腔生理学系（Ⅰ．味覚修飾物質に関する実習）を行う。以上の実習を行うことによって、今まで講義で学んだ摂食嚥下に関する知識を実践的なものにしていく。

学生の到達目標

微生物学系　①細菌と真菌の培養法と形態を説明できる。
②口腔細菌の形態と病原性を説明できる。
③微生物学実験に必要な無菌操作について説明できる。
口腔解剖学系　①頭頸部、口腔内の構造を解剖学的に説明できる。
②歯、歯列の構造を解剖学的に説明できる。
③全身骨格および臓器の構造を解剖学的に説明できる。
口腔病理学系　①代表的な口腔疾患を病理学的に説明できる。
②口腔細胞診を通じて、口腔粘膜の上皮構造と口腔疾患とのつながりを説明できる。
口腔生理学系　①味覚について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

参考書

新・歯科衛生士教育マニュアル　Microbiology 微生物学
出）クインテッセンス出版　著）上西秀則、井上博雅、山中武志　編集

最新歯科衛生士教本「病理学・口腔病理学」
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

最新歯科衛生士教本「解剖学・組織発生学・生理学」
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

ビジュアル解剖生理学
出）Nouvelle Hirokawa　著）藤田守、土肥良秋　編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
提出物	100%

レポート等の提出物について全ての課題提出を合格条件とする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学実習　(Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太、吉野　賢一、片岡　真司、中富　満城、引地　尚子、矢田　直美、園木　一男						

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学実習　(Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太、吉野　賢一、片岡　真司、中富　満城、引地　尚子、矢田　直美、園木　一男						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	オリエンテーション 微生物学系 Ⅰ．実習書配布ならびに実習概要説明	実習	担当教員 有吉 吉岡 山﨑	遠隔授業
3,4	微生物学系 Ⅱ．微生物学に関わる実習手技 Ⅲ．スタンダードプリコーションに関する基礎実習 【事前学習課題】 グラム染色、実習書記載の予習項目	実習	有吉 吉岡 山﨑	コンピューター演習室
5,6	口腔解剖学系 Ⅰ．歯のスケッチ 上顎の中切歯、第一小臼歯、第一大臼歯、下顎の第一大臼歯の歯型モデルをスケッチすることで歯の形態学的特徴を学ぶ。 【事前学習課題】 「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」ｐ157-180、254-255	実習	中富 片岡	51実習室
7,8	口腔解剖学系 Ⅱ．歯型彫刻 歯型モデルを参考に上顎中切歯を削り出すことで歯の三次元的構造を学ぶ。 【事前学習課題】 「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」ｐ157-180、255-257	実習	中富 片岡	51実習室
9,10	口腔解剖学系 Ⅲ．骨学実習 骨標本を観察して頭頸部を中心に、全身の骨の構造を学ぶ。 【事前学習課題】 「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」ｐ18-34	実習	中富 片岡 園木	解剖実習室
11,12	口腔解剖学系 Ⅳ．人体解剖見学実習 歯学科学生が解剖した御献体を観察して人体の構造を学ぶ。 【事前学習課題】 「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」ｐ10-18、34-67	実習	中富 片岡 園木	解剖実習室
13,14	口腔解剖学系 Ⅴ．口腔観察と歯列模型の分析 自分の口腔内の観察および歯列模型の分析を行うことで口腔の構造を学ぶ。 【事前学習課題】 「口腔解剖学・口腔発生学・口腔生理学」ｐ10-18、201-206	実習	中富 片岡	51実習室
15,16	口腔病理学系 Ⅰ．代表的な口腔疾患の鏡検実習 う蝕、歯髄炎、エプーリス、歯根嚢胞の病理組織像について学ぶ。 【事前学習課題】 「病理学・口腔病理学」ｐ88-96、105-121	実習	矢田 引地	71実習室
17,18	口腔病理学系 Ⅱ．口腔粘膜の細胞診実習 口腔扁平上皮癌、白板症の病理組織像について学ぶ。口腔粘膜の細胞採取法、染色法、細胞像と細胞診に関連した疾患について学ぶ。 【事前学習課題】 「病理学・口腔病理学」ｐ146-151	実習	矢田 引地	71実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎摂食嚥下学実習　(Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	有吉　渉、吉岡　香絵、山﨑　亮太、吉野　賢一、片岡　真司、中富　満城、引地　尚子、矢田　直美、園木　一男						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
19,20	B班　口腔生理学系 Ⅰ．味覚の機序について学ぶ。 味覚修飾物質が味覚に及ぼす変化を評価し、味覚の機序について学ぶ。 【事前学習課題】 五基本味および味覚の神経支配	実習	吉野	71実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科材料学　(Dental Materials)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水　博史						
担当教員	清水　博史、永松　有紀						

授業の概要

歯科医療従事者は日常の臨床で使用する各歯科材料について、諸性質や標準的取扱い法、注意事項などを理解する必要がある。また、歯科材料を用いた診療補助において、適切な準備・操作に加えて、的確なタイミングも要求される。歯科衛生士に必要である各種歯科材料の材料学的知識を得て深めることで、臨床における材料の適切な保管・取扱い法の習得に繋げることを目的とする。

学生の到達目標

①有機材料、無機材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。
②生体材料の機械的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
③印象材の種類と特性および取扱い法を説明できる。
④模型材の種類と特性および取扱い法を説明できる。
⑤合着材・接着材の種類と特性および取扱い法を説明できる。
⑥歯冠修復用材料の種類と特性および取扱い法を説明できる。
⑦その他の歯科材料の種類と特性および取扱い法を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科材料
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

参考書

スタンダード歯科理工学　第7版
出）学建書院　著）中嶌 裕他編

新歯科理工学
出）医歯薬出版　著）宮坂　平他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
小テスト	10%
レポート	10%

定期試験は、記述式および選択式の問題を組合せた形式とする。各項目の到達度を評価するために、事前配付した演習問題の類問を中心に小試験を複数回実施する。出席確認として課すレポートの評価も行う。
※60点未満の者に対して、再試験を行う。

その他

清水：オフィスアワー　月、水～金12:00～13:00
永松：オフィスアワー　月・水・木・金12:00～13:00、16：30～18：00

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科材料学　(Dental Materials)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水　博史						
担当教員	清水　博史、永松　有紀						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	序論 歯科材料の種類とその用途、諸性質を学ぶ。 【事前学習課題】有機材料、無機材料、金属材料、複合材料	講義 スライド 資料配布	清水 永松	遠隔授業
2	歯科材料の基礎的性質 歯科材料の基礎的性質、用途に応じた所要性質を学ぶ。 【事前学習課題】機械的性質、物理的性質、化学的性質、生体安全性	講義 スライド 資料配布	永松	遠隔授業
3	印象材① 歯科で使われる弾性印象材の種類、成分とその用途、性質を学ぶ。 【事前学習課題】アルジネート印象材、寒天印象材、縮合型シリコーンゴム印象材、付加型シリコーンゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材	講義 スライド 資料配布 小テスト	永松	遠隔授業
4	印象材② 歯科で使われる非弾性印象材の種類、成分とその用途、性質を学ぶ。 【事前学習課題】酸化亜鉛ユージノール印象材、モデリングコンパウンド、印象用石膏、機能印象材	講義 スライド 資料配布	永松	遠隔授業
5	模型材 主に石膏の成分、性質、用途などを学ぶ。 【事前学習課題】普通石膏、硬質石膏、水和反応、硬化時間、硬化膨張	講義 スライド 資料配布 小テスト	永松	遠隔授業
6	合着材・接着材 合着材・接着材の種類とその成分、性質、その接着機構などを学ぶ。 【事前学習課題】グラスアイオノマーセメント、レジンセメント、接着前処理	講義 スライド 資料配布 小テスト	永松	遠隔授業
7	歯冠修復材 成形修復材およびその他歯冠修復材の種類と用途、その特徴などを学ぶ。 【事前学習課題】コンポジットレジン、グラスアイオノマーセメント、金属、歯科用陶材、ニューセラミックス	講義 スライド 資料配布	永松	遠隔授業
8	仮封材・その他の材料（裏層材、ワックス） これらの種類と用途、その性質などを学ぶ。 【事前学習課題】仮封材、裏層材、ワックス、小窩裂溝填塞材、CAD/CAM	講義 スライド 資料配布 小テスト	永松	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科材料学実習　(Practice for Dental Materials)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水　博史						
担当教員	清水　博史、永松　有紀、池田　弘						

授業の概要

歯科医療従事者は日常の臨床で使用する各歯科材料について、諸性質や標準的取扱い法、注意事項などを理解する必要がある。また、歯科材料を用いた診療補助において、適切な準備・操作に加えて、的確なタイミングも要求される。歯科衛生士にとって使用頻度が高い歯科材料について、実際に使用しながら、それらの適切な取扱い（保管・練和・後始末等）方法を体得することを目的とする。

学生の到達目標

①印象材の適切な取扱いができる。
②石膏の適切な取扱いができる。
③合着用セメントの適切な取扱いができる。
④コンポジットレジンの適切な取扱いができる。
⑤仮封材の適切な取扱いができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科材料
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

参考書

スタンダード歯科理工学　第7版
出）学健書院　著）中嶌 裕他編

新歯科理工学
出）医歯薬出版　著）宮坂 平他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート（レポート内容）	60%
実習態度・操作	30%
確認テスト	10%

レポート提出の遅れはレポート点から30点減点、遅刻は実習点から10点減点とする。欠席、レポートの未提出は不合格とする。全実習内容について、最終日の実習終了後に確認テストを行う。
※60点未満の者に対して、再試験を行う。

その他

清水：オフィスアワー　月、水～金12:00～13:00
永松：オフィスアワー　月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00
池田：オフィスアワー　月～金12:00～13:00、16:30～18:00

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科材料学実習　(Practice for Dental Materials)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水　博史						
担当教員	清水　博史、永松　有紀、池田　弘						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 　実習書配布、実習概要の説明、歯科材料についての復習を行う。 【事前学習課題】歯科材料の分類	講義 資料配布	全員	技工室 石膏室
2	アルジネート印象材 　適切な練和法を体得後、混水比、練和水温が変動した場合の硬化時間等への影響を学ぶ。 【事前学習課題】計量誤差、硬化機構、練和条件、硬化特性	実習	全員	技工室 石膏室
3,4	歯科用石膏 　適切な練和法を体得後、混水比、練和水温が変動した場合の硬化時間等への影響を学ぶ。 【事前学習課題】硬化機構、練和条件、硬化特性	実習	全員	遠隔授業
5,6	合着用セメント 　リン酸亜鉛セメントおよびグラスアイオノマーセメントの適切な練和法を体得後、粉液比が変動した場合の粘稠度等への影響を学ぶ。 【事前学習課題】硬化機構、使用器材、練和条件、コンシステンシー	実習	全員	技工室 石膏室
7	コンポジットレジン 　化学重合型と光重合型の操作の違いを学ぶ。 【事前学習課題】重合様式、化学重合、光重合	実習	全員	技工室 石膏室
8	仮封材 　酸化亜鉛ユージノールセメントの適切な練和法を体得後、水が混入した場合の硬化時間への影響を学ぶ。 【事前学習課題】練和条件、硬化特性 確認テスト 　全実習内容についての理解度を確認し、不十分な部分については復習し、実習後の自己学修で学ぶ。 【事前学習課題】印象材、模型材、合着材、成形修復材、仮封材	実習 確認テスト（全実習内容）	全員	技工室 石膏室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学Ⅰ　(Oral Health Promotion Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業の概要

口腔健康増進学は医学モデルにおいて中心的概念であり、社会モデルにおいては生活機能の周辺概念である「健康」の維持増進と破綻の予防について口腔保健を通じて理解することを目的とする。口腔健康増進学１では、健康の概念を理解しながら、口腔内の付着物とその除去方法の理論と実際、歯科領域の２大疾患の１つであるう蝕の病態と予防方法、また、う蝕予防として最も汎用されている薬剤であるフッ化物について、これらの基礎から応用までを理解する。

学生の到達目標

①口腔衛生の意義が説明できる。
②口腔と健康について説明できる。
③歯と口の発育と歯科疾患等に伴う変化について説明できる。
④歯と口腔環境について説明できる。
⑤歯・口腔の不潔について説明できる。
⑥口腔清掃の意義と方法について説明できる。
⑦口腔清掃用具について説明できる。
⑧歯磨剤・洗口剤について説明できる。
⑨ブラッシングの方法について説明できる。
⑩う蝕の病因論、診断方法、疫学について説明できる。
⑪う蝕の予防方法について説明できる。
⑫フッ化物の基礎と応用について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学
出）医歯薬出版　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	40%
定期試験	50%
事後レポート	10%

・確認テスト、定期試験の合計を100点満点とする。
・確認テスト、定期試験の合計点数（100点満点）に対し、欠席による減点（１回につき３点）を行う。

その他

（学習相談）
・秋房住郎：月～金7:00～9:00・16:30～17:30

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学Ⅰ　(Oral Health Promotion Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	講義概要と講義計画 　各回講義内容と教科書相当部分を理解する。 健康の概念について 　健康の概念について概説し、疾病の自然的経過と予防段階について理解する。 【事前学習課題】疾病の自然史、健康の定義	講義	秋房	遠隔講義
2	口腔の成り立ちとその環境（１） 歯･口腔の基本的な生理機能の概要と共に、歯･口の健康と全身の健康との関わりについて理解する。 【事前学習課題】歯の解剖、唾液の性質	講義	秋房	遠隔講義
3	口腔の成り立ちとその環境（２） 　歯･口腔の構造、発生･成長、機能の概要を理解する。 【事前学習課題】歯の発生、歯の萌出時期、嚥下	講義	秋房	遠隔講義
4	口腔の健康と疾病予防 　歯･口腔の付着物・沈着物を疾患との関連において理解するとともに、プラークの細菌学的特徴ついて理解する。 【事前学習課題】縁上プラーク、縁下プラーク、バイオフィルム、歯石	講義	秋房	遠隔講義
5	口腔清掃（１） 　口腔清掃の意義と各口腔清掃方法の種類と理論について理解する。また、不適切な清掃方法の為害性についても概説する。 【事前学習課題】スクラビング法、バス法、スティルマン法、チャーターズ法	講義	秋房	遠隔講義
6	口腔清掃（２） 　歯磨剤・洗口剤の種類、組成、特に薬用成分について成分ごとの作用機序を含めて理解する。また、薬事法上の位置づけについても理解する。 【事前学習課題】歯磨剤の基本成分、医薬部外品	講義	秋房	遠隔講義
7	う蝕の症状、分類、疫学 　う蝕の疫学的な特徴、臨床的分類について概説する。また、う蝕の疫学指標を理解する。 【事前学習課題】歯科疾患実態調査、う蝕の罹患率・有病率	講義	秋房	遠隔講義
8	う蝕の発症機序 　う蝕発症に関わる細菌学的・社会学的要因を理解するとともに、う蝕の発症機序を分子生物学的に説明する。 【事前学習課題】う蝕原性細菌（Streptococcus mutans、乳酸菌）	講義	秋房	遠隔講義
9	う蝕の活動性と発症リスク 　う蝕活動性試験の種類と理論を理解し、う蝕リスク検査への応用の理論と実際を概説する。 【事前学習課題】う蝕リスク検査	講義	秋房	遠隔講義
10	う蝕予防方法の実際と術式 　う蝕予防における1～3次予防の理論と実例を理解し、それぞれの予防段階における予防術式の理論を概説する。 【事前学習課題】フッ化物、シーラント、疾病の自然史	講義	秋房	遠隔講義
11	バイオフィルムと感染症 　口腔内細菌が構成するバイオフィルムの細菌学的・分子生物学的特徴について概説し、口腔内の感染症におけるバイオフィルムの病原性について理解する。 【事前学習課題】バイオフィルム、菌体外多糖	試験	秋房	遠隔講義
12	確認テスト 　1～11回の講義内容について理解度を確認するため試験を行う。	講義	秋房	講義室
13	フッ化物のフッ化物の基礎知識とう蝕予防機序 　フッ化物の化学的な特徴と取り込まれた際の代謝機序、および毒性について概要を理解する。 【事前学習課題】フッ素、自然界のフッ化物	講義	秋房	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学Ⅰ　(Oral Health Promotion Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	フッ化物のう蝕予防機序 　フッ化物によるう蝕の予防機序について特に歯の硬組織の化学組成との関連から説明し、その効果を理解する。 【事前学習課題】フルオロアパタイト、ヒドロキシアパタイト	講義	秋房	遠隔講義
15	う蝕予防のためのフッ化物応用 　う蝕予防のためのフッ化物応用方法である局所的・全身的応用方法について、実施方法と理論について理解する。 【事前学習課題】フッ化物塗布、フッ化物洗口、上水道フッ化物添加、全身応用、局所応用	講義	秋房	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学Ⅱ　(Oral Health Promotion Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業の概要

我が国の成人の80%以上が罹患しているとされる歯周疾患の病態とその疫学、また近年注目されている口臭や口腔乾燥などの口腔内病態、及び、これら口腔の病態が全身に与える影響について理解する。また、地域保健については、ライフステージごとに展開されている保健施策に係る制度と実際について理解する。産業保健に関しては、職業性疾病とその予防に係る産業保健管理等についての知識を得る。

学生の到達目標

①歯周疾患の病因論、症状と分類、疫学が説明できる。
②歯周疾患の予防方法が説明できる。
③口臭・口腔乾燥の症状と分類、予防と処置について説明できる。
④不正咬合、顎関節症について説明できる。
⑤地域口腔保健活動の意義と制度について説明できる。
⑥地域口腔保健活動の方法と実際について説明できる。
⑦地域口腔保健における市町村と都道府県の役割について説明できる。
⑧地域口腔保健における国の施策と実際について説明できる。
⑨母子保健（歯科を含む）について説明できる。
⑩学校保健（歯科を含む）について説明できる。
⑪産業保健（歯科を含む）について説明できる。
（職業性疾病、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策、および関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、作業環境測定法、じん肺法並びにこれらに基づく命令中の関係条項）を含む）
⑫介護保険制度を含む高齢者保健（歯科を含む）について説明できる。
⑬障がい者保健（歯科を含む）について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学
出）医歯薬出版　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
事後レポート	10%

その他

（学習相談）
・秋房住郎：月～金7:00～9:00、16:30～17:30

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学Ⅱ　(Oral Health Promotion Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯周疾患の疫学 　歯周疾患の疫学的特徴と疫学的指数について理解する。 歯周疾患の症状と分類 　日本歯周病学会が示す2007年版の分類にもとづき病態ごとの症状を理解する。 【事前学習課題】歯科疾患実態調査、2007年版歯周疾患の分類	講義	秋房	遠隔講義
2	歯周疾患の発症機序と病態 　歯周疾患の発症要因やリスク因子について概説する。 歯周疾患の全身に与える影響 　歯周医学の観点から、歯周疾患と全身的疾患との関連について理解する。 【事前学習課題】歯周病原性細菌、外毒素、内毒素、サイトカイン	講義	秋房	遠隔講義
3	歯周疾患の予防手段と処置 　歯周疾患における各予防段階の具体例を示し、それぞれの処置方法の理論と実際について理解する。 【事前学習課題】疾病の自然史、スケーリング、デブライトメント	講義	秋房	遠隔講義
4	口臭、口腔乾燥、口腔粘膜疾患、不正咬合 　それぞれの口腔内疾患の疫学的特徴と発症要因について概説する。特に、口臭と口腔乾燥はその病態の分類について理解する。 【事前学習課題】口臭の原因（局所、全身）、口腔乾燥、口腔がん	講義	秋房	遠隔講義
5	母子歯科保健 　母子保健法で定められた乳幼児歯科保健の制度と様式を講義する。特に歯科健診と保健指導について理解する。 【事前学習課題】母子保健法、乳幼児歯科検診、母子歯科保健指導	講義	秋房	遠隔講義
6	①学校歯科保健 　学校における歯科保健の課題と学校保健安全法で定められた学校保健の制度と様式について理解する。 ②障がい者歯科保健 　知的、身体、精神それぞれの障害区分における歯科保健の課題と、国が示す施策について学ぶ。 【事前学習課題】学校歯科検診、学校保健の3大活動	講義	秋房	遠隔講義
7	高齢者歯科保健 　高齢者の歯科保健的課題と特に介護保険における歯科的意義や取組について理解する。 【事前学習課題】介護保険、口腔機能低下症	講義	秋房	遠隔講義
8	成人・産業保健 　成人歯科保健の課題と対応方策について概説するとともに、産業保健における歯科の位置づけについて理解する。 職業性疾病、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策についてそれぞれ歯科保健の観点から理解する。 【事前学習課題】作業環境管理、作業管理、健康管理	講義	秋房	遠隔講義
9	災害歯科保健・国際歯科保健 　災害時の歯科衛生士の役割を理解する。 　国際歯科保健の現状を理解する。 【事前学習課題】災害歯科保健の実際、国際保健機関	講義	秋房	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学実習　(Practice in Oral Health Promotion)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業の概要

口腔健康増進学１、２で学習した内容の実際について実習する。口腔内観察では学校歯科健康診断とWHO方式およびDMFを習得する。齲蝕活動試験を行い、齲蝕リスクを判定する。歯周疾患にかかる検査として、歯肉炎、歯周炎の疫学的指標であるPMA、CPIを習得し、スクリーニングテストのうち臨床的に汎用されているバナペリオとサリバスターを実習する

学生の到達目標

①学校歯科健康診断の様式に基づいて口腔内の観察ができる。
②齲蝕経験歯にかかる指数を説明できる。
③齲蝕活動性試験のうちカリオスタット、グルコースクリアランステストおよびＲＤテストを説明できる。
④歯口清掃度の指数について説明できる。
⑤ブラッシング方法を実践できる。
⑥歯周疾患の指数のうちPMAとCPIについて説明できる。
⑦口腔乾燥の検査法について説明できる。
⑧口腔の検査結果に基づいて歯科保健指導できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

口腔健康増進学実習書
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	50%
レポート	50%

その他

（学習相談）
・秋房住郎：月～金7:00～9:00、16:30～17:30

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔健康増進学実習　(Practice in Oral Health Promotion)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	総説・講義計画 　1～15回までの実習内容について説明し、各回の実習内容とこれまで学んだ講義内容との関連について理解する。また、歯科用ユニットの操作を確認する。 【事前学習課題】授業計画	実習	秋房	遠隔講義
2	口腔診査法（学校歯科健診）、DMF 　学校保健安全法で定められた歯科健康診断用の様式を用いて口腔内の診査内容を記述し、DMFを算出する。 【事前学習課題】学校歯科検診	実習 レポート①	秋房	相互実習室
3	口腔清掃法 　スクラビング法、バス法、フォーンズ法、スティルマン法、スティルマン改良法、チャーターズ法について術者磨きできるようになる。 【事前学習課題】各歯磨き方法の復習	実習 レポート②	秋房	相互実習室
4	齲蝕活動性試験 　カリオスタット、ＲＤテスト、グルコースクリアランステストを行いその実施方法を理解し、得られた結果の意味を考察する。 【事前学習課題】う蝕活動試験の復習	実習 レポート③	秋房	相互実習室
5	歯口清掃度の指数 　OHI（Oral Hygiene Index）とPCR（Plaque Chart Record）を相互に記録して、歯口清掃の指数についての理解を深める。 【事前学習課題】OHI、PCRの復習	実習 レポート④	秋房	相互実習室
6	歯肉炎、歯周疾患の指数 　歯肉炎の指標であるPMA、歯周疾患の疫学的指標であるCPIを用いて相互の口腔内を記述する。 【事前学習課題】PMA、CPI	実習 レポート⑤	秋房	相互実習室
7	口臭の評価 　口臭の官能試験を実習する。 口腔乾燥の評価 　口腔乾燥の臨床試験であるエルサリボ、口腔水分計を用いて相互の口腔内の乾燥状態を評価する。 【事前学習課題】官能試験、口臭の診断基準、口腔乾燥症の診断基準	実習 レポート⑥	秋房	遠隔講義
8	自分の口腔内の総合評価 　これまでの実習を通じて自分の口腔内を総合的に評価して歯科衛生診断を行う。 【事前学習課題】歯科衛生診断	実習 レポート⑦	秋房	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

薬理学・口腔薬理学　(Pharmacology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東　泉						
担当教員	東　泉						

授業の概要

薬理学では、薬と生体のかかわりについての基本的知識を習得するとともに薬物治療の重要性を理解する。
総論では薬理学の基本的な用語、薬の生体内運命、薬の作用の仕方、薬の効き方に影響する因子、薬の有害作用について学習する。
また、医薬品の分類や正しい保管や取り扱いについても学ぶ。
各論では、よく使用される薬を中心に薬理作用や副作用等を学び、薬物療法の基本的知識を得る。

学生の到達目標

①薬物療法の種類と薬理作用の基本様式について説明できる。
②薬物の作用機序を説明できる。
③薬物の適用方法の種類と特徴について説明できる。
④薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について説明できる。
⑤薬理作用を規定する要因を説明できる。
⑥薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）について説明できる。
⑦薬物の連用の影響（蓄積、耐性、薬物依存）について説明できる。
⑧薬物の一般的副作用、有害作用、特に口唇・口腔・顎顔面領域に出現する副作用について説明できる。
⑨医薬品の分類について説明でき、劇薬、毒薬、麻薬等の表示と保管を説明できる。
⑩日本薬局方を説明できる。
⑪薬物の配合変化や保存方法が説明できる。
⑫代表的な中枢神経作用薬の作用機序、薬理作用、適応について概説できる。
⑬代表的な末梢神経作用薬の作用機序、薬理作用、適応について説明できる。
⑭代表的な局所麻酔薬の種類、作用機序、副作用、血管収縮薬を配合する意義について説明できる。
⑮代表的な循環器系作用薬について作用機序、薬理作用、適応について概説できる。
⑯代表的な呼吸器系作用薬について作用機序、薬理作用、適応について概説できる。
⑰代表的な止血薬、抗血栓薬の種類、薬理作用、特徴について説明できる。
⑱代表的な抗炎症薬の作用機序、薬理作用、副作用について説明できる。
⑲代表的な抗感染症薬の作用機序、薬理作用、副作用について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　疾病の成り立ち及び回復過程の促進3　薬理学
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

現代歯科薬理学　第6版
出）医歯薬出版　著）大谷啓一 監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

薬理学・口腔薬理学　(Pharmacology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東　泉						
担当教員	東　泉						

その他

（学習相談）
質問時間、質問欄を設けています（詳細は授業中に説明します）。
メールでも受け付けます。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

薬理学・口腔薬理学　(Pharmacology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東　泉						
担当教員	東　泉						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	薬理学総論 目標）医薬品の分類、医薬部外品、劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬、処方箋、薬物の配合変化と適切な保存方法を理解する。 【事前学習課題】医薬品、医薬部外品、麻薬、向精神薬	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
2	薬理学総論 目標）薬物療法の種類、薬理作用の基本様式、薬物の作用機序を理解する。 【事前学習課題】テキストの該当箇所（前の時間に指示）の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
3	薬理学総論 目標）薬物の適用方法の種類と特徴、薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について理解する。 【事前学習課題】テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
4	薬理学総論 目標）薬理作用を規定する因子である薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）、連用（蓄積、耐性、薬物依存）について理解する。 【事前学習課題】耐性、薬物依存、医薬品相互作用、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
5	薬理学総論 目標）薬理作用を規定する因子であるライフステージ、遺伝的素因、プラセボ効果 等について理解する。 【事前学習課題】テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
6	薬理学総論 目標）薬物の一般的な副作用、有害作用、特に口唇・口腔・顎顔面領域に出現する副作用について理解する。 【事前学習課題】テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
7	薬理学各論 目標）自律神経系作用薬（アドレナリン作動薬、抗アドレナリン薬）の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。 【事前学習課題】自律神経、アドレナリン、ノルアドレナリン、アドレナリン受容体、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
8	薬理学各論 目標）自律神経系作用薬（コリン作動薬、抗コリン薬）、筋弛緩薬の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。 【事前学習課題】自律神経、アセチルコリン、アセチルコリン受容体、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
9	薬理学各論 目標）局所麻酔薬の薬理作用、作用機序、副作用、血管収縮薬の配合意義について理解する。 【事前学習課題】自律神経系の復習、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
10	薬理学各論 目標）主な循環器系作用薬の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。 【事前学習課題】自律神経系の復習、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
11	薬理学各論 目標）抗炎症薬（ステロイド系、非ステロイド系）、抗ヒスタミン薬の作用機序、薬理作用、副作用について理解する。 【事前学習課題】炎症、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
12	薬理学各論 目標）主な呼吸器系作用薬の薬理作用、作用機序、副作用について理解する。血液系作用薬（止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬）の特徴と薬理作用に関係する因子について理解する。 【事前学習課題】気管支喘息、虚血性疾患、貧血、血液凝固系・線溶系の因子、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

薬理学・口腔薬理学　(Pharmacology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東　泉						
担当教員	東　泉						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	薬理学各論 目標）主な中枢神経作用薬（全身麻酔薬、向精神薬、抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬）の特徴と口腔領域に出現する副作用について理解する。 【事前学習課題】統合失調症、てんかん、パーキンソン病、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
14	薬理学各論 目標）主な中枢神経作用薬（鎮痛薬、中枢興奮薬）について理解する。 【事前学習課題】痛み、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業
15	薬理学各論 目標）抗感染症薬の分類と作用機序、副作用について説明できる。消毒薬の作用機序、有効範囲について理解する。 【事前学習課題】真菌、ウイルス、消毒薬の分類、テキストの該当箇所の予習	遠隔授業、小テスト	東	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

疾病とその病態　(Pathology & Oral Pathology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田　直美						
担当教員	矢田　直美						

授業の概要

病理学は医療系の学生が疾患の概念を最初に学ぶ学問で、基礎医学の分野に属するが臨床医学に最も密接した内容を取り扱い、病気の原因、発生機序、経過および転帰など、病気の本体について学習する。この講義では病理学総論と口腔病理学を中心に講義するが、病理学総論においては可能な限り関連する臓器各論についても解説する。また、労働生理の内容（環境条件による人体の機能の変化、疲労及びその予防）は1回目の講義で解説する。

学生の到達目標

① 病因論：内因と外因を説明できる。
② 遺伝性疾患と先天異常：染色体異常と先天異常を説明できる。
③ 循環障害：全身の循環障害と局所の循環障害（循環血液量の障害、閉塞性の障害）を説明できる。
④ 細胞・組織の障害：変性、萎縮、壊死（ネクローシス）、アポトーシスを説明できる。
⑤ 増殖と修復：肥大と増生（過形成）、化生、再生、創傷の治癒と異物の処理、肉芽組織と器質化を説明できる。
⑥ 炎症：炎症の概念と徴候、炎症の原因、炎症の機序と病態、炎症の分類（急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎）を説明できる。
⑦ 免疫異常と移植：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症候群、移植免疫を説明できる。
⑧ 腫瘍：腫瘍の概念と疫学、腫瘍の原因と発生・進展の機序、腫瘍の組織学的特徴、腫瘍の分類（上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍、良性腫瘍と悪性腫瘍、前癌病変）を説明できる。
⑨ 歯の発育異常：大きさの異常、形の異常、数の異常、構造の異常、色の異常、萌出の異常を説明できる。
⑩う蝕：エナメル質う蝕、象牙質う蝕、セメント質う蝕を説明できる。
⑪ 象牙質、セメント質の増生：第二象牙質（生理的第二象牙質、病的第二象牙質〈第三象牙質〉）、象牙粒、セメント質増生とセメント粒を説明できる。
⑫ 歯髄の病変：歯髄充血、歯髄の変性、歯髄壊死、歯髄炎の分類と特徴（急性漿液性歯髄炎、急性化膿性歯髄炎、慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、上行性歯髄炎）、歯髄壊疽を説明できる。
⑬ 根尖部歯周組織の病変：根尖性歯周炎の分類と特徴（急性根尖性歯周炎、慢性根尖性歯周炎）を説明できる。
⑭ 歯周組織の病変：歯周病の分類と特徴（歯肉病変、歯周炎、壊死性歯周疾患、歯周組織の膿瘍、歯周-歯内病変、歯肉退縮、咬合性外傷）を説明できる。
⑮ 口腔創傷の治癒：口腔粘膜傷の治癒、抜歯創の治癒を説明できる。
⑯ 歯・口腔の嚢胞と腫瘍：歯原性嚢胞（歯根嚢胞、含歯性嚢胞）、非歯原性嚢胞（粘液嚢胞、術後性上顎嚢胞）、歯原性腫瘍（エナメル上皮腫、歯牙腫）、非歯原性腫瘍、唾液腺腫瘍（多形腺腫）を説明できる。
⑰ 労働生理：環境条件による人体の機能の変化、疲労及びその予防について説明できる（第1種衛生管理者資格指定科目　労働生理「環境条件による人体の機能の変化」および「疲労及びその予防」を含む）。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ちおよび回復過程の促進1 病理学・口腔病
出）医歯薬出版　　著）

参考書

イラストでわかる歯科医学の基礎 第3版
出）永末書店　　著）

病理学総論にもとづく口腔病理学第2版
出）永末書店　　著）

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

疾病とその病態　(Pathology & Oral Pathology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田　直美						
担当教員	矢田　直美						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
・定期試験のみで評価する。	100%

その他

事前学習はキーワードについて，教科書を一読しておくこと。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

疾病とその病態　(Pathology & Oral Pathology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田　直美						
担当教員	矢田　直美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	病理学序論と病因論 　疾患の多様性と共通性、疾病の経過と転帰、内因と外因について学習する。 労働生理 　環境条件のける人体の機能変化と疲労及びその予防について学習する。 【事前学習課題】内因、外因、職業性疾患	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
2	歯の発育異常 　歯の発育異常の種類、大きさ・歯数・構造(形成不全)・萌出時期・位置・咬合の異常を学習する。 歯の損傷と付着物 　歯の損傷の種類、咬耗症と摩耗症、歯の着色や変色の原因、プラークの病原性について学習する。 【事前学習課題】歯の形態異常、磨耗・咬耗、歯の着色、プラーク、歯石	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
3	遺伝性疾患と奇形・口腔領域の奇形 　遺伝子の働き、先天異常、奇形の成因、口腔領域の奇形の特に唇顎口蓋裂の成因・病態について学習する。 【事前学習課題】染色体異常、単一遺伝子異常、口唇口蓋裂	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
4	う蝕 　う蝕の疫学・発生にかかわる要因・分類・組織学的変化について学習する。 【事前学習課題】う蝕の成因、エナメル質う蝕、象牙質う蝕	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
5	炎症と免疫応答異常 　炎症とは、炎症の臨床症状・原因と機序・継時的変化・分類と各炎症の特徴、免疫応答、液性免疫と細胞性免疫の特徴、アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全症について学習する。 【事前学習課題】炎症の経過と分類、感染経路、細胞性免疫・液性免疫、アレルギー	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
6	象牙質・歯髄複合体の病態 　歯髄炎の臨床病態・原因・分類・病理組織像・退行性変化、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症について学習する。 【事前学習課題】歯髄炎の原因、分類、経過	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
7	代謝障害と退行性病変 　細胞障害による変化、変性の種類、代謝障害の種類、壊死と壊疽、壊死とアポトーシスの違いについて学習する。 【事前学習課題】糖尿病、脂質異常症、黄疸、壊死、アポトーシス	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
8	歯周組織の病態 　根尖性歯周炎の病因と分類、歯根肉芽腫と歯根嚢胞の病理組織像の違い、歯性上顎洞炎の病因、歯周炎の病因・分類、歯肉炎の病因・分類、歯肉炎と歯周炎の相違点、歯肉増殖症、咬合性外傷について学習する。 【事前学習課題】辺縁性歯周炎、根尖性歯周炎	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
9	増殖と修復 　進行性病変の種類と意義、創傷治癒や再生、進行性病変において重要な肉芽組織の構成と機能、口腔粘膜の損傷・治癒について学習する。 【事前学習課題】肥大、過形成、化生、再生	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
10	口腔粘膜の病変 　口腔粘膜の病変・真菌感染症・ウイルス感染症の種類とその特徴、白色病変の種類と病態、舌に見られる代表的な病変と原因、全身性疾患の徴候として見られる口腔粘膜病変について学習する。 【事前学習課題】口腔粘膜の特徴、ウイルス性疾患、 カンジダ症、口腔扁平苔癬	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
11	腫瘍 腫瘍の定義・原因と発生機序、がん遺伝子とがん抑制遺伝子、腫瘍の組織学的特徴(上皮・非上皮性腫瘍)、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、前がん病変について学習する。 【事前学習課題】腫瘍とは、腫瘍の原因、腫瘍の組織像	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

疾病とその病態　(Pathology & Oral Pathology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田　直美						
担当教員	矢田　直美						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	口腔の領域の嚢胞と腫瘍 　嚢胞の定義と構造、歯原性嚢胞と非歯原性嚢胞、歯原性腫瘍の定義と分類・代表的な組織像、非歯原性腫瘍、口腔領域の悪性腫瘍(癌腫・肉腫)について学習する。 口腔癌、口腔潜在的悪性疾患、白板症・紅板症、上皮性異形成、上皮内癌、扁平上皮癌について学習する。 【事前学習課題】歯根嚢胞、エナメル上皮腫、口腔潜在的悪性疾患、扁平上皮癌	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
13	循環障害 　体液の循環、虚血・うっ血・充血、浮腫、ショック、梗塞について学習する。 【事前学習課題】虚血・充血・うっ血、浮腫、出血・止血、血栓症・梗塞	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
14	唾液腺の病変 　唾液腺に発生する病変、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍の病態・症状について学習する。 【事前学習課題】唾石症、粘液嚢胞、シェーグレン症候群、唾液腺腫瘍	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業
15	顎骨の病変 　化膿性骨髄炎、慢性硬化性骨髄炎、顎放線菌症、放射線骨壊死、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死、線維性骨異形成症、顎関節の病変について学習する。 口腔組織の加齢変化 　口腔組織・歯・歯髄・歯周組織・顎骨・歯槽骨・唾液腺に生じる加齢変化、加齢変化と高齢者の口腔内にみられる所見の関連性について学習する。 【事前学習課題】骨髄炎、外傷、顎関節症、硬組織の加齢変化、軟組織の加齢変化	講義 スライド 配布資料	矢田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

社会環境医学　(Public Health)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

授業の概要

社会環境医学では、歯科衛生士教育の専門基礎分野である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」の中で公衆衛生学に該当する内容を学習する。具体的には、健康と疾病の概念、疫学の基本的な考え方、人口の動向、環境と健康、疾病の現状と予防対策、保健活動（地域保健、母子保健等）、産業保健（労働衛生、労働生理を含む）、災害時の保健医療対策、国際保健協力等について学習し、わが国の保健医療対策の現況等について理解を深める。

学生の到達目標

①健康と疾病の概念、公衆衛生の法的根拠と国の責務、予防医学の概念、疫学の概要を説明できる。
②人口静態統計、人口動態統計、健康に関連した各種指標を説明できる。
③環境の概念、空気の正常成分と異常成分、温熱環境、水質基準等について説明できる。
④放射線防護対策、地球温暖化対策、公害と健康への影響、廃棄物処理等について説明できる。
⑤感染症の成立要因と予防対策、感染症法に基づく感染症対策を説明できる。
⑥食品の安全管理対策、栄養摂取基準、国民健康・栄養調査、食中毒の疫学等を説明できる。
⑦地域保健行政、地域社会と地域保健活動を説明できる。
⑧健康づくり対策の変遷、健康日本21（第2次）及び歯科口腔保健法の概要と歯科保健目標を説明できる。
⑨母子保健の意義と母子保健対策を説明できる。
⑩学校保健の意義と学校保健活動を説明できる。
⑪成人保健対策、高齢者及び要介護者の保健福祉対策を説明できる。
⑫産業保健の概念、作業環境要素、労働災害、職業性疾病、産業保健活動の現状を説明できる。
⑬安全衛生管理体制と健康管理、健康診断と事後措置、健康の保持増進対策を説明できる。
⑭精神保健対策の現況、精神障害者医療の大要、精神障害者福祉及び社会復帰対策等を説明できる。
⑮災害時の保健医療対策、災害時歯科保健活動、世界保健機関の活動、諸外国との国際協力等を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　保健生態学
出）医歯薬出版　著）可児徳子　他著

参考書

国民衛生の動向
出）厚生労働統計協会　著）厚生労働統計協会　編

公衆衛生がみえる
出）メディックメディア　著）医療情報科学研究所　編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

社会環境医学　(Public Health)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

その他

（学習相談）口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。
・日髙勝美:月～金16:30～17:30
・遠隔授業であるため、レポート提出者を出席とする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

社会環境医学　(Public Health)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	健康と疾病の概念、公衆衛生活動の概要 　公衆衛生の概念、法的根拠と国の責務、公衆衛生の歴史と活動領域、歯科衛生士国家試験の出題内容等について学習する。 【事前学習課題】公衆衛生の法的根拠、公衆衛生活動の種類	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
2	健康の定義と予防医学の概念、疫学 　健康の定義、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、予防医学の概念および疫学の概要について学習する。 【事前学習課題】健康の定義、予防医学の概念	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
3	人口の動向、人口動態 　人口の年次推移・将来予測、人口の高齢化、人口動態統計（出生、死亡、死産、婚姻、離婚）、合計特殊出生率及び年齢調整死亡率の動向、死因別死亡率等について学習する。 【事前学習課題】国勢調査、人口動態統計、死因別死亡率	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
4	環境の概念、健康と環境① 　環境の概念、外部環境と内部環境、空気の正常成分と異常成分、温熱環境、水質基準、浄水法、下水道等について学習する。 【事前学習課題】外部環境、空気の正常成分と異常成分	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
5	環境と健康②、廃棄物処理 　非電離放射線、電離放射線、住環境、地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、公害と健康への影響。大気・水・土壌の汚染、騒音、悪臭、廃棄物処理等について学習する。 【事前学習課題】放射線の種類、地球温暖化、廃棄物処理	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
6	感染症対策 　感染成立の要因、感染症予防の基本理念、感染症対策上の問題点、輸入感染症、新興感染症・再興感染症、わが国の感染症対策と感染症の分類等について学習する。 【事前学習課題】感染症の分類、新興感染症、再興感染症	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
7	食品安全対策、食品と健康 　食品の安全管理対策（安全性対策、食品表示、食品添加物、健康食品）、栄養摂取基準、国民健康・栄養調査、食育等について学習する。また、食中毒の疫学と分類等について学習する。 【事前学習課題】健康食品、国民健康・栄養調査、食中毒	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
8	地域保健の概念および行政組織 　地域保健の概念、地域保健の行政組織（市町村、都道府県、国）、保健所・市町村保健センターの役割と設置状況、民間団体・住民組織、健康危機管理等について学習する。 【事前学習課題】地域保健法、保健所、市町村保健センター	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
9	地域保健活動、健康づくり対策 　社会保障制度及び健康づくり対策の変遷、地域歯科保健の推進と8020運動、健康日本21（第2次）及び歯科口腔保健法の概要と歯科保健目標、すこやか親子21（第2次）の概要等について学習する。 【事前学習課題】健康日本21（第2次）、歯科保健目標	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
10	母子保健対策 　母子保健の意義、市町村が実施する母子保健事業、母性保健、小児保健、母子歯科保健等について学習する。 【事前学習課題】母子保健法、3歳児健康診査、1歳6か月児健康診査、母子健康手帳	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
11	学校保健対策 　学校保健の意義と特徴、学校保健職員と役割、学校保健の3領域、学校における歯科保健問題及び歯科健康診断等について学習する。 【事前学習課題】学校保健、学校健康診断	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

社会環境医学　(Public Health)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	成人・高齢者の保健対策 　成人保健活動、生活習慣病の概念と疾患の現状、特定健康診査及び特定保健指導、健康増進法に基づく保健事業、高齢者保健、介護保険サービス等について学習する。 【事前学習課題】生活習慣病、特定健康診査、特定保健指導	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
13	産業保健対策① 　産業保健の概念、職業性疾病、作業環境管理、作業管理、安全衛生管理体制と健康管理、健康診断と事後措置、健康の保持増進対策等について学習する。 【事前学習課題】職業性疾病、労働衛生の3管理	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
14	産業保健対策②、精神保健対策 　環境条件や労働による人体の機能の変化、疲労及びその予防、メンタルヘルス対策、職業適性等について学習する。また、精神保健対策のあゆみと現況、精神障害者医療の大要、精神障害者福祉及び社会復帰対策、精神障害者の歯科保健等について学習する。 【事前学習課題】職場のメンタルヘルス対策、精神保健対策、精神障害者医療	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
15	災害保健対策、国際保健 　災害保健活動の概要、災害時の歯科保健医療対策、被災地での歯科保健活動、災害時の個人識別について学習する。また、世界保健機関、各国との国際協力等について学習する。 【事前学習課題】災害時のフェーズ、災害関連死、世界保健機関	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療健康政策学　(Health and Medical Policies)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

授業の概要

医療健康政策学では、歯科衛生士教育の専門基礎分野である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」の中で衛生行政および関係法規に該当する内容を学習する。具体的には、衛生行政と法制度、歯科関係5法（歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法、歯科口腔保健法、医療法）、医療関係職種の資格法（保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、言語聴覚士法等）、薬事関連法規（医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締法等）、地域保健関連法規（地域保健法、健康増進法、母子保健法等）、社会保険制度（医療保険、介護保険、年金保険等）、社会福祉行政および社会福祉（生活保護、児童福祉、障害者福祉等）、医療施設や医療従事者の現況、国民の受療動向、国民医療費等の概要について学習する。

学生の到達目標

①衛生行政の目的と組織を説明できる。
②歯科衛生士法の目的、歯科衛生士の定義と業務を説明できる。
③歯科衛生士の免許制度と国家試験制度を説明できる。
④歯科医師法、歯科技工士法及び保健師助産師看護師法の概要を説明できる。
⑤その他の医療関係者の資格法規（④を除く）の概要を説明できる。
⑥地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法の概要を説明できる。
⑦薬事関連法規、その他の衛生法規（感染症法、食品衛生法等）の概要を説明できる。
⑧社会保険の仕組み、医療保険制度および介護保険制度の概要を説明できる。
⑨国民の受療動向、医療施設、医療従事者、国民医療費の概要を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科衛生士と法律・制度
出）医歯薬出版　著）石井拓男 他著

参考書

国民衛生の動向
出）厚生労働統計協会　著）厚生労働統計協会　編

国民の福祉と介護の動向
出）厚生労働統計協会　著）厚生労働統計協会　編

保険と年金の動向
出）厚生労働統計協会　著）厚生労働統計協会　編

スタンダード社会歯科学
出）学建書院　著）石井拓男 他著

最新歯科衛生士教本　保健生態学
出）医歯薬出版　著）可児徳子 他著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療健康政策学　(Health and Medical Policies)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

その他

（学習相談）口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。
・日髙勝美:月～金16:30～17:30
・遠隔授業であるため、レポート提出者を出席とする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療健康政策学　(Health and Medical Policies)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	衛生行政と法制度、歯科衛生士法① 　衛生行政の目的と組織、歯科衛生士法の成り立ち、歯科衛生士法の目的、歯科衛生士の定義と業務等について学習する。 【事前学習課題】衛生行政の仕組み、歯科衛生士の業務	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
2	歯科衛生士法② 　歯科衛生士免許の登録、免許証の交付及び届出等に関する諸規定、相対的欠格事由、免許の取消・業務停止等に関する諸規定について学習する。 【事前学習課題】歯科衛生士免許制度、相対的欠格事由	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
3	歯科衛生士法③、歯科医師法 　指定試験機関、歯科衛生士国家試験制度、歯科衛生士の業務上の義務等について学習する。また、歯科医師法の目的、歯科医師の業務や義務等について学習する。 【事前学習課題】歯科衛生士国家試験制度、歯科衛生士の業務上の義務、歯科医師の業務	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
4	歯科技工士法、歯科口腔保健法、医療法 　歯科技工士法および歯科口腔保健法の概要を学習する。また、医療法の目的、病院・診療所の定義、医療安全の確保、医療提供体制等について、学習する。 【事前学習課題】歯科技工の定義、病院・診療所の定義、医療安全の確保	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
5	その他の医療関係職種の法規 　保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、言語聴覚士法、医師法、薬剤師法、栄養士法等の医療関係職種の法規の概要を学習する 【事前学習課題】保健師・看護師の業務、診療補助の定義	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
6	薬事関連法規、地域保健関連法規① 　薬事関連法規（医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締法等）、地域保健関連法規（地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法等）の概要について学習する。 【事前学習課題】医薬品・医療機器の定義、保健所・市町村保健センターの業務	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
7	地域関連法規②、その他の衛生法規、社会保険制度① 　精神保健福祉法、食品衛生法、感染症法の概要について学習する。また、社会保険制度の仕組み、医療保険の種類、健康保険法の概要について学習する。 【事前学習課題】社会保障制度の仕組み、社会保険の種類	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
8	社会保険制度② 　国民健康保険法、高齢者医療確保法、審査支払機関、介護保険、年金保険、雇用保険、労災保険等の概要について学習する。 【事前学習課題】医療保険制度および介護保険制度の仕組み	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
9	社会福祉、医療の動向 　社会福祉行政、生活保護、児童福祉、障害者福祉、老人福祉の概要について学習する。また、国民の受療動向、医療施設、医療従事者、国民医療費の概要について学習する。 【事前学習課題】社会福祉行政の仕組み、医療従事者数、国民医療費	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅰ（歯科保存）(Endodontics)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭、諸冨　孝彦、鷲尾　絢子、吉居　慎二、藤元　政考						

授業の概要

歯科医学・医療のコアである保存修復治療学、歯内治療学について教授する。各治療の基本手技、使用器具や材料特性の基本理論、各治療に共通する審美、診査・診断、基礎歯学との関連について教授する。講義を通して学生は歯の治療について統合した知識を享受する。

学生の到達目標

① 保存修復治療、歯内治療の対象疾患を説明できる。
② 保存修復治療、歯内治療における診査・診断法を説明できる。
③ 保存修復治療、歯内治療に必要な器機・器具および薬剤を説明できる。
④ 各種保存修復治療法を説明できる。
⑤ 各種歯内治療法を説明できる。
⑥ 保存修復治療、歯内治療における安全対策を説明できる。
⑦ 保存修復治療、歯内治療における予防・早期治療・メンテナンスを説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
出）医歯薬出版　著）松井恭平 他編

参考書

保存修復学　第７版
出）医歯薬出版　著）千田彰　他編

歯内治療学　第４版
出）医歯薬出版　著）中村洋　他編

エンドドンティックス　改訂第４版
出）永末書店　著）須田英明　他編

マイクロエンドをはじめよう　超入門テキスト
出）医歯薬出版　著）北村知昭　編

非歯原性疼痛へのアプローチ“原因のわからない”痛みに悩む患者さんが来院したら
出）医歯薬出版　著）北村知昭　他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅰ（歯科保存）(Endodontics)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭、諸冨　孝彦、鷲尾　絢子、吉居　慎二、藤元　政考						

その他

（学習相談）相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
・代表：北村知昭

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅰ（歯科保存）(Endodontics)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭、諸冨　孝彦、鷲尾　絢子、吉居　慎二、藤元　政考						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	「保存修復治療学，歯内治療学」総論 　保存修復治療学、及び歯内治療学で学習する内容を俯瞰し，これから受講する各講義・実習の基盤を学習する。 【事前学習課題】保存修復治療、歯内治療	スライド 資料配布	北村	遠隔授業
2	修復治療(1)う蝕概論と窩洞形成／切削器具・器機 　保存修復治療の全体像と各種修復法の違い、窩洞形成方法と形態、切削機器を学習する。 【事前学習課題】齲蝕、窩洞、切削機器	スライド 資料配布	藤元	遠隔授業
3	修復治療(2) 前準備／新しいう蝕除去法 　保存修復治療を行う際に歯科衛生士が実施する前準備を学習する。また、新しいう蝕除去法を学習する。 【事前学習課題】修復治療の前準備、齲蝕除去法	スライド 資料配布	藤元	遠隔授業
4	修復治療(3) コンポジットレジン修復／セメント修復／アマルガム修復等 　成形修復材であるコンポジットレジン、セメント、アマルガムによる各修復法について、種類、性質、接着操作方法、適応症等を学習する。 【事前学習課題】成形修復、コンポジットレジン、歯科用セメント	講義 スライド 資料配布	諸冨	遠隔授業
5	修復治療(4) インレー修復（メタル，レジン，セラミック） 　インレー修復法について、成形修復との違い、使用材料の性質、窩洞形成、技工操作、適応症等を学習する。 【事前学習課題】インレー修復	講義 スライド 資料配布	吉居	遠隔授業
6	歯内治療(1) 歯内治療概論／歯髄保存・保護法／断髄法 　歯髄・根尖歯周組織の治療法である歯内治療の全体像を学習する。また、歯髄を保存する意義、その治療法、治療に用いられる材料、及び適応症等を学習する。 【事前学習課題】歯髄保存、歯内治療	講義 スライド 資料配布	鷲尾	遠隔授業
7	歯内治療(2) 抜髄法・感染根管処置法 　歯髄除去（抜髄）、根尖性歯周炎に対する治療（感染根管処置法）の違い、治療の各ステップ等を学習する。 【事前学習課題】抜髄、感染根管処置、根管形成、根管洗浄、根管貼薬	講義 スライド 資料配布	鷲尾	遠隔授業
8	歯内治療(3) 歯内治療に用いられる薬剤と器具 　各種歯内治療で用いられる各種材料・薬剤等を学習する。 【事前学習課題】覆髄材、根管貼薬剤、根管洗浄剤	スライド 資料配布	藤元	遠隔授業
9	歯内治療(4) 根未完成歯の処置／根管充填法と支台築造 　若年者の根未完成歯に対する歯内治療法、および抜髄・感染根管処置後に行われる根管充填法について学習する。 【事前学習課題】歯根未完成、根管充填	講義 スライド 資料配布	吉居	遠隔授業
10	歯内治療(5) 外科的歯内治療／外傷歯の治療 　急性症状症例や通常の歯内治療で改善しない病態に対する外科的歯内治療法を学習する。 【事前学習課題】外科的歯内治療、歯の外傷	講義 スライド 資料配布	諸冨	遠隔授業
11	総合(1) 審美治療概論 　保存修復治療、歯内治療で学習した知識を元に、審美修復治療、歯の漂白法を学習する。 【事前学習課題】審美歯科、歯の漂白	講義 スライド 資料配布	北村	遠隔授業
12	総合(2) 歯の治療における合併症・偶発症と安全対策 　歯の治療時に注意すべき合併症・偶発症に関する知識、および高齢者における歯の治療の注意点を学習する。 【事前学習課題】合併症、偶発症、高齢者	講義 スライド 資料配布	北村	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅰ（歯科保存）(Endodontics)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭、諸冨　孝彦、鷲尾　絢子、吉居　慎二、藤元　政考						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	総合(3) 疾患発症への微生物の関与と予防・早期治療・メンテナンス 　歯の疾患発症と微生物の関係、疾患発症の予防法、検査法、早期治療、メンテナンス法を学習する。 【事前学習課題】齲蝕、微生物、早期治療、メンテナンス	講義 スライド 資料配布	鷲尾	遠隔授業
14	診査・診断(1) 歯・歯髄・根尖歯周組織疾患の診査・診断／歯の特徴 　歯の治療法を選択する上で最も重要な、硬組織疾患・歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の診断を学習する。また、臨床的に重要な歯の構造等の特徴を学習する。 【事前学習課題】診査・診断、歯の特徴	講義 スライド 資料配布	吉居	遠隔授業
15	「保存修復治療学，歯内治療学」まとめ 　本講義で学習した内容をまとめとして俯瞰し，これまでに受講した保存修復治療、歯内治療に関する知識を統合する。 【事前学習課題】保存修復治療、歯内治療	講義 スライド 資料配布	諸冨	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅱ（歯周病）(Periodontology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	邵　仁浩、〔非常勤講師〕久保田　浩三						

授業の概要

歯科保存学は、歯の硬組織および歯髄組織や歯周組織の疾病や異常に対して、治療を行うと共に疾病の進行抑制をはかり、また疾病が起こるのを予防する臨床の学問である。歯科保存学の3分野の１つである歯周治療学では、歯周病の分類や原因、治療法について学ぶ。歯周組織の病気である歯周病は、デンタルカリエスとともに歯を喪失する原因として重要視されている。この疾患の予防と治療に関して包括的に学び、歯を保存し維持していくことを教授する。また、歯を保存することによる全身の健康維持に関与することを教授する。

学生の到達目標

①歯周病と歯周治療の概要を説明できる。
②歯周病の分類とその症状について説明できる。
③歯周病の原因・発症を説明できる。
④歯周病検査法を理解し、歯周治療に使用する器具名、薬品名の使用法を理解し説明できる。
⑤スケーリング・ルートプレーニングについて理解し、スケーラーの構造、特性、操作法について説明できる。
⑥歯周外科について理解し、そのアシスタント法に関し理解し説明できる。
⑦歯周治療のメインテナンスの重要性を理解するとともに歯科衛生士としての役割を理解し、説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯周病学（第２版）
出）医歯薬出版　著）申基喆　他編

参考書

ザ・ペリオドントロジー（第３版）
出）永末書店　著）沼部幸博　他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
課題レポート	20%

その他

（学習相談）授業終了後、あるいは口腔保健学科11オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅱ（歯周病）(Periodontology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	邵　仁浩、〔非常勤講師〕久保田　浩三						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯周病に罹患した歯周組織 歯周組織の正常像と罹患組織について比較する。 【事前学習課題】歯周組織	講義	邵	遠隔授業
2	歯周病の分類・症状 過去の歯周病の分類と現在の歯周病学会分類について説明しその症状について学ぶ。 【事前学習課題】歯周病の分類	講義	邵	遠隔授業
3	歯周病の病因・病態 歯周病の発症について概説すると共に病態を学ぶ。 歯周病と全身疾患 歯周病と関連性があると言われている全身疾患との関連性、治療時の注意事項、管理法等について学ぶ。 【事前学習課題】歯周疾患の病因、ペリオドンタル・メディシン	講義	邵	遠隔授業
4	歯周疾患の診査の意義と方法 歯周疾患の診査の意義と方法について説明し、歯周治療の進め方を学ぶ。 【事前学習課題】歯周疾患の診査方法 歯周基本治療１-1 原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特にプラークコントロール、スケーリングとルートプレーニングについて学ぶ。 【事前学習課題】歯周基本治療	講義	邵	遠隔授業
5	歯周外科療法 歯周治療における歯周外科の位置付け、歯周外科の種類について学ぶ。 各歯周外科の目的、術式、方法、および適応症等について学ぶ。 【事前学習課題】歯周外科の種類	講義	久保田	遠隔授業
6	歯周外科の器具とアシスタント法 歯周外科に使用される外科器具について，使用法、使用目的また、歯周外科時のアシスタント法について学ぶ。 【事前学習課題】歯周外科のアシスタント法	講義	久保田	遠隔授業
7	歯周基本治療１-2 原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特にプラークコントロール、スケーリングとルートプレーニングについて学ぶ。 【事前学習課題】歯周基本治療	講義	邵	遠隔授業
8	歯周基本治療２ デブライドメントの効果について学ぶ。 【事前学習課題】歯周基本治療、デブライメント	講義	邵	遠隔授業
9	メインテナンスとは 歯周治療で基本治療と共に必ず行う必要がある治療過程でその治療法、間隔とアセスメントについて学ぶ。 【事前学習課題】メインテナンス	講義	邵	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学III（歯科補綴）(Prosthodontics)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 有田　正博(義歯科)						

授業の概要

咀嚼障害・咬合異常に対する補綴歯科治療についての、基礎知識、治療の実際、および歯科衛生士の役割について教授する。

学生の到達目標

①咀嚼障害・咬合異常に対する補綴治療に関する基礎的事項を説明できる。
②補綴治療の種類を説明できる。
③クラウンの種類を説明できる。
④ブリッジの種類を説明できる。
⑤床義歯の構成要素を説明できる。
⑥補綴治療の流れを説明できる。
⑦補綴治療における歯科衛生士の役割について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士講座　歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助
出）永松書店　著）

参考書

歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴
出）医歯薬出版　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（70）＋各講義での出席とレポート（30）	100%

その他

（スチューデントアワー）水曜日：授業終了後

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学III（歯科補綴）(Prosthodontics)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 有田　正博(義歯科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	補綴治療の目的・顎口腔系の機能と構造について学習する。 【事前学習課題】補綴治療とは？顎口腔系の機能と構造とは？	e-learnig	有田	遠隔授業
2	補綴装置の分類について学習する。 【事前学習課題】補綴装置とは？その種類には何があるか。	e-learnig	有田	遠隔授業
3	クラウン・ブリッジの構造と技工操作（クラウンと支台築造）について学習する 【事前学習課題】クラウンおよび築造体の種類、目的、製作方法	e-learnig	有田	遠隔授業
4	クラウン・ブリッジの構造と技工操作（ブリッジ）について学習する。 【事前学習課題】ブリッジの種類、製作方法	e-learnig	有田	遠隔授業
5	有床義歯の構造と技工操作（全部床義歯）について学習する。 【事前学習課題】全部床義歯とは？	e-learnig	有田	遠隔授業
6	有床義歯の構造と技工操作（部分床義歯）について学習する。 【事前学習課題】部分床義歯とは？	e-learnig	有田	遠隔授業
7	クラウン・ブリッジの治療の臨床ステップ（検査から印象採得まで）について学習する。 【事前学習課題】クラウン・ブリッジ製作の前検査、形成から印象採得まで	e-learnig	有田	遠隔授業
8	クラウン・ブリッジの治療の臨床ステップ（試適から装着まで）について学習する。 【事前学習課題】クラウン・ブリッジの試適から装着まで	e-learnig	有田	遠隔授業
9	クラウン・ブリッジの治療の臨床ステップ（インプラント補綴装置）について学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴装置	e-learnig	有田	遠隔授業
10	デジタルデンティストリーによるクラウン・ブリッジの治療の臨床ステップについて学習する。 【事前学習課題】デジタルワークフローとは？	e-learnig	有田	遠隔授業
11	有床義歯の治療の臨床ステップ（検査から印象採得まで）について学習する。 【事前学習課題】有床義歯製作のための前検査、印象採得、模型の製作の留意点	e-learnig	有田	遠隔授業
12	有床義歯の治療の臨床ステップ（咬合採得から試適まで）について学習する。 【事前学習課題】有床義歯製作における咬合採得、試適の留意点	e-learnig	有田	遠隔授業
13	有床義歯の治療の臨床ステップ（装着、調整、リライン、リベース、修理）について学習する。 【事前学習課題】有床義歯製作の装着、調整手順、装着後の対応について	e-learnig	有田	遠隔授業
14	歯科衛生士過程と補綴治療における患者指導 【事前学習課題】歯科衛生士過程とは？患者指導を補綴装置ごとにどのように変えるか？	e-learnig	有田	遠隔授業
15	本講義のまとめと過去問をやってみよう	e-learnig	有田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科放射線学　(Oral and Maxillofacial Radiology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏、田中　達朗、小田　昌史						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 森本　泰宏(歯科放射線科)、田中　達朗(歯科放射線科)、小田　昌史(歯科放射線科)						

授業の概要

講義項目は放射線物理学、放射線生物学、写真工学、画像検査法、エックス線解剖学、放射線防護学及び医療法である。その中でも、画像検査法と放射線防護学における歯科衛生士の役割について中心に教授する。適切な画像撮影を行う為に歯科衛生士が知るべき画像検査における知識と実践を教授する。同時に、効果的な防護方法を教授することで、出来るだけ患者さんの被曝量を軽減すること及びその大切さを教授する。

学生の到達目標

①放射線の有用性を説明できる。
②放射線の定義、性質を説明できる。
③デジタル画像を含めたエックス線撮影装置の構造及びエックス線発生装置の構造を説明できる。
④デジタル画像を含めたエックス線撮影を行う際に使用する器具及びその役割について説明できる。
⑤口内法エックス線撮影とはどのようなものか説明できる。
⑥口内法エックス線写真の実際的撮影方法について歯ごとに説明できる。
⑦CT、MRI及び超音波検査を含めた口外法エックス線撮影の種類及びその検査目的を説明できる。
⑧画像検査後のフィルム処理の過程を説明できる。
⑨画像検査後前後のフィルムの保管法を説明できる。
⑩放射線の生物学的作用とその防護方法について説明できる。
⑪悪性腫瘍に対する放射線治療における口腔粘膜炎や口腔内感染症の予防とそれに対する口腔保健管理を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本　歯科臨床補助　歯科放射線学
出）医歯薬出版　著）

参考書

歯科衛生士講座　歯科放射線学
出）永末書店　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科放射線学　(Oral and Maxillofacial Radiology)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏、田中　達朗、小田　昌史						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 森本　泰宏(歯科放射線科)、田中　達朗(歯科放射線科)、小田　昌史(歯科放射線科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	概論、歯科医療と放射線（I）：放射線（特にエックス線）とはどのようなものであるかについて理解する。 【事前学習課題】：放射線、エックス線、電離放射線	講義	森本	遠隔授業
2	歯科医療と放射線（II）：エックス線の臨床応用について理解する。 【事前学習課題】：画像診断、放射線治療	講義	森本	遠隔授業
3	エックス線画像の形成（I）：エックス線の発生原理とその際利用する装置について理解する。 【事前学習課題】：エックス線の発生、エックス線管、陽極、熱電子	講義	森本	遠隔授業
4	エックス線画像の形成（II）：エックス線写真がどのようにして画像化されるかを理解する。 【事前学習課題】：光電効果、コンプトン散乱、現像、定着	講義	森本	遠隔授業
5	歯科におけるエックス線検査（I）：歯科独特の口内法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する。 【事前学習課題】：口内法、二等分法、正放線投影、平行法	講義	森本	遠隔授業
6	歯科におけるエックス線検査（II）：歯科独特の口外法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する。 【事前学習課題】：パノラマエックス線撮影、CT、MRI、超音波検査	講義	森本	遠隔授業
7	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割（I）：口内法エックス線撮影についてその検査方法を理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。 【事前学習課題】：二等分法、正放線投影、偏心投影	講義	森本	遠隔授業
8	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割（II）：口内法エックス線撮影についてその検査方法を理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。 【事前学習課題】：平行法、咬翼法、咬合法	講義	森本	遠隔授業
9	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割：パノラマエックス線写真撮影についてその検査方法を理解し歯科衛生士としての役割を把握する。 【事前学習課題】：断層方式パノラマエックス線撮影、口腔内線源方式パノラマエックス線撮影	講義	森本	遠隔授業
10	写真処理と画像保管の実際：エックス線写真撮影を行った後それを画像化するために必要な処理方法と保管方法を理解する。 【事前学習課題】：現像、定着、乾燥、黒化度	講義	森本	遠隔授業
11	放射線治療と口腔管理：口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する。 【事前学習課題】：外部照射、内部照射、ライナック、口腔ケア	講義	田中	遠隔授業
12	画像診断学：歯科臨床において遭遇する各種疾患の特徴的画像所見を理解する。 【事前学習課題】：カリエス、辺縁性歯周炎、根尖性歯周炎、歯根嚢胞、エナメル上皮腫の画像	講義	小田	遠隔授業
13	国家試験問題とその解説：国家試験で歯科放射線学に関連する問題を解説する。 【事前学習課題】：歯科衛生士国家試験問題	講義	森本	遠隔授業
14	国家試験問題とその解説：国家試験で歯科放射線学に関連する問題を解説する。 【事前学習課題】：歯科衛生士国家試験問題	講義	森本	遠隔授業
15	総まとめ：全講義をまとめて質疑応答を行う。 【事前学習課題】：歯科衛生士国家試験問題	講義	森本	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔成長発育系歯科医学Ⅰ（小児歯科）　(Pediatric Dentistry)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	西田　郁子						
担当教員	西田　郁子、渡辺　幸嗣、佐伯　桂、藤田　優子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 西田　郁子(小児歯科)、渡辺幸嗣(小児歯科)、佐伯　桂(小児歯科)、藤田優子(小児歯科)						

授業の概要

小児は成長発育過程にあるため、その身体的および精神的発育の特徴について理解し、小児の歯科治療を安全に行えるよう、その対応法について学習する。また、小児期の主な疾患異常（齲蝕、歯周疾患、感染性疾患、軟組織疾患、歯列不正）とその治療の特徴および予防法について学習する。

学生の到達目標

①小児の身体的および精神的発育の特徴について説明できる。
②歯の発育およびその異常について説明できる。
③小児の歯列および咬合の発育について説明できる。
④乳歯および幼若永久歯の特徴について説明できる。
⑤小児期の主な疾患異常について説明できる。
⑥小児期の歯科治療について説明できる。
⑦小児の口腔管理について説明できる。
⑧小児への対応法について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新・歯科衛生士教育マニュアル　小児歯科学
出）クインテッセンス出版株式会社　　著）

参考書

新小児歯科学
出）クインテッセンス出版株式会社　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

（学習相談）随時受け付け可能（原則、日程予約をメールにて行う）。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔成長発育系歯科医学Ⅰ（小児歯科）　(Pediatric Dentistry)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	西田　郁子						
担当教員	西田　郁子、渡辺　幸嗣、佐伯　桂、藤田　優子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 西田　郁子(小児歯科)、渡辺幸嗣(小児歯科)、佐伯　桂(小児歯科)、藤田優子(小児歯科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	発育概論 小児の精神的および運動機能の発達 小児歯科の特徴と意義・目的を学習する。発達の原則を学習し、各発育段階における特徴（身体的、精神的、運動機能、言語、情動の発達）について学習する。 【事前学習課題】スキャモンの臓器別発育曲線、小児の発育状態の評価方法、言語・情動・運動機能・接触嚥下機能の発達	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
2	小児の生理的特徴 顎顔面と頭蓋の成長発育 小児のバイタルサインとその特徴を学習する。脳頭蓋、顔面頭蓋の発育の特徴およびその発育様式を学習する。 【事前学習課題】小児のバイタルサイン、脳頭蓋と顔面頭蓋の発育、上下額の発育・成長様式	講義 （教科書・スライド）	渡辺	遠隔授業
3	歯の発育および異常 歯の発育段階と形成異常について学習する。 【事前学習課題】歯の発育の概要、歯の形成異常	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
4	歯列および咬合の発育 歯列および咬合の発育段階とその特徴について学習する。 【事前学習課題】ヘルマンの咬合発育段階、各発育段階の特徴（顎間空隙、霊長空隙、ターミナルプレーン、みにくいあひるの子の時代、リーウェイスペース）	講義 （教科書・スライド）	佐伯	遠隔授業
5	乳歯および幼若永久歯の特徴 乳歯および幼若永久歯の形態的特徴、組織学的・物理化学的特徴を学習する。 【事前学習課題】乳歯・幼若永久歯の形態的特徴、組織学的特徴、物理化学的特徴、歯髄の特徴	講義 （教科書・スライド）	藤田	遠隔授業
6	小児期の齲蝕の特徴 齲蝕の病因を学習し、乳歯齲蝕および幼若永久歯の齲蝕の特徴について学習する。 【事前学習課題】乳歯う蝕の罹患率、好発部位、乳歯う蝕の分類、幼若永久歯う蝕の罹患率	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
7	小児期の齲蝕予防 乳歯齲蝕の為害作用について学習し、小児期に行われる齲蝕予防処置（プラークコントロール、フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、食事指導）について学習する。 【事前学習課題】フッ化物の応用、フッ化ジアンミン銀、小窩裂溝填塞法、間食指導	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
8	小児期の歯周疾患 小児の歯周組織の特徴を学習し、小児期にみられる歯周疾患について学習する。 【事前学習課題】小児の歯周組織の特徴、小児期の歯肉炎・歯周炎・全身疾患を伴う歯周炎	講義 スライド （教科書・スライド）	渡辺	遠隔授業
9	感染性疾患・軟組織疾患 小児の口腔粘膜や歯肉にみられる疾患について学習する。 【事前学習課題】小児にみられる口腔粘膜疾患、歯肉にみられる疾患、口唇にみられる疾患、小帯異常	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
10	小児期の歯科治療体系総論 小児歯科診療の特徴、流れを学習し、母親教室、定期健診の目的・意義について学習する。 【事前学習課題】小児歯科診療の流れ、母親教室、検査の目的と方法、定期検診	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
11	小児の対応法 小児期の年齢別対応法、歯科治療時の対応法の種類と特徴について学習する。 【事前学習課題】年齢別対応法、行動変容療法、笑気吸入鎮静法	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔成長発育系歯科医学Ⅰ（小児歯科）　(Pediatric Dentistry)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	西田　郁子						
担当教員	西田　郁子、渡辺　幸嗣、佐伯　桂、藤田　優子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 西田　郁子(小児歯科)、渡辺幸嗣(小児歯科)、佐伯　桂(小児歯科)、藤田優子(小児歯科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	小児期における歯冠修復 乳歯と幼若永久歯の臨床的特徴と歯冠修復時の特徴について学習する。 【事前学習課題】レジン修復、グラスアイオノマー修復、乳歯用既製冠、クラウンフォーム	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業
13	小児期における歯内療法 乳歯と幼若永久歯の歯内療法の特徴、診療補助について学習する。 【事前学習課題】生活歯髄切断法、暫間的関節覆髄法、アペキソゲネーシス、アペキシフィケーション	講義 （教科書・スライド）	藤田	遠隔授業
14	小児期における外科的処置 小児期の外科的処置（抜歯、膿瘍切開）の特徴および診療補助について学習する。小児期の歯の外傷につい学習する。 【事前学習課題】乳歯抜歯、乳歯外傷、幼若永久歯外傷	講義 （教科書・スライド）	佐伯	遠隔授業
15	咬合誘導 咬合誘導の意義・目的、保隙装置の種類および特徴について学習する。 【事前学習課題】クラウンループ保隙装置、クラウンディスタルシュー保隙装置、リンガルアーチ、ナンスのホールディングアーチ、小児義歯	講義 （教科書・スライド）	西田	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔成長発育系歯科医学Ⅱ（歯科矯正学）(Orthodontics)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫、郡司掛　香織、黒石　加代子、左合　美紗、水原　正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 川元　龍夫(矯正歯科)、郡司掛　香織(矯正歯科)、黒石　加代子(矯正歯科)、左合　美紗(矯正歯科)、水原　正博(矯正歯科)						

授業の概要

歯科矯正学の概要を理解し、将来の診療補助、患者指導などの基礎知識を教授する。 また、矯正歯科における歯科衛生士の役割を十分理解したうえでの口腔管理、口腔習癖排除の指導、歯科矯正治療の補助・介補などの基礎知識を教授する。

学生の到達目標

①顔面頭蓋、上顎および下顎の成長発育の時期や違いを理解できる。
②正常咬合の種類や成因を理解でき、下顎位や咬合の概要も理解できる。
③不正咬合の種類と分類を知ることで、不正咬合の成因を理解できる。
④症例分析法・治療方針の立て方を知ることで矯正治療の流れを理解できる。
⑤歯に矯正力を加えた場合の歯の組織変化を理解できる。
⑥歯を移動するときの抵抗源や移動後の変化を理解できる。
⑦矯正装置の種類および特徴や矯正治療を知ることで、患者の指導を実施できる。
⑧矯正歯科治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常２　歯科矯正
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監修

参考書

歯科矯正学　第６版
出）医歯薬出版　著）飯田順一郎他　編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
出席	10%

授業後に毎回小テストを行います。小テストの結果にて本講義の出欠の判断を行います。判断基準として、小テスト結果が満点の場合に出席、小テストを受けているが結果が満点に達していない場合は遅刻、小テストを受けているが回答を送信していない、もしくは小テストを受けていない場合は欠席、という扱いにします。小テストの回答期限は授業翌日の午前8時30分までです。

その他

・川元龍夫、郡司掛香織、黒石加代子、左合美紗、水原正博：月～金　8:30～17:15

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔成長発育系歯科医学Ⅱ（歯科矯正学）(Orthodontics)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫、郡司掛　香織、黒石　加代子、左合　美紗、水原　正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 川元　龍夫(矯正歯科)、郡司掛　香織(矯正歯科)、黒石　加代子(矯正歯科)、左合　美紗(矯正歯科)、水原　正博(矯正歯科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科矯正学の概要 歯科矯正学の目的、不正咬合による障害、需要と必要性、ベネフィットとリスク、について学ぶ。 【事前学習課題】矯正歯科治療の目的、矯正歯科治療のベネフィットとリスク、チーム医療	講義	川元 左合	遠隔授業
2	成長発育 身体、頭蓋および顎顔面、歯・歯列の成長発育について学ぶ。また口腔機能について、咀嚼、嚥下、発音を踏まえながら、正常および異常を学ぶ。 【事前学習課題】Scammonの臓器発育曲線、生理的年齢、顎顔面の成長発育	講義	川元 左合	遠隔授業
3	正常咬合、不正咬合１ 正常咬合について、静的あるいは動的な状態を踏まえながら、成立の条件と種類を学ぶ。また不正咬合について、垂直的、水平的あるいは前後的異常を踏まえながら、その状態を理解する。 【事前学習課題】正常咬合の概念、下顎位、咬合位	講義	川元 郡司掛	遠隔授業
4	不正咬合２ 不正咬合の原因と成因を踏まえながら、その不正咬合の分類を学ぶ。また不正咬合の予防について学ぶ。 【事前学習課題】不正咬合の分類、Angleの分類、不正咬合の原因	講義	川元 郡司掛	遠隔授業
5	矯正歯科診断 矯正歯科治療における診断、診断に必要な検査の種類および利用方法について学ぶ。 【事前学習課題】問題志向型診療システム、画像検査、機能検査	講義	川元 水原	遠隔授業
6	セファロ分析法および診断 セファロを用いた診断について、資料の分析を踏まえながら、治療方針および治療方法を学ぶ。 【事前学習課題】頭部エックス線規格写真分析、抜歯基準	講義	川元 水原	遠隔授業
7	歯の移動 歯の移動と固定の考え方、歯の移動に伴う組織反応について学ぶ。 【事前学習課題】固定の種類、歯の移動と組織反応、歯の移動様式	講義	川元 左合	遠隔授業
8	矯正力と顎整形力、保定 歯の移動様式や顎整形力について学ぶ。また保定について、保定要件を踏まえながら、歯の安定を学ぶ。 【事前学習課題】器械的矯正力、機能的矯正力、顎整形力、保定装置	講義	川元 左合	遠隔授業
9	矯正装置１ 可撤式矯正装置と固定式矯正装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。 【事前学習課題】可撤式矯正装置、固定式矯正装置	講義	川元 郡司掛	遠隔授業
10	矯正装置２ 機能的矯正装置、拡大装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。 【事前学習課題】アクチバトール、バイオネーター、リップバンパー、急速拡大装置、緩徐拡大装置	講義	川元 郡司掛	遠隔授業
11	矯正装置３ 顎外固定装置、口腔習癖除去装置、保定装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。 【事前学習課題】ヘッドギア、上顎前方牽引装置、オトガイ帽装置、タングクリブ、保定装置	講義	川元 黒石	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔成長発育系歯科医学Ⅱ（歯科矯正学）(Orthodontics)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫、郡司掛　香織、黒石　加代子、左合　美紗、水原　正博						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 川元　龍夫(矯正歯科)、郡司掛　香織(矯正歯科)、黒石　加代子(矯正歯科)、左合　美紗(矯正歯科)、水原　正博(矯正歯科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	矯正治療の実際１ 上下顎の前後的、垂直的な不調和に対する様々な生理的年齢での治療の実際について学ぶ。 【事前学習課題】Ⅰ級不正咬合、Ⅱ級１類不正咬合、Ⅱ級２類不正咬合、Ⅲ級不正咬合	講義	川元 黒石	遠隔授業
13	矯正歯科治療の実際２ 口腔顎顔面の形成異常と変形、歯の埋伏と歯数の異常などの矯正治療の実際について学ぶ。 【事前学習課題】口唇・口蓋裂、先天異常、埋伏歯、先天性欠如歯、過剰歯	講義	川元 水原	遠隔授業
14	矯正歯科用器具と材料 矯正歯科用器具・材料を学び、その準備と取り扱いを理解する。 【事前学習課題】矯正歯科用器具、矯正歯科用材料	講義	川元 黒石	遠隔授業
15	矯正歯科診断と装置装着時の補助 矯正歯科診断にかかわる業務と矯正装置装着時に行う補助、患者指導、口腔保健管理について学ぶ。 【事前学習課題】矯正歯科診療時の業務、口腔衛生管理	講義	川元 黒石	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

外科系歯科医学　(Oral and Maxillofacial Surgery)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地　尚子						
担当教員	引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 引地　尚子（口腔内科）						

授業の概要

「口腔領域の疾患の治療」
いろいろな口腔外科的疾患の特徴･病態の概要について教授する。口腔全体を捉える思考法を教授する。

学生の到達目標

①顎顔面口腔領域の先天異常・発育異常の概要を説明できる。
②顎口腔領域の損傷病変の概要を説明できる。
③口腔粘膜疾患の概要を説明できる。
④顎口腔領域の炎症性疾患の概要を説明できる。
⑤顎口腔領域の嚢胞性疾患の概要を説明できる。
⑥顎口腔領域の腫瘍性疾患および腫瘍類似性疾患の概要を説明できる。
⑦顎関節疾患の概要を説明できる。
⑨唾液腺疾患の概要を説明できる。
⑩血液疾患の概要法を説明できる。
⑪局所麻酔法の概要を説明できる。
⑫抜歯･その他の小手術の内容を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新・歯科衛生士教育マニュアル　口腔外科学・歯科麻酔学
出）クインテッセンス　著）池邉哲郎　他編集

参考書

口腔外科学　第３版
出）医歯薬出版　著）白砂兼光、古郷幹彦　編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対し欠席による減点（1回につき4点）を行う。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

外科系歯科医学　(Oral and Maxillofacial Surgery)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地　尚子						
担当教員	引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 引地　尚子（口腔内科）						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔外科学(口腔内科学を含む)の概要 先天異常と発育異常（その１） 口腔外科学の取り扱う疾患について概説する。また、口腔領域の先天異常・発育異常の疾患（主に歯の領域の疾患）について理解する。 【事前学習課題】歯、先天異常、発育異常	講義	引地	遠隔授業
2	先天異常と発育異常（その2） 口腔領域の先天異常・発育異常の疾患（主に顎の領域の疾患）について理解する。 【事前学習課題】口唇裂、口蓋裂、顎変形症	講義	引地	遠隔授業
3	口腔の損傷 口腔領域の硬組織外傷を中心とする損傷に対する診断・治療法を理解する。 【事前学習課題】歯の損傷、骨折	講義	引地	遠隔授業
4	口腔粘膜疾患（その１） アフタなどの口腔粘膜疾患について理解する。 【事前学習課題】潰瘍、水疱	講義	引地	遠隔授業
5	口腔粘膜疾患（その2） 白板症などの口腔粘膜疾患について理解する。 【事前学習課題】白板症、口腔カンジダ症、シェーグレン症候群	講義	引地	遠隔授業
6	口腔粘膜疾患（その３） 舌・口唇領域の口腔粘膜疾患について理解する。 【事前学習課題】地図状舌、クインケ浮腫	講義	引地	遠隔授業
7	炎症（その１） 顎骨の炎症などの口腔の炎症性疾患について理解する。 【事前学習課題】ドライソケット	講義	引地	遠隔授業
8	炎症（その2） 顎骨周囲炎などの口腔の炎症性疾患について理解する。 【事前学習課題】骨髄炎、蜂窩織炎	講義	引地	遠隔授業
9	顎口腔の嚢胞 顎・口腔領域の嚢胞性疾患について理解する。 【事前学習課題】歯根嚢胞、含歯性嚢胞、粘液嚢胞	講義	引地	遠隔授業
10	顎口腔の腫瘍（その1） 顎・口腔領域の良性腫瘍性疾患について理解する。 【事前学習課題】エナメル上皮腫、角化嚢胞性歯原性腫瘍、血管腫	講義	引地	遠隔授業
11	顎口腔の腫瘍（その2） 顎・口腔領域の悪性腫瘍性疾患および腫瘍類似疾患について理解する。 【事前学習課題】扁平上皮癌、TNM分類、エプーリス	講義	引地	遠隔授業
12	顎口腔領域の唾液腺疾患 唾液腺炎などの唾液腺疾患について理解する。 【事前学習課題】唾液腺炎、唾石症、多型腺腫、腺様嚢胞癌	講義	引地	遠隔授業
13	顎口腔領域の神経系疾患および顎関節疾患 三叉神経痛などの神経系疾患および顎関節疾患について理解する。 【事前学習課題】三叉神経痛、顔面神経麻痺、舌痛症、顎関節症	講義	引地	遠隔授業
14	血液疾患・局所麻酔 血友病のような血液疾患について理解する。 局所麻酔法の概要を理解する。 【事前学習課題】貧血、白血病、血友病	講義	引地	遠隔授業
15	口腔外科小手術・歯科衛生士補助業務 主に抜歯などの口腔外科小手術の概要と歯科衛生士補助業務について学ぶ。 【事前学習課題】抜歯	講義	引地	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

障害者歯科学　(Special Needs Dentistry)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航、〔非常勤講師〕緒方　克也						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 藤井　航（DEMCAB）						

授業の概要

超高齢社会の日本において、高齢者数の増加とともに障害者数が増加している。また、発達障害児の高齢化は社会的に問題となってきている。さらに、終末期においても歯科医師・歯科衛生士の役割は拡大している。このような対象者における口腔の健康の維持・回復・増進は生活の質（QOL）に大きく関与する。ゆえに、歯科衛生士がこのような対象者に対する口腔衛生管理・口腔機能管理を中心とした健康支援を行なうことは責務である。そこで、身体的、精神的及び心理的特徴を理解した上で診療補助や保健指導（口腔衛生管理・口腔機能管理）を含めた各種歯科医療上の留意点について系統的に学習する。
※本講義により得られる卒業ｺﾝﾋﾟﾃﾝｼｰ：3．口腔保健学の知識

学生の到達目標

①高齢者における社会福祉、介護保険、介護予防なども含む法規を説明できる。
②加齢に伴う身体機能や心理変化、多くの高齢者に認められる疾患を説明できる。
③高齢者の口腔疾患、機能的や障害について説明できる。
④高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
⑤地域における高齢者、障害児・者における口腔保健活動が説明できる。
⑥障害児・者に関する衛生行政、社会福祉を説明できる。
⑦多職種連携について説明できる。
⑧障害の原因疾患、症候群について説明できる。
⑨障害者の歯科診療について説明できる。
⑩高齢者、障害児・者、人生の最終段階における歯科診療での歯科衛生士の役割（診療補助・歯科保健指導(口腔衛生管理)）が説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士講座　障害者歯科学第2版
出）永末書店　著）

歯科衛生士講座　高齢者歯科学第3版
出）永末書店　著）

参考書

スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版
出）医歯薬出版　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
レポート（小テストを含む）	10%

その他

【オフィスアワー】講義内容の質問は、講義前後またはe-mailにて受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

障害者歯科学　(Special Needs Dentistry)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航、〔非常勤講師〕緒方　克也						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 藤井　航（DEMCAB）						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	高齢者歯科医学総論 　加齢による身体機能の変化や心理変化、高齢者に多くみられる全身疾患を理解する。 　また、高齢者で多くみられる口腔疾患や機能低下、それにより生じる口腔機能の障害について理解する。 【事前学習課題】全身の加齢変化や機能低下、口腔内の加齢変化や機能低下	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
2	障害児・者総論 　障害者の現状や、衛生行政、社会福祉について学習し、歯科衛生士の役割を理解する。 【事前学習課題】障害者、ICF、バリアフリー，ユニバーサルデザイン，重症心身障害児	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
3	各現場での口腔保健活動 　地域における口腔保健教育活動と医療の関わりについて理解する。 【事前学習課題】地域口腔保健教育活動	講義	緒方	614講義室 または遠隔授業
4	高齢者・障害児・者への口腔衛生管理 　高齢者・障害児・者における口腔衛生管理について、健常者と異なる点や注意を要する事項について学習する。 【事前学習課題】高齢者の口腔衛生管理、障害児・者の口腔衛生管理	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
5	歯科診療で特別な支援が必要な疾患1 　循環器疾患（高血圧、虚血性心疾患、不整脈など）の歯科治療時の対応方法について学習する。 【事前学習課題】高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心臓弁膜症、心不全	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
6	歯科診療で特別な支援が必要な疾患2 　脳血管障害、糖尿病、慢性腎臓病などの歯科治療時の対応方法について学習する。 【事前学習課題】脳血管障害、糖尿病、慢性腎臓病	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
7	人生の最終段階総論 　人生の最終段階における、全人的苦痛、全身的変化、口腔内変化について学習する。 【事前学習課題】人生の最終段階、終末期、ターミナルケア、全人的苦痛	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
8	人生の最終段階における歯科的対応 　人生の最終段階における、口腔衛生管理を中心とした歯科的対応について学習する。 【事前学習課題】人生の最終段階、終末期、ターミナルケア、口腔乾燥症、口腔カンジダ症	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

救急救命学・歯科麻酔学　(Emergency lifesaving and dental anesthesiology)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、原野　望、渡邉　誠之、椎葉　俊司、左合　徹平、茂山　幸代						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)、原野　望(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、渡邉　誠之(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、椎葉　俊司(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、左合　徹平(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、茂山　幸代(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)						

授業の概要

歯科治療は生体にとって侵害刺激となる。この刺激を制御して生体を防御することは非常に重要である。そのため必要不可欠なスキルである全身管理に重点を置き、薬物調整法や疼痛の発生ならびに緊急時における対処法、救急蘇生法、応急手当まで修得する。

学生の到達目標

①一般的な歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を理解できる。
②救急救命処置（救急蘇生法、応急手当）の基本を修得できる。
③第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生　k. 救急処置」を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科麻酔学　第７版
出）医歯薬出版　著）

衛生管理　上　第1種用
出）中央労働災害防止協会　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

追試験および再試験の実施は履修規定に従う。

その他

【オフィスアワー】
・原野　望　17：00～17：30
・園木　一男　17：00～17：30　メールは随時受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

救急救命学・歯科麻酔学　(Emergency lifesaving and dental anesthesiology)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、原野　望、渡邉　誠之、椎葉　俊司、左合　徹平、茂山　幸代						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)、原野　望(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、渡邉　誠之(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、椎葉　俊司(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、左合　徹平(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、茂山　幸代(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	全身管理に必要な知識　その1 全身管理な必要な解剖学ならびに生理学として、呼吸器系、循環器系に重点を置いた学習を行う。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p13-47	講義	原野	遠隔授業
2	全身管理に必要な知識　その2 ～全身状態の評価とモニタリング～ 全身管理における呼吸器系、循環器系のモニタリングの内容を学習し、モニターの見方や診断法を理解する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p107-138	講義	原野	遠隔授業
3	局所麻酔 局所麻酔が効果を発揮する理由および実際の局所麻酔の方法について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p147-189	講義	茂山	遠隔授業
4	精神鎮静法 精神鎮静法に使用される薬剤について学習する。また精神鎮静法の適応、禁忌症などを踏まえた上で、適切な管理方法を学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p205-245	講義	茂山	遠隔授業
5	管理上問題となる患者の管理　その1 代謝・内分泌疾患、肝・腎疾患、精神疾患、その他の疾患について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p62-104	講義	左合	遠隔授業
6	管理上問題となる患者の管理　その2 呼吸系疾患、循環系疾患、脳血管障害について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p62-104	講義	原野	遠隔授業
7	全身麻酔 全身麻酔の概念から、術前の全身状態の評価と管理について学習する。実際に使用される薬剤や器具について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p251-352	講義	原野	遠隔授業
8	ペインクリニック 顎顔面痛の病態と診断法について学習する。また麻痺性疾患として、顔面神経麻痺、三叉神経麻痺について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p485-522	講義	椎葉	遠隔授業
9	歯科治療時における全身的偶発症 歯科診療時に起こる偶発症とその予防及び処置方法について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p539-552	講義	原野	遠隔授業
10	救急蘇生法　その1　～ショック～ ショックの概念と分類ならびにその臨床症状について学習する。また実際に起こった場合の治療について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p555-566	講義	茂山	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

救急救命学・歯科麻酔学　(Emergency lifesaving and dental anesthesiology)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、原野　望、渡邉　誠之、椎葉　俊司、左合　徹平、茂山　幸代						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)、原野　望(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、渡邉　誠之(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、椎葉　俊司(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、左合　徹平(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)、茂山　幸代(麻酔科・歯科麻酔科・ペインクリニック)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
11	救急蘇生法　その2～心肺蘇生法～ 救命の連鎖についての理解とともに、一次救命処置（成人、小児、乳児）、ならびに二次救命処置について学習する。 【事前学習項目】 歯科麻酔学　p569-585	講義	左合	遠隔授業
12	外傷の応急手当　その1 創傷と多量出血、熱傷、化学損傷、凍傷、眼窩内異物について学習する。 【事前学習項目】 衛生管理　p340-344	講義	園木	遠隔授業
13	外傷の応急手当　その2 骨折、脱臼・肉離れ・アキレス腱断裂、打撲、急性腰痛、電撃症、有害光線、電離放射線又は放射性物質、溺水について学習する。 【事前学習項目】 衛生管理　p344-349	講義	園木	遠隔授業
14	急病の応急手当 熱中症、減圧症、心臓発作、呼吸困難、過換気症候群、脳卒中、ショックと意識障害、脳貧血、腹痛、痙攣、不安障害について学習する。 【事前学習項目】 衛生管理　ｐ349-362	講義	園木	遠隔授業
15	中毒の応急手当 化学物質による中毒、一酸化炭素中毒、酸素欠乏・硫化水素中毒、食中毒について学ぶ。また、救急資材等の準備と防災組織づくりについて学習する。 【事前学習項目】 衛生管理　p362-361	講義	園木	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科インプラント学　(Dental Implantology)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	細川　隆司						
担当教員	細川　隆司、正木　千尋、近藤　祐介、向坊　太郎、宗政　翔、野代　知孝、森本　泰宏、引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 細川　隆司(口腔インプラント科)、正木　千尋(口腔インプラント科)、近藤　祐介(口腔インプラント科)、向坊　太郎(口腔インプラント科)、宗政　翔(口腔インプラント科)、野代　知孝(口腔インプラント科)、森本　泰宏(歯科放射線科)、引地　尚子(口腔内科)						

授業の概要

歯科インプラント治療における診査・診断、外科処置、補綴処置、メインテナンスについて教授する。

学生の到達目標

①口腔インプラントの治療の利点と欠点を説明できる。
②口腔インプラントの種類と特性を説明できる。
③インプラント治療の適応と禁忌を説明できる。
④口腔インプラント治療に必要な解剖学を理解できる。
⑤口腔インプラントの治癒過程について理解できる。
⑥口腔インプラントの手術術式について説明できる。
⑦口腔インプラントの補綴術式について説明できる。
⑧インプラント上部構造の種類とその特徴を説明できる。
⑨口腔インプラント治療におけるメインテナンスの重要性を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常1　歯科補綴　【第４章インプラント治療の実際】
出）医歯薬出版　著）

歯科衛生士が知っておきたいよくわかる口腔インプラント
出）医歯薬出版　著）

口腔インプラント治療指針2016
出）口腔インプラント学会ホームページ参照　http://www.shika-implant.org/　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

・定期試験の点数に対し欠席による減点（1回につき5点）を行い、100点満点中60点以上を合格とする。追試験および再試験の実施は履修規定による。
・授業開始後20分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また20分以上講義室を退室した場合は早退とする。遅刻・早退2回で1回の欠席に換算する。
・講義時間数の3分の1を超えて欠席した場合には、受験資格を喪失する。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科インプラント学　(Dental Implantology)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	細川　隆司						
担当教員	細川　隆司、正木　千尋、近藤　祐介、向坊　太郎、宗政　翔、野代　知孝、森本　泰宏、引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 細川　隆司(口腔インプラント科)、正木　千尋(口腔インプラント科)、近藤　祐介(口腔インプラント科)、向坊　太郎(口腔インプラント科)、宗政　翔(口腔インプラント科)、野代　知孝(口腔インプラント科)、森本　泰宏(歯科放射線科)、引地　尚子(口腔内科)						

その他

（学習相談）講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

「講義順」　細川隆司 hosokawa@kyu-dent.ac.jp、向坊太郎 r07mukaibo@fa.kyu-dent.ac.jp、
森本泰宏 rad-mori@kyu-dent.ac.jp、 正木千尋 masaki@kyu-dent.ac.jp、
宗政 翔 r19munemasa@fa.kyu-dent.ac.jp、野代知孝 r13nodai@fa.kyu-dent.ac.jp、
近藤祐介 r07kondo@kyu-dent.ac.jp、引地尚子 r09hikiji@fa.kyu-dent.ac.jp

※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科インプラント学　(Dental Implantology)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	細川　隆司						
担当教員	細川　隆司、正木　千尋、近藤　祐介、向坊　太郎、宗政　翔、野代　知孝、森本　泰宏、引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 細川　隆司(口腔インプラント科)、正木　千尋(口腔インプラント科)、近藤　祐介(口腔インプラント科)、向坊　太郎(口腔インプラント科)、宗政　翔(口腔インプラント科)、野代　知孝(口腔インプラント科)、森本　泰宏(歯科放射線科)、引地　尚子(口腔内科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科インプラント総論 診査と診断、治療計画の立案 　インプラントの歴史や基本構造を理解し、利点や欠点、種類や特性について学習する。インプラントに関する問題点や疑問点を患者の立場になり抽出する。 【事前学習課題】インプラント治療の流れ	講義	細川	遠隔授業
2	インプラント治療に必要な解剖学・骨代謝学 　上顎骨や下顎骨の形態や骨質、インプラントで注意すべき血管、神経などを理解する。また、歯槽骨の経時的変化を把握する。 【事前学習課題】頭頸部の解剖	講義	向坊	遠隔授業
3	歯科用インプラントに必要な画像検査法と画像診断 　CT読影に必要な撮影原理や用語を理解し、インプラントの術前検査および術後評価としてのCT像について学習する。 【事前学習課題】放射線読影	講義	森本	遠隔授業
4	治療計画の説明とインフォームド・コンセント 　抽出した問題点および疑問点に対する解決方法や解答を発表、議論することでインプラント治療に対する理解を深める。患者にインプラント治療について説明できるようになることを目的とし学習する。 【事前学習課題】インフォームド・コンセント	講義	正木	遠隔授業
5	埋入術式(骨造成法や軟組織増大法を含む) 　インプラント治療に必要な基本的外科手技を理解し、インプラント体埋入術式について学習する。 【事前学習課題】インプラント埋入手術	講義	宗政	遠隔授業
6	免荷期間中のメインテナンス 　インプラント埋入後からオッセオインテグレーション獲得までの免荷期間において歯科衛生士が気をつけなければならないことやメインテナンスについて学習する。 【事前学習課題】インプラント術後管理	講義	宗政	遠隔授業
7	インプラント上部構造の種類と特徴 　上部構造を作製するための印象法、作業模型の作製法を理解し、さまざまな上部構造の種類および特徴を学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴	講義	野代	遠隔授業
8	インプラントの偶発症・合併症 　インプラント治療の偶発症や合併症について学習する。 【事前学習課題】インプラント偶発症	講義	近藤	遠隔授業
9	歯科インプラントにおける歯科衛生士の役割（インプラントメンテナンスを含む） 　インプラントメインテナンスの特殊性と歯科衛生士業務について学習する。 【事前学習課題】メインテナンス	講義	引地	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

健康づくりのための食生活論　(Dietary habits for health promotion)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必須	単位数	1
授業方法	演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤利行						
担当教員	辻澤　利行、秋房　住郎、園木　一男、中道　敦子、日髙　勝美、引地　尚子、藤井　航、邵　仁浩、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

授業の概要

「生活習慣と疾患(予防)」関連の話題について、グループに分かれテュートリアル形式で学習を行う。テュートリアルでは「食と健康」に関 するシナリオを読み、そこからキーワードを抽出し、関係する学習項目を考え数項目に絞る。学習項目を図書館の書籍類やパソコンから自己学習してまとめ、次回発表する。クリティカルシンキングおよびロジカルライティングを自ら実践しながら他の学生の発表と自己学習を比べ、相違点や新たな疑問点などを、討論によってあきらかにする。また、早期体験実習を通して患者体験を経験することで歯科医療を学ぶ学生としての心構えの自覚を促す。

学生の到達目標

①食と健康管理に関する横断的な知識について、書籍やパソコンによる自己学習ができる。
②論理的な討論を体験し、専門用語を知り、論理的思考と分かりやすい話し方を、討論の中で実践できる。
③大勢の聴衆の前で分かりやすくプレゼンテーションを行うための資料を作成することができる。
④クリティカルシンキングを意識してレポートを作成することができる。
⑤ロジカルライティング意識してレポートを作成することができる。
⑥口腔内疾患（う蝕）と生活習慣との関連について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出）　著）

参考書

口腔保健学科指定の教科書および（図書館）の関連図書
出）　著）

信頼できる(大学、官公庁、学会など)インターネットのホームページ
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テュートリアルの際の態度(出欠遅刻など)	50%
レポート	50%

不合格者(60点未満)には、再試験を実施し、60点以上を合格とする。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

健康づくりのための食生活論　(Dietary habits for health promotion)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必須	単位数	1
授業方法	演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤利行						
担当教員	辻澤　利行、秋房　住郎、園木　一男、中道　敦子、日髙　勝美、引地　尚子、藤井　航、邵　仁浩、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	テュートリアル教育の説明と具体的な方法、時間配分、日程,学生とテュータ組合せ等を説明する。	講義	辻澤	遠隔授業
2	コアタイム シナリオを読み、学習課題を決めるためのキーワードを列挙し、現在知っている知識とわからない知識を整理しながら、シナリオの主人公の立場になって考え、問題解決をしていくための学習課題を決める。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
3	自己学習 学習項目を教科書、参考書、インターネットを使用して調べる。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
4	グループ発表・討論のための資料を作成・提出 大勢の聴衆の前で分かりやすくプレゼンテーションを行うための資料や原稿を作成・提出する。また、不足した課題について追加項目を調べる。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
5	自己学習 大勢の聴衆の前で分かりやすくプレゼンテーションを行うための資料・原稿について、不足した課題について調べ、内容を更にブラッシュアップする。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
6	課題の提出，テュートリアル総括とアンケート調査 シナリオおよび学習項目の解説する。次年度の改善ための事後アンケートを実施する。	授業	辻澤	遠隔授業
7	口腔健診,患者体験(歯学科合同) 歯科医療を学ぶ学生としてアーリー・クリニカル・エクスポージャー(入学初期の段階に臨床的な経験をさせる実習)を体験する	実習	口腔保健学科教員	72実習室 71実習室 相互実習室
8	口腔健診,患者体験(歯学科合同) 歯科医療を学ぶ学生としてアーリー・クリニカル・エクスポージャー(入学初期の段階に臨床的な経験をさせる実習)を体験する	実習	口腔保健学科教員	72実習室 71実習室 相互実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

統計学入門　(Introduction to Statistics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

授業の概要

統計的手法は、医学・歯学、工学、農学、生物学、経済学、社会学、人間行動学などにかかわり、多方面で利用されている。特に、歯学を含む生命科学においては実験、調査結果がバラツキをもつことが多く、これらのデータを解析し解釈する方法を体得することは必須である。さらに、与えられたデータから背景にある集団（母集団）の特性を検定、推定することは重要である。ここでは、確率論の概念を用いて統計学を数学的に基礎づけながら統計学の入門のための講義を行う。

学生の到達目標

①統計学の基礎となる確率論の概括を理解できる。
②統計学の考え方（母数、標本、統計量、仮説検定法など）を習得できる。
③統計的手法の方法および理論的根拠について理解できる。
④歯学によく現れる仮説検定法（母平均の検定、出現率の検定、適合度検定など）を熟知し、演習を通しての統計的手法を体得できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

例題中心　確率・統計入門（改訂版）
出）学術図書出版社　著）水原昂廣、宇野力

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	90%
レポート	10%

その他

平方根が計算できる電卓を持参すること。

（学習相談）深井康成：月、火、水、木16:20～17:15

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

統計学入門　(Introduction to Statistics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	統計学についてのガイダンス 試行、標本空間、事象について学ぶ。 【事前学習課題】集合に関する復習（教科書１～３ページ）	講義	深井	遠隔授業
2	確率論（その１） 確率の定義について学ぶ。 【事前学習課題】試行、標本空間、事象についての復習	講義	深井	遠隔授業
3	確率論（その2） 確率の性質と確率変数の定義について学ぶ。 【事前学習課題】確率の定義の復習	講義	深井	遠隔授業
4	確率論（その3） 離散型確率変数の平均と分散の定義について学ぶ。 【事前学習課題】確率変数の定義の復習	講義	深井	遠隔授業
5	確率論（その4） 確率変数の独立性と従属性について学ぶ。 【事前学習課題】離散型確率変数の平均と分散の定義の復習	講義	深井	遠隔授業
6	確率論（その5） 正規分布、ｔ－分布、カイ二乗分布について学ぶ。 【事前学習課題】確率変数の独立性の定義の復習	講義	深井	遠隔授業
7	統計学の考え方 母集団、母数、標本、統計量について学ぶ。 【事前学習課題】正規分布の定義の復習	講義	深井	遠隔授業
8	統計的推定 区間推定につい学ぶ。 【事前学習課題】母集団、母数、標本についての復習	講義	深井	遠隔授業
9	統計的検定（１） 正規母集団の母平均の検定について学ぶ。 【事前学習課題】区間推定についの復習	講義	深井	遠隔授業
10	統計的検定（２） ２つの正規母集団の等平均の検定について学ぶ。 【事前学習課題】正規母集団の母平均の検定についての復習	講義	深井	遠隔授業
11	統計的検定（３） 出現率の検定について学ぶ。 【事前学習課題】２つの正規母集団の等平均の検定についての復習	講義	深井	遠隔授業
12	統計的検定（４） ２つの母集団の出現率の比較検定について学ぶ。 【事前学習課題】出現率の検定についての復習	講義	深井	遠隔授業
13	統計的検定（５） 適合度の検定について学ぶ。 【事前学習課題】２つの母集団の出現率の比較検定についての復習	講義	深井	遠隔授業
14	統計的検定（６） 分割表による独立性の検定について学ぶ。 【事前学習課題】適合度の検定についての復習	講義	深井	遠隔授業
15	まとめ 確認テストを行う。 【事前学習課題】第1回から第14回までの講義の復習	確認テスト	深井	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療健康統計学　(Oral Health Statistics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美、邵　仁浩						

授業の概要

医療健康統計学では、歯科保健活動や歯科臨床に携わる歯科衛生士として知っておくべき、疫学の基本概念、保健医療統計調査の種類と概要、歯科疾患の指標、統計の基礎等について学習する。歯科衛生士は歯科疾患や口腔清掃状態の指数に基づき患者の歯科保健指導を行うことが多いことから、齲蝕の指数、歯周疾患の指数、口腔清掃状態の指数等については指数計算を実践するとともに、歯科領域における数量化、指数化の意義を学習する。

学生の到達目標

①公的統計の主な役割と国家統計の種類を説明できる。
②疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベルを説明できる。
③疾病頻度の指標、スクリーニング検査の役割を説明できる。
④齲蝕、歯周病等の歯科疾患の疫学的特性を説明できる。
⑤齲蝕、歯周病等の各種指数を説明できる。
⑥口腔清掃状態の各種指数を説明できる。
⑦統計データの種類、度数分布、正規分布の特徴等を説明できる。
⑧衛生統計における有意差の考え方を説明できる。
⑨事業場における労働衛生管理統計を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　保健情報統計学
出）医歯薬出版　著）眞木吉信 他著

参考書

最新歯科衛生士教本　保健生態学
出）医歯薬出版　著）可児徳子 他著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

（学習相談）口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。
・日髙勝美:月～金16:30～17:30
・邵　仁浩:月～金16:30～17:30

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医療健康統計学　(Oral Health Statistics)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日髙　勝美						
担当教員	日髙　勝美、邵　仁浩						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	保健医療統計調査の概要と国家統計の種類 　保健情報および保健統計の概要、公的統計の主な役割と法的な根拠、国家統計の種類（基幹統計及び一般統計）について学習する。 【事前学習課題】国家統計の種類、国勢調査	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業
2	疫学の概念と疫学研究の概要 　疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベル、標本の抽出方法及び因果関係、相関等について学習する。 【事前学習課題】疫学研究の種類、コホート研究、症例対照研究	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
3	疾病頻度の指標、スクリーニング 　有病率と罹患率の相違、粗死亡率と年齢調整死亡率の相違等を学習する。また、健診におけるスクリーニング検査の役割を学習する。 【事前学習課題】有病率、罹患率、スクリーニング検査	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
4	歯科疾患の疫学 　疫学総論と健康障害の発生要因、疫学の方法論、齲蝕、歯周病等の歯科疾患の疫学的特性について学習する。 【事前学習課題】齲蝕の特徴、歯周病の特徴	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
5	歯科疾患の指数 　齲蝕の診断基準と各種指数、歯周疾患の各種指数、不正咬合の指数及び歯のフッ素症の診断基準について学習する。 【事前学習課題】齲蝕に関する指数、歯周疾患に関する指数	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
6	口腔清掃の各種指数 　口腔清掃に関する各種指数の特色、診査部位、診査基準、評価方法、指数計算について学習する。 【事前学習課題】Oral Hygiene Index、Plaque Control Record	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
7	衛生統計の基礎 　統計データの種類（量的データ及び質的データ）、度数分布、平均値、中央値、最頻値、正規分布の特徴等について学習する。 【事前学習課題】度数分布、正規分布	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
8	衛生統計の基礎 　標準正規分布及びその応用例、推定及び検定の方法と特徴、衛生統計における有意差の考え方を学習する。 【事前学習課題】推定と検定、有意差の考え方	講義 資料配布 レポート課題提示	邵	遠隔授業
9	労働衛生管理統計 　事業場における作業環境管理、作業管理および健康管理に関わる統計の目的、種類および特徴について学習する。 【事前学習課題】労働衛生の統計、労働衛生の3管理	講義 資料配布 レポート課題提示	日髙	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科医療補助論　(Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						

授業の概要

歯科衛生士業務である歯科診療の補助に必要な知識を習得する。
この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「１．全人的歯科医療人としての素養」「5．全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。

学生の到達目標

①歯科診療補助の概要と医療倫理について説明できる。
②感染予防について理解し、消毒・滅菌について説明できる。
③歯科医療現場における患者対応を説明できる。
④歯科診療時の共同動作の概念、必要な臨床検査の目的と各種検査法を説明できる。
⑤歯科保存治療（修復・歯内療法）の特徴および必要器材を説明できる。
⑥歯周治療・歯周外科治療の特徴および必要器材を説明できる。
⑦歯科補綴治療の特徴および必要器材を説明できる。
⑧口腔外科治療、歯科麻酔の特徴および必要器材を説明できる。
⑨矯正治療時の診療補助、小児歯科治療の特徴および必要器材を説明できる。
⑩歯科診療で扱う歯科材料の使用目的を説明できる。
⑪歯科で関わる全身疾患について、有病者に対する歯科診療補助の対応および注意点が説明できる。
⑫周術期口腔機能管理について、ターミナルケアへのかかわりについて説明できる。
⑬歯科訪問診療の特徴および患者対応、必要器材、注意点について説明できる。
⑭これまでの知識の整理を行い理解を深める。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科診療補助　第2版
出）医歯薬出版　著）著）全国歯科衛生士教育協議会監修

参考書

最新歯科衛生士教本　歯科臨床補助　歯科放射線学
出）医歯薬出版　著）著）全国歯科衛生士教育協議会監修

最新歯科衛生士教本　歯周疾患　歯周治療
出）医歯薬出版　著）著）全国歯科衛生士教育協議会監修

最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法
出）医歯薬出版　著）著）全国歯科衛生士教育協議会監修

最新歯科衛生士教本　歯科医療倫理
出）医歯薬出版　著）著）全国歯科衛生士教育協議会監修

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科医療補助論　(Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト	30%
レポート	10%

定期試験はテキスト中心に出題する。
定期試験結果、小テストの合計点数（全10回）、レポートの点数を合計し、総合点数を算出する。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科医療補助論　(Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	【歯科医療倫理と医療安全】 歯科医療の倫理、歯科衛生士の役割を学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP2-14 ・小テストキーワード：歯科衛生士の業務、歯科医療の倫理、医行為、医療安全	講義	船原	遠隔授業
2	【感染予防】 感染予防、リスクアセスメント、標準予防策を学び、具体的に歯科における感染予防対策であるグローブ、マスク、ゴーグルの着用、手指消毒方法を理解する。 【消毒・滅菌】 洗浄・消毒・滅菌の定義や各種滅菌法、消毒薬剤の種類と使用法、具体的な器具の滅菌レベル、消毒・滅菌済み器材の管理、医療廃棄物の取り扱いについて学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP15-49 ・小テストキーワード：標準予防策、各種滅菌法	講義	船原	遠隔授業
3	【歯科診療室の基礎知識】 歯科診療室の基礎知識では、歯科診療室の環境、歯科用ユニットの各部位の名称とその操作方法、その他の設備・機器、薬品・歯科材料の管理について学ぶ。 【患者対応の流れ】 歯科診療室における、歯科用ユニットまでの患者誘導、待合室への導出方法について学び、その際のインシデント、アクシデントを未然に防ぐ留意点について学ぶ。 ・事前学習課題テキスト：P50-77 ・小テストキーワード：歯科用ユニット、インシデント・アクシデント	講義	船原	遠隔授業
4	【歯科領域に必要な臨床検査】 歯科診療において行う臨床検査について学ぶ。 エックス線写真撮影の流れについて理解する。 【薬品・歯科材料の管理】 薬品・歯科材料の管理方法と取り扱いについて理解する。 ・事前学習課題：テキストP78-98 ・小テストキーワード：エックス線写真撮影法の種類、歯科領域に必要な臨床検査の種類、薬物の表示	講義	船原	遠隔授業
5	【歯科保存修復時の診療補助】 歯科保存修復の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP99-124 ・小テストキーワード：ラバーダム防湿の目的、保存修復治療の種類、漂白法	講義	船原	遠隔授業
6	【歯科歯内療法時の診療補助】 歯科歯内療法の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を学ぶ。 【歯周治療・歯周外科治療時の診療補助】 歯周疾患、歯周外科治療の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP125-137 ・小テストキーワード：歯髄処置とは、歯周外科治療時の業務	講義	船原	遠隔授業
7	【歯科補綴治療時の診療補助】 歯科補綴治療（ブリッジ、義歯作製）の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP138-152 ・小テストキーワード：補綴装置の種類	講義	船原	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科医療補助論　(Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
8	【口腔外科治療時の診療補助】 口腔外科治療（普通抜歯、難抜歯）の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を学ぶ。 【歯科麻酔について】 歯科麻酔（局所麻酔、表面麻酔）の使用薬剤および器具、留意事項を学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP153-172 ・小テストキーワード：抜歯術後の管理・患者指導、局所麻酔の適応と使用法	講義	船原	遠隔授業
9	【矯正治療時の診療補助】 矯正治療の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を学ぶ。 【小児歯科治療時の診療補助】 小児の特性、口腔内の特徴について理解し、診療補助の概要を学ぶ ・事前学習課題：テキストP173-191 ・小テストキーワード：矯正治療と診療補助の流れ、小児の対応法	講義	船原	遠隔授業
10	【歯科診療で扱う歯科材料について1①】 歯科診療時に扱う合着材、接着材、仮封材についてそれぞれの特性や使用方法について学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP192-221 ・小テストキーワード：印象採得の目的、歯科用石膏の基礎知識	講義	船原	遠隔授業
11	【歯科診療で扱う歯科材料について②】 歯科診療時に扱う合着材、接着材、仮封材についてそれぞれの特性や使用方法について学ぶ。 ・事前学習課題：テキストP221-254 ・小テストキーワード：合着材・仮封材の基礎知識	講義	船原	遠隔授業
12	【歯科で関わる全身疾患について】 口腔は全身の一部であるという概念と共に、全身疾患の基礎知識と歯科診療補助時の注意点について学ぶ。 【有病者に対する歯科診療補助について】 ・事前学習課題：テキストP256-285 ・小テストキーワード：糖尿病と口腔に現れる特徴、骨粗しょう症と口腔に現れる特徴	講義	船原	遠隔授業
13	【周術期口腔機能管理について】 周術期口腔機能管理と臨床検査値について概要を学ぶ。 【歯科訪問診療補助について】 ・事前学習課題：テキストP286-306 ・小テストキーワード：がん治療	講義	船原	遠隔授業
14	【これまでの授業の振り返り】 テキストを参照し、これまでの講義のまとめや疑問点の解決を行う。 ・事前学習課題：講義13で指示	講義	船原	遠隔授業
15	【2年次の実習に向けての復習】 2年次より開始する実習を想定した知識の整理を行う。 ・事前学習課題：講義14で指示	講義	船原	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健論　(Oral health science)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必須	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	本田　尚郁						

授業の概要

口腔保健論は、歯科衛生士の業務である歯科予防処置に必要な知識を履修する。
歯科予防処置の定義や歯科衛生士法に基づく概要を理解し、専門的処置を安全に行えるための知識を深める。
卒業コンピテンシー「歯周疾患の予防を目的とした指導方法を修得する」に資する授業である。

学生の到達目標

①歯科衛生士の専門性を理解し、生涯学習者としての基本姿勢を身につける。
②歯・歯周組織の常態を説明できる。
③プラーク・歯石の形成過程と成分について説明できる。
④歯周病の原因と分類、進行および予防法について説明できる。
⑤歯周病における検査を説明できる。
⑥歯面研磨・歯面清掃の目的・特徴・有効性を説明できる。
⑦歯面研磨・歯面清掃の器具を列挙できる。
⑧超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。
⑨超音波スケーラーの使用方法を説明できる。
⑩超音波スケーラーとエアスケーラーの違いを説明できる。
⑪手用スケーラーの種類と特徴を説明できる。
⑫手用スケーラーの操作方法を説明できる。
⑬安全な歯科衛生活動を実践するための感染予防について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版株式会社　　著）

参考書

目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ
出）医歯薬出版株式会社　　著）

ザ・ペリオドントロジー
出）永松書店　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
授業中に実施する確認試験及び授業参加態度	30%

欠席１回につき５点、遅刻１回につき３点減点とする。

その他

学習相談等については、授業終了後あるいは口腔保健学科オフィス（61オフィス）、またはメールにて随時受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健論　(Oral health science)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必須	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	本田　尚郁						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健論の授業概要：口腔保健論の授業の概要と到達目標について理解する。 基礎知識①： 歯科予防処置論の定義、う蝕や歯周疾患の予防、口腔の健康を維持・増進させるための専門的な知識、技能および態度を学ぶ。 【事前学習課題】 テキストP2～5 歯科予防処置論の定義	講義	本田	講義室 遠隔授業
2	基礎知識②： 正常な歯・歯周組織と口腔の機能について学ぶ。口腔の付着物・沈着物（プラークや歯石等）の形成過程と成分について学ぶ。 歯周疾患の基礎知識①： 歯周病の原因と分類について学ぶ。 【事前学習課題】 P16～21、P28～32、P37～43、P132～143 口腔の基礎知識、う蝕と歯周病の基礎知識、口腔内の情報収集	講義	本田	講義室 遠隔授業
3	歯周疾患の基礎知識②： 歯周病の検査について学ぶ。 【事前学習課題】 P142～149 口腔内の情報収集、歯周基本検査法	講義	本田	講義室 遠隔授業
4	手用スケーラーについて：手用スケーラーの種類と特徴を学ぶ。 各種手用スケーラーの操作方法を学ぶ。ポジショニングについて学ぶ。 【事前学習課題】 P183～193 手用スケーラー、ポジショニング	講義	本田	講義室 遠隔授業
5	超音波スケーラーについて： 超音波スケーラーの種類と特徴を理解し、使用方法を学ぶ。超音波スケーラーとエアスケーラーの違いを学ぶ。 【事前学習課題】 P207～218 超音波スケーラー、エアスケーラー	講義	本田	講義室 遠隔授業
6	歯面研磨・歯面清掃について： 歯面研磨・歯面清掃の目的を理解し、操作方法を学ぶ。 【事前学習課題】 P218～228 歯面研磨、歯面清掃、PMTC、PTC、歯面清掃器	講義	本田	講義室 遠隔授業
7	２年次の実習に向けて総括①： ２年次より開始する『歯周疾患予防処置実習Ⅰ・Ⅱ』を想定した知識の整理を行う。 配布資料、テキストを参照し、これまでの講義のまとめや疑問点の解決を行う。 【事前学習課題】 今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	講義	本田	講義室 遠隔授業
8	予防商品について： 予防商品について、取り扱いや患者へのセレクト方法について学ぶ。 企業歯科衛生士によるレクチャー。 【事前学習課題】 歯ブラシ、歯磨剤、清掃補助用具、洗口剤 提出課題あり	講義	本田	講義室 遠隔授業
9	２年次の実習に向けて総括②： ２年次より開始する『歯周疾患予防処置実習Ⅰ・Ⅱ』を想定した知識の整理を行う。 実習の説明、実習時の身だしなみについて理解する。 【事前学習課題】 今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	講義	本田	講義室 遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科予防処置論　(Preventive dentistry)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	邵　仁浩						

授業の概要

歯科予防処置論は、歯科衛生士の業務に関する「歯科予防処置」、「歯科保健指導」を総合的に捉え、口腔の健康管理を支援する専門職として主に歯科予防処置を中心とした必要な知識を得ることを目的とする。得られた知識を活かして、専門職として臨床の場で口腔保健管理が適切に実践できる能力を養う。

学生の到達目標

①歯科予防処置論の定義を説明できる。
②歯・口腔の付着物・沈着物を説明できる。
③う蝕の分類と原因を説明できる。
④う蝕のリスク評価の活用法を説明できる。
⑤ライフステージ毎の口腔内状況を説明できる。
④う蝕予防処置の応用について説明できる。
⑤フッ化物によるう蝕予防法を説明できる・
⑥小窩裂溝填塞法の有効性を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版株式会社　著）一般社団法人　全国歯科衛生士教育協議会　監修

参考書

新予防歯科学（第4版）
出）医歯薬出版株式会社　著）米満正美　著他

フッ化物についてよく知ろう
出）デンタルダイヤモンド社　著）飯島洋一

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
確認テスト	10%
課題レポート	10%

確認テストは講義９回のうち1回実施する。欠席による確認テストの後日受験は原則認めない（忌引き等で補講が認められた場合を除く）。

その他

（学習相談）授業終了後、あるいは口腔保健学科11オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科予防処置論　(Preventive dentistry)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	邵　仁浩						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科予防処置論の定義 歯科予防処置の法的な位置づけについて学ぶ。 歯科予防処置の基礎知識① 歯・歯周組織の構造について学ぶ。 【事前学習課題】歯科予防処置の法的な位置づけ、歯・歯周組織の構造	講義	邵	遠隔授業
2	歯科予防処置の基礎知識② 歯・口腔の付着物・沈着物およびう蝕の分類と原因について学ぶ。 【事前学習課題】歯・口腔の付着物・沈着物、う蝕の分類と原因	講義	邵	遠隔授業
3	歯科予防処置の基礎知識⑤ ライフステージ毎の口腔内状況を理解し、個人に対応した歯科予防処置について学ぶ。 【事前学習課題】ライフステージ毎の口腔内状況	講義	邵	遠隔授業
4	歯科予防処置① フッ化物によるう蝕予防法について学ぶ。 【事前学習課題】フッ化物の基礎知識	講義	邵	遠隔授業
5	歯科予防処置② フッ化物によるう蝕予防法について学ぶ。 【事前学習課題】フッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法	講義	邵	遠隔授業
6	歯科予防処置③ 小窩裂溝填塞法について学ぶ。 【事前学習課題】小窩裂溝填塞法の有効性	講義	邵	遠隔授業
7	う蝕予防処置実習に向けての総括 配布資料、テキストを参照し、これまでの講義のまとめや疑問点の解決を行う。 確認テスト 【事前学習課題】今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	講義 確認テスト	邵	遠隔授業
8	歯科検診・患者体験 歯科予防処置の基礎知識としてう蝕のリスク評価の活用法について学ぶ。 歯科医療を学ぶ学生として、アーリー・クリニカル・エクスポージャー（入学初期の段階に臨床的な経験としてう蝕のリスク評価の活用法を経験させる実習）をする。 【事前学習課題】う蝕のリスク評価の活用法	講義 実習	邵	相互実習室 ７２実習室
9	歯科検診・患者体験 歯科医療を学ぶ学生として、アーリー・クリニカル・エクスポージャー（入学初期の段階に臨床的な経験としてう蝕のリスク評価の活用法を経験させる実習）をする。 【事前学習課題】う蝕のリスク評価の活用法	実習	邵	相互実習室 ７２実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療補助実習　(Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)						

授業の概要

患者に安全で安心な歯科診療を実施するために歯科診療の補助に必要な知識と技術を学ぶ。診療室の管理、患者対応、滅菌消毒、共同動作、ラバーダム防湿、印象採得、模型作作製、テンポラリークラウン作製を習得する。治療前準備では歯肉圧排法、歯間分離等を行い、対象患者へ配慮をした歯科診療補助ができる手技を習得する。
この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「１．全人的歯科医療人としての素養」「5．全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。
※本実習は適宜習得手技順の変更を行う。
　第一講時に配布される講義計画を熟読し、講義に臨むこと。

学生の到達目標

①歯科ユニット操作、器具の消毒・滅菌ができる。
②一般患者の対応と指導ができる。
③共同動作ができる。歯科材料の作製ができる。
④保存治療前準備ができる。
⑤仮封材、合着・接着材の取扱いができる。
⑥各種印象材の取扱いができる。
⑦印象採得・模型作製ができる。
⑧口腔内の印象採得、模型作製ができる。
⑨歯周パックの練和、装着ができる。
⑩テンポラリークラウンの作製ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会 監修

参考書

最新歯科衛生士教本　小児歯科
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常1　歯科補綴
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

最新歯科衛生士教本　歯周疾患 歯周治療
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
態度評価	50%
課題レポート	20%
作製提出物	30%

次の場合は減点する。
・実習にふさわしい服装ができていない、実習態度に問題がある場合(-5点)
・レポートの締め切り期限を過ぎた場合(-3点)
・レポート、提出物の評価は、A、B、Cで評価する。評価Cの場合(-5点)
作製物提出の際の採点基準については、実習前に周知を行う。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療補助実習　(Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)						

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療補助実習　(Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	【歯科診療室の管理・感染防御の実際】 歯科診療室の設備・器材の管理、歯科用ユニットの名称とその操作方法について説明できる。 衛生的手洗い、すり込み式消毒法、グローブの着脱、患者誘導、器具の洗浄、滅菌・消毒法、滅菌パック、オートクレーブ操作が実施できる。 【事前学習課題】歯科ユニットの名称、手洗い方法、ラビング法、器具滅菌	実習	船原	遠隔授業
3,4	【診療時の共同動作の基本（１）】 入室から退室までの患者対応を学び、フォーハンドシステム、バキュームテクニック、スリーウェイシリンジテクニック、ライティングが実施できる。 【事前学習課題】フォーハンドシステム、バキュームテクニック	実習	船原	相互実習室
5,6	【診療時の共同動作の基本（２）】 患者を誘導、術者・補助者・患者の位置と姿勢について説明できる。 バキュームテクニック、ライティングの復習を行い実施できる。 【事前学習課題】患者誘導の注意事項、ポジショニング、バキュームの際の口腔内禁忌部位、ライティング	実習	船原	相互実習室 技工室
7,8	【保存治療前準備】 ラバーダム防湿について説明できる。 顎模型にラバーダムを着脱できる。 【事前学習課題】ラバーダム防湿、歯肉圧排、歯間分離の操作手技	実習	船原	シミュレーション実習室
9,10	【仮封材、合着・接着材の取扱い】 各種仮封材の管理と操作を学ぶ。水硬性仮封材、テンポラリーストッピング、仮封用軟質レジン、仮封用セメント、酸化亜鉛ユージノールの取り扱いと操作、片付けが実施できる。 各種合着・接着材の操作を実施する。グラスアイオノマーセメント、カルボキシレートセメント、接着性レジンセメント、リン酸亜鉛セメントの操作、片付けを実施できる。 【事前学習課題】仮封材、接着材の操作手技	実習	船原	技工室 石膏室
11,12	【印象採得実習（１）】 概形印象材・精密印象材の取扱いについて説明できる。 アルジネート印象採得、シリコンラバー印象採得の取り扱いと操作、片付けを実施できる。 【事前学習課題】アルジネートの練和および操作手技、シリコンラバー印象材の練和および操作手技	実習	船原	技工室 石膏室
13,14	【印象採得実習（２）】 印象採得と模型を作製できる。 顎模型の印象採得、石膏注入、片付け、トリミングを実施できる。 【事前学習課題】印象採得の際の注意点、石膏練和手技	実習	船原	石膏室
15,16	【印象採得実習（３）】 相互に印象採得と模型を作成できる。 学生相互で印象採得をしてスタディモデルを作製できる。 トレーの滅菌、印象物と器具の消毒、石膏注入、模型作製、片付けを実施できる。 【事前学習課題】印象採得手技、石膏模型の作製手技	実習	船原	相互実習室 石膏室
17,18	【歯周パック練和装着と石膏模型処理】 歯周外科処置後を想定し、歯周パックの練和、装着、除去を実施できる。 15,16回で作製した石膏模型の処理、台付けを実施できる。 ※作製した石膏模型は提出し評価を受ける。 【事前学習課題】歯周パックの使用方法、石膏模型台付け手技	実習	船原	技工室 石膏室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療補助実習　(Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
19,20	【暫冠被覆冠作製】 既成冠を用いて前歯部の暫冠被覆冠を作製できる。 臼歯部は直接法で暫冠被覆冠を作製できる。 ※作製したテンポラリークラウンは提出し評価を受ける。 【事前学習課題】テンポラリークラウンの作製手技	実習	船原	シミュレーション実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療支援論　(Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか、園木　一男						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)、園木　一男(内科)						

授業の概要

歯科診療の臨床における小児、高齢者、障害者、有病者などの対象者別の対応を学ぶ。他の医療従事者との連携に必要な知識、技術、態度を理解して、正確で迅速な医療行為を遂行できる基本的な技術を学ぶ。患者対応のための医療面接、コミュニケーション、エックス線撮影時の診療補助を学ぶ。歯周外科・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科等の診療補助を学ぶ。
この科目は本学の卒業コンピテンシー「１．全人的歯科医療人としての素養」「5．全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動」に資する。
※本講義は歯科保健医療補助実習の進行度により、講義順の変更を行う。
　第一講時に配布される講義計画を熟読し、講義に臨むこと。

学生の到達目標

①歯科診療室の管理と感染予防の説明ができる。
②診療時の共同動作の基本について説明ができる。
③矯正歯科治療時の器具器材の説明およびエックス線写真撮影法の説明ができる。
④ラバーダム、隔壁、歯冠分離、歯肉圧排の目的、器具器材の種類、操作方法が説明できる。
⑤仮封材、合着・接着剤の管理と取扱について説明ができる。
⑥義歯作成時の検査および器材の説明ができる。
⑦歯内療法、ホワイトニングの器材準備と取り扱いが説明できる。
⑧コンポジットレジン修復、インレー修復の器材準備と取り扱いが説明できる。
⑨歯周外科治療時の器具器材の説明ができる。
⑩テンポラリークラウン作成時の器材準備の説明ができる。
⑪小児歯科治療時の対応ができる、説明ができる。
⑫歯科診療時、障害者患者に対応ができる。
⑬歯科診療時、全身疾患を有する患者に対応ができる。
⑭口腔外科治療時の器材準備の説明ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科診療補助　第2版
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士教育協議会　監修

参考書

最新歯科衛生士教本　歯科医療倫理
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

保健医療におけるコミュニケーション・行動科学
出）出) 医歯薬出版　著）著) 高江洲義矩　編著

最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常2　歯科矯正
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

新歯科衛生士教本　歯科臨床補助　歯科放射線学
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

最新歯科衛生士教本　顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療支援論　(Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか、園木　一男						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)、園木　一男(内科)						

最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常1　歯科補綴
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

最新歯科衛生士教本　歯周疾患　歯周治療
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

歯科衛生士教育マニュアル 新編 小児歯科学
出）出) クインテッセンス出版株式会社　著）

最新歯科衛生士教本　障害者歯科
出）出) 医歯薬出版　著）著) 全国歯科衛生士協議会　監修

器材準備マニュアル　第５版
出）出) 口腔保健協会　著）著) 全国歯科衛生士教育協議会　編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
レポート	20%
授業前小テスト	20%

定期試験はテキスト中心に出題する。
定期試験結果、レポート、講義前に行う小テストの点数で総合点数を算出する。
総合点数より、欠席は1回につき-5点、遅刻および忘れ物は1回につき-3点とし、総合評価を行う。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療支援論　(Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか、園木　一男						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)、園木　一男(内科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	【救急処置】 救命処置の対応と手順について具体的に説明できる。 【感染予防】 感染予防、リスクアセスメント、標準予防策を学び、具体的に歯科における感染予防対策であるグローブ、マスク、ゴーグルの着用、手指消毒方法を説明できる。 【消毒・滅菌】 洗浄・消毒・滅菌の定義や各種滅菌法、消毒薬剤の種類と使用法、具体的な器具の滅菌レベル、消毒・滅菌済み器材の管理、医療廃棄物の取り扱いを説明できる。 【事前学習課題】テキストP15-49	講義	船原	遠隔講義
2	【歯科診療室の基礎知識】 歯科診療室の環境、歯科用ユニットの各部位の名称とその操作方法、その他の設備・機器、薬品・歯科材料の管理を説明できる。 【患者対応の流れ】 歯科診療室における、歯科用ユニットまでの患者誘導、待合室への導出方法について学び、その際のインシデント、アクシデントを未然に防ぐ留意点を具体的に説明できる。 【診療補助の基礎的動作】 診療補助時の共同動作についてと基礎的なポジショニングの留意点を説明できる。 【事前学習課題】テキストP50-77	講義	船原	遠隔講義
3	【エックス線写真撮影時の診療補助】 歯科におけるエックス線撮影法の種類、撮影時の注意点、エックス線防護法、エックス線撮影補助、フィルムの準備、取り扱い、管理について説明できる。 【薬物・歯科材料の取り扱い】 薬物・歯科材料の使用目的および取り扱い時の注意点を説明できる。 【矯正歯科治療時の診療補助】 歯科矯正治療の使用目的別器具の種類を説明できる。 【事前学習課題】テキストP90-98、P173-182	講義	船原	遠隔講義
4	【歯科保存修復時の診療補助①】 ラバーダム防湿法、隔壁法、歯冠分離法、歯肉圧排法の目的、器具器材の種類、操作方法について説明できる。 【事前学習課題】テキストP99-114	講義	船原	遠隔講義
5	【歯科保存修復時の診療補助②】 直接修復法の手順および使用器材を説明できる。インレー修復の目的、種類、作成法、器具器材を説明できる。 【事前学習課題】テキストP111-124	講義	船原	遠隔講義
6	【歯科保存修復時の診療補助③】 ホワイトニングの術式、使用器具器材、薬剤の名称と使用方法について説明できる。 【歯内療法時の診療補助】 歯内療法の術式、使用器具器材、薬剤の名称と使用方法について説明できる。 【事前学習課題】テキストP121-132	講義	船原	遠隔講義
7	【歯科材料の取り扱い①】 各種仮封材、合着・接着材の取り扱いと操作、片付けについて説明できる。 各種合着・接着材の管理の取り扱いと操作、片付けについて説明できる。 【事前学習課題】テキストP115-121、P222-254	講義	船原	遠隔講義
8	【歯科補綴治療時の診療補助①】 歯科補綴治療（義歯作製）の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を説明できる。 印象材、模型材料、ワックスの種類と使用方法、用途について説明できる。 【事前学習課題】テキストP138-143、P192-221	講義	船原	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療支援論　(Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原　まどか						
担当教員	船原　まどか、園木　一男						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)、園木　一男(内科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
9	【歯科補綴治療時の診療補助②】 歯科補綴治療（ブリッジ、クラウン）の流れ、および使用器具について理解し、診療補助の概要を説明できる。 テンポラリークラウン作成とその目的、各種作成法と手順を学ぶ。 【事前学習課題】テキストP144-148	講義	船原	遠隔講義
10	【歯周外科治療の診療補助】 歯周外科治療の目的、分類、使用器具器材、薬物療法、歯周パックの目的、術式、患者指導について説明できる。 【事前学習課題】テキストP133-137	講義	船原	遠隔講義
11	【小児歯科治療時の診療補助、周術期口腔機能管理の診療補助】 小児・障害児の歯科処置の困難さ、歯科治療時に参考となる症状と反応、小児の治療時の対応法の基本、小児の発達段階、小児の歯科治療時の留意点を説明できる。 周術期口腔機能管理とその際の診療補助について説明できる。 【事前学習課題】テキストP183-191	講義	船原	遠隔講義
12	【障害者（児）歯科治療時の診療補助】 障害者の歯科医療における困難さ、特徴、患者対応の基本、行動調整法の種類と具体的方法、非意識下の歯科治療、全身麻酔法、鎮静下歯科治療法、口腔管理、介助者への対応、リスク・安全管理について学ぶ。 【事前学習課題】直前の講義で指示	講義	船原	遠隔講義
13	【歯科診療時の全身疾患患者の対応】 全身疾患患者の歯科治療時の対応を学ぶ。具体的には、バイタルサインの把握とそのモニタリング、さらに過換気症候群、てんかん、高血圧、脳貧血、致死的不整脈とその処置について学ぶ。 【事前学習課題】直前の講義で指示	講義	園木	遠隔講義
14	【口腔外科治療時の診療補助】 口腔外科処置時の歯科衛生士の役割、普通抜歯・難抜歯時の使用器具器材の名称と使用手順、縫合器具、歯科麻酔法、歯科用注射針、替え刃メスの取り扱い、抜歯鉗子、外科器具の種類と取り扱いについて説明できる。 【事前学習課題】テキストP149-172	講義	船原	遠隔講義
15	歯科保健医療連携実習において必要となる、各歯科専門領域における処置内容および器具器材の準備について、不足している知識を復習する。	講義	船原	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療連携実習　(Collaborative Seminar for Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、邵　仁浩、園木　一男、引地　尚子、有田　正博、田中　達朗、若杉　奈緒、黒石　加代子、郡司掛　香織、左合　美紗、磯部　彩香、口腔保健学科長						

授業の概要

歯科保健医療に関する基本的な知識と技術を学んだうえで、多様な患者対応および患者への最良かつ安全な歯科診療の提供について、特別支援学校見学、全身管理法等の相互実習を通じて学修する。また、歯科医師との連携に必要なコンポジットレジン修復の手技、歯内療法の手技、口蓋床の作製、エックス線撮影時の補助、口腔外科処置時の器具の取り扱い、矯正歯科の検査等についての実習を行い技術を修得する。
※本講義により得られる卒業ｺﾝﾋﾟﾃﾝｼｰ：5.全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動のうち5-5. 全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得する。

学生の到達目標

①トッフルマイヤーリテーナーを使用して隔壁ができる。
②コンポジットレジン充填・研磨ができる。
③抜髄処置、根管充填処置の補助ができる。
④障害を持った児童生徒の生活全般が理解できる。
⑤バイタルサイン、モニタリング、意識レベルの把握ができる。
⑥抜歯、小手術、縫合器具の種類、用途、取り扱いができる。
⑦口蓋床作製に必要な器具器材の取り扱いができる。
⑧パノラマエックス線撮影の補助ができる。
⑨歯科矯正におけるセファロ分析ができる。
⑩臨床実習前に必要な診療補助業務ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監

参考書

最新歯科衛生士教本　保存修復・歯内療法学
出）医歯薬出版　著）

最新歯科衛生士教本　歯科補綴学
出）医歯薬出版　著）

新歯科衛生士教本, 歯科放射線学
出）医歯薬出版　著）

新歯科衛生士教本　歯科矯正学
出）医歯薬出版　著）

最新歯科衛生士教本　障害者歯科
出）医歯薬出版　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	60%
実習態度	40%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ１回につき3点を減点する。また課題提出期限の遅れと不備は、それぞれ１回につき5点を減点する。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療連携実習　(Collaborative Seminar for Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、邵　仁浩、園木　一男、引地　尚子、有田　正博、田中　達朗、若杉　奈緒、黒石　加代子、郡司掛　香織、左合　美紗、磯部　彩香、口腔保健学科長						

その他

講義内容の質問は科目責任者である泉繭依がe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯科保健医療連携実習　(Collaborative Seminar for Dentistry practice)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、邵　仁浩、園木　一男、引地　尚子、有田　正博、田中　達朗、若杉　奈緒、黒石　加代子、郡司掛　香織、左合　美紗、磯部　彩香、口腔保健学科長						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	保存治療前準備 トッフルマイヤーリテーナーを使用してマトリックスバンドを着脱する隔壁法を実習する。 【事前学習課題】保存治療学、隔壁法	実習	泉	シミュレーション実習室、遠隔授業
3,4	防湿・成形修復（コンポジットレジン修復） ラバーダム防湿、隔壁を行い前歯歯頸部齲蝕と､臼歯部隣接面齲蝕に対するコンポジットレジン修復を実習する。 【事前学習課題】保存治療、コンポジットレジン修復	実習	邵 泉	シミュレーション実習室、遠隔授業
5,6	器材準備・歯内療法 透明根管を使用し、歯内療法の各ステップ（根管形成、根管洗浄、根管貼薬、根管充填等）を実習する。 【事前学習課題】歯内療法、根管治療、根管充填	実習	邵 泉	シミュレーション実習室、遠隔授業
7,8	器材準備・口腔外科 抜歯、小手術、縫合器具の種類、用途、取り扱いについて実践的に実習する。 【事前学習課題】口腔外科、抜歯、難抜歯	実習	引地 泉	相互実習室、遠隔授業
9,10	特別支援学校 特別支援学校の障害を持った児童生徒の生活全般を理解する。 【事前学習課題】障害者歯科、保健指導	実習	園木 泉	講義室、、遠隔授業
11,12	歯科臨床の全身管理 バイタルサインである血圧、脈拍、呼吸、意識レベルなどの評価方法、モニタリングを実習する。 【事前学習課題】バイタルサイン	実習	園木 泉	相互実習室、遠隔授業
13,14	器材準備・歯科補綴学 補綴治療に必要な器具や材料を用いて口蓋床の製作実習を行う。 【事前学習課題】義歯の研磨、筆積み法	実習	有田 泉	技工室、遠隔授業
15,16	エックス線写真撮影 歯科用エックス線撮影装置及びパノラマエックス線撮影装置で相互に撮影の実習を行う。パノラマ、デンタル、セファロ撮影を行う。 【事前学習課題】エックス線撮影法	実習	田中 若杉 黒石 郡司掛 左合(美)	附属病院、遠隔授業
17,18	セファロ撮影・分析 セファロ撮影の相互実習を行う。さらに自己のセファロ画像の分析について学修する。 【事前学習課題】セファロ分析	実習	黒石 郡司掛 左合(美)	技工室、遠隔授業
19,20	臨床実習前に必要な診療補助業務について バキューム操作および各歯科専門領域に共通して必要な器具・材料(練和手技含む)の受け渡しについて実習する。臨床実習前に必要な診療補助業務について総合的に実習する。 【事前学習課題】バキューム操作、診療補助、器具の受け渡し	実習	泉	相互実習室 技工室 遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健教育原論　(Oral Health Education)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子						

授業の概要

ヘルスプロモーションの考え方と健康行動理論、歯科保健指導のために必要な情報収集、コミュニケーション技術などを含む口腔保健教育の基礎的な知識を学修する。歯科衛生活動のための専門的思考法である歯科衛生過程を理解し実践能力を身に着ける。本科目は卒業コンピテンシーの“ すべての世代に対する幅広い歯科衛生活動 ”「歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を身に修得する」に該当する。

学生の到達目標

①ヘルスプロモーションの考え方と歯科衛生活動の対象・領域を説明できる。
②行動変容の理論を記述できる。
③情報収集の目的と必要な情報について記述できる。
④対象把握のためのコミュニケーション技術を説明できる。
⑤歯科衛生過程の意義を説明できる。
⑥歯科衛生ヒューマンニーズ理論を説明できる。
⑦歯科衛生過程による情報分析を説明できる。
⑧歯科衛生過程による問題抽出を説明できる。
⑨歯科衛生過程による介入計画立案を説明できる。
⑩歯科衛生過程による介入およびプロセスの評価を説明できる。
⑪ＰＯＳ，ＳＯＡＰ（ＩＥ）を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

参考書

最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出）医歯薬出版　著）佐藤陽子，齋藤淳　編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
出席態度・レポート	20%

・定期試験は、テキスト、講義中に行った説明、配布資料から100点満点とする筆記試験を行う。
・出席態度およびレポートの内容を評価する。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健教育原論　(Oral Health Education)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健教育の概要 　個人と集団、プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション・ノーマライゼーション、健康観などから口腔保健教育の意義と目的について学修する。 【事前学習課題】個人と集団、ヘルスプロモーション、テキストｐ2-10	講義	中道	遠隔授業
2	行動変容のための理論 　生活習慣やライフスタイルに応じた支援ができるよう、健康行動理論（健康信念モデル・社会的認知理論・変化のステージモデルなど）を用いた保健指導の方法を学修する。 【事前学習課題】健康行動理論、テキストｐ33-39	講義	中道	遠隔授業
3	対象把握の基礎知識 　人々の日常生活行動の中で、口腔機能の役割を理解し、歯科衛生士として食生活指導・咀嚼指導を担うために必要な知識を学修する。 【事前学習課題】口腔の基礎知識、咀嚼、食生活、テキストｐ12-32、ｐ55-59	講義	中道	遠隔授業
4	対象把握１ 　対象者の口腔保健上の問題を把握するために必要な情報を理解し、その情報を口腔保健の観点で解釈する。口腔および身体の状態はもとより、日常生活行動、生活環境、心理的情報が重要であることを学修する。 【事前学習課題】社会資源、テキストｐ63-64	講義	中道	遠隔授業
5	対象把握２ 　コミュニケーションの基本を学び対象者との信頼関係構築における意義を学修する。情報収集のための問診票を用いて具体的な場面を想定した演習を行う。 【事前学習】コミュニケーション、医療面接、カウンセリング、テキストｐ77-82	講義	中道	遠隔授業
6	歯科衛生過程の基礎１ 　歯科衛生過程の定義と構成要素を復習し、対象者への一連の関与に対する科学的・論理的思考と判断の重要性を学修する。 【事前学習課題】歯科衛生過程の定義、構成要素、情報収集、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
7	歯科衛生過程の基礎２ 　情報の整理・分類の枠組みを学び科学的に情報を整理・分類する方法を学修する。 【事前学習課題】情報の種類、情報の分類、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
8	歯科衛生過程の基礎３ 　　枠組みに沿って整理・分類した情報を科学的に解釈するため、歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデルを理解し、８つの歯科衛生ニーズごとに分析する方法を学修する。 【事前学習課題】歯科衛生ニーズ、歯科衛生ニーズの定義、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
9	歯科衛生過程の基礎４ 　　歯科衛生ニーズの枠組みごとに分析した情報から、歯科衛生上の「問題」とその「原因」を明示し、歯科衛生診断文を作成する方法を学修する。 【事前学習課題】歯科衛生診断、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
10	歯科衛生過程の基礎５ 　　歯科衛生診断文として明確化した問題の、優先順を考え、歯科衛生介入計画を立案する方法を学修する。 【事前学習課題】歯科衛生計画立案、短期目標、C-P、E-P、O-P、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
11	歯科衛生過程の基礎6 　　対象者中心の考え方と歯科衛生介入時の記録方法、歯科衛生過程の評価方法を学修する。 【事前学習課題】問題志向型診療録、ＳＯＡＰ、歯科衛生評価、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
12	歯科衛生過程の展開１：歯科衛生アセスメントの演習 　演習事例を用いて、情報の分類、解釈・分析を行う。 【事前学習課題】第６-11回の講義資料、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健教育原論　(Oral Health Education)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	歯科衛生過程の展開２：歯科衛生診断の演習 　演習事例のアセスメントから、歯科衛生ニーズの枠組みごとに歯科衛生診断文を考え、プロブレムリストを作成する。 【事前学習課題】第６-11回の講義資料、演習事例アセスメントシート、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
14	歯科衛生過程の展開３：歯科衛生計画立案の演習 　歯科衛生プロブレムリストを基に、問題間の関係と優先順を考え、優先度の高い問題について歯科衛生介入計画を立案する。 【事前学習課題】第６-11回の講義資料、演習事例アセスメントシート、歯科衛生プロブレムリスト、テキストｐ62-76	講義	中道	遠隔授業
15	科衛生過程の応用：まとめと事例演習 　これまでの歯科衛生過程の講義内容を振り返り理解を深める。 【事前学習課題】第６-14回講義・演習資料、テキスト巻末演習事例ｐ345-349	講義	中道	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

発達口腔保健教育原論　(Developmental Oral Health Education)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、〔非常勤講師〕山本　友美、〔非常勤講師〕猪原　光						

授業の概要

地域住民に対する口腔保健教育活動を展開するために、ライフステージごとの対象者（個人あるいは集団）の特性を理解し、適切な支援の知識と具体的な方法を修得する。本科目は卒業コンピテンシー“ すべての世代に対する幅広い歯科衛生活動 ”「個人および集団を対象とした指導方法を修得する」に該当する。

学生の到達目標

①口腔保健教育活動の概要を説明できる。
②各ライフステージにおける一般的特徴ならびに口腔の特徴、および望ましい歯科保健行動を説明できる。
③各ライフステージにおける食生活指導と咀嚼指導を説明できる。
③各ライフステージにおける個人および集団を対象とした歯科衛生活動を説明できる。
④各ライフステージにおける個人および集団を対象とした口腔保健教育計画を立案できる。
⑤個別の歯科保健指導方法を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

参考書

最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

咀嚼の本1, 2
出）口腔保健協会　著）日本咀嚼学会

咀嚼能力アップBOOK
出）クインテッセンス　著）小野高裕、増田裕次

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
出席態度・レポート	20%

・定期試験は、テキスト、講義中に行った説明、配布資料から100点満点とする筆記試験を行う。
・出席態度及びレポート内容を評価する。出席態度評価として小テストを行う。

その他

質問は随時受け付けるので申し出てください。
個人を対象とした歯科保健指導の学修で顎模型と歯ブラシセットを使用するので整えておいてください。
欠席の場合も申し出によりレポートを受け付けます。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

発達口腔保健教育原論　(Developmental Oral Health Education)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、〔非常勤講師〕山本　友美、〔非常勤講師〕猪原　光						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健教育活動の対象と理解 　ライフステージにおける歯科衛生活動の視点と地域歯科保健活動の概要、歯科衛生士の役割および関連法規を理解し、集団指導実践のための方法を学修する。 【事前学習】テキストｐ240-257、ｐ329-331 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業
2	妊産婦・乳幼児（幼児期前期）① 　妊産婦・乳幼児の一般的特徴を理解し、適切に口腔機能獲得を支援する歯科保健指導について学修する。 【事前学習】テキストｐ240-257 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業
3	妊産婦・乳幼児（幼児期前期）② 　妊産婦・乳幼児の一般的特徴特徴を理解し、１歳半・３歳児健診時に行う口腔機能の発達及びう蝕予防の歯科保健指導について学修する。 【事前学習】テキストｐ240-257、口腔機能の発達、摂食行動 【確認テスト】 【レポート】摂食機能の発達に関するまとめ	講義	中道	講義室 遠隔授業
4	幼児期後期 　保育所・幼稚園児の一般的特徴特徴を理解し、集団歯科保健指導の意義と歯科衛生士の役割を学修する。臨床実習における実践を想定して、保育所・幼稚園児、保護者を対象とした歯科保健指導計画を立案する。 【事前学習】テキストｐ258-263、ｐ332-337 【レポート】幼稚園での歯科保健指導案	講義	中道	講義室 遠隔授業
5	ライフステージ別教育法：学齢期～青年期 　小学生・中学生の一般的特徴・口腔の特徴を理解し、学校における歯科衛生活動について学修する。青年期の口腔保健および摂食行動の問題を理解する。 【事前学習】テキストｐ263-270 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業
6	ライフステージ別教育法：成人期① 　成人期の一般的特徴を理解し、歯科疾患予防による残存歯の維持と全身の健康との関係について学修する。歯周病のリスクをふまえた、喫煙状況のアセスメントと禁煙ステージに応じた支援法を学修し、健康行動理論を用いて禁煙指導計画を立案する。 【事前学習】テキストｐ100-101、ｐ231-237、ｐ270-282 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業
7	ライフステージ別教育法：成人期② 　咀嚼と健康の関係について理解し、メタボリックシンドローム予防のための咀嚼指導法について学修する。咀嚼機能評価に基づいた、参加型指導の具体的方法を学修し、実践のための指導計画を立案する。 【事前学習課題】テキストｐ55-59 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業
8	ライフステージ別教育法：成人期③ 　大規模災害被災者、労働者の口腔保健について学修する。 【事前学習課題】参考資料、大規模災害被災者、産業歯科保健 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業
9	ライフステージ別教育法：老年期① 　　高齢者の一般的特徴と口腔保健の目標を理解し、フレイル（身体の虚弱状態）を予防し健康寿命を延伸するための口腔保健教育活動について学修する。 【事前学習課題】テキストｐ282-287、口腔機能低下症 【確認テスト】	講義	中道	講義室 遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

発達口腔保健教育原論　(Developmental Oral Health Education)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、〔非常勤講師〕山本　友美、〔非常勤講師〕猪原　光						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
10	ライフステージ別教育法：老年期② 　要介護者や障害者の口腔保健の現状と、訪問歯科治療を含めた歯科的介入およびQOLを支える歯科衛生士の役割の実際を学ぶ。 【事前学習課題】テキストｐ288-299	講義	猪原 中道	講義室 遠隔授業
11	ライフステージ別教育法：老年期③ 　保健所・市町村保健センターにおける高齢者に対する介護予防事業の実際を学ぶ。地域の特性やニーズの把握、対象集団の問題把握の方法を理解し、地域住民を対象とした口腔保健教育の具体的な展開方法について学修する。 【事前学習課題】テキストｐ337-344	講義	山本 中道	講義室 遠隔授業
12	個人に対する歯科保健指導①　歯科保健指導技術の基礎 　成人に対して個別のセルフケア指導を行うために、歯ブラシの選択を含めた正しいブラッシング法を学修する。顎模型を用いたシミュレーションを行う。 【事前学習課題】ブラッシングの為害作用、テキストｐ205-228 【受講時準備物】顎模型、歯ブラシセット、補助的清掃用具	講義	中道	講義室 遠隔授業
13	個人に対する歯科保健指導② 　成人に対して個別のセルフケア指導を行うために、補助的清掃用具の正しい使用法を学修する。顎模型を用いたシミュレーションを行う。 　ブラッシング法の指導をプレゼンテーションする。 【事前学習課題】補助的清掃用具、テキストｐ205-228 【受講時準備物】顎模型、歯ブラシセット、補助的清掃用具 【レポート】各種刷掃法・補助的清掃用具使用法のまとめ	講義	中道	講義室 遠隔授業
14	個人に対する歯科保健指導③ 　成人に対する個別の歯科保健指導を定着させるために、ブラッシング法または補助的清掃用具の使用方法についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習課題】テキストｐ216-224 【受講時準備物】顎模型、歯ブラシセット、補助的清掃用具 【レポート】個別の歯科保健指導シナリオ	講義 演習	中道	講義室 遠隔授業
15	これまでの講義のまとめとフィードバック	講義	中道	講義室 遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅰ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅰ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	邵　仁浩、本田　尚郁 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 邵　仁浩(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業の概要

歯周疾患予防処置実習は、歯周疾患を予防し、歯･口腔の健康を維持･増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。
卒業コンピテンシー「歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識・技能および態度を修得する」に資する授業である。

学生の到達目標

①歯科衛生士の専門性を理解し、生涯学習者としての基本姿勢を身につける。
②医療における安全性への配慮と感染予防を実施できる。
③歯科ユニット操作、器具の消毒・滅菌を実施できる。
④最善の医療を提供するために必要な医療面接を実施できる。
⑤歯周病における検査を実施できる。
⑥歯面研磨・歯面清掃を実施できる。
⑦研磨剤を患者に合わせて選択できる。
⑧超音波スケーラーとエアスケーラーを実施できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版株式会社　　著）

参考書

目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ
出）医歯薬出版株式会社　　著）

ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版
出）医歯薬出版株式会社　　著）Esther M. Wilkins

ザ・ペリオドントロジー
出）永松書店　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	70%
授業中に実施する確認試験、ポートフォリオ・レポート及び授業参加態度	30%

次の場合は減点する。
・実習時の身だしなみが指示通りでない、実習態度に問題がある場合(-5点)
・ポートフォリオ、レポート等の締め切り期限を過ぎた場合(-3点)

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅰ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅰ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	邵　仁浩、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 邵　仁浩(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

その他

学習相談等については、授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス（61オフィス）、またはメールにより随時質問を受け付ける。
事前学習はmoodle上にアップロードしてある資料を確認し、自己学習に活用しなさい。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅰ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅰ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	邵　仁浩、本田　尚郁 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 邵　仁浩(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	歯周疾患予防処置実習の授業概要： 授業概要と到達目標、生涯学習としてポートフォリオの活用について理解する。 実習室使用方法、実習の心得について： シミュレーション実習室の設備・器材の管理、歯科用ユニットの名称とその操作方法を修得する。実習の際の身だしなみや態度について学ぶ。 【事前学習課題】「口腔保健論」の授業内容、配布資料の復習	実習	本田	シミュレーション実習室
3,4	口腔内診査器具の取り扱い： 口腔内診査法、ポジショニングを実践する。 ミラー・探針・プローブ等の口腔内診査器具操作を修得する。 【事前学習課題】医療安全と感染予防、ポジショニング、口腔内の観察方法、口腔内診査法	実習	本田	相互実習室
5,6	歯周組織検査法： 模型上でプロービングや動揺度検査等を行い、歯周疾患の検査に必要な手技を学習する。 【事前学習課題】歯周組織検査法、SPT、メインテナンス	実習	本田	シミュレーション実習室
7,8	歯周組織検査法： 相互実習を通じて、模型実習では経験できない歯周組織検査の実際を体験し、技術を修得する。 【事前学習課題】歯周組織検査法、SPT、メインテナンス	実習	本田	相互実習室
9,10	歯面研磨・歯面清掃（PMTC）： 模型上で歯面研磨・歯面清掃の方法、操作上の注意について学習する。 【事前学習課題】歯面研磨、歯面清掃、研磨剤	実習	本田	シミュレーション実習室
11,12	歯面研磨・歯面清掃（PMTC）： 相互実習を通じて歯面研磨・歯面清掃を修得する。口腔状態に合った研磨剤の選択を修得する。 【事前学習課題】歯面研磨、歯面清掃、研磨剤	実習	本田	相互実習室
13,14	実技試験： 歯周疾患予防処置実習を通じて身につけた知識・技術を客観的に評価する。 【事前学習課題】今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	実習	本田・邵	シミュレーション実習室
15,16	超音波スケーラー・エアスケーラー： 模型上で超音波スケーラーとエアスケーラーの使用方法、操作上の注意について学ぶ。 【事前学習課題】超音波スケーラー、エアスケーラー	実習	本田	シミュレーション実習室 遠隔授業
17,18	超音波スケーラー・エアスケーラー： 相互実習で超音波スケーラーとエアスケーラーの使用方法を修得する。 【事前学習課題】超音波スケーラー、エアスケーラー	実習	本田	相互実習室 遠隔授業
19,20	実習総括： 実技試験のフィードバック、後期実習に向けて知識・技術の整理を行う。 実習のまとめや疑問点の解決を行う。 【事前学習課題】今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	実習	本田	相互実習室 遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅱ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	本田　尚郁、邵　仁浩 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 本田　尚郁(口腔保健科)、邵　仁浩(口腔保健科)						

授業の概要

歯周疾患予防処置実習は、歯周疾患を予防し、歯･口腔の健康を維持･増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。
卒業コンピテンシー「歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識・技能および態度を修得する」に資する授業である。

学生の到達目標

①歯科衛生士の専門性を理解し、生涯学習者としての基本姿勢を身につける。
②医療における安全性への配慮と感染予防を実施できる。
③歯科ユニット操作、器具の消毒・滅菌を実施できる。
④最善の医療を提供するために必要な医療面接を実施できる。
⑤各種手用スケーラーの特徴と使用方法を説明できる。
⑥シックルスケーラーを安全に実施できる。
⑦スケーラーのシャープニング方法や使用する器材を説明できる。
⑧シャープニングが実施できる。
⑨スケーリング・ルートプレーニングができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版株式会社　　著）

参考書

目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ
出）医歯薬出版株式会社　　著）

ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版
出）医歯薬出版株式会社　　著）Esther M. Wilkins

ザ・ペリオドントロジー
出）永松書店　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	70%
授業中に実施する確認試験、ポートフォリオ・レポート及び授業参加態度	30%

次の場合は減点する。
・実習時の身だしなみが指示通りでない、実習態度に問題がある場合(-5点)
・ポートフォリオ、レポート等の締め切り期限を過ぎた場合(-3点)

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅱ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	本田　尚郁、邵　仁浩 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 本田　尚郁(口腔保健科)、邵　仁浩(口腔保健科)						

その他

学習相談等については、授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス（61オフィス）、またはメールにより随時質問を受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅱ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	本田　尚郁、邵　仁浩 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 本田　尚郁(口腔保健科)、邵　仁浩(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	スケーリング： 各種手用スケーラーの特徴と使用法について理解する。 模型上でシックルスケーラーの原則と使用方法を学ぶ。 【事前学習課題】 手用スケーラー、シックルスケーラー、ポジショニング	実習	本田	シミュレーション実習室
3,4	シャープニング： シャープニングの原則および目的を理解する。 シャープニング技術を修得する。 【事前学習課題】 各種手用スケーラーの特徴、シャープニング	実習	本田	シミュレーション実習室
5,6	スケーリング： 模型上でシックルスケーラーの原則と使用方法を修得する。 【事前学習課題】 シックルスケーラー、ポジショニング	実習	本田	講義室
7,8	スケーリング・ルートプレーニング： 模型上でキュレットスケーラーを用いて、操作方法やストローク、注意点について学ぶ。（前歯部） 【事前学習課題】 キュレットスケーラー、ポジショニング	実習	本田	シミュレーション実習室
9,10	スケーリング・ルートプレーニング： 模型上でキュレットスケーラーを用いて、操作方法やストローク、注意点について学ぶ。（臼歯部） 【事前学習課題】 キュレットスケーラー、ポジショニング	実習	本田	シミュレーション実習室
11,12	実技試験： 歯周疾患予防処置実習を通じて身につけた知識・技術を客観的に評価する。 【事前学習課題】 今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	実習	本田、邵	シミュレーション実習室
13,14	スケーリング・ルートプレーニング： 相互実習でキュレットスケーラーの操作方法やストローク、注意点について修得する。 【事前学習課題】 キュレットスケーラー、ポジショニング	実習	本田	相互実習室
15,16	スケーリング・ルートプレーニング： 相互実習でキュレットスケーラーの操作方法やストローク、注意点について修得する。 【事前学習課題】 キュレットスケーラー、ポジショニング	実習	本田	相互実習室
17,18	プロフェッショナルケア： 臨床実習を想定したケアを修得する。 【事前学習課題】 歯周基本検査、エアスケーラー、PMTC、各種ブラッシング方法について	実習	本田	相互実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

歯周疾患予防処置実習Ⅱ　(Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	本田　尚郁						
担当教員	本田　尚郁、邵　仁浩 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 本田　尚郁(口腔保健科)、邵　仁浩(口腔保健科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
19,20	実習総括： 実技試験のフィードバック、３年次臨床実習に向けて知識・技術の整理を行う。 実習のまとめや疑問点の解決を行う。 【事前学習課題】 今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	実習	本田	相互実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

う蝕予防処置実習　(Dental caries : prevention)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	邵　仁浩、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 邵　仁浩(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業の概要

う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得できる。

学生の到達目標

①O ’ LearyのPCRを使用して口腔清掃状態評価法・指導法を実践できる。
②口腔内写真撮影を通じて口腔内の客観的評価法・モチベーション法を実践できる。
③フッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を説明できる。
④フッ化物歯面塗布法を実践できる。
⑤小窩裂溝填塞法の種類と特徴、適応症と術式を説明できる。
⑥小窩裂溝填塞法を実践できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）一般社団法人　全国歯科衛生士教育協議会　監修

参考書

新予防歯科学（第4版）
出）医歯薬出版　著）米満正美　著他

フッ化物についてよく知ろう
出）デンタルダイヤモンド社　著）飯島洋一

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	70%
総括レポート	30%

次の場合は減点する。
・実習時の身だしなみが指示通りでない、実習態度に問題がある場合(-5点)

その他

（学習相談）授業終了後、あるいは口腔保健学科11オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

う蝕予防処置実習　(Dental caries : prevention)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵　仁浩						
担当教員	邵　仁浩、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 邵　仁浩(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	口腔清掃指導法 O ’ LearyのPCRを使用し、口腔清掃状態評価法・指導法について修得する。 【事前学習課題】O ’ LearyのPCR	実習	邵	相互実習室
3,4	口腔の観察① 口腔内写真撮影から口腔内の客観的評価法・モチベーション法を学習する。 【事前学習課題】口腔内写真撮影方法	実習	邵	相互実習室
5,6	口腔の観察② 口腔内写真撮影から口腔内の客観的評価法・モチベーション法を学習する。 【事前学習課題】口腔内写真撮影方法	実習	邵	相互実習室
7,8	フッ化物歯面塗布法① フッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を学習する。 【事前学習課題】フッ化物歯面塗布法	講義 実習	邵	シミュレーション実習室
9,10	フッ化物歯面塗布法② フッ化物歯面塗布法を実施する。 【事前学習課題】フッ化物歯面塗布法	実習	邵	相互実習室
11,12	フッ化物歯面塗布法③ フッ化物歯面塗布を実施する。 【事前学習課題】フッ化物歯面塗布法	実習	邵	相互実習室
13,14	小窩裂溝填塞法① 小窩裂溝填塞法の種類と特徴、適応症と術式を学習する。 【事前学習課題】小窩裂溝填塞法	講義 実習	邵	シミュレーション実習室
15,16	小窩裂溝填塞法② 小窩裂溝填塞法を実施する。 【事前学習課題】小窩裂溝填塞法	実習	邵	相互実習室
17,18	実技試験 う蝕予防処置実習を通じて身につけた知識・技術を客観的に評価する。 【事前学習課題】今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習。	実習	邵 本田	シミュレーション実習室
19,20	実習総括 実技試験のフィードバック、３年次臨床実習に向けて知識・技術の整理を行う。 総括レポート 【事前学習課題】今までの授業内容・テキスト・配布資料の復習	講義 総括レポート	邵	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健支援実習　(Seminar of Oral Health Support)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、泉　繭依						

授業の概要

地域住民に対する口腔保健教育活動の実践過程を学修するために、対象集団の特性と口腔保健上の課題を把握し、効果的な実施計画に基づいた媒体を作成しプレゼンする。本科目は卒業コンピテンシー“すべての世代に対する幅広い歯科衛生活動”「口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得する。」に該当する。

学生の到達目標

①個人と集団の対象に応じた教育活動について説明できる。
②対象集団の特性と口腔機能の成長発達および口腔保健上の課題を把握できる。
③幼児・地域住民（成人）を対象とした口腔保健教育の指導案が作成できる。
④幼児・地域住民（成人）に適した口腔保健教育の媒体を作成できる。
⑤幼児・地域住民（成人）への食生活指導を実施できる。
⑥地域住民（高齢者）への口腔機能向上を目的とした口腔保健教育を考案できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
出）医歯薬出版　著）日本歯科衛生士会

参考書

最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会

咀嚼の本1, 2
出）口腔保健協会　著）日本咀嚼学会

咀嚼能力アップBOOK
出）クインテッセンス　著）小野高裕、増田裕次

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題成果物	50%
実習参加態度	50%

＊課題成果物及び実習参加態度を総合的に評価する。
＊実習参加態度及び課題提出期限の不備は各3点の減点対象とする。

その他

成果物のプレゼンテーションを行う。地域歯科保健活動に参加する場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔保健支援実習　(Seminar of Oral Health Support)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道　敦子						
担当教員	中道　敦子、泉　繭依						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	地域住民を対象とした口腔保健教育活動① 　成人（個人）のライフステージ上の特徴と口腔保健上の問題について考察する。説明された成人集団の特性を考慮し、咀嚼・食生活指導、禁煙指導、歯科疾患予防のテーマで指導案を作成する。指導案に基づき媒体（リーフレット/ポスター）を作成する。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ275-282	実習	中道	コンピュータ演習室
3,4	地域住民を対象とした口腔保健教育活動② 　指導案に基づき媒体（リーフレット/ポスター）を作成する。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ275-282	実習	中道	遠隔授業
5,6	地域住民を対象とした口腔保健教育活動③ 　指導案に基づき媒体（リーフレット/ポスター）を作成する。 　指導案およびリーフレットを発表後、提出して評価を受ける。 【事前学習課題】提出用の指導案・ポスタ―原稿	実習	中道	遠隔授業
15,16	高齢期の地域住民を対象とした口腔保健教育活動① 　高齢者（個人）の口腔機能低下と口腔保健上の問題を理解し、介護予防事業の口腔機能向上における歯科衛生士の役割を踏まえて、指導案を作成する。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ282-287	実習	泉	遠隔授業
17,18	高齢期の地域住民を対象とした口腔保健教育活動② 　指導案に基づき、参加型の効果的な媒体を作成する。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ282-287	実習	中道	遠隔授業
19,20	高齢期の地域住民を対象とした口腔保健教育活動③ 　指導案に基づき、参加型の効果的な媒体を作成する。作成した媒体を用いて発表し、教員の評価と指導をうける。 【事前学習課題】提出用の指導案・シナリオ・媒体	実習	中道	遠隔授業
7,8	幼児期後期の幼稚園児を対象とした口腔保健教育課程① 　対象集団の説明を基に口腔機能の発達段階上の特徴と集団の特性を把握し、発達口腔保健教育原論で作成した指導案の内容を再検討する。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、グループで作成した幼稚園の歯科保健指導案、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ329-337	実習	中道	611講義室 614講義室
9,10	幼児期後期の幼稚園児を対象とした口腔保健教育課程② 　検討後の指導案に基づき講話とシナリオを考案する。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、グループで作成した幼稚園の歯科保健指導案、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ329-337	実習	中道	611講義室 614講義室
11,12	幼児期後期の幼稚園児を対象とした口腔保健教育課程③ 　指導案に基づき、媒体を作成し、シミュレーションする。 【事前学習課題】発達口腔保健教育原論講義資料、グループで作成した幼稚園の歯科保健指導案、「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ｐ329-337	実習	中道	611講義室 614講義室
13,14	幼児期後期の幼稚園児を対象とした口腔保健教育課程④ 　指導案に沿って作成した媒体を用いた集団歯科保健指導のプレゼンテーションを行い、指導内容・態度・円滑な運営について評価を受ける。指導案・シナリオ・媒体を修正後提出し最終評価を受ける。 【事前学習課題】提出用の指導案・シナリオ・媒体	実習	中道	611講義室 614講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔衛生管理学　(Oral health management)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、〔非常勤講師〕杉浦　裕子、中道　敦子、本田　尚郁						
	泉　繭依、〔非常勤講師〕中道　敦子、本田　尚郁						

授業の概要

患者の口腔衛生(口腔の健康)を管理するにあたり、「口腔保健教育言論」で学んだヘルスプロモーションの考え方と行動変容理論の理解が軸となる。この知識を応用して、実際の臨床担当患者に対する口腔衛生管理計画(口腔健康管理計画)を考え、書面化し、プレゼンテーションする力を養うことを目的とする。担当患者の行動変容を支援し、口腔衛生状態を改善していくためには、様々な生活環境を含めた情報の収集が求められる。この一連のプロセスにおいて、専門的思考法である歯科衛生過程の枠組みを活用して理論的に書面化する方法を学修する。
※本講義により得られる卒業ｺﾝﾋﾟﾃﾝｼｰ：5.全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動のうち5-4.歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得する。

学生の到達目標

①口腔衛生(口腔健康)を管理するための考え方を説明できる(ヘルスプロモーション・行動変容理論の語句を用いる)。
②口腔衛生管理計画作成に必要な患者情報を収集し記載できる。
③担当患者の情報に基づいて解釈分析を導き記載できる。
④解釈分析に基づいて歯科衛生診断が記載できる。
⑤歯科衛生診断に基づいて長期目標が立案できる。
⑥歯科衛生介入によってもたらされる結果を短期目標として立案できる。
⑦具体性があり評価ができるplan内容が記載できる。
⑧情報はSOAP(SOAPIE)を用いて適切に記録ができる。
⑨担当患者の歯・口腔状態から齲蝕リスクに応じた管理法を説明できる。
⑩担当患者の歯周状態から歯周病リスクに応じた管理法を説明できる。
⑪担当患者に必要な口腔清掃指導法を説明できる。
⑫担当患者の口腔衛生管理計画を歯科衛生過程を用いてプレゼンテーションできる。
⑬全身管理が必要な患者の口腔衛生管理法について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義演習態度（口頭発表を含む）	40%
課題作成	60%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ１回につき3点を減点する。また課題提出期限の遅れと不備は、それぞれ１回につき5点を減点する。

その他

講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔衛生管理学　(Oral health management)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、〔非常勤講師〕杉浦　裕子、中道　敦子、本田　尚郁						
	泉　繭依、〔非常勤講師〕中道　敦子、本田　尚郁						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔衛生管理(口腔健康管理)とは 　全てのライフステージにおける患者の口腔の健康にあたり、「口腔保健教育原論」で学んだヘルスプロモーションの考え方や行動変容理論の知識をもとに、科学的思考過程を通して口腔健康管理を行う事について理解する。 【事前学習課題】口腔保健教育	講義	泉	遠隔授業
2	口腔衛生管理(口腔健康管理)のための保健行動理論① 　ライフステージ毎の患者の口腔衛生管理をするためには、ヘルスプロモーションの観点を基に、生活行動や生活習慣・ライフスタイルにもとづく保健行動を支援することが重要である。保健行動理論（健康信念モデル・社会的認知理論・変化のステージモデルなど）を用いた行動変容の方法を学修する。 【事前学習課題】口腔保健教育、保健行動理論	講義	泉	遠隔授業
3	口腔衛生管理(口腔健康管理)のための保健行動理論② 　ライフステージ毎の患者の口腔衛生管理をするためには、ヘルスプロモーションの観点を基に、生活行動や生活習慣・ライフスタイルにもとづく保健行動を支援することが重要である。保健行動理論（健康信念モデル・社会的認知理論・変化のステージモデルなど）を用いた行動変容の方法を学修する。 【事前学習課題】口腔保健教育、保健行動理論	講義	泉	遠隔授業
4	口腔衛生管理(口腔健康管理)のための保健行動理論③ 　ライフステージ毎の患者の口腔衛生管理をするためには、ヘルスプロモーションの観点を基に、生活行動や生活習慣・ライフスタイルにもとづく保健行動を支援することが重要である。保健行動理論（健康信念モデル・社会的認知理論・変化のステージモデルなど）を用いた行動変容の方法を学修する。 【事前学習課題】口腔保健教育、保健行動理論	講義	泉	遠隔授業
5	口腔清掃指導法① 　担当患者の口腔内診査結果および歯周組織検査結果からどのような口腔清掃指導が必要となるか検討する。市販されている歯ブラシの種類、タフトブラシ、歯間ブラシ、フロス等の操作方法と指導方法を学修する。 【事前学習課題】口腔清掃指導法	講義	泉	遠隔授業
6	口腔清掃指導法② 　担当患者の口腔内診査結果および歯周組織検査結果からどのような口腔清掃指導が必要となるか検討する。市販されている歯ブラシの種類、タフトブラシ、歯間ブラシ、フロス等の操作方法と指導方法を学修する。 【事前学習課題】口腔清掃指導法	講義	泉	遠隔授業
7	歯周組織検査法・口腔内写真撮影法① 　歯周病の診査法について、プロービング法について学修する。担当患者の歯周状態から歯周病リスクに応じた管理法を検討する。口腔内写真の撮影法および必要物品について学修する。口腔内写真の読み取り方を学修する。 【事前学習課題】プロービング、口腔内写真撮影法	講義	泉 本田 中道	遠隔授業
8	歯周組織検査法・口腔内写真撮影法② 歯周病の診査法について、プロービング法について学修する。担当患者の歯周状態から歯周病リスクに応じた管理法を検討する。口腔内写真の撮影法および必要物品について学修する。口腔内写真の読み取り方を学修する。 【事前学習課題】プロービング、口腔内写真撮影法	講義	泉 本田 中道	遠隔授業
9	歯科衛生過程の臨床応用 　臨床実習で担当する患者症例に対する一連の歯科衛生過程の実践を学修する。9回から15回の模擬患者症例および授業概要を理解する。 【事前学習課題】歯科衛生過程	講義	本田 中道	遠隔授業
10	歯科衛生アセスメント（情報収集、情報の整理・分類） 　口腔保健上の問題を発見するためにどのような情報が必要かを理解する。模擬患者症例の情報を整理・分類し、不足している情報を明確にする。 【事前学習課題】歯科衛生過程　情報収集、口腔関連QOL	講義	本田 中道	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

口腔衛生管理学　(Oral health management)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、〔非常勤講師〕杉浦　裕子、中道　敦子、本田　尚郁						
	泉　繭依、〔非常勤講師〕中道　敦子、本田　尚郁						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
11	歯科衛生アセスメント（情報の解釈・分析） 　ヒューマンニーズ概念モデルを用いて科学的に情報の解釈・分析を行うための方法を学修する。模擬患者の医療面接による追加情報に基づいて、歯科衛生上の問題と言う観点から適切に解釈分析を行う。 【事前学習課題】ヒューマンニーズ概念モデル、解釈分析）	講義	本田 中道	遠隔授業
12	歯科衛生診断、歯科衛生計画立案 　模擬患者症例の解釈分析をもとに歯科衛生士が介入できる問題を明確化し歯科衛生診断文を作成する。優先順位を決定し、歯科衛生介入計画を立案する。 【事前学習課題】歯科衛生診断、歯科衛生計画立案	講義	本田 中道	遠隔授業
13	歯科衛生介入、記録法 　模擬患者に対する歯科衛生介入を行う。多職種協働に用いられるSOAP(SOAPIE)の記載方法を学修する。模擬患者に実施した内容を適切に記録する。 【事前学習課題】歯科衛生介入、SOAPIE	講義	本田 中道	遠隔授業
14	歯科衛生評価 　歯科衛生介入の結果を分析し、歯科衛生過程について評価する。これを基に計画を見直し訂正する。後期臨床実習において、プランを実施できるように現実性のある内容を検討する。 【事前学習課題】歯科衛生評価、模擬患者症例に関わるこれまでの資料の確認	講義	本田 中道	遠隔授業
15	プレゼンテーション 　模擬患者症例に対する9回から14回を歯科衛生過程のプロセスに沿って口頭発表する。 【事前学習課題】模擬患者症例の総括、プレゼンテーション準備	講義	本田 中道	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎臨床実習　(Basic Clinical Clerkship)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	6
授業方法	実習	時間数	270	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

授業の概要

e-learningの手法も用いた参加型臨床実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

Ⅰ．歯科衛生活動の基盤
①情報を聴取し、クライアントと良好な信頼関係を築くための知識、技能および態度を修得できる。
②感染を予防し安全な歯科衛生活動を実践するための知識、技能および態度を修得できる。
③クライアントの全身状態を把握するための知識、技能および態度を修得できる。
④歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得できる。
Ⅱ．歯科診療の補助
⑤全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得できる。
⑥歯科診療の内容に応じた患者指導において必要な知識、技術および態度を修得できる。
⑦周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得できる。
⑧全ての世代に対する歯科保健・医療に必要な薬剤の基本的知識を修得できる。
Ⅲ．歯科予防処置
⑨う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
⑩ 幼若永久歯小窩裂溝部における予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
⑪ 歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
Ⅳ．歯科保健指導
⑫全ての世代に対する歯科保健指導および食生活指導の知識、技術および態度を修得できる。
⑫-1 個人および集団を対象とした指導方法を修得できる。
⑫-2 歯科疾患の予防を目的とした指導方法を修得できる。
⑫-3 口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得できる。
⑫-4 口腔機能の維持・回復を目的とした指導方法を修得できる。
⑬患者実習を通じてプロフェッショナリズムを身につけ実践できる。
⑭患者実習を通じてコミュニケーション能力を涵養する。
以上の最終到達目標に至るための基礎的知識・技能を身につける。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

臨床実習の手引き
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習実績（ケース数、e-learningを含む）	30%
態度評価（プリセプターなど）	30%

臨床実習評価の合格基準は以下のとおりとする。
・必須項目（e-learningを含む必須ケース、レポート提出、試問の合格等）を取得すること。
・規定の出席日数を満たすこと。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎臨床実習　(Basic Clinical Clerkship)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	6
授業方法	実習	時間数	270	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

評価項目	割合
知識検定試験	40%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎臨床実習　(Basic Clinical Clerkship)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	6
授業方法	実習	時間数	270	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

授業計画

プライマリー実習（本学附属病院），各専門外来（本学附属病院）における参加型臨床実習（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）を計画していたが、本年度はe-learning における演習も行い、その実習内容の一部を代替することとする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

応用臨床実習　(Applied Clinical Clerkship)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	7
授業方法	実習	時間数	315	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

授業の概要

e-learningの手法も用いた臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

Ⅰ．歯科衛生活動の基盤
①情報を聴取し、クライアントと良好な信頼関係を築くための知識、技能および態度を修得できる。
②感染を予防し安全な歯科衛生活動を実践するための知識、技能および態度を修得できる。
③クライアントの全身状態を把握するための知識、技能および態度を修得できる。
④歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得できる。
Ⅱ．歯科診療の補助
⑤全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得できる。
⑥歯科診療の内容に応じた患者指導において必要な知識、技術および態度を修得できる。
⑦周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得できる。
⑧全ての世代に対する歯科保健・医療に必要な薬剤の基本的知識を修得できる。
Ⅲ．歯科予防処置
⑨う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
⑩ 幼若永久歯小窩裂溝部における予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
⑪ 歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
Ⅳ．歯科保健指導
⑫全ての世代に対する歯科保健指導および食生活指導の知識、技術および態度を修得できる。
⑫-1 個人および集団を対象とした指導方法を修得できる。
⑫-2 歯科疾患の予防を目的とした指導方法を修得できる。
⑫-3 口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得できる。
⑫-4 口腔機能の維持・回復を目的とした指導方法を修得できる。
⑬患者実習を通じてプロフェッショナリズムを身につけ実践できる。
⑭患者実習を通じてコミュニケーション能力を涵養する。
以上の最終到達目標に至るための応用可能な実践的知識・技能を身につける。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

臨床実習の手引き
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習実績（ケース数、e-learningを含む）	30%
態度評価（プリセプター、実習指導者など）	30%

臨床実習評価の合格基準は以下のとおりとする。
・必須項目（e-learningを含む必須ケース、レポート提出、試問の合格等）を取得すること。
・規定の出席日数を満たすこと。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

応用臨床実習　(Applied Clinical Clerkship)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	7
授業方法	実習	時間数	315	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

評価項目	割合
知識検定試験	40%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

応用臨床実習　(Applied Clinical Clerkship)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	7
授業方法	実習	時間数	315	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

授業計画

プライマリー実習（本学附属病院），各専門外来（本学附属病院）および各外部臨地実習施設における参加型臨床・臨地実習（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）を計画していたが、本年度はe-learning における演習も行い、その実習内容の一部を代替することとする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

発展臨床実習　(Advanced Clinical Clerkship)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	7
授業方法	実習	時間数	315	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

授業の概要

e-learrningの手法を用いた参加型臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

Ⅰ．歯科衛生活動の基盤
①情報を聴取し、クライアントと良好な信頼関係を築くための知識、技能および態度を修得できる。
②感染を予防し安全な歯科衛生活動を実践するための知識、技能および態度を修得できる。
③クライアントの全身状態を把握するための知識、技能および態度を修得できる。
④歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得できる。
Ⅱ．歯科診療の補助
⑤全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得できる。
⑥歯科診療の内容に応じた患者指導において必要な知識、技術および態度を修得できる。
⑦周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得できる。
⑧全ての世代に対する歯科保健・医療に必要な薬剤の基本的知識を修得できる。
Ⅲ．歯科予防処置
⑨う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
⑩ 幼若永久歯小窩裂溝部における予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
⑪ 歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識、技能および態度を修得できる。
Ⅳ．歯科保健指導
⑫全ての世代に対する歯科保健指導および食生活指導の知識、技術および態度を修得できる。
⑫-1 個人および集団を対象とした指導方法を修得できる。
⑫-2 歯科疾患の予防を目的とした指導方法を修得できる。
⑫-3 口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得できる。
⑫-4 口腔機能の維持・回復を目的とした指導方法を修得できる。
⑬患者実習を通じてプロフェッショナリズムを身につけ実践できる。
⑭患者実習を通じてコミュニケーション能力を涵養する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

臨床実習の手引き
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習実績（ケース数に代わりe-learningを含む）	40%
態度評価（実習指導者など）	30%
pcc-OSCE	30%

臨床実習評価の合格基準は以下のとおりとする。
・必須項目（e-learningによる必須ケース、レポート提出、試問の合格等）を取得すること。
・規定の出席日数を満たすこと。
・pcc-OSCEに合格すること。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

発展臨床実習　(Advanced Clinical Clerkship)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	7
授業方法	実習	時間数	315	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

発展臨床実習　(Advanced Clinical Clerkship)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	7
授業方法	実習	時間数	315	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	臨床実習運営部会員、臨床系教員 ※上記の教員が本学附属病院で所属する診療科は次のとおり 総合診療科、小児歯科、保存治療科、口腔保健科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科、矯正歯科、口腔外科、口腔内科、放射線科、地域包括歯科医療センター						

授業計画

プライマリーで実習（本学附属病院）および各外部臨地実習施設における参加型臨床・臨地実習（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）を計画していたが、本年度はe-learning における演習を行い、その実習内容を代替することとする。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生学　(Occupational Health)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房　住郎、日髙　勝美、柿木　保明、園木　一男、邵　仁浩、佐伯　桂、〔非常勤講師〕石松　維世、〔非常勤講師〕大神　明、〔非常勤講師〕森本　泰夫、〔非常勤講師〕伊藤　昭好、〔非常勤講師〕品川　隆、〔非常勤講師〕伊澤　三樹						

授業の概要

本学科目は第１種衛生管理者資格免許との関連から、労働衛生の概論として働く人々の安全と健康を守り、快適職場形成のための理論と方法について学ぶ。労働衛生の実際活動のうち作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育、健康保持増進活動を中心に学び、更に職業性疾患の成因と対策を知り予防に結びつける。これに加えて企業における労働衛生管理の実際についても学ぶ。

学生の到達目標

①労働における安全と健康の重要性を認識し、それらに関する理論と方法を理解し、働く人々の安全と健康が確保できる。
②産業保健の意義と特徴を説明できる。
③労働衛生統計を理解できる。
③産業保健における管理体制を概説できる。
④作業管理、作業環境管理、健康管理を説明できる。
⑤労働衛生教育について説明できる。
⑥産業保健活動の現状を説明できる。
⑦産業保健対策における一般健康診査と事後措置を説明できる。
⑧産業保健対策における特殊健康診査と事後措置を説明できる。
⑨産業保健対策における健康保持増進対策を説明できる。
⑩労働衛生におけるメンタルヘルスについて説明できる。
⑪産業保健における労働衛生管理を行うために必要な知識を修得できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新衛生管理　上　第１種用
出）中央労働災害防止協会　　著）厚生労働省安全衛生部　編

参考書

産業保健マニュアル
出）南山堂　　著）和田攻　編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対して欠席による減点(１回につき３点）を行う。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生学　(Occupational Health)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房　住郎、日髙　勝美、柿木　保明、園木　一男、邵　仁浩、佐伯　桂、〔非常勤講師〕石松　維世、〔非常勤講師〕大神　明、〔非常勤講師〕森本　泰夫、〔非常勤講師〕伊藤　昭好、〔非常勤講師〕品川　隆、〔非常勤講師〕伊澤　三樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	労働衛生の目的、歴史、労働災害 　労働災害と労働衛生管理の歴史、現状を概観し、労働衛生管理の目的と労働衛生管理者の役割について理解する。 【事前学習課題】労働衛生管理、三管理	講義	柿木	遠隔授業
2	労働衛生統計 　労働衛生統計から見た労働衛生および労働災害の現状及び問題点を説明し、疫学的特徴を理解する。 【事前学習課題】労働災害、業務上疾病	講義	日髙	遠隔授業
3	労働衛生管理体制 　衛生管理体制の整備、作業巡視、リスクアセスメントとマネジメントについて説明し、衛生管理の進め方を理解する。 【事前学習課題】作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生組織	講義	秋房	遠隔授業
4	作業環境による職業性疾病の成因と対策 　職業性疾病のうち作業環境を要因とする職業癌、職業性肺疾患、振動障害、熱中症等について理論と実際を学び、対策方法を考える。 【事前学習課題】歯科技工士の肺障害、粉じんによる肺障害、熱中症、睡眠障害	講義	森本 (産業医大)	遠隔授業
5	作業環境管理（１） 　作業環境管理の意義と目的、作業環境の要素及び測定について説明し、作業管理管理の進め方の基礎を理解する。 【事前学習課題】粉じん，有機溶剤，特定化学物質，サンプリング，分析	講義	石松 (産業医大)	遠隔授業
6	作業環境管理（２） 　作業環境測定のデザイン・サンプリング・分析、また結果に基づく評価、改善に関する実際について実例を挙げつつ説明する。 【事前学習課題】作業環境測定，デザイン，管理区分，作業環境改善，局所排気装置	講義	石松 (産業医大)	遠隔授業
7	労働衛生教育 　労働安全衛生法における労働衛生教育の目的と意義、企画、実施方法について学び、労働衛生教育の進め方を理解する。 【事前学習課題】労働衛生教育	講義	邵	遠隔授業
8	健康管理 　健康管理の意義と目的、健康診断（一般及び特殊健康診断）、及び事後措置について学び、健康障害の防止対策を考える。 【事前学習課題】健康管理、健康診断、事後措置	講義	品川	遠隔授業
9	作業管理 　作業態様、保護具、作業態様による職業性疾病（VDT作業障害、腰痛、難聴等）について理解する。 【事前学習課題】VDT作業、腰痛、保護具	講義	大神 (産業医大)	遠隔授業
10	健康保持増進活動（THP） 　THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）の理念と概要、健康測定と健康指導の実際について学ぶ。 【事前学習課題】健康保持増進対策	講義	佐伯	遠隔授業
11	作業関連疾患対策 　過重労働対策を中心として、実例にあたりながらその課題と解決方法について考える。 【事前学習課題】作業関連疾患、過重労働	講義	伊澤	遠隔授業
12	快適職場の形成 　労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の概要、基本的要素とPDCAサイクルを学び、OSHMSの整備における留意点について実例を挙げて理解する。 【事前学習課題】労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）、リスクアセスメント、PDCAサイクル	講義	佐伯	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生学　(Occupational Health)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房　住郎、日髙　勝美、柿木　保明、園木　一男、邵　仁浩、佐伯　桂、〔非常勤講師〕石松　維世、〔非常勤講師〕大神　明、〔非常勤講師〕森本　泰夫、〔非常勤講師〕伊藤　昭好、〔非常勤講師〕品川　隆、〔非常勤講師〕伊澤　三樹						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	労働衛生におけるメンタルヘルス対策 　心と体の健康づくりについて、THPと衛生管理者の役割を説明し、職場における心の健康づくりのあり方について学ぶ。 【事前学習課題】メンタルヘルス、ストレス簡易調査票	講義	園木	遠隔授業
14	企業における労働衛生管理の実際 　事業場における安全衛生の水準の向上を図ることを目的として事業者が一連の過程を定めて行う自主的活動（危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置を含む）について学ぶ。 【事前学習課題】労働安全衛生マネジメントシステム、安全衛生活動評価、労働者の参加	講義	伊藤 (産業医大)	遠隔授業
15	企業における歯科保健管理の実際 　歯科特有の職業性疾患の種類と対策方法を学ぶとともに、事業所における歯科保健の進め方について実例を示しながら説明し、歯科衛生士としての役割についても考える。 【事前学習課題】産業歯科保健活動、口腔保健教育、職業性歯科疾患	講義	佐伯	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生法規Ⅰ　(Occupational Safety and Health Regulations Ⅰ)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤　旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤　旭						

授業の概要

産業社会の高度化は雇用構造の高度化と一体となって達成されるべきものである。産業活動の活性化には個々の労働者の生産力と所得の持続的な拡大の達成が重要であり、これを下支えするのが雇用労働者の健康の維持・増進である。雇用労働者の健康を守る具体的な法令は、労働契約法・労働基準法その他の特別法と労働安全衛生法を中心に構築されている。本講義では、当該法規の基本的事項を概説するとともに、労働衛生行政の基本的体系と実際について概要を講述する。

学生の到達目標

①第１種衛生管理者の資格に必要な労働衛生法規についての基礎的事項について説明できる。
②就労に際して労働にかかる条件や契約等の基本的事項について説明できる。
③労働衛生行政の目的と組織について説明できる。
④雇用保険および労働者災害補償保険制度と法規を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

ベーシック労働法
出）浜村・唐津・青野・奥田　　著）有斐閣

参考書

出）　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
毎回のレポート課題の提出	50%
最終レポート	50%

その他

毎回のレポート課題の解答内容について、とくに問題点があれば、その都度、指摘します。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生法規Ⅰ　(Occupational Safety and Health Regulations Ⅰ)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤　旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤　旭						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	労働関連法規の体系 労働法の全体像を学ぶ。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
2	労働基準法の概要 労働基準法の概要を学ぶ。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
3	労働条件と労働契約２ 労働契約の意義、労働時間について学ぶ。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
4	労働条件と労働契約３ 休憩・休日・年次有給休暇について学ぶ。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
5	労働災害Ⅰ	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
6	労働災害Ⅱ	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
7	解雇Ⅰ	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
8	解雇Ⅱ	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
9	これまでの課題レポートの注意点	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
10	労働法の理解のチェック	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
11	Ⅰ　「総まとめⅠ」	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
12	Ⅱ　「総まとめⅡ」	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
13	労働安全衛生法１ 労働安全衛生法について後期（労働衛生法規Ⅱ）の内容を確認する。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
14	レポート課題について、書くテーマについて出題する。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業
15	レポート提出締切日（7月21日）までに学務へ提出。	e-ラーニング	柳澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生法規Ⅱ　(Occupational Safety and Health Regulations Ⅱ)

開講年次	４年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤　旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤　旭						

授業の概要

労働安全衛生法は労働基準法と相まって、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。
本学科目では労働安全衛生にかかる諸規則と、労働衛生にかかる最近の動向について概説する。また労働現場における安全衛生管理体制の実際について認識を深める。

学生の到達目標

①労働安全衛生法の概要を説明できる。
②労働衛生にかかる法規を実際の労働現場で活用できるようになる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

よくわかる社労士合格テキスト２労働安全衛生法2020年
出）　著）

ベーシック労働法（前期テキスト）
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
毎回のレポート課題を課す。	60%
最終回にレポート課題を10問程度出題する。レポートを提出期限までに提出する。	40%

その他

講義の前後の時間に質問を受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

労働衛生法規Ⅱ　(Occupational Safety and Health Regulations Ⅱ)

開講年次	４年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤　旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤　旭						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	最近の雇用、労働問題 雇用労働の現状について最近の動向を把握する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
2	労働災害の定義と最近の動向 労働災害の意味を確認したうえで最近の労働災害の状況を概観する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
3	労働安全衛生法の基本的事項（労働基準法との関係を含む） 労働災害防止に関する法の意義、役割について法の基本的性格を理解する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
4	企業における労働衛生管理の実際 労働災害事例から労働現場の実際を知ることによって災害防止の意義をつかむ。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
5	労働安全衛生法の実効確保 法の規制手法について、監督、罰則、安全衛生委員会を例に理解する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
6	安全衛生管理体制 総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、産業医、作業主任者、安全衛生委員会とは何かを学ぶ。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
7	危害防止のための措置 事業者規制、請負関係に着目した規制について学ぶ。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
8	企業における労働衛生管理の実際 安全衛生教育と健康管理について法令の具体的内容について理解する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
9	機械・有害物に関する規制について 設計、製造、流通段階における包括的規制について学ぶ。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
10	安全衛生教育と就業制限の問題など８回に続いて法的規制の内容について学ぶ。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
11	労働者の健康の確保 過労死問題ほか、健康診断と労働時間の規制の在り方について学ぶ。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
12	作業環境測定法及びじん肺法並びにこれらに基づく命令中の関係条項 健康障害についての具体的な規制例を理解する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
13	１２回に続いて、健康障害についての具体的な規制例を理解する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
14	石綿関連疾患の予防など健康障害についての具体的な規制例を理解する。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業
15	まとめ ：全体を通してのポイントの説明あるいは理解不足問題の説明を行う。	eーラーニング	柳澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康　(Food and Health Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行						

授業の概要

口腔保健と栄養をむずぶために必要と思われる主に食品についての知識を学ぶ。「食べ方」を通して、生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことや口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができることを視点とした食育を推進したり、栄養のバランスをとりながらしっかりと噛むことの重要性を訴えていくために必要と思われる食品についての知識、食事環境、食事計画、口腔の健康に役立つ食品、食品の機能性および食品の安全性について学習する。

学生の到達目標

①食生活と健康との関連について説明できる。
②近年の食行動の特徴について説明できる。
③食育基本法について説明できる。
④食生活指針について説明できる。
⑤食品群(三分類、四分類、六分類)について説明できる。
⑥植物性食品と動物性食品について説明できる。
⑦食品成分表について説明できる。
⑧保健機能食品について説明できる。
⑨う蝕と食品(甘味食品)について説明できる。
⑩食品添加物について説明できる。
⑫食中毒とその予防について説明できる。
⑬糖質の種類と働きについて説明できる。
⑭食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会 監修

食品成分表2020
出）女子栄養大学出版部　著）香川芳子 監修

「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル
出）第一出版　著）武見ゆかり ら編

参考書

わかりやすい栄養学第5版　臨床・地域で役立つ食生活指導の実際
出）ヌーヴェルヒロカワ　著）中村美和子・長谷川恭子

楽しくわかる栄養学
出）羊土社　著）中村丁次

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康　(Food and Health Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行						

その他

講義は、配布プリントを中心に行う。
学習相談：随時メールにて受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康　(Food and Health Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔機能と栄養・食育とは なぜ歯学部で栄養学を学ぶのか。口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。食育とは何か。食育基本法と食育推進基本計画など食育全般について学習する。 【事前学習課題】食育推進基本計画について	講義	辻澤	遠隔授業
2	食事環境・食事計画 食料供給や流通の状況など広義の食事環境と五感で食べることの妨げとなる食事に関わる空間に関する狭義の食事環境について学習する。また、食品の購入と保存、料理計画、盛りつけと配膳など食事計画の考え方や食生活指針について学習する。 【事前学習課題】食事環境・食事計画	講義	辻澤	遠隔授業
3	食事計画に用いる食品分類 三分類、四分類、六分類など食品と栄養のバランスについて学習する。 食事バランスガイドについて学習する. 【事前学習課題】三分類、四分類、六分類、食事バランスガイド	講義	辻澤	遠隔授業
4	日本食品標準成分表2015年版（七訂） 日本食品標準成分表2015収載項目の概要、活用分野、五訂増補版との変更点、成分表利用上の注意点および栄養価の計算方法について学習する。 【事前学習課題】日本食品標準成分表2015年版	講義	辻澤	遠隔授業
5	植物性食品 1 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のう ち、主に主食・副菜の食材料となる食品およびその加工品の種類、特徴,含有栄養素 および非栄養成分について学習する。 【事前学習課題】主食・副菜に用いる食材量(穀類、野菜、海藻、きのこ、いも類)	講義	辻澤	遠隔授業
6	植物性食品 2 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のう ち、主に主菜・果物の食材料となる食品およびその加工品の種類、特徴,含有栄養素 および非栄養成分について学習する。 【事前学習課題】主菜に用いる食材量(大豆・大豆製品)・果物	講義	辻澤	遠隔授業
7	動物性食品1 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主菜の材料となる食品およびその加工品の種類、特徴、含有栄養素について学習する。 【事前学習課題】主菜に用いる食材量(肉類、魚介類)	講義	辻澤	遠隔授業
8	動物性食品2 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、卵類と牛乳・乳製品およびこれらの加工品の種類、特徴、含有栄養素について学習する。 【事前学習課題】主菜に用いる食材量(卵)・牛乳・乳製品	講義	辻澤	遠隔授業
9	食品の機能性および規格・表示 食品の機能性とは何か、食品の持つ1次機能、2次機能、3次機能について学習する。食品の規格基準であるJAS規格制度ほ食品表示法で規定され る食品の表示、栄養成 分表示や“ シュガーレス ”などの強調表示について学習する。 【事前学習課題】食品の機能性、食品の表示について，強調表示、食品マーク	講義	辻澤	遠隔授業
10	保健機能食品と特別用途食品 健康食品、栄養機能食品、機能性表示食品、特定保健用食品および特別用途食品について学習する。 【事前学習課題】保健機能食品、特別用途食品	講義	辻澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康　(Food and Health Ⅰ)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
11	食品のう蝕誘発性1 シュガーコントロールと間食のあり方を考えるために栄養状態および咀嚼、糖質の摂取量、ショ糖の摂取量と摂取方法とう蝕について、また代用甘味料について学習する。 【事前学習課題】代用甘味料、糖アルコール	講義	辻澤	遠隔授業
12	間食のあり方を考える 菓子類や嗜好飲料水の食品の表示項目を調べ，食品表示、栄養成分表示、強調表示について学習する。また使用されている甘味料や飲料水のpHを調べることで，補食・間食について学習する。 【事前学習課題】糖アルコール、食品の表示、強調表示（シュガーレス）	講義	辻澤	遠隔授業
13	食品の安全性1 食品安全基本法、食品添加物・食品による窒息について学ぶ。 【事前学習課題】食品添加物（甘味料や酸味料など）、食品安全委員会	講義	辻澤	遠隔授業
14	食中毒1 食品の安全性のうち、微生物による食中毒と食中毒の防止法について学習する。 【事前学習課題】細菌、ウイルス、外毒素、微生物による食中毒	講義	辻澤	遠隔授業
15	食中毒2 食品の安全性のうち、化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒について学習する。 【事前学習課題】化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒	講義	辻澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康Ⅱ（歯科分野編）　(Food and Health Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明、多田　葉子						

授業の概要

口腔保健と栄養をむずぶために必要と思われる主に食品についての知識を学ぶ。「食べ方」を通して、生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことや口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができることを視点とした食育を推進したり、栄養のバランスをとりながらしっかりと噛むことの重要性を訴えていくために必要と思われる口腔の健康に役立つ食品、口腔機能の発達・維持・回復に関わる食形態、食品の機能性および食品の安全性について学習する。

学生の到達目標

①食生活と健康との関連について説明できる。
②保健機能食品について説明できる。
③う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
④食品添加物について説明できる。
⑤食中毒とその予防について説明できる。
⑥糖質の種類と働きについて説明できる。
⑦ビタミンの種類と働きについて説明できる。
⑧無機質の種類と働きについて説明できる。
⑨特別な支援が必要な者への食事指導（食事の調理形態）について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本人体の構造と機能２　栄養と代謝
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監修

食品成分表2019
出）女子栄養大学出版部　著）香川 明夫 監修

参考書

改訂食品機能学（第３版）
出）建帛社　著）青柳康夫 編著

食べ物と健康Ⅱ
出）第一出版　著）全国栄養士養成施設協会　監修

食べ物と健康 食品の安全
出）南江堂　著）国立健康・栄養研究所　監修

栄養指導にすぐ活かせるイラスト機能性成分入門
出）メディカ出版　著）川﨑英二 編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康Ⅱ（歯科分野編）　(Food and Health Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明、多田　葉子						

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康Ⅱ（歯科分野編）　(Food and Health Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明、多田　葉子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	食品の機能性とは 　口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義の中での本科目の位置づけについて説明する。食品の機能性とは何か、食品の持つ１次機能、２次機能、３次機能について学習する。 【事前学習課題】食品の機能性	講義	辻澤	遠隔授業
2	食品の表示 　栄養成分表示や“シュガーレス”などの強調表示など食品表示法による食品の表示について学習する。 【事前学習課題】食品の表示、強調表示、食品マーク	講義	辻澤	遠隔授業
3	保健機能食品と特別用途食品 　健康食品、栄養機能食品、機能性表示食品、特定保健用食品および特別用途食品について学習する。 【事前学習課題】保健機能食品、特別用途食品	講義	辻澤	遠隔授業
4	機能性成分１ 　活性酸素・過酸化脂質と抗酸化物質・抗酸化食品について学習する。 【事前学習課題】活性酸素、抗酸化物質、アンチエージング、食品の機能性	講義	辻澤	遠隔授業
5	機能性成分２ 　食物繊維・難消化性糖質の性質と生理的効果、含有食品について学習する。またプレバイオティクスとプロレバイオティクスについて学習する。 【事前学習課題】食物繊維、腸内環境、食品の機能性	講義	辻澤	遠隔授業
6	食品の安全性１ 　食品安全基本法と食品衛生法について学習する。 食品による窒息、食品添加物について学習する。 【事前学習課題】食品添加物（甘味料や酸味料など）、食品安全委員会、食品の安全性	講義	辻澤	遠隔授業
7	食品の安全性２ 　食品の汚染物質（カビ毒、農薬など），微生物による食中毒と食中毒の防止法について学習する。 【事前学習課題】細菌、ウイルス、外毒素、微生物による食中毒	講義	辻澤	遠隔授業
8	食品の安全性３ 　化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒について学習する。 【事前学習課題】化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒	講義	辻澤	遠隔授業
9	食形態１ 　テクスチャープロフィール、テクスチャー特性の物性値（硬さ、付着生、凝集性）、特別用途食品のえん下困難者食の許可基準について学習する。 また、離乳食の食形態について学ぶ。 【事前学習課題】授乳・離乳の支援ガイド、離乳の進め方、嚥下調整食分類	講義	辻澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

食べ物と健康Ⅱ（歯科分野編）　(Food and Health Ⅱ)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明、多田　葉子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
10	食形態２ 　ユニバーサルデザインフードおよび歯科臨床で用いる高齢者のための食事の食形態について学習する。 【事前学習課題】高齢者の食事	講義	柿木 多田	遠隔授業
11	食形態３-1 テクスチャー特性の物性値（硬さ、付着生、凝集性）、嚥下調整食分類2013とスマイルケア食品などについて学習する。 【事前学習課題】嚥下調整食分類2013、スマイルケア食品	講義	辻澤	遠隔授業
12	食形態３-2 テクスチャー特性の物性値（硬さ、付着生、凝集性）、嚥下調整食分類2013とスマイルケア食品などについて学習する。 【事前学習課題】嚥下調整食分類2013、スマイルケア食品	講義	辻澤	遠隔授業
13	食品のう蝕誘発性 　シュガーコントロールと間食のあり方を考えるために栄養状態および咀嚼、糖質の摂取量、ショ糖の摂取量と摂取方法とう蝕について、また代用甘味料について学習する。 【事前学習課題】代用甘味料、糖アルコール	講義	辻澤	遠隔授業
14	間食のあり方を考える 菓子類や嗜好飲料水の食品の表示項目を調べ，食品表示、栄養成分表示、強調表示について学習する。また使用されている甘味料や飲料水のpHを調べることで，補食・間食について学習する。 【事前学習課題】糖アルコール、食品の表示、強調表示（シュガーレス）	講義	辻澤	遠隔授業
15	総括・まとめ ・配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。 【事前学習課題】食品の機能性，食品の安全性，食形態，食品のう蝕誘発性	講義	辻澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ライフステージ歯科栄養学Ⅰ　(Applied Nutrition for Dental Professionalism Ⅰ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明						

授業の概要

歯科医療人としてまたは管理栄養士など他職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要なライフステージごとの栄養学の知識を学ぶ。食べる機能の発達・維持・回復期に応じて、成長期では離乳食や幼児食、間食のあり方について、若年成人では栄養・食生活上の問題点について、中高年以降では生活習慣病や低栄養の予防などについて学ぶ。

学生の到達目標

①食生活と健康との関連について説明できる。
②国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
③食育基本法について説明できる。
④食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
⑤歯の発達に必要な栄養素について説明できる。
⑥う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
⑦歯周病と食品について説明できる。
⑧ライフステージと食育について説明できる。
⑨生活習慣病と食育について説明できる。
⑩生活習慣についての把握・食生活の把握についての説明ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本人体の構造と機能２　栄養と代謝
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監修

臨床歯科栄養学
出）一般財団法人口腔保健協会　著）花田信弘 ら監修

口腔保健と栄養をむすぶエビデンスブック
出）医歯薬出版　著）深井穫博　編

参考書

わかりやすい栄養学第5版　臨床・地域で役立つ食生活指導の実際
出）ヌーヴェルヒロカワ　著）中村美和子・長谷川恭子

楽しくわかる栄養学
出）羊土社　著）中村丁次

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

〔使用テキスト〕講義は､配布プリントを中心に行う。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ライフステージ歯科栄養学Ⅰ　(Applied Nutrition for Dental Professionalism Ⅰ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	栄養マネジメントの概要1 　栄養管理の基本的な考え方と栄養評価の概要について学習する。 【事前学習課題】栄養評価（身体計測・臨床検査・食事調査）	講義	辻澤	遠隔授業
2	栄養マネジメントの概要2 　栄養管理の基本的な考え方と栄養評価の概要について学習する。 【事前学習課題】栄養評価（身体計測・臨床検査・食事調査） 発達・発育・加齢変化と栄養 　成長・発達・加齢に伴う身体的変化と栄養について学習する。 【事前学習課題】成長・発達に伴う身体的変化、加齢に伴う身体的変化	講義	辻澤	遠隔授業
3	歯科からの食育推進について 　口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。 食育基本法、第2次食育推進基本計画、食育推進宣言、健康づくりのための食育推進共同宣言について学習する。 【事前学習課題】食育推進基本計画、食育推進宣言、健康づくりのための食育推進宣言	講義	辻澤	遠隔授業
4	妊娠・授乳期の栄養 　妊婦および授乳婦における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】妊婦・授乳婦の特徴、授乳・離乳の支援ガイド	講義	辻澤	遠隔授業
5	乳児期における栄養１ 　乳児期における食育支援に必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】乳児期の特徴、授乳・離乳の支援ガイド、離乳食	講義	辻澤	遠隔授業
6	乳児期における栄養２ 　乳児期における食育支援に必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 幼児期における栄養１ 　幼児期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】乳児期・幼児期の特徴	講義	辻澤	遠隔授業
7	幼児期における栄養２ 　幼児期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】幼児期の特徴	講義	辻澤	遠隔授業
8	学童期・思春期における栄養 　学童期および思春期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】学童期・思春期の特徴	講義	辻澤	遠隔授業
9	成人期における栄養１ 　成人期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】成人期・更年期の特徴、生活習慣病の予防法	講義	辻澤	遠隔授業
10	成人期における栄養２ 　成人期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】成人期・更年期の特徴、生活習慣病の予防法	講義	辻澤	遠隔授業
11	更年期における栄養 　更年期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】成人期・更年期の特徴、生活習慣病の予防法	講義	辻澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ライフステージ歯科栄養学Ⅰ　(Applied Nutrition for Dental Professionalism Ⅰ)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、柿木　保明						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	高齢期における栄養１ 　高齢期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 【事前学習課題】高齢者の特徴	講義	辻澤	遠隔授業
13	高齢期における栄養２ 　歯科臨床で行われている高齢期の栄養指導について学習する。 【事前学習課題】高齢者の特徴	講義	柿木	遠隔授業
14	ストレス・環境と栄養 　高温・低温環境、高圧・低圧環境、騒音・振動環境、ストレスと栄養について学習する。 【事前学習課題】ストレスの種類	講義	辻澤	遠隔授業
15	ライフステージ歯科栄養学のまとめ 　講義中に配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。	講義	辻澤	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ライフステージ歯科栄養学Ⅱ　(Applied Nutrition for Dental Professionalism Ⅱ)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、秋房　住郎、園木　一男、中道　敦子、日髙　勝美、引地　尚子、藤井　航、邵　仁浩、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

授業の概要

歯科医師、歯科衛生士、および管理栄養士が関わる職業横断的なテュートリアル教育を行うことによって、歯科医療人としてまたは管理栄養士など他職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学と口腔保健学の知識を深めると共に他職種間の連携・協働のあり方について考える能力を身につけることを目指す。

学生の到達目標

①食生活と健康との関連について説明できる。
②国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
③食育基本法について説明できる。
④食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
⑤歯の発達に必要な栄養素について説明できる。
⑥歯周病と食品について説明できる。
⑦ライフステージと食育について説明できる。
⑧生活習慣病と食育について説明できる。
⑨生活習慣についての把握・食生活の把握についての説明ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

資料・課題を提示する。
出）　著）

参考書

歯科からアプローチする食育支援
出）医歯薬出版　著）食育支援ガイドブック作成委員会

口腔保健学科指定の教科書および図書館の関連図書
出）　著）

信頼できる（大学・官公庁・学会など）インターネットのホームページ
出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テュートリアルの態度（出欠遅刻など）	15%
レポート	85%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

ライフステージ歯科栄養学Ⅱ　(Applied Nutrition for Dental Professionalism Ⅱ)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤　利行						
担当教員	辻澤　利行、秋房　住郎、園木　一男、中道　敦子、日髙　勝美、引地　尚子、藤井　航、邵　仁浩、泉　繭依、船原　まどか、本田　尚郁						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション テュートリアルの実施方法について説明する。	講義	辻澤 ファシリテーター	601講義室
2	課題：テュートリアル学習１（コアタイム１） シナリオ1-1を読み、学習課題を決めるためのキーワードを列挙し、現在知っている知識とわからない知識を整理しながら、シナリオの主人公の立場になって考え、問題解決をしていくための学習課題を決める。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
3	課題：テュートリアル学習２（自己学習） 学習課題についてのレポートの作成、発表用資料と原稿の作成をおこなう。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
4	課題：テュートリアル学習３（グループ発表・討論のための資料原稿の提出） 学習課題についてのレポートの作成、発表用資料と原稿を提出する。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
5	課題：テュートリアル学習４（コアタイム２） シナリオ1-2を読み、学習課題を決めるためのキーワードを列挙し、現在知っている知識とわからない知識を整理しながら、シナリオの主人公の立場になって考え、問題解決をしていくための学習課題を決める。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
6	課題：テュートリアル学習５（自己学習） 学習課題についてのレポートの作成、発表用資料と原稿の作成をおこなう。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
7	課題：テュートリアル学習６（グループ発表・討論のための資料原稿の提出） 学習課題についてのレポートの作成、発表用資料と原稿を提出する。学習項目の不足分を追加して，内容を更にブラッシュアップする。	テュートリアル	辻澤	遠隔授業
8	レポート等の提出、テュートリアル学習総括とアンケート調査 レポート等を提出する。シナリオと学習項目についての解説およびアンケート調査を行う。	総括	辻澤 ファシリテーター	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション論　(Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、久保田　潤平、辻澤　利行、〔非常勤講師〕荒金　英樹、口腔保健学科長						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）、久保田　潤平（口腔環境科）						

授業の概要

摂食嚥下に関わる解剖、機能と発達を理解したうえで、摂食嚥下障害のスクリーニング法と機能訓練について学修する。また、高齢者および要介護高齢者に対する栄養摂取と栄養管理についての理解を深め、医師、管理栄養士等、多職種連携の実際を学修する。さらに、歯科衛生士が担う高齢者に対する口腔健康管理とは何かを学修し、歯科衛生過程に基づいて、問題抽出、解釈分析、診断文をもとに口腔健康管理計画の立案法を学修する。口腔健康管理を実施するにあたり必要となる車椅子操作や移動、体位の確保に関する介護技術や、口腔衛生管理、口腔機能管理について学修する。
※本講義により得られる卒業ｺﾝﾋﾟﾃﾝｼｰ：6．多職種連携の実践

学生の到達目標

①摂食嚥下に関わる解剖、機能と発達、障害について説明できる。
②小児の摂食嚥下障害について説明できる。
③摂食嚥下障害のスクリーニング方法について説明できる。
④嚥下造影および嚥下内視鏡について説明できる。
⑤間接訓練・直接訓練について説明できる。
⑥嚥下調整食および介護食について説明できる。
⑦高齢者および要介護者・有病者に対する栄養摂取と栄養管理について説明できる。
⑧摂食嚥下障害患者に対する多職種連携の実際を説明できる。
⑨全身状態および口腔清掃状態の評価法を説明できる。
⑩高齢者や要介護高齢者に対する歯科診療補助と保健指導を病態別に説明できる。
⑪口腔健康管理について説明できる。
⑫全身状態や口腔状態に応じた口腔健康管理の方法を説明できる。
⑬高齢者や要介護者に対する義歯の取り扱いと清掃方法を説明できる。
⑭高齢者や要介護高齢者に対する歯科衛生課程の展開を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
出）医歯薬出版　著）社団法人日本歯科衛生士会　監修

在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術
出）永末書店　著）秋房住郎・泉繭依

歯科補防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監

参考書

摂食・嚥下リハビリテーション　第3版(Japanese)
出）医歯薬出版　著）才藤栄一　他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	30%
定期試験	70%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ１回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ１回につき5点を減点する。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション論　(Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、久保田　潤平、辻澤　利行、〔非常勤講師〕荒金　英樹、口腔保健学科長						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）、久保田　潤平（口腔環境科）						

その他

【オフィスアワー】講義内容の質問は、講義前後またはe-mailにて受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション論　(Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、久保田　潤平、辻澤　利行、〔非常勤講師〕荒金　英樹、口腔保健学科長						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）、久保田　潤平（口腔環境科）						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	摂食嚥下総論 摂食嚥下機能の発達や障害、障害の原因、診断、治療方針、リハビリテーションについて学修する。 【事前学習課題】摂食嚥下機能	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
2	小児の摂食嚥下障害について 摂食嚥下機能の発達の順序を理解し、指導への応用を含めた摂食嚥下障害について学修する。 【事前学習課題】小児の摂食嚥下障害	講義	久保田(潤)	614講義室 または遠隔授業
3	摂食嚥下障害のスクリーニング 口腔機能および摂食嚥下機能のメカニズムに関連した症状や心身機能をスクリーニングするテスト方法を理解し、実施手順、評価などについて学修する。 【事前学習課題】摂食嚥下障害、摂食嚥下スクリーニング	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
4	摂食嚥下障害の検査法（VF） 嚥下造影検査を用いた検査法ならびに評価について学修する。 摂食嚥下障害の検査法（VE） 内視鏡下嚥下機能検査を用いた検査法ならびに評価について学修する。 【事前学習課題】嚥下造影検査、内視鏡下嚥下機能検査	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
5	間接訓練・直接訓練 口腔機能のアセスメントやスクリーニングテストに基づいた間接訓練および直接訓練の適応、前提条件、実施手順、評価について学修する。 【事前学習課題】間接訓練、直接訓練	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
6	嚥下調整食・介護食 口腔機能や摂食嚥下障害の状態に応じた安全な食事形態や調理法、嚥下調整食、介護食について学修する。 【事前学習課題】嚥下調整食、介護食	講義	藤井	614講義室 または遠隔授業
7	高齢者および要介護者・有病者に対する栄養摂取と栄養管理 高齢者や要介護高齢者・有病者に対する身体活動レベルに応じた推定エネルギー必要量の計算方法および栄養摂取の考え方と栄養管理について学修する。増粘剤や嚥下調整食の成分、食事形態によるエネルギー量の変化等を理解し食事提供の工夫について学修する。 【事前学習課題】高齢者の栄養管理	講義	辻澤	614講義室 または遠隔授業
8	全身状態および口腔清掃状態の評価 疾患や病態に応じた高齢者および要介護高齢者の全身状態および口腔清掃状態を把握するための評価法を学修する。 【事前学習課題】全身状態の評価、口腔清掃状態の評価	講義	泉	614講義室 または遠隔授業
9	摂食嚥下障害患者に対する多職種連携 医師の関わりを通して、摂食嚥下障害患者に対する多職種連携の実際を学修する。医師、看護師、栄養士、PT、OT等の役割を理解するとともに、歯科衛生士の役割と機能を発揮するために必要な知識・態度について学修する。 【事前学習課題】職種の役割と連携	講義	荒金	614講義室 または遠隔授業
10	歯科診療補助と歯科保健指導 高齢者や要介護高齢者に対する歯科診療補助(車椅子の取り扱いや移動介助を含む)と保健指導を疾患や病態に応じて学修する。 【事前学習課題】車椅子誘導、体位変換、体位確保	講義	泉	614講義室 または遠隔授業
11	口腔健康管理とは 歯科衛生士が行う口腔健康管理について学修する。口腔清掃を目的とした口腔衛生管理と機能の維持回復を目的とした口腔機能管理について学修する。 【事前学習課題】口腔健康管理、口腔衛生管理、口腔機能管理	講義	泉	614講義室 または遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション論　(Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	２年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、久保田　潤平、辻澤　利行、〔非常勤講師〕荒金　英樹、口腔保健学科長						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）、久保田　潤平（口腔環境科）						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	口腔健康管理の方法 病態に応じた口腔清掃用具と清掃用具の工夫について学修する。寝たきり者に対する口腔内吸引について学修する。 【事前学習課題】口腔清掃用具、清掃用具の工夫	講義	泉	614講義室 または遠隔授業
13	義歯の取り扱いと清掃方法 高齢者や要介護者の義歯使用者に発症しやすい口腔疾患について学修する。また、疾患を予防する為の義歯の取り扱いと清掃方法について学修する。 【事前学習課題】義歯の取り扱い、義歯性口内炎、カンジダ症	講義	泉	614講義室 または遠隔授業
14	歯科衛生課程：問題の抽出・解釈分析 症例を用いて歯科衛生過程の展開を学修する。症例患者の問題抽出、解釈分析を学修する。 【事前学習課題】歯科保健指導、歯科衛生過程	講義	泉	614講義室 または遠隔授業
15	歯科衛生過程：口腔健康管理計画の立案 症例を用いて歯科衛生過程の展開を学修する。解釈分析をもとに歯科衛生診断文を考え、口腔健康管理計画を立案する。 【事前学習課題】歯科保健指導、歯科衛生過程	講義	泉	614講義室 または遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション実習　(Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、船原　まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）						

授業の概要

「摂食嚥下リハビリテーション論」で基本的知識を身につけたうえで、摂食嚥下機能訓練を含む口腔健康管理の技術を修得する。それに伴って必要となる高齢者、要介護者の移乗や移動、体位の確保等の介護援助技術について相互実習により修得する。口腔機能管理においては、摂食嚥下評価、間接訓練、直接訓練、食事介助、食事支援を相互実習により修得する。口腔衛生管理においては、学生が相互に要介護高齢者の口腔内を再現し、吸引器、スポンジブラシ等を使用してケアを行う技術を習得する。さらに「摂食嚥下リハビリテーション論」で立案した症例の口腔健康管理計画に基づいたケアを実施し、実施した内容をSOAP形式で記録する実践力を養い臨床実習へつなげることをねらいとする。
※本講義により得られる卒業ｺﾝﾋﾟﾃﾝｼｰ：6．多職種連携の実践

学生の到達目標

①意識状態とバイタルサイン(脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和濃度)の確認ができる。
②視覚障がい者や車椅子使用者の誘導ができる。
③口腔健康管理に必要な介護援助技術ができる。
④摂食嚥下機能評価ができる。
⑤高齢者や有病者、要介護者に対して立案した口腔衛生管理ができる。
⑥口腔衛生管理に必要な口腔内の吸引ができる。
⑦スポンジブラシを用いたケアができる。
⑧SOAP形式のケア記録を記載できる。
⑨摂食嚥下機能訓練(間接訓練)ができる。
⑩摂食嚥下機能訓練(直接訓練)ができる。
⑪食材に適した増粘剤を使用できる。
⑫高齢者や有病者、要介護高齢者の状態に応じた食事支援ができる。
⑬義歯の清掃指導ができる(義歯安定材使用を含む）。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
出）医歯薬出版　著）社団法人日本歯科衛生士会　監修

在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術
出）永末書店　著）秋房住郎・泉繭依

参考書

摂食・嚥下リハビリテーション　第３版
出）医歯薬出版　著）才藤栄一　他編

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出）医歯薬出版　著）佐藤陽子　他編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	40%
実技テスト	40%
確認テスト	20%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ１回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ１回につき5点を減点する。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション実習　(Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、船原　まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）						

その他

【オフィスアワー】講義・実習内容の質問は講義・実習前後、e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

摂食嚥下リハビリテーション実習　(Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、藤井　航、船原　まどか						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依（口腔保健科）、藤井　航（DEMCAB）						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	バイタルサイン測定と視覚障がい者や車椅子使用者の誘導・移動 高齢者や有病者、要介護者における意識状態とバイタルサイン(脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和濃度)の確認方法を相互実習する。視覚障がい者や車椅子使用者の誘導・移動方法について相互実習する。 【事前学習課題】バイタルサイン、車椅子、視覚障がい者	実習	泉	相互実習室
3,4	口腔健康管理を行う上での移動、移乗、体位の確保 高齢者や有病者、要介護者に対して口腔健康管理を実施する為に必要な移動、移乗、体位の確保を相互実習する(仰臥位の横移動、側臥位にしてうがい、ユニットから車椅子への移乗)。 【事前学習課題】介護援助技術（移乗、移動、体位の確保）	実習	泉 藤井	遠隔授業
5,6	摂食嚥下機能検査と診断・評価 摂食嚥下機能検査とその診断基準を理解し摂食嚥下機能の評価を相互実習する。 【事前学習課題】摂食嚥下障害、摂食嚥下スクリーニング	実習	藤井 泉	遠隔授業
7,8	高齢者や有病者、要介護者に対する口腔衛生管理 立案した口腔健康管理計画に基づいて、高齢者や有病者、要介護者に対して行う口腔衛生管理を相互実習する。片麻痺の患者の口腔内を再現し、残渣や痰をスポンジブラシ、歯ブラシ、補助的清掃用具を用いて除去する。実施した内容をSOAP形式のケア記録に記載する。 【事前学習課題】口腔ケア、清掃用具	実習	泉 藤井	遠隔授業
9,10	口腔内吸引(病院や施設、在宅へ訪問した際を想定した実習) 高齢者、要介護者の中で、嗽(うがい)ができない患者(寝たきり状態)に対して口腔衛生管理を行う際に使用する吸引器を用いた技術を相互実習する。それに伴って、感染予防の為の吸引器の前準備や清掃方法について実習する。実施した内容をSOAP形式のケア記録に記載する。 【事前学習課題】口腔ケア、吸引器、吸引カテーテル	実習	船原 磯部 泉	相互実習室
11,12	間接訓練・口腔機能訓練 適応や前提条件、訓練開始の判断目安、実施手順、評価などに基づく訓練法を相互実習する。 【事前学習課題】間接訓練	実習	藤井 船原 磯部 泉	相互実習室
13,14	直接訓練・口腔機能訓練 適応や経口摂取開始の前提条件、訓練開始の判断目安、実施手順、評価などに基づく訓練法を相互実習する。 【事前学習課題】直接訓練	実習	藤井 磯部 泉	相互実習室
17，18	口腔衛生管理総括 口腔衛生管理について、立案した口腔健康管理計画をもとに実施できるか確認する(バイタルサインの確認、体位の移動、スポンジブラシを用いたケア、側臥位での嗽(うがい)の一連について)。実施した内容について、SOAP形式の口腔ケア記録に記載し、必要に応じて口腔健康管理計画の評価と修正を行う。	実習	船原 磯部 泉	相互実習室
19,20	間接訓練、直接訓練総括 口腔機能管理について、間接訓練および直接訓練に関する重要事項を国家試験問題を参考に確認する。	実習	船原 磯部 泉	相互実習室
15,16	増粘剤や種々の介護食品に対する理解(義歯使用者を含む） 高齢者や要介護者へ保健指導を行う為に必要な下記体験実習を行う。飲料に応じた増粘剤の使用方法や使用量について実習する。また、種々の介護食品を調理実習し一口量を介助にて相互に摂取する。さらに、歯科保健医療連携実習で各自が作成した口蓋床を義歯安定材を用いて装着し食品を摂取する。外した口蓋床に付着した残渣と安定材を除去する方法を実習する。 【事前学習課題】嚥下調整食、介護食、義歯安定剤	実習	藤井 磯部 泉	相互実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎介護学　(Basic Medical Care)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	竹並正宏						
担当教員	〔非常勤講師〕竹並　正宏						

授業の概要

・他で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開して、介護計画を立案する方法を理解し、介護計画に基づく適切な介護サービスを提供するために必要な知識を得て、介護過程の実践的展開を行う。
・介護を受ける利用者は様々な状態・状況にあることを理解し、どんな状態にある利用者であっても尊厳保持の観点を持ち、自立支援の視点に立つ介護の提供を習得する。

学生の到達目標

①事例を通じて生活支援の課題、目標、ニーズを捉える視点を養い、的確な記録や記述の方法を身につける。
②介護過程とチームアプローチの関係について理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
・確認テストのみで評価し、100点満点中60点以上を合格とする。	100%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎介護学　(Basic Medical Care)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	竹並正宏						
担当教員	〔非常勤講師〕竹並　正宏						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	介護の社会化 社会の中で困っている人がいればお世話したり助け合うことの理解 【事前学習課題】社会的課題としての介護問題	講義	竹並	遠隔授業
2	介護の概念 社会福祉士及び介護福祉士法の職務等の概念の理解 【事前学習課題】社会福祉士及び介護福祉士法	講義	竹並	遠隔授業
3	利用者の理解と援助関係 一人ひとりの利用者の存在そのものを大切にするという理解と援助関係の理解 【事前学習課題】社会をも対象とする援助	講義	竹並	遠隔授業
4	介護援助の方法 個別性・多様性・変化のリズムを刻みながら思いの実現に向けた援助方法を学ぶ 【事前学習課題】利用者との直接的なかかわりに用いられる技術	講義	竹並	遠隔授業
5	介護過程の概要 尊厳をさせる介護の提供意義についての考え方を学ぶ 【事前学習課題】くつろぎの場、安心できる場、環境整備	講義	竹並	遠隔授業
6	さまざまな場における介護活動 住みよい地域環境の改善や必要と思われる資源の開発について学ぶ 【事前学習課題】利用者を取り巻く環境に対して用いられる技術	講義	竹並	遠隔授業
7	よりよい介護のための連携 介護を展開するうえでかかわり深いＩＣＦ「リハビリテーション」地域との連携を学ぶ 【事前学習課題】地域社会の現状と医療福祉	講義	竹並	講義室
8	介護従事者の健康と安全 質の高い介護提供のため自身の心と身体の健康状態を整えておくことの理解 【事前学習課題】人的な生活環境の重要性と介護職の気持ち	講義	竹並	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床検査学　(Laboratory Medicine)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地　尚子						
担当教員	引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 引地　尚子(口腔内科)						

授業の概要

口腔疾患および口腔疾患に関連した全身疾患の診断・治療に必要な臨床検査の知識を学ぶ。

学生の到達目標

①臨床検査の意義を説明できる。
②生理検査について説明ができる。
③尿検査について説明ができる。
④血液学的検査ににについて説明ができる。
⑤生化学的検査について説明ができる。
⑥感染・免疫学的検査について説明ができる。
⑦病理組織学的検査について説明ができる。
⑧顎口腔領域の検査について説明ができる。
本講義は「労働衛生上の健康の保持増進対策」学習の一部である。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

系統看護学講座　臨床検査
出）医学書院　　著）

参考書

新歯科衛生士教本　歯科診療補助　臨床検査法
出）医歯薬出版　　著）

LAB DATA　臨床検査データブック
出）医学書院　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対し欠席による減点（1回につき5点）及び態度評価による減点（1回につき2点）を行う。

その他

（学習内容）講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床検査学　(Laboratory Medicine)

開講年次	２年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地　尚子						
担当教員	引地　尚子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 引地　尚子(口腔内科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	臨床検査学の概要 臨床検査の流れを概説し、血液・尿などの検体採取法について学習する。 【事前学習課題】検体採取	講義	引地	遠隔授業
2	一般検査・血液検査 一般検査・血液検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】一般検査、血液検査	講義	引地	遠隔授業
3	生化学的検査（その１） 肝機能検査などの生化学的検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】生化学的検査、肝	講義	引地	遠隔授業
4	生化学的検査（その2） 腎機能検査などの生化学的検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】生化学的検査、腎	講義	引地	遠隔授業
5	免疫・血清検査 ホルモン検査 血液型の検査などを含む免疫・血清検査を中心にホルモン検査も含めその内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】免疫、ホルモン	講義	引地	遠隔授業
6	微生物・病理組織学的検査 微生物検査、病理組織学的検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】微生物検査、病理組織学的検査	講義	引地	遠隔授業
7	生理検査（その１） 血圧測定などの生理機能検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】生理（機能）検査	講義	引地	遠隔授業
8	生理検査（その２） 顎口腔領域の検査 呼吸機能検査などの生理機能検査と味覚検査などの顎口腔領域の検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。 【事前学習課題】顎口腔領域の検査	講義	引地	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合医科学　(General Medicine)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、〔非常勤講師〕酒見　好弘、〔非常勤講師〕尼田　覚、〔非常勤講師〕髙島　健、〔非常勤講師〕池　志保						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

授業の概要

全身の健康状態や疾患に対応できる口腔保健医療を提供するために必要な基本的医科学知識として、内科学、小児科学、産婦人科学、精神科学を学習する。内科学は後期の生活習慣病論で取り扱う疾患と合わせて合計11疾患を系統的に学ぶ。また、講義の一部は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生　ｆ. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」の内容を含んでいる。小児科学では、小児の成長発達の過程と保護者の心理状態を理解し、コミュニケーション能力を身に付ける。また小児期に頻度の高い口腔疾患の病態生理と予防法を理解する。産婦人科学では、代表的な婦人科疾患と妊娠、分娩、出産について学習する。精神科学では、精神疾患を抱えた患者に適切な口腔保健医療を提供するために、精神疾患および精神保健に関する基本的な精神医学的知識を習得する。

学生の到達目標

内科学
①代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、肝・胆・膵疾患、血液疾患を説明できる。
②第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生　ｆ. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」を理解できる。
小児科学
①正常発達：標準的な成長発達が説明できる。
②発達異常：遠城寺式乳幼児分析的発達検査による発達指数が計算できる。
③小児の心理支援：チャイルドライフスペシャリストの役割について説明できる。
④保護者の心理支援：子育てで頻度の高い問題点とその解決策について説明できる。
⑤小児の代表的な口腔疾患（感染症、外傷、血液疾患、血管炎、薬剤副作用）について説明できる。
⑥予防接種（定期・任意）について説明できる。
産婦人科学
①代表的な婦人科疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）を説明できる。
②妊娠、分娩、産褥の生理と代表的な異常妊娠（子宮外妊娠、妊娠中毒症、前置胎盤、切迫早産）を説明できる。
③妊産期の就労者の健康管理について説明できる。
精神科学
①代表的な精神疾患（統合失調症・気分障害・器質性精神障害）および精神保健の基礎的な考え方について説明できる。
②代表的な精神疾患（摂食障害・パーソナリティ障害・不安障害）および代表的な発達障害（知的能力障害・自閉スペクトラム症・注意欠如・多動症）について説明できる。
③就労者のメンタルヘルスについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科のための内科学
出）南江堂　著）

衛生管理　上　第１種用
出）　著）中央労働災害防止協会

参考書

学生のための精神医学
出）医歯薬出版　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合医科学　(General Medicine)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、〔非常勤講師〕酒見　好弘、〔非常勤講師〕尼田　覚、〔非常勤講師〕髙島　健、〔非常勤講師〕池　志保						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

その他

【オフィスアワー】
園木一男：教授室　月～金　16：15～　メールは随時受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合医科学　(General Medicine)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、〔非常勤講師〕酒見　好弘、〔非常勤講師〕尼田　覚、〔非常勤講師〕髙島　健、〔非常勤講師〕池　志保						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	内科学①　循環器疾患その１ 心不全の病態から心臓の機能を学ぶ。また心不全の原因となる虚血性心疾患を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　心不全ｐ43、虚血性心疾患ｐ55	講義	園木	遠隔授業
2	内科学②　循環器疾患その２ 弁膜症、先天性心疾患、高血圧症を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　弁膜症ｐ68、先天性心疾患ｐ63、高血圧症ｐ76	講義	園木	遠隔授業
3	内科学③　循環器疾患その3 歯科診療と関連が深い感染性心内膜炎と不整脈を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　感染性心内膜炎ｐ71、不整脈ｐ47	講義	園木	遠隔授業
4	内科学④　呼吸器疾患その１ 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺炎の病態から肺機能を学ぶ。また、肺血栓塞栓症、ARDSから肺循環を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　気管支喘息ｐ112、慢性閉塞性肺疾患ｐ114、肺炎ｐ105、肺血栓塞栓症ｐ126	講義	園木	遠隔授業
5	内科学⑤　呼吸器疾患その２ よく遭遇する呼吸器疾患として肺癌、睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群を学ぶ。さらに知っておくべき呼吸器疾患として気胸、サルコイドーシス、汚染大気吸入による肺疾患（塵肺、石綿肺）を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　肺癌ｐ122、睡眠時無呼吸症候群ｐ128、過換気症候群ｐ130、気胸ｐ127、サルコイドーシスｐ118	講義	園木	遠隔授業
6	内科学⑥　消化器疾患 上部消化管疾患（慢性胃炎、急性胃炎、食道炎、胃・十二指腸潰瘍、胃癌、食道癌、機能性胃腸症）と下部消化管疾患（過敏性腸症候群、急性中垂炎、腹膜炎、腸閉塞、炎症性腸疾患、消化管ポリポージス、大腸癌、各種大腸炎）を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　上部消化管疾患ｐ143、下部消化管疾患ｐ151	講義	園木	遠隔授業
7	内科学⑦　肝・胆・膵疾患 肝疾患としてウィルス性肝炎、肝硬変、アルコール性肝障害、薬剤性肝障害を学ぶ。胆嚢疾患として胆石症、胆嚢炎を学ぶ。膵疾患として急性膵炎、慢性膵炎、膵癌、インスリノーマを学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　肝疾患ｐ161、胆嚢疾患ｐ180、膵疾患ｐ185	講義	園木	遠隔授業
8	内科学⑧　血液疾患その１ 貧血の定義、分類、治療方法を学ぶ。また、赤血球増加症や出血性素因の病態について学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　貧血ｐ287、赤血球増加症ｐ295、出血性素因ｐ305	講義	園木	遠隔授業
9	内科学⑨　血液疾患その２ 白血病の病態、治療方法を学ぶ。また、白血病の類縁疾患である悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の病態、治療方法を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　白血病ｐ297、悪性リンパ腫ｐ301、多発性骨髄腫ｐ304	講義	園木	遠隔授業
10	小児科学① 小児の正常発達と異常発達、さらに小児と保護者に対する心理支援とコミュニケーション技術を学ぶ。	講義	酒見	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

総合医科学　(General Medicine)

開講年次	３年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、〔非常勤講師〕酒見　好弘、〔非常勤講師〕尼田　覚、〔非常勤講師〕髙島　健、〔非常勤講師〕池　志保						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
11	小児科学② 小児の代表的な口腔疾患と予防接種について学ぶ。	講義	酒見	遠隔授業
12	産婦人科学① 代表的な婦人科疾患を学ぶ。	講義	尼田	遠隔授業
13	産婦人科学② 妊娠、分娩、産褥の生理と異常妊娠を学ぶ。	講義	髙島	遠隔授業
14	精神科学① 代表的な精神疾患および精神保健の基礎的な考え方について学ぶ。	講義	池	遠隔授業
15	精神科学② 代表的な発達障害を学ぶ。	講義	池	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

生活習慣病論　(Lifestyle Disease)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

授業の概要

生活習慣病として代表的な疾患である糖尿病、腎・尿路疾患、脳血管障害を含む内科的疾患を学び、全身疾患に対応できる口腔保健医療を提供するための基本的医科学知識を習得するとともに、口腔保健医療が全身に及ぼす影響を理解し、歯科疾患を予防することが全身の健康維持や全身疾患の予防に効果があることを学ぶ。また、本講義は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生　ｆ. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」の内容を含んでいる。

学生の到達目標

①代表的な代謝疾患（糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症・痛風、肥満症・メタボリックシンドローム、ビタミン欠乏症と過剰症、骨粗鬆症）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。
②代表的な腎疾患、尿路疾患（慢性腎臓病、急性腎炎症候群、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、薬物性腎障害、急性腎不全、慢性腎不全、腎尿路感染症、腎・尿路結石、前立腺肥大症）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。
③代表的な内分泌疾患（甲状腺疾患、副腎疾患）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。
④代表的な神経疾患（脳血管障害（脳卒中）、変性疾患、脱髄性疾患、感染性疾患、筋疾患）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。
⑤代表的な自己免疫疾患（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合性組織病）を理解できる。
⑥代表的な感染症を理解できる。
⑦第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生　ｆ. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科のための内科学
出）南江堂　著）

衛生管理　上　第1種用
出）　著）中央労働災害防止協会

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】
園木一男：教授室　月～金　16：15～　メールは随時受け付ける。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

生活習慣病論　(Lifestyle Disease)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	代謝疾患その１ 糖尿病とは何かを、病態、病因、診断方法、治療方法を通して学ぶ。また、糖尿病、肥満症、歯周病の三者の関係を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　糖尿病p231	講義	園木	遠隔授業
2	代謝疾患その２ 脂質異常症、高尿酸血症・痛風、ビタミン欠乏症・過剰症、骨粗鬆症、アミロイドーシスといった疾患を、病態、病因、診断方法、治療方法を通して学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　脂質異常症ｐ241、高尿酸血症・痛風ｐ246、ビタミン欠乏症・過剰症ｐ253、骨粗鬆症ｐ255、アミロイドーシスp259	講義	園木	遠隔授業
3	腎・泌尿器疾患 腎疾患として慢性腎臓病、急性腎炎症候群、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、薬物性腎障害、急性腎不全、慢性腎不全を学ぶ。また、泌尿器疾患として腎尿路感染症、腎・尿路結石、前立腺肥大症を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　腎疾患p337、泌尿器疾患ｐ347	講義	園木	遠隔授業
4	内分泌疾患 内分泌疾患として代表的で知っておくべき甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患、副甲状腺疾患の病態、病因、診断方法、治療方法を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　甲状腺疾患ｐ205、副腎疾患ｐ214、下垂体疾患ｐ202、副甲状腺疾患p210	講義	園木	遠隔授業
5	神経疾患その１ 脳血管障害といわれる疾患にはどんなものがありどのように分類されていのか、さらに、その疾患の病因、病態、治療方法を学ぶ。また、変性疾患としてアルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脱髄性疾患として多発性硬化症、ギランバレー症候群を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　脳血管障害p265、変性疾患ｐ271	講義	園木	遠隔授業
6	神経疾患その２ 感染性疾患としてクロイツフェルト・ヤコブ病、髄膜炎、筋疾患として重症筋無力症、筋ジストロフィー、その他、てんかん、頭痛、意識障害、認知症を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　感染性疾患p269、筋疾患ｐ274、てんかんｐ275、頭痛ｐ23、認知症ｐ271	講義	園木	遠隔授業
7	自己免疫疾患 自己免疫疾患とはいかなる疾患であるかを理解し、さらに自己免疫疾患といわれる代表的な疾患の病態を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　自己免疫疾患p351	講義	園木	遠隔授業
8	感染症 感染症について知っておくべき専門用語と細菌、ウィルス、スピロヘータ、リケッチア、真菌、原虫による代表的疾患を学ぶ。 【事前学習項目】 歯科のための内科学　感染症p383	講義	園木	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎看護学　(Basic Nursing)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕渕野　由夏						
担当教員	〔非常勤講師〕渕野　由夏、〔非常勤講師〕加藤　法子、〔非常勤講師〕藤野　靖博、〔非常勤講師〕於久　比呂美						

授業の概要

この科目では、看護学全般の概念をとらえ、看護の位置づけと役割を理解できるよう講義を展開していく。ここでは、看護の本質および看護の対象、保健医療における看護の役割や専門性について概説する。また、看護の歴史的変遷を踏まえつつ現代看護に求められる看護職の役割や保健医療システムの中における看護の役割についても学習する。

学生の到達目標

①看護の目的、対象、方法を理解できる。
②社会における看護の役割・活動を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出）　著）

参考書

看護学概論　第５版
出）ヌーヴェルヒロカワ　著）松木光子

看護覚え書き　改訳第７版
出）現代社　著）Ｆ・ナイチンゲール著　湯槙ます他訳

看護の基本となるもの
出）日本看護協会出版会　著）ヴァージニア・ヘンダーソン著　湯槙ます・小玉香津子訳

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席（課題を含む）	70%
レポート	30%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

基礎看護学　(Basic Nursing)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕渕野　由夏						
担当教員	〔非常勤講師〕渕野　由夏、〔非常勤講師〕加藤　法子、〔非常勤講師〕藤野　靖博、〔非常勤講師〕於久　比呂美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	看護とは 　看護とは何かについて、看護の概念や理論などを通して理解する。	講義	加藤	遠隔授業
2	看護の歴史的変遷 　看護の概念がどのように発展していったかを、社会状況の変化や歴史的変遷から理解する。	講義	加藤	遠隔授業
3	看護における人間のとらえ方① 　看護の対象となる「人間」について基本的欲求、成長・発達課題、主要な看護モデルなどの視点から理解する。	講義	於久	遠隔授業
4	看護における人間のとらえ方② 　看護の対象となる「人間」を取り巻く環境について外部環境、内部環境の視点から理解する。	講義	於久	遠隔授業
5	看護における健康のとらえ方 　健康の概念を学習し、看護における健康の考え方について理解する。	講義	藤野	遠隔授業
6	看護における生活のとらえ方 　看護の視点から生活をとらえ、生活を整える過程について理解する。	講義	藤野	遠隔授業
7	看護の機能と看護活動① 　看護の機能と役割を理解した上で、具体的な看護業務について学習する。さらに、看護活動の基盤となる看護過程について理解する。	講義	渕野	遠隔授業
8	看護の機能と看護活動② 　保健医療システムにおける看護の機能について理解する。さらに、看護活動において重要な看護管理および看護倫理について理解する。	講義	渕野	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床栄養学　(Clinical nutrition)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、辻澤　利行						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

授業の概要

臨床における栄養ケアプランの作成、栄養補給や栄養教育の方法、栄養アセスメント法や検査値の判定、栄養サポートチーム（NST）医療、病院給食などの事項に関して学び、栄養管理の原理と意義を理解する。

学生の到達目標

①栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、モニタリング、評価からなる栄養管理の一連の流れを説明できる。
②栄養投与ルートの種類（静脈栄養、経胃栄養、経腸栄養）と方法およびその管理を説明できる。
③栄養管理が重要な疾患（肝疾患、腎疾患、代謝性疾患、COPD、炎症性腸疾患、心不全、悪性腫瘍、脳血管障害、周術期、褥瘡、急性骨髄性白血病）を持つ患者の栄養管理について説明できる。
④栄養サポートチーム（NST）および栄養サポートチームが行う栄養管理について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

講義ごとに資料を配布する。
出）　著）

歯科診療のための内科
出）永末書店　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

臨床栄養学　(Clinical nutrition)

開講年次	４年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木　一男						
担当教員	園木　一男、辻澤　利行						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 園木　一男(内科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	臨床における栄養管理の流れ 臨床栄養学とはどういった学問であるかを理解するために、その意義、栄養管理の流れと具多的な方法とポイントを学ぶ。また、臨床栄養学を実践しているNSTの意義を学ぶ。 【事前学習課題】臨床栄養、NST	講義	辻澤 園木	遠隔授業
2	栄養投与の種類とその方法 栄養投与の種類と方法を臨床で用いられている製品を理解しながら学ぶ。 【事前学習課題】栄養投与法	講義	園木	遠隔授業
3	栄養管理が重要な疾患その１ 悪性腫瘍の周術期における栄養管理を学ぶ。 【事前学習課題】悪性腫瘍、周術期	講義	園木	遠隔授業
4	栄養管理が重要な疾患その2 肝疾患や腎疾患を持つ患者の病態を復習しながら栄養管理のポイントを学ぶ。 【事前学習課題】肝疾患、腎疾患、歯科診療のための内科　ｐ168-181、184-200	講義	園木	遠隔授業
5	栄養管理が重要な疾患その3 代謝性疾患や炎症性腸疾患を持つ患者の病態を復習しながら栄養管理のポイントを学ぶ。 【事前学習課題】代謝性疾患、炎症性腸疾患、歯科診療のための内科　ｐ202-219	講義	園木	遠隔授業
6	栄養管理が重要な疾患その4 COPDや心不全を持つ患者の病態を復習しながら栄養管理のポイントを学ぶ。 【事前学習課題】COPD、歯科診療のための内科　ｐ120-122	講義	園木	遠隔授業
7	栄養管理が重要な疾患その5 脳血管障害や褥瘡を発症した患者の栄養管理を学ぶ。 【事前学習課題】脳血管障害、褥瘡、歯科診療のための内科　ｐ306-314	講義	園木	遠隔授業
8	栄養管理が重要な疾患その6 小児と高齢者の疾患時の栄養管理を学ぶ。 【事前学習課題急性循環不全、慢性低栄養、refeeding syndrome、サルコペニア、大腿頸部骨折	講義	園木	遠隔授業
9	栄養管理が重要な疾患その7 急性骨髄性白血病の治療時における栄養管理を学ぶ。 栄養サポートチーム（NST)の実際 NSTの目的、役割、運営方法を知り、歯科衛生士としての関わり方を学ぶ。 【事前学習課題】急性骨髄性白血病、歯科診療のための内科　ｐ287-295	講義	園木	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

回復期口腔機能管理学　(Studies of Convalescence oral function management)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義・実習	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、〔非常勤講師〕我那覇　生純、中道　敦子、船原　まどか、口腔保健学科長						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依(口腔保健科)						

授業の概要

回復期病院および在宅・施設等で生活する要介護高齢者に対して、歯科医療人として多職種と連携しながら口腔機能の維持回復を行うために必要な知識・態度について学修する。また、患者の全身状態および摂食嚥下を含む口腔状態を評価し、歯科衛生過程に基づいて、在宅・施設復帰等、社会性の回復を視野に入れた口腔健康管理計画を立案する力を養う。さらには、主介護者(模擬)および患者(模擬)に対して立案した口腔健康管理を実施する力を養う。
※本講義により得られる卒業ｺﾝﾋﾟﾃﾝｼｰ：5.全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動のうち5-7. 周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得する。

学生の到達目標

①回復期患者に対して全身の健康や社会性の復帰を視野に入れた口腔健康管理計画が立案できる。
②訪問歯科診療における歯科衛生士の役割が説明できる。
③回復期患者や施設等で生活する要介護高齢者の環境について説明できる。
④患者の状態を把握し、ベッドから車椅子への移乗や体位変換ができる。
⑤患者の状態を把握し、患者および家族へ義歯の取り扱いを含めた義歯清掃法に関する保健指導ができる。
⑥患者の状態を把握し、舌負荷訓練等の摂食嚥下機能訓練が実施できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術
出）永末書店　著）秋房住郎・泉繭依

最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論
出）医歯薬出版　著）全国歯科衛生士教育協議会　監

参考書

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出）医歯薬出版　著）佐藤陽子　他編著

初めて学ぶ歯科口腔介護　第２版
出）医歯薬出版　著）新井俊二、小椋秀亮　監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
提出課題	40%
実技試験	60%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ１回につき3点を減点する。また課題提出期限の遅れ・不備は、それぞれ１回につき5点を減点する。

その他

講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

回復期口腔機能管理学　(Studies of Convalescence oral function management)

開講年次	３年	期区分	後期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義・実習	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉　繭依						
担当教員	泉　繭依、〔非常勤講師〕我那覇　生純、中道　敦子、船原　まどか、口腔保健学科長						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 泉　繭依(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	回復期患者に対する口腔健康管理計画 症例患者の全身状態および口腔内状態および精神状態を評価し、歯科衛生過程に基づいて問題抽出と解釈分析を行う。社会性の回復を視野に入れた診断文を作成し、口腔健康管理計画を作成する。 【事前学習課題】歯科衛生過程　要介護高齢者の口腔内状態	講義	泉	遠隔授業
2,3	訪問歯科診療の実際 訪問歯科診療に必要な書類や器具器材の準備、往診先での印象採得などの診療補助業務について学修する。回復期病院および在宅・施設で生活する患者の病態および身体状況に応じた診療補助や介助方法を学修する。 回復期病院患者・在宅療養者・高齢者施設入所者の社会的背景や環境を理解するとともに、チーム医療における歯科衛生士の役割及び多職種を理解するために必要な知識・態度について学修する。 【事前学習課題】訪問歯科診療	講義	我那覇 泉	遠隔授業
4	自立支援を目的とした歯科保健指導案の作成 自立支援を目的とした口腔清掃用品の使用方法を学修する(吸盤付き義歯ブラシ、粘膜ブラシ)。片麻痺がある患者に対して義歯の取り外しや清掃指導を行う際のシナリオを作成する。また患者や介護者に対して舌負荷訓練を行う際のシナリオを作成する。 【事前学習課題】自立支援　口腔清掃用品　吸盤付き義歯ブラシ　粘膜ブラシ	講義	泉	遠隔授業
5	歯科保健指導の実施と口腔健康管理計画の修正 片麻痺がある患者に対して義歯の取り外しや清掃指導を相互で実習する。立案した口腔健康管理計画のケアplan、教育プラン、評価planが内容に添ったものであるかを確認し修正を行う。 【事前学習課題】自立支援　口腔清掃用品　吸盤付き義歯ブラシ　粘膜ブラシ	講義 実習	泉	相互実習室
6,7	ベッドから車椅子への移乗 症例患者のバイタルサインの把握を行い、ベッドから車椅子への移乗する介護技術を学修する。車椅子上で、シミュレータに対して義歯の取り扱いと清掃方法の指導を行う。 【事前学習課題】移乗・移動介助　義歯の取り扱い　義歯清掃方法	講義 実習	泉	相互実習室
8,9	口腔健康管理計画の実施 シミュレータに対して、バイタルサインの測定、ベッドから車椅子への移乗、義歯の取り扱いと清掃方法、舌負荷訓練の実施と介護者への指導といった一連の計画を実施する。 【事前学習課題】舌負荷訓練	講義 実習	泉	相互実習室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

急性期口腔機能管理学　(Studies of Acute oral function management)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原まどか						
担当教員	船原　まどか、中道　敦子、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)、中道　敦子(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業の概要

チーム医療では複数の医療専門職がそれぞれの専門スキルを発揮することが求められる。本講義では歯科衛生士としてチーム医療に参加し、患者の現病からの回復、生活の質（QOL）の維持・向上をサポートするために必要な知識・技術・態度について学習することを目的とする。急性期口腔機能管理の考え方について講義を行い、次いでシミュレーターを用いた演習により急性期口腔管理の技術を習得する。
この科目は主に本学の卒業コンピテンシー「6．多職種連携の実践」に資する。

学生の到達目標

①周術期口腔機能管理とその概要について、またチーム医療における歯科衛生士の役割や意義について説明できる。
②放射線治療・化学療法の概要について、全身、口腔に関わる有害事象について説明できる。
③癌手術療法の概要について、全身、口腔に関わる有害事象について説明できる。
④緩和ケアの概要と口腔に関わる有害事象や取り組みについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

がん患者の口腔ケア
出）医学書院　著）編集）日本口腔ケア学会学術委員会

エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理
出）医歯薬出版　著）編著）梅田正博、五月女さき子

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習実技試験	80%
レポート	20%

・演習実技試験、レポートにおいて評価を行う。
・遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度はそれぞれ1回につき3点を減点する。

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

急性期口腔機能管理学　(Studies of Acute oral function management)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	船原まどか						
担当教員	船原　まどか、中道　敦子、本田　尚郁						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 船原　まどか(口腔保健科)、中道　敦子(口腔保健科)、本田　尚郁(口腔保健科)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	【周術期口腔機能管理総論】 周術期口腔機能管理とその概要について、またチーム医療における歯科衛生士の役割や意義について説明できる。 【事前学習課題】チーム医療、心臓血管外科手術、病院におけるチームとその役割（NST、RST等）	講義	船原	遠隔講義
2	【がん治療における支持療法(1)】 放射線治療・化学療法の概要について、全身、口腔に関わる有害事象と、歯科衛生士としての関わりや取り組みについて説明できる。 【事前学習課題】放射線療法・化学療法の口腔関連有害事象、ベッドサイドモニター	講義	船原	遠隔講義
3	【がん治療における支持療法(2)】 癌手術療法の概要について、全身、口腔に関わる有害事象と、歯科衛生士としての関わりや取り組みについて説明できる。 これまでの講義をふまえがん治療の症例を元に歯科衛生過程に則った情報分析、口腔機能管理計画立案を記述できる。 【事前学習課題】手術療法、VAP、口腔がん術後感染、術後肺炎	講義	船原	遠隔講義
4	【緩和ケアを必要とする患者への口腔機能管理】 緩和ケアの概要と口腔に関わる有害事象や取り組みについて説明できる。 【事前学習課題】緩和ケアの定義、グリーフケア、終末期における口腔有害事象	講義	船原	遠隔講義
5,6	【集中治療室や病室往診での口腔機能管理(1)】 急性期病院での経口挿管にて人工呼吸管理中の患者に口腔機能管理を行う際のリスク管理や留意点について説明できる。 【事前学習課題】第4講義で指示	講義 演習	船原 本田 中道	相互実習室
7,8	【集中治療室や病室往診での口腔機能管理(2)】 急性期病院での頭頸部がん患者への口腔機能管理の実際と知識、技術について模倣し、説明できる。 【事前学習課題】第5,6講義で指示	講義 演習	船原 本田 中道	相互実習室
9	【まとめ】 周術期口腔機能管理の目的、チーム医療の中での歯科衛生士の役割について、これまで得た知識を踏まえ、自らの考えを記述することができる。 【事前学習課題】これまでの配布資料、参考テキストの見直し	講義	船原	遠隔講義

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

社会福祉概論　(Introduction of Social Welfare)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業の概要

社会福祉の歴史とその過程で醸成された概念群を理解し、国際的動向を踏まえつつ、生活者のニーズと人間性を支援するための社会的資源と制度について学ぶ

学生の到達目標

①社会保障制度と実際について概説できる。
②社会保険制度と行政について概説できる。
③医療保険制度について概説できる。
④年金制度について概説できる。
⑤雇用保険及び労働者災害補償保険制度について概説できる。
⑥介護保険制度について概説できる。
⑦社会福祉の歴史と国際的な動向について概説できる。
⑧社会福祉の制度と行政について概説できる。
⑨公的扶助について概説できる。
⑩児童と家庭の福祉制度について説明できる。
⑪障害者の福祉制度について説明できる。
⑫老人の福祉制度について説明できる。
⑬災害時の被災地支援について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

e-learningで配布
出）　著）

参考書

シリーズ・基礎からの社会福祉　１　社会福祉概論
出）ミネルヴァ書房　著）

最新歯科衛生士教本／歯科衛生士と法律
出）医歯薬出版　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
事後レポート	10%

その他

（教員名：オフィスアワー）
・秋房住郎：月～金7:00～9:00・16:30～17:30

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

社会福祉概論　(Introduction of Social Welfare)

開講年次	１年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	18	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	社会保障の定義と制度 　近代ヨーロッパで確立した社会保障の成り立ちと日本における社会保障の概念について理解する。また、所得再分配機能の理論と実際について学ぶ。 【事前学習課題】社会保障、所得再分配	講義	秋房	遠隔講義
2	現代社会における社会福祉のニーズ 　ニードの定義、マズローの階層説、フォーダーの6分類、社会生活の基本的欲求を概説し、社会福祉的課題となるニードの条件について考える。 【事前学習課題】ニードの定義、マズローの階層説、フォーダーの6分類	講義	秋房	遠隔講義
3	社会福祉の概念 　ノーマライゼーションに関する理論と実際について理解する。また、公的、公共的、私的の３領域からみた福祉施策のあり方について考える。 【事前学習課題】ノーマライゼーション	講義	秋房	遠隔講義
4	社会福祉の歴史 　日本における福祉の歴史を繙くとともにイギリスで生まれたセツルメント活動とチャリティー活動の違いについて歴史的背景から考察する。また、アメリカに代表されるソーシャルワーク技法と、北欧モデルに見られる福祉国家の歴史的背景を理解する。 【事前学習課題】セツルメント活動、チャリティー活動	講義	秋房	遠隔講義
5	社会福祉行政と関連法規 　社会福祉六法（児童福祉法、身体障害者福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、知的障害者福祉法、生活保護法）を概説する。 公的扶助 　公的扶助の意義と生活保護制度の概要を理解する。また自立支援にかかる施策の実際について説明する。 【事前学習課題】社会福祉六法、公的扶助	講義	秋房	遠隔講義
6	社会福祉の実際 　児童福祉、及び母子・寡婦福祉、高齢者、及び障害者に関連する法律群について概説した後、地域における当該施策の実例を収集･解析し発表する。 【事前学習課題】社会福祉六法	講義	秋房	遠隔講義
7	雇用保険と労働者災害補償保険制度 　労働者の福祉にかかる雇用保険と労働災害補償保険の制度の概要について理解する。 【事前学習課題】雇用保険、労働者災害補償保険	講義	秋房	遠隔講義
8	高齢者福祉と介護保険制度 　介護保険制度の概要を理解するとともに歯科的観点から制度設計を俯瞰して歯科衛生士としての役割について考察する。 【事前学習課題】介護保険、地域包括ケアシステム	講義	秋房	遠隔講義
9	人権・同和問題について考える 　社会構造の中に存在する差別を通じて、人権について考える。 【事前学習課題】事件問題	講義	講師団講師	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

高齢者支援学Ⅱ　(NULL)

開講年次	４年	期区分	通年	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航、口腔保健学科長、吉岡　香絵、〔非常勤講師〕荒木　剛、〔非常勤講師〕納戸　美佐子、〔非常勤講師〕坂巻　路可、〔非常勤講師〕竜口　隆三、〔非常勤講師〕吉原　悦子、〔非常勤講師〕山田　志麻						

授業の概要

高齢者支援学Ⅰで学修したことを生かし、要支援・要介護状態の高齢者に対しての支援方法について学修する。
【福祉】【看護】【栄養】介護保険制度下における高齢者施設の種類や特性、利用手続き等について解説する。また、高齢者支援に従事する専門職として必要な姿勢や態度、コミュニケーション技法について解説する。
【口腔保健】要介護者の口腔内の特徴と口腔機能管理の方法について概要を学び、要介護状態でも口から食べ続けることの重要性を理解して、経口摂取にかかる支援のあり方について考える。
【住宅デザイン】要介護高齢者の身体状況について学び、住宅および高齢者施設で安全に暮らせる配慮ポイントを理解して、要介護高齢者に対する支援の提案力を高める。

学生の到達目標

【福祉】【看護】【栄養】
①介護保険制度下における高齢者施設の種類、特性、利用手続きについて説明できる。
②支援者としての基本的姿勢や態度について説明・実践できる。
③高齢者とのコミュニケーションや関係形成の方法について説明・実践できる。
【口腔保健】
①要介護高齢者の口腔機能の特徴について概要を説明できる。
②要介護高齢者の経口摂取支援について概要を説明できる。
③高齢者施設での食支援の実際について概要を説明できる。
【住宅デザイン】
①食卓（キッチン）を除く、水まわり3空間の考え方を説明できる。
②安全で快適な住居デザインの考え方を説明できる。
③介護保険制度と北九州市独自住宅改造助成制度について説明できる。
④要介護高齢者を対象とした住宅および高齢者施設の配慮ポイントを説明できる。
　（障害別住宅の考え方を説明できる：福祉用具の考え方も含めて説明できる）

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

各講義での配付資料
出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事後レポート	50%
PBL発表会	40%
PBL学修態度	10%

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

高齢者支援学Ⅱ　(NULL)

開講年次	４年	期区分	通年	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航、口腔保健学科長、吉岡　香絵、〔非常勤講師〕荒木　剛、〔非常勤講師〕納戸　美佐子、〔非常勤講師〕坂巻　路可、〔非常勤講師〕竜口　隆三、〔非常勤講師〕吉原　悦子、〔非常勤講師〕山田　志麻						

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

高齢者支援学Ⅱ　(NULL)

開講年次	４年	期区分	通年	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航、口腔保健学科長、吉岡　香絵、〔非常勤講師〕荒木　剛、〔非常勤講師〕納戸　美佐子、〔非常勤講師〕坂巻　路可、〔非常勤講師〕竜口　隆三、〔非常勤講師〕吉原　悦子、〔非常勤講師〕山田　志麻						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2,3	CCRCとは（講義趣旨説明） COC+事業と高齢者QOL創出事業の趣旨を概説し講義の意義を理解する。また、講義全体のオリエンテーションを行う。 講義の実施に先立ってプレテストを実施する。 キーワード：CCRC、COC+、高齢者、QOL 【口腔保健】要介護高齢者の口腔の機能の特徴ならびに経口摂取支援について キーワード：要介護高齢者、口腔、経口摂取 【福祉】介護保険制度下における高齢者施設の種類や特性などについて キーワード：高齢者、介護保険、高齢者施設 【住宅】住宅および高齢者施設で安全に暮らせる配慮ポイントについて キーワード：高齢者、住宅、高齢者施設 高齢者施設実習オリエンテーション	講義	藤井、坂巻、山田、竜口、引地	九州歯科大学講義室
4,5	高齢者施設実習 高齢者施設において、見学実習を行い、実際の要介護高齢者への支援について学修する。 キーワード：要介護高齢者、住宅、高齢者施設	見学実習	担当教員およびテュータ	高齢者施設
6,7,8	要介護高齢者の支援方法を考える（1） ・コンピュータ演習室、図書館などのPCを利用してシナリオの学習項目を自己学習する。 ・グループ発表とグループ内討論を行う。 ・学習項目をパワーポイントで発表し疑問点や不足部分を話し合い補う。 ・全体発表会の準備を行う。 ・グループ単位でまとめた項目を講義室で発表する。 ・その際、他の班の発表を評価する。 ・講義の最後にポストテストを実施する。 キーワード：要介護高齢者、住宅、高齢者施設	テュートリアル、講義	担当教員およびテュータ	九州歯科大学テュートリアル演習室、講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

英語　(English)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	海寶　康臣						
担当教員	海寶　康臣						

授業の概要

この科目では、読む力を中心に総合的な英語運用能力の向上を目指すとともに、医療従事者に必要な知識や情報を英語で収集する力を養う。本科目の受講を通して、意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につけるとともに、パラグラフのメインアイディアおよびそれを支える箇所を把握する力を養うことを目指す。受講者は英語を用いる力を向上させるための様々な活動を行う。読む力の向上に最も力を入れるが、書く力、聞く力、話す力の基礎を養うための活動も行う。また、語彙力を高めることにも力を入れる。更には、グローバルマインドやリサーチマインドの涵養も行う。

学生の到達目標

１．専門分野に関する情報を英語で収集するための基礎を身につける。
２．意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につける。
３．パラグラフごとにメイン・アイディアを把握しながら読むことができるようになる。
４．自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現することができるようになる。
５．医療に関することが話題になっている会話を聞いて、内容を理解することができるようになる。
６．語彙力の増強（とりわけ、医療に関わる語彙）
７. 自信をもって口頭で自己紹介ができるようになる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
					歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。

テキスト

The Hospital Team: English for Medical Specialists 医療系学生のための総合英語
出）南雲堂　著）高津昌宏他

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
平常点評価（提出物、授業参加）	30%

その他

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

英語　(English)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	海寶　康臣						
担当教員	海寶　康臣						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 【事前学習課題】英語による１分程度の自己紹介ができるように準備しておくこと。	講義	海寶	遠隔授業
2	Unit 1 The Human Body 人間の体について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 1 Homework Unit 1 The Human Bodyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
3	Unit 2 Nutrition and Fitness 高カロリーと健康について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 2 Homework Unit 2 Nutrition and Fitnessの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
4	Unit 3 Common Diseases 伝染病について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 3 Homework Unit 3 Common Diseasesの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
5	Unit 4 Hygiene and Public Health 個人と公衆の衛生管理について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 4 Homework Unit 4 Hygiene and Public Healthの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
6	Unit 5 Reforming Japanese Healthcare 日本の医療の改善策について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 5 Homework Unit 5 Reforming Japanese Healthcareの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
7	Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine 医療における「針刺し損傷」について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 6 Homework Unit 6 Needlestick Injuries in Medicineの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
8	Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan 北里柴三郎と医療について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 7 Homework Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japanの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
9	Unit 8 The Medical Laboratory Technologist 臨床検査技師の仕事について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 8 Homework Unit 8 The Medical Laboratory Technologistの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
10	Unit 9 Clinical Engineering 臨床工学技士の仕事について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 9 Homework Unit 9 Clinical Engineeringの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業
11	Speaking Activity 【事前学習課題】 英語で自己紹介をする準備 Assignment 1の復習	演習	海寶	講義室
12	Unit 10 Radiological Technology 診療放射線技術について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 10 Homework Unit 10 Radiological Technologyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

英語　(English)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	海寶　康臣						
担当教員	海寶　康臣						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	Unit 11 Physical Therapy 理学療法士とその仕事について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 11 Homework Unit 11 Physical Therapyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	講義室
14	Unit 12 Working in Occupational Therapy 作業療法士の仕事について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 12 Homework Unit 12 Working in Occupational Therapyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	講義室
15	Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary? チーム医療の必要性について英語で学ぶ。 【事前学習課題】Week 14 Homework Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary?の予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	グループワーク、演習	海寶	講義室

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医学英語　(Medical English)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕James Hicks						
担当教員	〔非常勤講師〕James Hicks						

授業の概要

This course helps students develop aural and oral fluency through engaging content and practical exercises. It takes a systematic, step-by-step approach, and the content and exercises put the tools of the language into students ’ hands as they learn the patterns used in daily life.
The topics are related to our personal lives (family, friends, feelings), our interests (music, movies, shopping), common discussion topics (weather, Internet, the future), and so on.

学生の到達目標

The aim of the course is to increase confidence and motivation regarding English usage in general, and oral communication in particular.

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

Four Corners 1A
出）Cambridge University Press　　著）

参考書

出）　　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
EXAM	50%
QUIZZES	25%
HOMEWORK	25%

その他

Contact me by email.

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医学英語　(Medical English)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕James Hicks						
担当教員	〔非常勤講師〕James Hicks						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	Orientation & Teacher Self-Introduction	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
2	Introductions	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
3	Names and Jobs	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
4	Nationalities, Emails and Phone numbers	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
5	Family and Friends	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
6	Demonstratives and Asking about new words	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
7	Clothing and Favorite Things	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
8	Getting around and Time	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

医学英語　(Medical English)

開講年次	１年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕James Hicks						
担当教員	〔非常勤講師〕James Hicks						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
9	Routines	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
10	Online habits, Numbers and Prices	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
11	Leisure activities and fun	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
12	Occupations and Telephone Language	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
13	Abilities	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
14	Final project research	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業
15	Final project presentations	講義 演習 Moodle: Lectures, Online Homework, Listening activities, Forums/Discussion, Flipgrid Presentations, Student Gallaries, Shared Workspaces	Hicks	遠隔授業

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

卒業研究　(Graduation work)

開講年次	４年	期区分	通年	科目	必修	単位数	5
授業方法	実習	時間数	150	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	卒業研究担当教員（別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと）						

授業の概要

大学が示す研究課題に沿って、実験・調査・論文抄読及び演習等を通して研究の意義を理解し、実験・研究の方法、データーの解析方法、考察の仕方などについて学ぶことで、４年間で学修した研究にかかる学士力を素養する。

学生の到達目標

①保健・医療・福祉の研究成果について生涯を通じて学び、新しい知見を提供するリサーチマインドを身につけることができる。
②リサーチマインドを駆使して、生涯にわたり歯科保健医療の発展に貢献するための基本的態度を身につけることができる。
③自ら企画して臨床研究するための基礎的能力を身につけることができる。
④研究成果に応じて学会発表することも視野に入れて研究を行うことができる。
⑤探究心と研究能力を有し、国際的な研究活動ができる基礎的能力を身につけることができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出）　著）

参考書

出）　著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
卒業研究発表会	80%
概略評価	20%

口腔保健学科教員全員によりルーブリックを用いて評価を行う。

その他

ルーブリックとは、成功の度合いを示す数レベル程度の尺度と、それぞれのレベルに対応するパフォーマンスの特徴を示した記述語（評価規準）からなる評価基準表のことである。ルーブリックは別途示す。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP

2020年度

卒業研究　(Graduation work)

開講年次	４年	期区分	通年	科目	必修	単位数	5
授業方法	実習	時間数	150	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						
	卒業研究担当教員（別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと）						

授業計画

別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと。

Copyright (c) All Rights Reserved. KYU-DENT.AC.JP